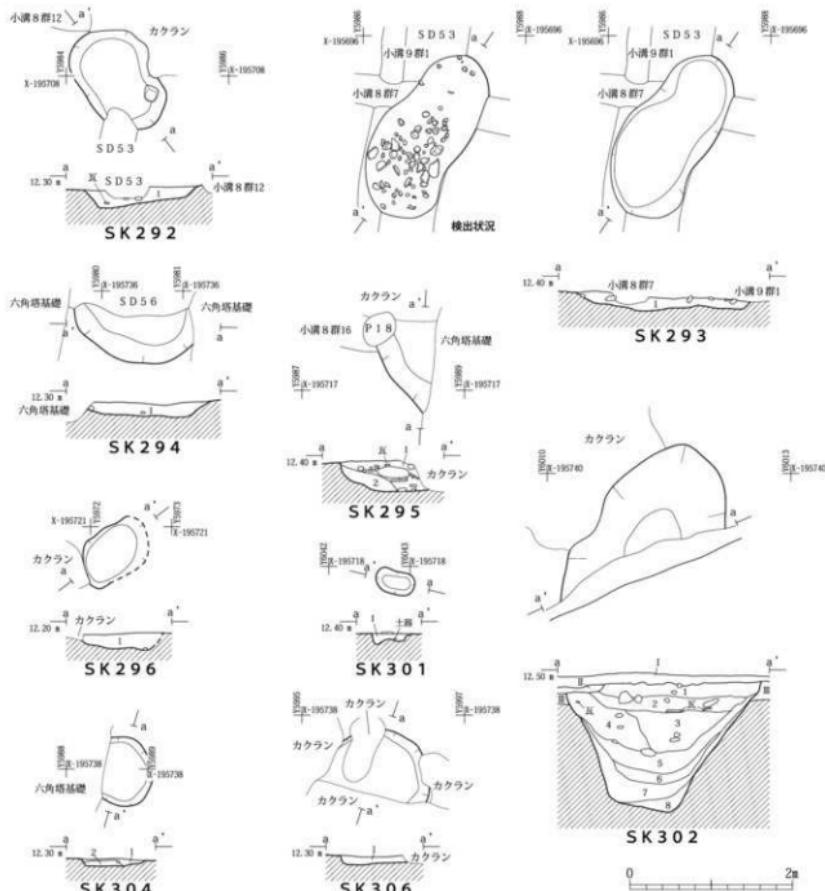


2 若林城廃城後の遺構 (4) 土坑



遺構	層位	土色	土性	特徴	備考
SK292	1	10YR4/6 暗褐色	シルト	径5cm以内のIV層ブロックを含む	—
SK293	1	10YR6/4 暗褐色	シルト	径5cm以内に深い黄褐色シルトブロックを含む	—
SK294	1	10YR4/4 暗褐色	シルト	径5cm以内の黒褐色シルトを含む	—
SK295	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	径10cm以内の円礫を多量含む	—
SK295	2	10YR5/4 に似る黄褐色	シルト	径1cm以内の炭化物を多量含む	—
SK296	1	10YR4/4 暗褐色	シルト	径10cm以内の円礫を多量含む	—
SK296	2	10YR3/4 暗褐色	砂質土	径1m以内の炭化物を含む	—
SK301	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	径3cm以内の円礫を含む	—
SK301	2	10YR5/4 に似る黄褐色	シルト	径20cm以内の円礫を含む	—
SK301	3	10YR6/4 に似る黄褐色	シルト	径20cm以内の円礫を含む	—
SK301	4	10YR5/4 に似る黄褐色	砂質シルト	径3cm以内に深い黄褐色シルトブロックを少量含む 径10cm以内の円礫を含む	—
SK301	5	10YR5/4 に似る黄褐色	砂質土	径20cm以内の円礫を多量含む	—
SK301	6	10YR4/2 底黄褐色	砂質シルト	径5cm以内の円礫を含む	—
SK301	7	10YR6/4 に似る黄褐色	砂質シルト	—	—
SK301	8	10YR5/1 暗灰色	砂質シルト	—	—
SK302	1	10YR3/4 暗褐色	砂質シルト	—	—
SK302	2	10YR7/4 に似る黄褐色	砂質シルト	褐色砂質土ブロックを微量含む	—
SK303	1	10YR4/4 暗褐色	砂質シルト	—	—

第164図 土坑 (6)

規模は長軸0.85m、短軸0.65m、深さは0.09mと浅い。残存が悪く、壁面の立ち上がりは不明で、底面はほぼ平坦である。堆積土は2層に分かれる。遺物は出土していない。

306号土坑

Y40、X48グリッドで検出し、S B 9 磐石跡55より新しく、北側、西側、南側を搅乱で壊されているため形状は不明である。残存規模は長軸1.30m、短軸0.81m、深さは0.11mと浅い。壁面は底面近くが垂直気味で、底面は平坦である。堆積土はブロック土の單一層である。遺物は出土していない。

307号土坑

Y38、X47グリッドで検出し、他の遺構との重複関係は無く、北側を搅乱で壊されている。形状は隅丸長方形で、規模は長軸0.72m、短軸0.50m、深さは0.12mと浅く、主軸方向はN-69°-Wである。壁面は緩やかに立ち上がりとみられ、底面は平坦である。堆積土は径5cm以内の円礫を含む單一層である。遺物は出土していない。

308号土坑

Y41・42、X47グリッドで検出し、S B 9 磐石跡19、S K309より新しく、西側と北側を搅乱で壊され形状は不明である。残存規模は長軸2.05m、短軸は1.70m、深さ0.22mである。残存する壁面は比較的急角度で立ち上がり、底面には凹凸がある。堆積土は瓦や径20cm以内の円礫を含む單一層である。遺物は丸瓦、平瓦、熨斗瓦、丸瓦か輪違い、須恵器、鉄釘が出土しており、平瓦の出土点数が多い。

309号土坑

Y41・42、X47グリッドで検出し、S K308、P 7より古く、西側を搅乱で壊され、わずかな残存のため形状は不明である。残存規模は長軸0.90m、短軸0.24m、深さは0.05mと浅い。残存が悪く壁面の立ち上がりは不明で、底面は平坦である。堆積土は径10cm以内の円礫を含む單一層である。遺物は平瓦、鉄製品が出土している。

310号土坑

Y41、X48グリッドで検出し、他の遺構との重複関係はないが、西側を搅乱で壊されている。形状は不整形で、残存規模は長軸1.20m、短軸0.79m、深さは0.12mと浅い。残存が悪く壁面の立ち上がりは不明で、底面には凹凸がある。堆積土はⅢ層類似層の單一層である。遺物は出土していない。

312号土坑

Y42・43、X46グリッドで検出し、他の遺構との重複関係はない。形状は梢円形で、規模は長軸1.08m、短軸0.64m、深さは0.08mと浅く、主軸方向はN-18°-Eである。残存が悪く壁面の立ち上がりは不明で、底面には凹凸がある。堆積土は單一層である。遺物は出土していない。

313号土坑

Y40・41、X46グリッドで検出し、他の遺構との重複関係はなく、南側を搅乱で壊され形状は不明であるが、円形か梢円形とみられる。残存規模は長軸0.95m、短軸0.41m、深さ0.20mである。壁面は緩やかに立ち上がり、底面は狭く中央部分が深くなっている。また底面中央に円礫が集中しみられた。堆積土は2層に分かれ、2層はグライ化している。遺物は出土していない。

314号土坑

Y44、X41グリッドで検出し、S D69より新しく、S D74より古く、北側は調査区外のため形状は不明である。残存規模は長軸1.33m、短軸0.78m、深さ0.22mである。壁面は緩やかに立ち上がり、底面は狭いが平坦である。堆積土は單一層で、上部に大型の角礫や円礫を含んでいる。角礫は隣接するS D69の側石であった可能性もある。遺物は出土していない。

316号土坑

Y48、X44グリッドで検出し、S B12 磐石跡4、S D68より新しい。形状は不整梢円形で、規模は長軸1.31m、短

2 若林城廃城後の遺構 (4) 土坑



遺構	層位	土色	土性	特徴	備考
SK307	1	10YR6/6 明黄褐色	砂質シルト	径3cm以内の褐灰色粘土質シルトブロック、径5cm以内の円礫を含む	—
SK308	1	10YR4/4 褐色	シルト	径5cm以内のIV層ブロックを多量、径20cm以内の円礫を含む	—
SK309	1	10YR4/4 褐色	シルト	径10cm以内の円礫を少量含む	—
SK310	1	10YR4/4 褐色	シルト	—	—
SK312	1	10YR4/4 褐色	シルト	—	—
SK313	1	10YR5/3 に近い黄褐色	砂質土	径10cm以内の円礫を微量含む	—
SK313	2	10YR7/6 明黄褐色	シルト	径10cm以内の円礫を少量含む	—
SK314	1	10YR5/1 褐灰色	シルト	下部に径5cm以内の灰褐色粘土質シルトブロック、径10cm以内の角礫を含む	—
SK316	1	10YR4/4 褐色	シルト	径1cm以内の明褐色シルトブロックを微量含む 径5cm以内の円礫を含む	—
SK317	1	10YR4/4 褐色	シルト	径1cm以内の暗褐色シルトブロックを微量含む	—
SK318	1	10YR4/4 褐色	シルト	径1cm以内の暗褐色シルトブロックを微量含む	—
SK319	1	10YR4/4 褐色	シルト	径1cm以内の暗褐色シルトブロックを微量含む	—
SK320	1	10YR4/4 褐色	シルト	径20cm以内の円礫、径1cm以内の炭化物を少量含む	—
SK322	1	10YR4/4 褐色	砂質シルト	径5cm以内の円礫を微量含む 径10cm以内の円礫を含む	—

第165図 土坑 (7)

軸0.93m、深さは0.06mと浅く、主軸方向はN-33°-Eである。残存が悪く、壁面の立ち上がりは不明で、底面は平坦である。堆積土は單一層であり、堆積土中の円礫はSD68底面の石敷の様であったと考えられる。遺物は陶器(1122)が出土している。

317号土坑

Y45、X44グリッドで検出し、SD70より新しく、SK332より古く、東側を壊され形状は不明である。残存規模は長軸0.54m、短軸0.28m、深さは0.09mと浅く、主軸方向はN-12°-Wである。残存が悪く壁面の立ち上がりは不明で、底面には凹凸があり南側が深くなっている。堆積土はブロック土の單一層である。遺物は出土していない。

318号土坑

Y44・45、X43グリッドで検出し、SD70より新しく、北側と南側を搅乱に壊されている。形状は不整形とみられ、残存規模は長軸0.86m、短軸0.62m、深さは0.07mと浅い。残存が悪く壁面の立ち上がりは不明であるが、底面はほぼ平坦である。堆積土はⅢ層類似層の單一層である。遺物は出土していない。

319号土坑

Y48、X44グリッドで検出し、他の遺構との重複関係はないが、北側を搅乱に壊され形状は不明である。残存規模は長軸0.60m、短軸0.35m、深さは0.06mと浅い。残存が悪く壁面の立ち上がりは不明で、底面は平坦である。堆積土はⅢ層類似層の單一層である。遺物は平瓦、駕斗瓦が出土している。

320号土坑

Y42、X48グリッドで検出し、SD76より新しく、東側を搅乱に壊され形状は不明である。残存規模は長軸0.92m、短軸0.48m、深さ0.14mである。壁面は緩やかに立ち上るとみられ、底面には凹凸がある。堆積土は2層に分かれ、1層が2層を切る形で、何かしらの重複構造があるものとみられる。遺物は出土していない。

322号土坑

Y44、X42・43グリッドで検出し、SD70より新しく、西側を搅乱に壊されている。形状は不整形で、残存規模は長軸1.17m、短軸1.16m、深さ0.07mである。残存が悪く壁面の立ち上がりは不明で、底面はほぼ平坦で南西側が深くなっている。堆積土は單一層である。遺物は出土していない。

323号土坑

Y45、X46グリッドで検出し、SB11礎石跡11より新しい。形状は不整形で、規模は長軸0.95m、短軸0.68m、深さ0.20mである。壁面の立ち上がりは緩やかで、底面は平坦である。堆積土は径10cm以内の円礫を含む單一層である。堆積土中の円礫はSB11礎石跡11の根固石であったと考えられる。遺物は出土していない。

324号土坑

Y45、X46グリッドで検出し、他の遺構との重複関係はないが、北側を搅乱、東側を六角塔基礎に壊されている。形状は隅丸方形で、残存規模は長軸0.96m、短軸0.76m、深さ0.16mである。壁面は比較的急角度で立ち上がり、底面には凹凸がある。堆積土はブロック土の單一層である。遺物は出土していない。

325号土坑

Y45、X45・46グリッドで検出し、SD66より新しく、北側を搅乱に壊され形状は不明である。残存規模は長軸0.80m、短軸0.54m、深さ0.20mで、主軸方向はN-58°-Wである。壁面は緩やかに立ち上がり、底面は狭く明瞭ではない。堆積土は径1cm以内の円礫を含む單一層である。遺物は出土していない。

327号土坑

Y46、X46グリッドで検出し、他の遺構との重複関係はないが、北側を六角塔基礎に壊され形状は不明である。残存規模は長軸0.52m、短軸0.38m、深さは0.09mと浅い。残存が悪く壁面の立ち上がりは不明で、底面は平坦である。堆積土は径5cm以内の円礫を含む單一層である。遺物は出土していない。

328号土坑

Y46、X46・47グリッドで検出し、他の遺構との重複関係はないが、南東側を六角塔基礎に壊されている。形状は不整楕円形で、残存規模は長軸1.17m、短軸0.43m、深さ0.27mで、主軸方向はN-40°-Eである。壁面は比較的急に立ち上がり、底面は北東側が低くなっている。堆積土はブロック土の單一層である。遺物は出土していない。

329号土坑

Y45、X47グリッドで検出し、SD66より新しい。形状は円形で、規模は長軸0.62m、短軸0.54m、深さ0.15mである。壁面は緩やかに立ち上がり、底面は壁面との境が不明瞭で中央部が深い。堆積土は径10cm以内の円礫を含む單一層である。遺物は須恵器が出土している。

330号土坑

Y45、X44グリッドで検出し、SD70より新しく、SK357より古く、形状は不整円形とみられる。規模は長軸0.76m、短軸0.48m、深さは0.09mと浅く、主軸方向はN-25°-Eである。壁面は底面近くが緩やかで、壁面上半は急に立ち上がり、底面には凹凸がある。堆積土はブロック土の單一層である。遺物は丸瓦、平瓦、熨斗瓦、輪違い、面戸瓦、丸瓦か輪違いが出土している。

331号土坑

Y43、X43・44グリッドで検出し、SK350、SK351、P32、SD70より新しく、南側を搅乱に壊されるが、形状は楕円形とみられる。残存規模は長軸1.02m、短軸0.96m、深さは0.08mと浅い。残存が悪く壁面の立ち上がりは不明で、底面は平坦である。堆積土は径10cm以内の円礫を多量に含む單一層で、瓦や礫を廃棄した土坑とみられる。遺物は出土していない。

332号土坑

Y45、X44グリッドで検出し、SD70、SK317より新しい。形状は不整椭円形で、規模は長軸0.76m、短軸0.36m、深さ0.14mで、主軸方向はN-16°-Eである。壁面は緩やかに立ち上がり、底面は狭く窪んでいる。堆積土はIII層類似層の單一層である。遺物は出土していない。

333号土坑

Y42、X45・46グリッドで検出し、東側を搅乱で壊されている。第8次調査では確認できず、形状は不明である。残存規模は長軸3.00m、短軸0.54m、深さ0.06mと浅く、主軸方向はN-16°-Eである。残存が悪く壁面の立ち上がりは不明で、底面状況も不明である。堆積土はIII層類似層の單一層である。遺物は出土していない。

334号土坑

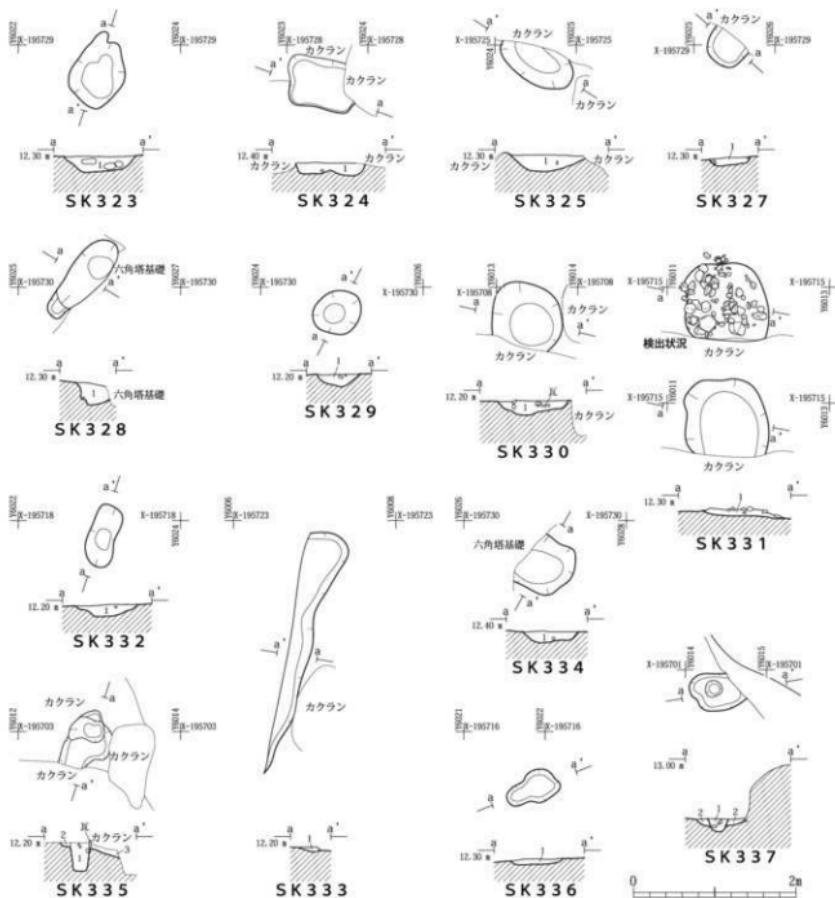
Y46、X47グリッドで検出し、他の遺構との重複関係はないが、北西側は六角塔基礎に壊されているため形状は不明である。残存規模は長軸0.68m、短軸0.64m、深さ0.15mである。壁面は緩やかに立ち上がり、底面には凹凸がある。堆積土はブロック土の單一層である。遺物は出土していない。

335号土坑

Y43、X41グリッドで検出し、他の遺構との重複関係はないが、南側と東側を搅乱に壊され形状は不明である。残存規模は長軸0.76m、短軸0.55m、深さ0.35mで、主軸方向はN-23°-Eである。残存が悪く周囲の壁面の立ち上がりは不明で、底面は一部がピット状に深くなっている。堆積土は3層に分かれ、1層が2、3層を切る形となることから、別遺構同士の重複か、あるいは柱跡の可能性もある。遺物は平瓦、熨斗瓦、輪違い、桟瓦片、土師器が出土している。

336号土坑

Y45、X44グリッドで検出し、他の遺構との重複関係はない。形状は不整形で、規模は長軸0.67m、短軸0.41m、深さは0.07mと浅い。残存が悪く壁面の立ち上がりは不明で、底面は平坦である。堆積土はIII層類似の單一層である。



遺構	層位	土色	土性	特徴	備考
SK323	1	10YR4/4 褐色	シルト	径3cm以内の黒褐色砂質シルトブロック、径10cm以内の円礫を少量含む	—
SK324	1	10YR4/4 褐色	シルト	径1cm以内の灰化物を微量含む	—
SK325	1	10YR4/4 褐色	シルト	径1cm以内にぶつ、黄褐色砂質シルトブロック、径1cm以内の円礫、径1cm以内の灰化物を微量含む	—
SK327	1	10YR4/4 褐色	シルト	径5cm以内の円礫を含む	—
SK328	1	10YR4/4 褐色	砂質シルト	—	—
SK329	1	10YR4/4 褐色	砂質シルト	径1cm以内の明黄色褐色砂質シルトブロックを少量含む、径10cm以内の円礫を微量含む	—
SK330	1	10YR4/4 褐色	砂質シルト	黄色褐色砂質シルトブロック、径3cm以内の円礫を微量含む	—
SK331	1	10YR4/4 褐色	砂質シルト	径10cm以内の円礫を微量含む	—
SK332	1	10YR4/3 にぶつ、黄褐色	砂質シルト	径5cm以内の円礫を含む	—
SK333	1	10YR4/4 褐色	シルト	—	—
SK334	1	10YR4/4 褐色	砂質シルト	—	—
	1	10YR4/2 灰黃褐色	シルト	—	—
SK335	2	10YR4/2 にぶつ、黄褐色	シルト	径1cm以内にぶつ、黄褐色砂質シルトブロックを少量含む	—
	3	10YR4/4 單褐色	シルト	径1cm以内の明黄色褐色砂質シルトブロックを少量含む	—
SK336	1	10YR4/4 褐色	シルト	径10cm以内の円礫を含む	—
SK337	1	10YR5/1 褐灰色	砂質シルト	—	—
	2	10YR4/3 にぶつ、黄褐色	シルト	径1cm以内の褐色砂質シルトブロックを微量含む	—

第166図 土坑 (8)

遺物は出土していない。

337号土坑

Y43、X41グリッドで検出し、他の遺構との重複関係はないが、東側は調査区外のため形状は不明である。残存規模は長軸0.67m、短軸0.46m、深さ0.16mで、主軸方向はN-83°-Eである。残存が悪く壁面の立ち上がりは不明で、底面は一部がピット状に深くなっている。堆積土は2層に分かれ、1層が2層を切る形となることから、別遺構同士の重複がある、あるいは柱跡の可能性もある。遺物は平瓦が出土している。

338号土坑

Y45・46、X43グリッドで検出し、P34、SD60・70より新しく、東側を搅乱に壊され形状は乱れているが円形とみられる。残存規模は長軸2.56m、短軸2.52m、掘り方底面までの深さ1.30mで、VII層まで掘り込んでいる。IV層上面の若林城廃城後の土坑の中でも大型の土坑である。掘り方の断面形状は、壁面は底面近くが緩やかで、壁面上半部は直立し、底面は中央部分が径1.15mの円形に窪んでいる。堆積土はIII層類似層の1、2層、瓦や礫を多量に含む3層と、少量含む4層、黄褐色シルトやブロック土を主体とした5-7層に分けられる。層の状況からみて5-7層は掘り方埋土で、1-4層は後の人為堆積と自然流入土と考えられる。当初、遺構構築の際には、土坑中央に桶状の容器や木枠等が埋設されていたと考えられ、後に何かしらの理由で掘り方埋土の上部を大きく掘込み、木枠等を取り外し、おそらくは内部に土と共に礫や瓦を入れたものとされる。さらにその後に1、2層が流入したものと考えられる。この際の礫や瓦もまた他の土坑同様に障害となったものを投げ入れた可能性が高い。

遺物は軒丸瓦（F56・57）、丸瓦（F75-83）、平瓦（G116-134）、熨斗瓦（H152）・刻印熨斗瓦、輪違い（H180・181）、面戸瓦（H191-193）、丸瓦か輪違い、その他の瓦、土師器（C14）、須恵器、土師質土器皿（X133-137）、鉄釘が出土しており、中でも平瓦が多く出土している。土坑の時期は掘り方埋土中からも瓦が出土したことから、廃城後のものと考えられる。

339号土坑

Y49、X44グリッドで検出し、他の遺構との重複関係はない。形状は梢円形で、規模は長軸0.66m、短軸0.41m、深さは0.12mと浅く、主軸方向はN-75°-Eである。残存が悪く、壁面の立ち上がりは不明で、底面は東側がピット状に一段下がっている。堆積土はIII層類似層の単一層である。遺物は出土していない。

340号土坑

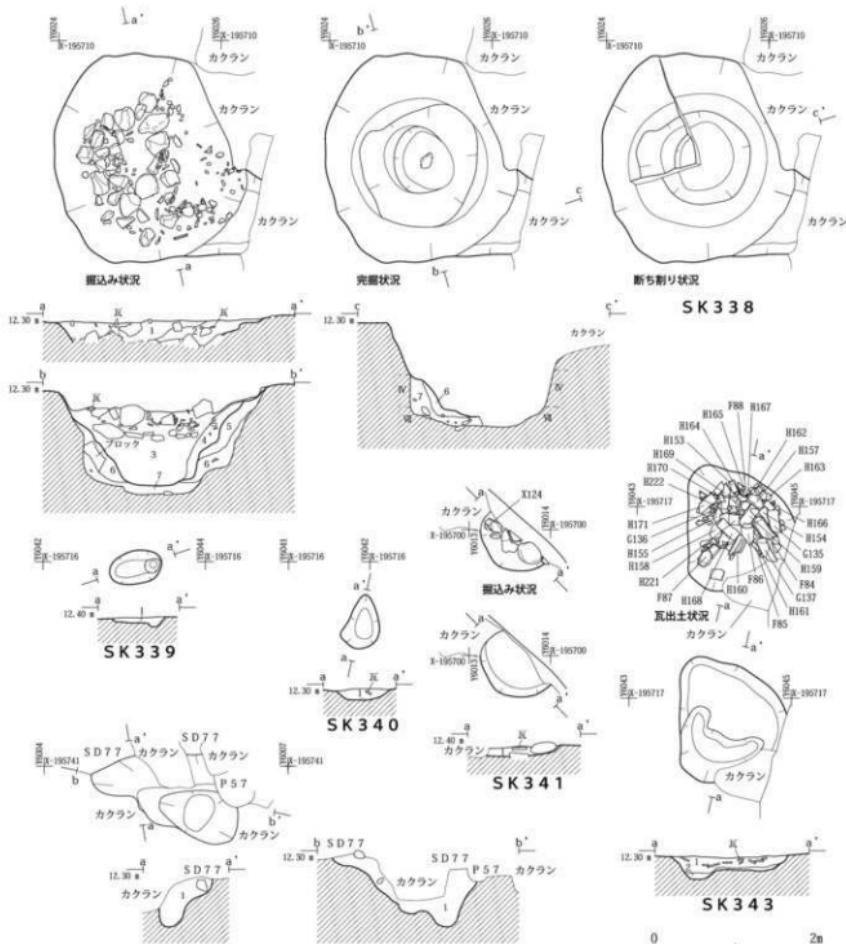
Y49、X44グリッドで検出し、他の遺構との重複関係はない。形状は不整形で、規模は長軸0.67m、短軸0.46m、深さ0.14mで、主軸方向はN-13°-Eである。壁面は緩やかに立ち上がり、底面は狭いが平坦である。堆積土はIII層類似層の単一層である。遺物は熨斗瓦が出土している。

341号土坑

Y43、X40・41グリッドで検出し、他の遺構との重複関係はないが、北側を搅乱で壊され、北東側は調査区外のため形状は不明である。残存規模は長軸0.92m、短軸0.59m、深さは0.11mと浅い。残存が悪く、壁面の立ち上がりは不明で、底面は平坦である。堆積土は径30cm以内の円礫や角礫を含む単一層である。遺物は丸瓦、平瓦、熨斗瓦、輪違い、土師質土器皿が出土している。

342号土坑

Y41・42、X49グリッドで検出し、P57、SD77より古く、北側を六角塔基礎や搅乱に壊され形状は不明である。残存規模は長軸1.91m、短軸0.96m、深さ0.84mである。壁面は西側では緩やかだが、東側は急角度で立ち上がり、底面は凹凸があり東側が深くなっている。堆積土は単一層で、木根の痕跡の可能性もある。遺物は丸瓦、平瓦、熨斗瓦、輪違い（H182）、丸瓦か輪違い、菊丸瓦（H185）が出土しており、平瓦の出土点数が多い。



遺構	層位	土色	土性	特徴	備考
SK338	1	10YR4/4	褐色	シルト 径3cm以内の褐色・明褐色砂質シルトブロック、径30cm以内の円・角礫を少量含む	—
	2	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト 径3cm以内の褐色・暗褐色質マットブロックを少量、径30cm以内の円・角礫、径1m以内の炭化物を含む	—
	3	10YR4/4	褐色	シルト 径50cm以内の円・角礫を多量、炭化物を少量含む	—
	4	10YR3/3	暗褐色	シルト 径30cm以内の褐色・暗褐色砂質シルトブロックを少量、径30cm以内の円・角礫を少量、炭化物を含む	—
	5	10YR8/6	黄褐色	シルト —	—
	6	10YR6/2	灰黃褐色	シルト 径1m以内の黄褐色・灰褐色砂質シルトブロックを多量含む	—
	7	10YR6/2	灰黃褐色	砂質シルト 径3cm以内の褐色砂質シルトブロックを多量含む	—
SK339	1	10YR4/4	褐色	砂質シルト 明褐色砂質シルトブロック、径30cm以内の円・角礫を含む	—
SK340	1	10YR4/4	褐色	シルト 径30cm以内の円・角礫を含む	—
SK341	1	10YR4/4	褐色	砂質シルト に赤い黄褐色・黒褐色砂質シルトブロックを少量、角礫を多量含む	—
SK342	1	10YR4/4	褐色	シルト に赤い黄褐色・黒褐色砂質シルトブロックを含む	—
SK343	1	10YR4/4	褐色	シルト 径3cm以内の明褐色砂質シルトブロックを含む	—
	2	10YR4/4	褐色	シルト 径3cm以内の褐色・明褐色砂質シルトブロックを多量含む	—

第167図 土坑（9）

343号土坑

Y49、X44グリッドで検出し、他の遺構との重複関係はないが、南東側を搅乱に壊され、東側は調査区外であるが、形状は不整形とみられる。残存規模は長軸1.46m、短軸1.40m、深さ0.28mである。残存が悪く壁面の立ち上がりは底面近くがやや緩やかとなり、底面は北側が平坦であるが南側は一段低くなっている。堆積土は2層に分かれ、1層は瓦を多量に含み、2層は底面近くに薄く堆積している。遺物は丸瓦（F84-88）、平瓦（G135-137）、熨斗瓦（H158-164・166-171）・刻印熨斗瓦（H153-157・165）、丸瓦か輪違いが出土しており、刻印熨斗瓦を含め熨斗瓦の出土点数が多い。瓦片は大型のものが多く、まとまって出土していることから瓦を廃棄した土坑と考えられる。

344号土坑

Y49、X44グリッドで検出し、他の遺構との重複関係はない。形状は不整形で、規模は長軸0.76m、短軸0.36m、深さ0.24mで、主軸方向はN-11°-Wである。壁面は垂直に近く、堆積土は5層に分かれ。南側で2層がピット状に掘り込まれていることから、柱跡の可能性もあるが、ピットは小さく木根の痕跡の可能性もある。遺物は出土していない。

345号土坑

Y49、X44グリッドで検出し、他の遺構との重複関係はないが、南東側を搅乱に壊され、形状は不整円形とみられる。残存規模は長軸0.62m、短軸0.52m、深さは0.09mと浅い。残存が悪く、壁面の立ち上がりは不明で、底面は平坦である。堆積土は単一層であり、中央部で瓦片と径15cm以内の円礫が出土している。遺物は平瓦、熨斗瓦・刻印熨斗瓦（H172）、輪違い、丸瓦か輪違い、土師器、土師質土器皿、鉄釘が出土している。

346号土坑

Y43、X44グリッドで検出し、S A 3-P 7より新しく。形状は円形で、規模は径0.60m、深さ0.08mと浅い。残存が悪く、壁面の立ち上がりは不明で、底面は平坦である。堆積土は径10cm以内の円礫を含む単一層である。遺物は出土していない。

347号土坑

Y49、X43グリッドで検出し、他の遺構との重複関係はないが、北側を搅乱に壊され形状は不明である。残存規模は長軸0.64m、短軸0.32m、深さ0.20mである。壁面は比較的急角度で立ち上がり、底面は西側が低くなっている。堆積土は単一層であり、西側では径35cm以内の角礫や円礫を含んでいる。遺物は出土していない。

348号土坑

Y43、X42グリッドで検出し、S A 2より新しく、南側を搅乱に壊されている。形状は不整梢円形とみられ、残存規模は長軸0.94m、短軸0.88m、深さ0.18mである。残存が悪く、壁面の立ち上がりは不明で、底面は凹凸がある。堆積土は径3cm以内の円礫を含む単一層である。遺物は出土していない。

349号土坑

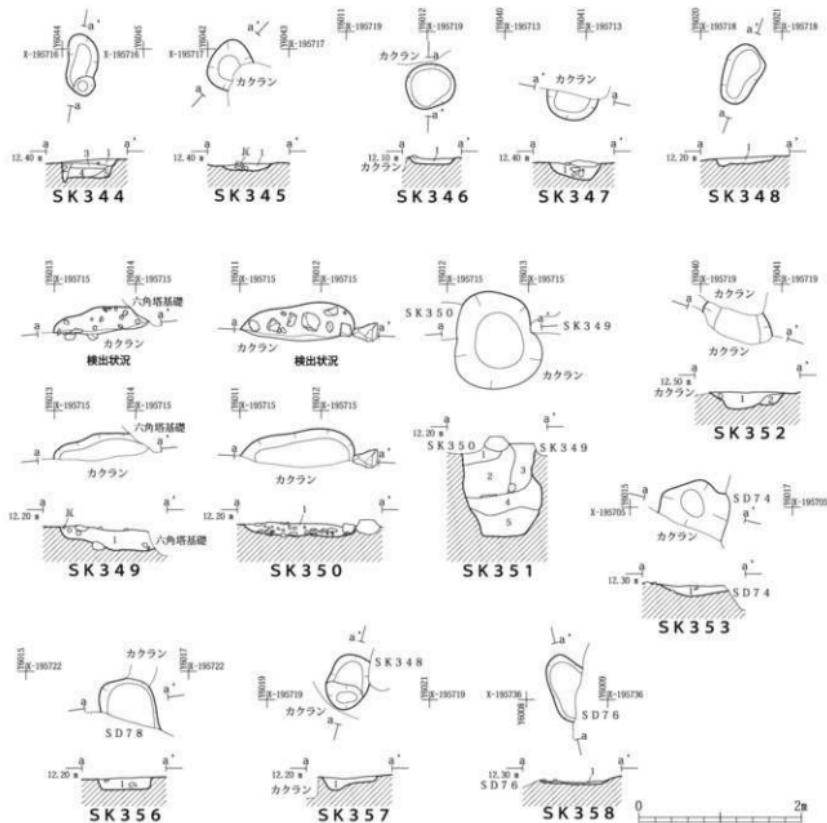
Y43、X44グリッドで検出し、S K351より新しく、東側を六角塔基礎、南側を搅乱に壊されている。形状は不整梢円形とみられ、残存規模は長軸1.18m、短軸0.32m、深さ0.25mである。壁面は緩やかに立ち上がり、底面は凹凸があり全体に東側に傾いている。堆積土は径15cm以内の円礫を含む単一層である。遺物は出土していない。

350号土坑

Y43、X44グリッドで検出し、S A 2、S K331、S D70、S K351より新しく、S K331より古く、南側を搅乱に壊され形状は不明である。残存規模は長軸1.40m、短軸0.46m、深さ0.17mである。壁面は底面近くが緩やかに立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は径40cm以内の円礫や角礫を含む単一層である。遺物は出土していない。

351号土坑

Y43、X44グリッドで検出し、S K349、S K350より古く、南側を搅乱に壊されている。形状は不整梢円形とみら



遺構	層位	土色	土性	特徴	備考
SK344	1	10YR4/4 塗色	砂質シルト	にぶい黄褐色砂質土ブロック、径5cm以内の塊を微量含む	—
	2	10YR4/4 塗色	砂質シルト	—	—
	3	10YR4/4 塗色	砂質シルト	明黄色砂質土を含む、褐色砂質土ブロックを少量含む	—
	4	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	明黄色砂質土ブロック、径1cm以内の炭化物を微量含む	—
	5	10YR3/4 塗褐色	砂質シルト	明黄色砂質土ブロック、径1cm以内の炭化物を微量含む	—
SK345	1	10YR4/4 塗色	砂質シルト	径20cm以内の円溝を微量含む	—
SK346	1	10YR4/4 塗灰色	砂質シルト	径1cm以内のにぶい黄褐色砂質シルトブロックを少量、径10cm以内の円溝を含む	—
SK347	1	10YR3/4 塗褐色	砂質シルト	径3cm以内の黒褐色砂質ブロックを微量、径40cm以内の円溝を含む	—
SK348	1	10YR4/4 塗色	砂質シルト	径1cm以内の明黄色砂質シルトブロックを少量、径1cm以内の炭化物を含む	—
SK349	1	10YR4/4 塗色	シルト	明黄色砂質シルトブロックを微量、径20cm以内の円溝を含む	—
SK350	1	10YR4/4 塗褐色	シルト	明黄色砂質シルトブロックを微量含む	—
SK351	1	10YR7/2 にぶい黄褐色	シルト	褐色砂質シルトブロックを微量含む	—
	2	10YR5/4 にぶい黄褐色	砂質土	径3cm以内のにぶい黄褐色砂質シルトブロックを微量含む	—
	3	10YR6/4 にぶい黄褐色	シルト	径3cm以内の円溝を微量含む	—
	4	10YR8/2 灰白色	砂質シルト	にぶい黄褐色砂質シルトブロックを微量含む	—
	5	10YR6/6 明黄色	粘土質シルト	—	—
SK352	1	10YR4/4 塗色	砂質シルト	明黄色砂質土ブロック、径20cmの円溝、径1cm以内の炭化物を微量含む	—
SK353	1	10YR4/4 塗色	シルト	明黄色砂質シルトブロックを微量含む	—
SK356	1	10YR3/4 塗褐色	シルト	径1cm以内の円溝、径1cm以内の炭化物を含む	—
SK357	1	10YR3/4 塗褐色	シルト	径2cm以内の明黄色砂質シルトブロックを微量含む	—
SK358	1	10YR5/2 風黃褐色	シルト	径1cm以内の褐色砂質シルトブロックを微量、径3cm以内の円溝を含む	—

第168図 土坑 (10)

れ、残存規模は長軸1.19m、短軸1.07m、深さ1.13mである。壁面は垂直気味に立ち上がり、一部オーバーハングしている箇所は後の壁面の崩落部分とみられる。底面は平坦である。堆積土はブロック土や砂質土、粘土質シルトの5層に分かれ、堆積状況から埋め戻され、また途中で掘り直された可能性がある。遺物は出土していない。

352号土坑

Y49、X44グリッドで検出し、他の遺構との重複関係はないが、北側と南側を搅乱に壊され形状は不明である。残存規模は長軸0.90m、短軸0.41m、深さ0.20mである。残存が悪いが底面近くの壁面は比較的急角度で立ち上がり、底面には凹凸がある。堆積土は2層に分かれ、1層が2層を切る形でみられる。遺物は出土していない。

353号土坑

Y44、X41・42グリッドで検出し、SD74より古く、南側を搅乱に壊され形状は不明である。残存規模は長軸0.87m、短軸0.60m、深さ0.13mである。壁面は緩やかに立ち上がり、底面は平坦ではなく中央部が深い。堆積土は径5cm以内の円礫を含む單一層である。遺物は平瓦、熨斗瓦、丸瓦か輪違い、土師器が出土している。

356号土坑

Y44、X45グリッドで検出し、SD52より新しく、SD78より古く、北側を搅乱に壊され形状は不明である。残存規模は長軸0.72m、短軸0.52m、深さ0.15mである。壁面は垂直気味に立ち上がり、底面は平坦で壁面との境は明瞭である。堆積土は径10cm以内の円礫を含む單一層である。遺物は丸瓦か輪違いが出土している。

357号土坑

Y44・45、X44グリッドで検出し、SD70、SA2控柱跡2より新しく、SK330より古い。形状は梢円形で、規模は長軸0.69m、短軸0.52m、深さ0.15mで、主軸方向はN-25°-Eである。残存が悪く、壁面の立ち上がりは不明で、底面は南側が浅いピット状に低くなっている。堆積土はブロック土の單一層である。遺物は丸瓦、平瓦、丸瓦か輪違いが出土している。

358号土坑

Y42、X48グリッドで検出し、SD76より古く、SD76に壊され形状は不明である。残存規模は長軸0.84m、短軸0.45m、深さは0.04mと浅く、主軸方向はN-23°-Wである。残存が悪く、壁面の立ち上がりは不明で、底面は平坦である。堆積土は径3cm以内の円礫を含む單一層である。遺物は平瓦、面戸瓦が出土している。

(5) 集石遺構

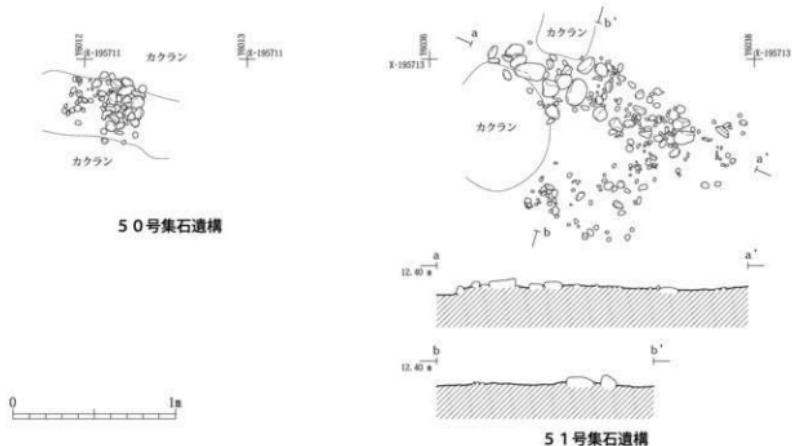
III層上面同様、IV層上面においても2基の集石遺構を調査区北東側で検出した。集石は掘り方を伴わず、疊はほとんどが円礫であり、50号集石遺構の疊は51号よりも大型のものが多い。今回、IV層上面で確認した集石遺構は、III層土による耕作時に邪魔となった疊を集めたものと考えられるが、III層面検出のものが耕作土上面に集められたものに対し、III層下面での集石は、かつてIII層上面より掘り込まれた土坑等の中に人为的に入れられたものが、その後の耕作により掘り込み上部が失われたが、底面の疊は散乱しなかった結果によるものと推定される。土坑等の中に入れられた疊は、付近の若林城期の遺構に使用されていたものとみられる。

50号集石遺構

Y43、X43グリッドで検出し、S A 2より新しく、北側と南側を搅乱で壊されている。疊の範囲は長軸0.50m、短軸0.46mの不整形で、疊は径5—10cmの円礫が多く、積み重なる状況で、主に東側に密集している。

51号集石遺構

Y48、X43グリッドで検出し、他遺構との重複関係はない。疊の範囲は長軸1.68m、短軸1.04mの不整形で、径20cm以内の円礫を検出した。疊は径5cm以内の円礫が多く、ほとんどの疊は平面的に散乱している。また疊は北側に密集しており、北西側には径10—20cmのやや大きなものが多い。



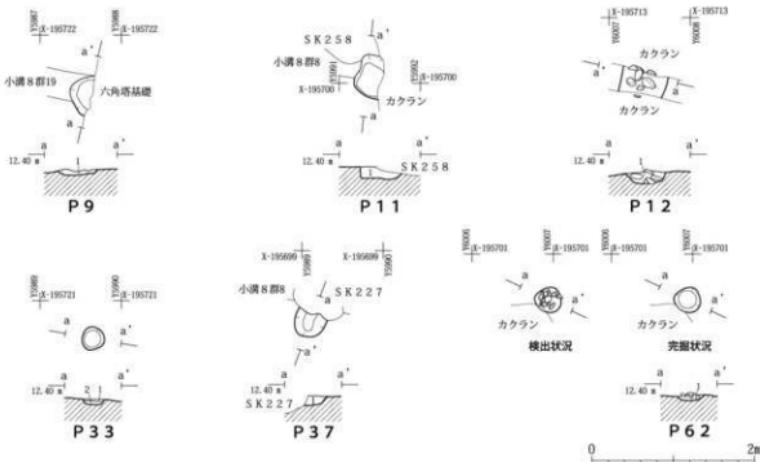
第169図 集石遺構

(6) ピット

ピットは調査区の全域にわたり123基検出し、特にY38・39、X40・41グリッド、Y44・46、X42・44グリッド、Y45・46、X46・47グリッド、Y47・48、X46・47グリッドで多い。これらをもって柱列や隙縫になるような並んだものなどは確認できなかった。また、ピットは若林城関係の遺構のほか、小溝群や耕作に関わるとみられる土坑等と重複しているが、若林城関係の遺構より古いものは無く、小溝群や土坑等との関係では新旧双方が存在している。平面形状は大半が不整梢円形や梢円形であり、規模は長軸径が0.20-0.58mである。深さは深いもので0.52mある。掘込みを行っていないものも多いが、大半のものの壁面は急に立ち上がり、底面は平坦であるが、断面形状に特徴は無い。堆積土の多くはⅢ層に類似した土壤や、ブロック土が混入する單一層で、掘り方埋土や柱痕跡を伴うような複雑な構造のものは認められない。しかし、中には堆積土が4層に分かれるものや、径20cm以内の円礎を多量に含むものも確認した。この円礎は若林城期の遺構に使用されていた礎とみられ、土坑や集石遺構同様に耕作時に邪魔になった礎を集めて廃棄したもの可能性がある。

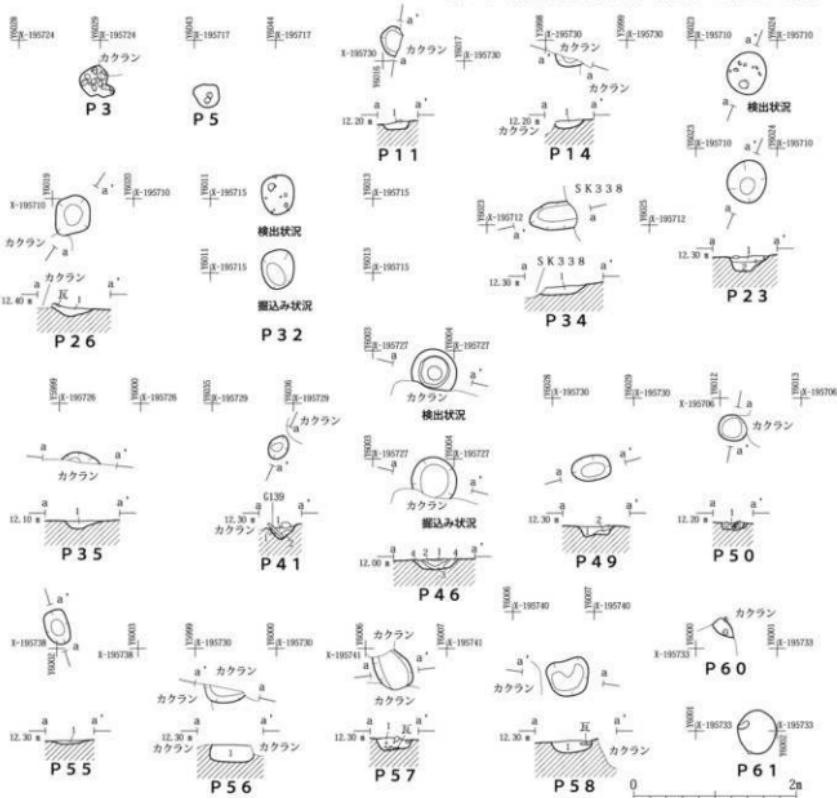
ピットの性格としては、若林城ならびに御葉園の施設に関わるもの可能性も否定できないが、現時点でこれらを示す根拠は無く、ほとんどのものは畑耕作に伴う痕跡と理解できる。

大半のピットでは出土遺物は無く、出土しても点数はわずかである。出土遺物は丸瓦、軒平瓦、平瓦（G138・139）、熨斗瓦、桟瓦、土師質土器の皿、土師器、鉄釘である。P21・77からは瓦、土師器など複数の種類の遺物が出土した。



遺構	層位	土色	土性	特徴	備考
P9	1	10Y4/3 にぶい黄褐色	シルト	径1cm以内のIV層ブロックを含む	—
P11	1	10Y4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	径3cm以内のIV層ブロックを含む	—
P12	1	10Y4/4 褐色	砂質シルト	径3cm以内の円礎を多量含む	—
P33	1	10Y4/4 褐色	シルト	径5cm以内の暗褐色シルトブロックを含む	—
P37	2	10Y3/3 暗褐色	シルト	—	—
	1	10Y3/4 暗褐色	粘土質シルト	径10cm以内のIV層ブロックを含む	—
P62	1	10Y3/4 暗褐色	シルト	径10cm以内の円礎を含む	—

第170図 ピット（第8次調査）



遺構	層位	土色	土性	特徴	備考
P3	1	10YR6/2 灰黃褐色	シルト	径10cm以内の円礫を少量含む	—
P5	1	10YR4/4 褐色	シルト	径10cm以内の円礫を少量含む	—
P11	1	10YR3/4 暗褐色	砂質土	径5cm以内の円礫を含む	—
P14	1	10YR4/4 褐色	シルト	径3cm以内の円礫を少量含む	—
P23	1	10YR4/4 褐色	シルト	径1cm以内の明黄褐色砂質シルトブロックを複数含む	—
P26	1	10YR4/3 暗褐色	砂質シルト	径1cm以内の明黄褐色砂質シルトブロックを複数含む	—
P32	1	10YR4/5 褐色	シルト	径3cm以内の明黄褐色砂質シルトブロックを複数含む	—
P34	1	10YR5/5 褐色	シルト	径3cm以内の明黄褐色砂質シルトブロックを複数含む	—
P35	1	10YR5/3 にぶい黃褐色	砂質土	径5cm以内の円礫を含む 径1cm以内の炭化物を含む	—
P41	1	10YR4/4 褐色	シルト	—	—
	2	10YR5/4 にぶい黃褐色	シルト	径1cm以内の褐色砂質シルトブロックを少量含む	—
	1	10YR7/4 淡黄褐色	粘土質シルト	—	—
P46	2	10YR8/4 淡黄褐色	砂質シルト	—	—
	3	10YR7/4 にぶい黃褐色	粘土質シルト	—	—
	4	10YR7/4 にぶい黃褐色	シルト	径1cm以内の灰白色シルトブロックを含む	—
P49	1	10YR4/4 褐色	シルト	—	—
	2	10YR5/4 にぶい黃褐色	シルト	径1cm以内の褐色砂質シルトブロックを少量含む	—
P50	1	10YR4/4 褐色	砂質シルト	径10cm以内の円礫を少量含む	—
P55	1	10YR4/4 褐色	砂質シルト	径5cm以内の黒褐色砂質土ブロック・明黄褐色砂質シルトブロックを少量含む 径5cm以内の円礫を含む	—
P56	1	10YR4/4 褐色	砂質シルト	径5cm以内の黒褐色砂質土ブロック・明黄褐色砂質シルトブロックを少量含む 径5cm以内の円礫を含む	—
P57	1	10YR4/6 褐色	砂質土	明黄褐色砂質土ブロックを少量、径5cm以内の円礫を含む	—
P58	1	10YR4/4 褐色	シルト	—	—
P60	1	10YR5/3 にぶい黃褐色	砂質シルト	径1cm以内の明黄褐色砂質シルトブロックを複数含む	—
P61	1	10YR5/3 にぶい黃褐色	砂質シルト	径1cm以内の明黄褐色砂質シルトブロックを複数含む	—

第171図 ピット（第9次調査）

遺構	検出地区	平面形状	範囲 (m)	土色			土性	特徴
				長軸	短軸	深さ		
SK222	Y38	X39	楕円形	1.55	0.93	0.40	10Y8/4	褐色
SK229	Y39	X40	楕円形	0.79	0.31	0.12	10Y8/4	褐色
SK233	Y41+42	X40	楕円形	0.63	0.50	0.13	10Y8/4	褐色
SK235	Y35	X46	楕円形	0.72	0.46	-	10Y8/4	褐色
SK239	Y42	X40	楕円形	0.64	0.37	0.13	10Y8/3	にじむ黃褐色
SK257	Y39	X43	不整形	1.33	0.64	0.07	10Y8/3	にじむ黃褐色
SK258	Y39	X40	不整形	0.78	0.72	0.12	10Y8/2	灰黃褐色
SK285	Y37	X38	楕円形	0.74	0.50	0.10	10Y8/4	明褐色
SK291	Y42	X44	円形か楕円形	0.71	0.58	-	10Y8/4	褐色
SK298	Y41	X39+40	楕円形	0.59	0.43	-	10Y8/2	黒褐色
P4	Y38	X44	楕円形	0.38	0.23	0.06	10Y8/4	褐色
P5	Y42	X40	円形	0.51	0.47	0.14	10Y8/3	にじむ黃褐色
P6	Y42	X40	円形	0.37	0.34	0.14	10Y8/4	褐色
P7	Y34	X47+48	不整形	0.35	0.18	0.03	10Y8/4	褐色
P8	Y36	X47	楕円形	0.38	0.34	0.08	10Y8/4	褐色
P10	Y34	X46	楕円形	0.23	0.20	0.05	10Y8/3	明褐色
P13	Y42	X40	不整形	0.43	0.42	-	10Y8/4	にじむ黃褐色
P14	Y42	X44	不整形	0.55	0.32	-	10Y8/4	褐色
P15	Y41	X44	楕円形	0.47	0.25	-	10Y8/6	褐色
P16	Y37	X42	円形	0.29	0.27	0.40	10Y8/4	褐色
P17	Y38	X46	不整形	0.39	0.37	0.08	10Y8/3	にじむ黃褐色
P18	Y38	X44	楕円形	0.43	0.35	0.25	10Y8/3	明褐色
P19	Y35	X43	楕円形	0.40	0.25	0.05	10Y8/4	明褐色
P20	Y38	X45	楕円形	0.39	0.26	0.20	10Y8/4	褐色
P21	Y36	X41	不整形	0.35	0.33	0.09	10Y8/3	にじむ黃褐色
P22	Y35	X47	楕円形	0.41	0.28	0.07	10Y8/3	にじむ黃褐色
P23	Y38	X42	楕円形	0.37	0.26	0.13	10Y8/3	にじむ黃褐色
P24	Y35	X40	円形	0.34	0.32	0.05	10Y8/3	にじむ黃褐色
P25	Y36	X40	円形	0.37	0.34	0.07	10Y8/3	にじむ黃褐色
P26	Y38	X40	楕円形	0.49	0.40	0.08	10Y8/4	明褐色
P27	Y38	X41	楕円形	0.42	0.30	0.28	10Y8/2	灰黃褐色
P28	Y38	X41	楕円形	0.45	0.36	0.33	10Y8/2	灰黃褐色
P29	Y39	X41	楕円形	0.46	0.24	0.10	10Y8/2	灰黃褐色
P30	Y38	X41	不整形	0.27	0.18	0.11	10Y8/2	灰黃褐色
P31	Y38	X41	円形	0.32	0.30	0.06	10Y8/3	にじむ黃褐色
P32	Y38	X41	不整形	0.54	0.24	0.09	10Y8/3	にじむ黃褐色
P34	Y38	X40	不整形	0.52	0.24	0.08	10Y8/2	灰黃褐色
P35	Y38	X40	円形	0.43	0.40	0.06	10Y8/3	明褐色
P36	Y41	X42	楕円形	0.42	0.34	0.12	10Y8/4	褐色
P38	Y39	X40	楕円形	0.27	0.22	0.23	10Y8/2	黒褐色
P39	Y39	X43	楕円形	0.40	0.20	0.04	10Y8/3	にじむ黃褐色
P40	Y39	X43	円形	0.31	0.29	0.02	10Y8/3	にじむ黃褐色
P41	Y39	X43	不整形	0.26	0.08	0.07	10Y8/4	褐色
P42	Y37+38	X41	不整形	0.46	0.32	0.10	10Y8/2	灰黃褐色
P43	Y38	X40+41	楕円形	0.35	0.28	0.12	10Y8/3	明褐色
P44	Y34	X47	不整形	0.43	0.36	0.08	10Y8/4	褐色
P45	Y34	X47	不整形	0.33	0.30	0.03	10Y8/3	にじむ黃褐色
P46	Y40	X43	不整形	0.33	0.31	0.10	10Y8/6	褐色
P47	Y35	X45	円形	0.54	0.53	-	10Y8/4	褐色
P48	Y38	X40	円形	0.28	0.25	0.02	10Y8/3	にじむ黃褐色
P49	Y39	X40	円形	0.22	0.21	0.13	10Y8/3	明褐色
P50	Y41	X40	不整形	0.46	0.30	0.07	10Y8/4	にじむ黃褐色
P51	Y41	X41	円形	0.47	0.45	0.09	10Y8/4	褐色
P52	Y42	X42	楕円形	0.35	0.31	0.18	10Y8/2	黒褐色
P53	Y36	X44	不整形	0.49	0.47	0.11	10Y8/2	黒褐色
P54	Y41	X40	不整形	0.44	0.32	0.08	10Y8/3	にじむ黃褐色
P55	Y42	X41	円形	0.40	0.38	0.06	10Y8/4	褐色
P56	Y40	X41	不整形	0.58	0.15	0.15	10Y8/3	にじむ黃褐色
P57	Y35	X44	円形	0.41	0.39	0.08	10Y8/6	褐色
P58	Y38	X43	楕円形	0.30	0.24	0.05	10Y8/6	褐色
P59	Y38	X47	不整形	0.33	0.16	0.05	10Y8/2	黒褐色
P60	Y38	X47	不整形	0.51	0.31	0.19	10Y8/4	明褐色
P61	Y40	X44	楕円形	0.48	0.40	0.08	10Y8/3	にじむ黃褐色
P63	Y38	X43	円形	0.22	0.21	0.31	10Y8/3	にじむ黃褐色
P64	Y41	X41	円形	0.20	0.18	-	10Y8/3	にじむ黃褐色
P65	Y41+42	X40	楕円形	0.41	0.28	0.06	10Y8/6	明褐色
P66	Y42	X40	楕円形	0.43	0.38	0.08	10Y8/4	にじむ黃褐色
P67	Y40	X40	楕円形	0.44	0.38	-	10Y8/4	明褐色

※ 規模に関しては残存値を含む

第5表 IV層上面検出遺構一覧表（第8次調査）

遺構	検出地区	平面形状	編積 (m)			土色	土性	特徴	
			長軸	短軸	深さ				
SK305	Y38	X48	不整楕円形	0.71	0.44	0.12	10Y4/4	褐色	砂質シルト
SK311	Y40	X47-48	楕円形	1.91	1.58	0.11	10Y4/6	褐色	シルト 黒褐色・明黄褐色砂質土ブロックを少量含む
SK315	Y39	X46	不整形	0.72	0.68	0.12	10Y4/4	褐色	砂質シルト 径3cm以内のぶい黄褐色砂質シルトブロック、径10cm以内の円礫を含む
SK326	Y41	X47	不整形	0.58	0.35	0.06	10Y4/4	褐色	砂質シルト
SK354	Y42	X45-46	不整楕円形	0.97	0.42	0.24	10Y4/4	褐色	砂質シルト
P4	Y47	X46	不整円形	0.20	-	10Y6/2	灰黄褐色	シルト 径1cm以内の褐色砂質シルトブロックを含む	
P6	Y39	X46	不整形	0.40	-	0.07	10Y4/4	褐色	シルト
P7	Y42	X47	不整形	0.28	-	0.52	10Y4/5	褐色	シルト
P8	Y38	X46	不整形	0.45	0.35	0.07	10Y4/5	褐色	シルト
P9	Y42	X48	楕円形	0.44	0.32	0.12	10Y4/3	にぶい黄褐色	シルト 径1cm以内のぶい黄褐色砂質シルトブロックを含む
P10	Y42	X47	不整楕円形	0.44	0.34	0.07	10Y4/5	褐色	シルト 径1cm以内のぶい黄褐色砂質シルトブロックを含む
P12	Y44	X46	不整楕円形	0.34	0.24	0.08	10Y4/5	褐色	シルト
P13	Y43-44	X46	円形	0.29	-	0.05	10Y4/5	褐色	シルト
P15	Y42-43	X45	楕円形	0.47	0.34	0.14	10Y4/5	褐色	シルト
P16	Y43	X46	楕円形	0.48	0.38	0.12	10Y4/4	褐色	シルト 径3cm以内の円礫を含む
P17	Y46	X46	不整形	0.40	-	0.16	10Y4/4	褐色	シルト
P18	Y45-46	X46	不整形	0.41	-	0.12	10Y4/5	褐色	シルト 径3cm以内の明黄褐色砂質シルトブロックを微量含む
P19	Y43	X46	椭円形	0.33	0.27	0.25	10Y4/4	暗褐色	砂質土
P20	Y49	X44	円形	0.34	-	0.37	10Y4/5	褐色	シルト 径3cm以内の明黄褐色砂質シルトブロックを微量含む
P21	Y49	X43	不整形	0.52	-	0.08	10Y4/3	黄褐色	砂質シルト
P22	Y45	X42-43	楕円形	0.45	0.39	0.25	10Y4/5	褐色	シルト 径3cm以内の明黄褐色砂質シルトブロックを微量含む
P24	Y46	X43	不整形	0.42	0.27	0.40	10Y4/5	褐色	シルト 径3cm以内の明黄褐色砂質シルトブロックを微量含む
P25	Y45	X46	円形	0.49	-	0.17	10Y4/5	褐色	シルト 径1cm以内の明黄褐色砂質シルトブロックを微量含む
P27	Y45	X44	不整楕円形	0.47	0.31	0.08	10Y4/5	褐色	シルト 径3cm以内の明黄褐色砂質シルトブロックを微量含む
P28	Y45	X44	椭円形	0.57	0.35	0.12	10Y4/3	黄褐色	砂質シルト 径1cm以内のぶい黄褐色砂質シルトブロックを少量含む
P29	Y42	X48	不整形	0.26	-	0.14	10Y4/5	褐色	シルト 径3cm以内のぶい黄褐色砂質シルトブロックを点斑とする
P30	Y48	X46-47	椭円形	0.29	0.25	0.15	10Y4/5	褐色	シルト 径3cm以内の明黄褐色砂質シルトブロックを微量含む
P31	Y42	X47	不整形	0.33	0.28	0.09	10Y4/5	褐色	シルト 径3cm以内の明黄褐色砂質シルトブロックを微量含む
P33	Y43	X47	不整形	0.53	0.43	-	10Y4/1	暗灰色	シルト 径15cm以内の円礫を少量含む
P36	Y45	X44	不整円形	0.26	-	0.07	10Y4/5	褐色	シルト 径1cm以内の明黄褐色砂質シルトブロックを微量含む
P37	Y45	X44	不整形	0.32	0.31	0.08	10Y4/4	褐色	シルト 径3cm以内の明黄褐色砂質シルトブロックを微量含む
P38	Y45	X43	椭円形	0.36	0.26	0.12	10Y4/4	褐色	シルト 径3cm以内の明黄褐色砂質シルトブロックを微量含む
P39	Y45	X43	椭円形	0.44	0.27	0.10	10Y4/3	にぶい黄褐色	砂質土 径1cm以内の明黄褐色砂質シルトブロックを微量含む
P40	Y45	X43	椭円形	0.34	0.18	0.09	10Y4/4	褐色	シルト 径30cm以内の明黄褐色砂質シルトブロックを微量含む
P42	Y47	X46	不整楕円形	0.28	0.22	0.05	10Y4/4	褐色	シルト 径1cm以内のぶい黄褐色砂質シルトブロックを少量含む
P43	Y47	X46	不整楕円形	0.32	0.27	0.04	10Y4/4	褐色	シルト 径3cm以内のぶい黄褐色砂質シルトブロックを少量含む
P44	Y41	X47	半円形に残存	0.26	-	0.16	10Y4/4	褐色	砂質シルト
P45	Y43-44	X47	円形	0.33	-	0.07	10Y4/4	褐色	砂質シルト 径5cm以内の円礫を含む
P47	Y46	X47	円形	0.35	-	0.07	10Y4/5	褐色	シルト 径5cm以内の円礫を含む
P48	Y46	X47	椭円形	0.45	0.31	0.06	10Y4/4	褐色	シルト 径3cm以内のぶい黄褐色砂質シルトブロックを少量含む
P51	Y45	X43-44	不整楕円形	0.45	0.24	0.07	10Y4/4	褐色	砂質シルト
P52	Y45-46	X43-44	不整楕円形	0.46	0.29	0.10	10Y4/4	褐色	砂質シルト 径30cm以内の円礫を含む
P53	Y48	X46	不整形	0.42	-	0.26	10Y4/3	にぶい黄褐色	砂質シルト 径5cm以内の円礫を含む
P54	Y45	X46	円形	0.51	-	0.09	10Y4/4	褐色	砂質シルト 径30cm以内の明黄褐色砂質シルトブロックを少量、径10cm以内の円礫を含む
P59	Y43	X49	不整形	0.53	-	0.07	10Y4/4	褐色	砂質土 径10cm以内の円礫を少量含む

※ 規模に関しては残存値を含む

第6表 IV層上面検出遺構一覧表（第9次調査）

第3節 VI層上面の遺構

VI層上面では溝跡9条、竪穴住居跡11軒、土坑16基、ピット41基を確認した。ただし若林城の造成にあたっては、旧表土であるV層とその下部のVI層までを削平し再び敷き均しているため、本来VI層面で確認できる遺構のうち、掘り込みの浅いものは残存していない可能性がある。また調査で確認した遺構はIV層が残存しない部分を中心に、大規模な搅乱断面などによるものが殆どであることから、遺構の検出状況には偏りがあり、さらにこのような場所で確認した土坑やピットは、本来IV層面より掘り込まれた近世段階の遺構も存在している可能性もある。大規模な溝跡を除き、調査区東側ではほとんどの竪穴住居跡や土坑が集中して検出されているのは、この地区が西側に比べて微高地であったことにより、IV層の残存が極めて悪かったことが関係していると考えられる。以下では一部で掘り込みを行ったものや断面記録をとったものを中心に記載する。

(1) 溝跡

溝跡は調査区を東西方向に横断する大規模なSD58・59を含め9条を確認し、中には重複しているものがある。これらは若林城期の溝跡とは異なり、掘り方理土や礫などの構築材を全く用いない素掘りの溝跡で、緩曲線状となるSD80以外は直線状に延びている。主な溝跡に関しては下記に記述したが、平面確認のみの溝跡の堆積土は全て灰黄褐色シルトである。

58号溝跡

調査区北側で検出した調査区を東西方向に横断する溝跡で、SK365より古く、両端は調査区外へ延びている。形状は直線状に延び、確認長は49.7m、幅3.94~4.54m、深さ0.90~1.10mで、底面標高は11.05~11.19mである。軸方向はN-84°~Wで、若林城期の遺構とは僅かに異なっている。

掘り込みは2区と3区の2か所で行い、搅乱中に残存した溝の堆積土を掘削した。この結果、底面標高は1区が11.19m、2区が11.10m、3区が11.05mで、僅かであるが東側が低くなっている。断面形状は壁面が直立気味で、底面は概ね平坦である。堆積土は大別して6層に分かれ、1~5層には径5~20cmのブロック土を含んでいる。3層を除いた1~6層には円礫を含んでおり、円礫の大きさは殆どが10cm以内のものである。1~4層についてはブロック土が主体であることから、溝の最終段階には人為的に埋め戻されたものとみられる。

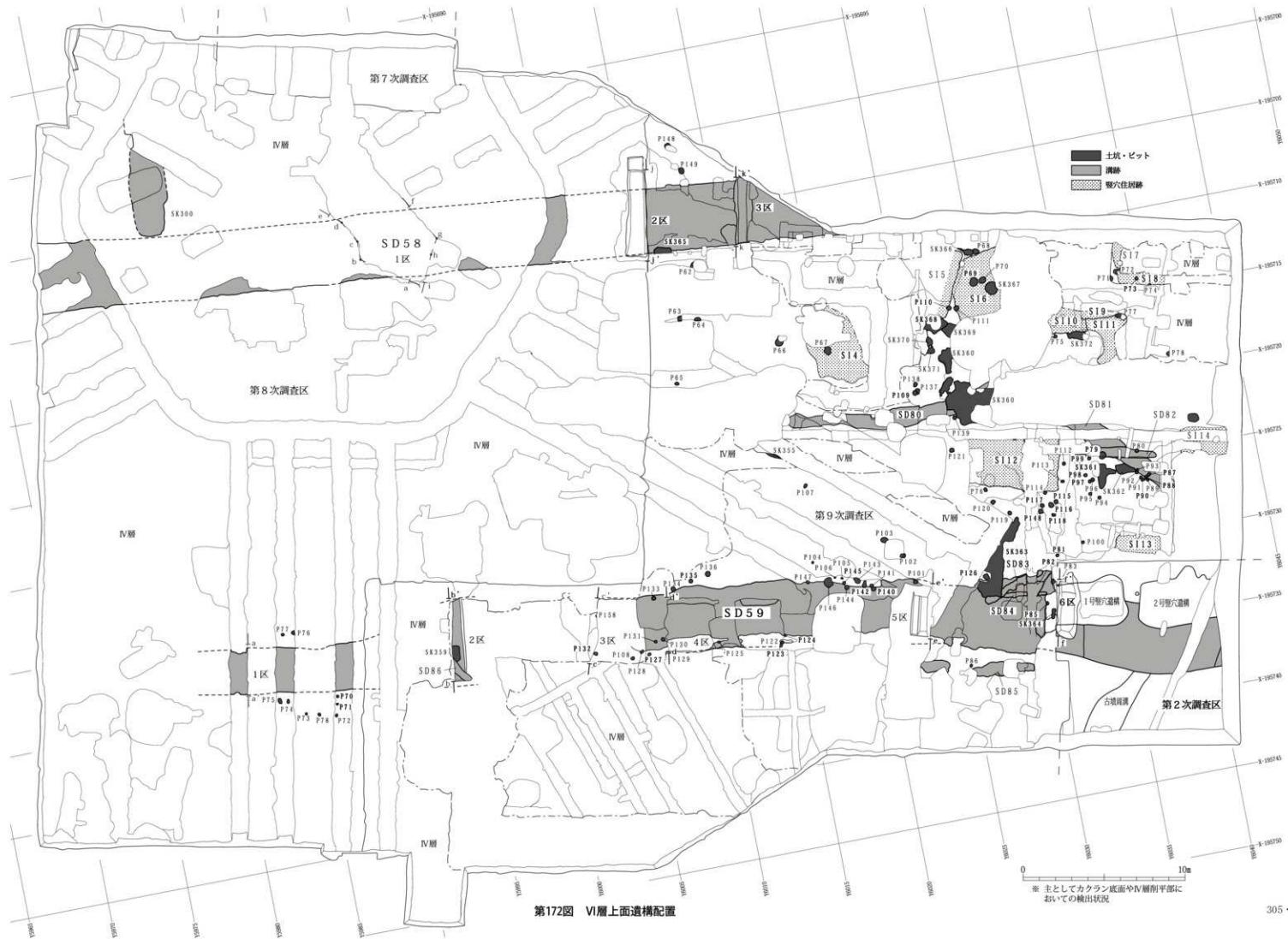
遺物は全く出土しておらず、時期は不明であるが、大規模な埋め戻しの状況から、若林城造営直前段階まで機能し、造営に伴い完全に埋め戻された溝の可能性がある。

59号溝跡

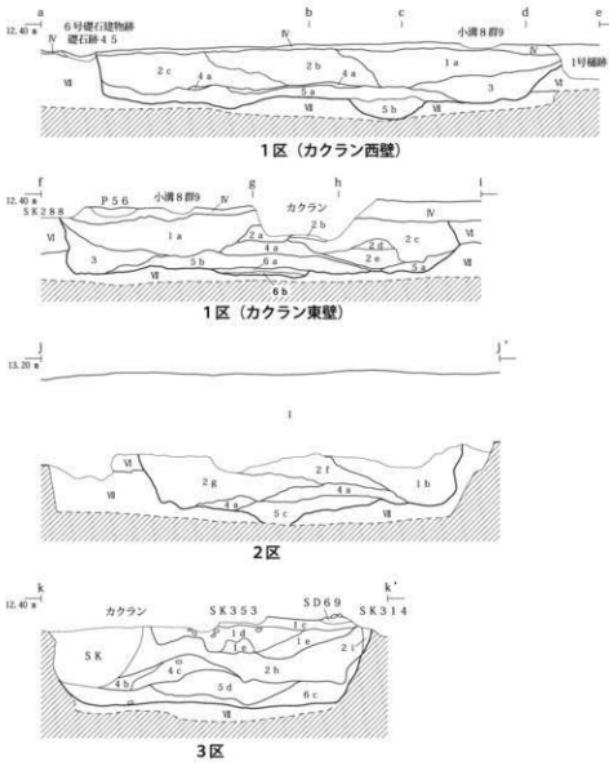
調査区南側で検出した調査区を東西方向に横断する溝跡で、SD83・84・86、SK359・363・364、VI層の重複するピットより古く、東端は調査区外へ延びている。東端は第2次調査で確認した東西方向の溝跡と同一のものである。形状は全体が緩やかに蛇行し、確認長は第2次調査部分を含め61.1m、幅2.60~3.72m、深さ0.85~1.35mで、底面標高10.31~11.69mである。軸方向はN-82°~WでSD58とはほぼ並行し、若林城期遺構とは異なっている。

第8次調査区の六角塔基礎部分を1区、第9次調査区の搅乱壁面による土層断面部分を西側から2~6区とした。6区は第2次調査区の西端に相当する。掘り込みは1・2・4・5区の4か所で行い、搅乱中に残存した溝の堆積土を掘削した。底面標高は1区が11.14m、2区が10.90m、4区が10.35m、5区が10.55m、6区が10.70mとなり、全体では概ね東側に傾斜している。断面形状は壁面が急角度で立ち上がり、底面は1区の中央が深く、2区は凹凸があり、4~6区は平坦と様々な形状である。

堆積土は大別して9層に分かれ、全ての層中に径1~10cmのブロック土を含み、2・4・9層には10cm内の円礫を含んでいる。また1・2層中には灰白色火山灰、2・4層には径1cm以内の炭化物・焼土が混入している。火山



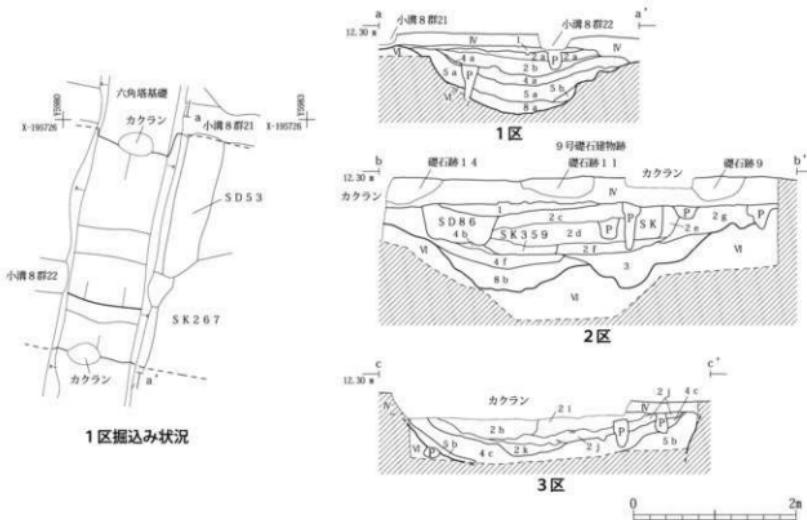
第172図 VI層上面遺構配置



遺構	層位	土色	土性	特徴	備考
SD58	1a	10YR4/2 黄褐色	シルト	径20cm以内に、ぶい黄褐色・褐色・暗褐色シルトブロックを含む	
	1b	褐色	シルト	径5cm以内の黄褐色砂質シルト・暗褐色シルトブロックを多量含む	
	1c	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	径5cm以内の暗褐色シルト・黄褐色砂質シルトブロックを多量含む	
	1d	10YR4/3 にぶい褐色	砂質シルト	径5cm以内の黄褐色シルトブロックを多量、10cm以内の円礫を多量含む	
	1e	10YR4/4 嗅褐色	シルト	径5cm以内に、ぶい黄褐色砂質シルトブロック、徑5cm以内の円礫を少量含む。軽粘土を含む	
	2a	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	径5cm以内に、ぶい黄褐色シルトブロックを多量含む	
	2b	10YR5/3 嗅褐色	シルト	径20cm以内の黄褐色・褐色シルトブロックを含む	
	2c	10YR5/3 嗅褐色	シルト	径10cm以内の黄褐色シルトブロックを含む	
	2d	10YR5/6 黄褐色	砂質土	径10cm以内の円礫を含む	
	2e	10YR3/3 嗅褐色	シルト	径10cm以内の褐色シルトブロックを含む	
	2f	10YR4/4 褐色	砂質シルト	径5cm以内の暗褐色シルトブロックを含む	
	2g	10YR3/3 嗅褐色	シルト	径20cm以内の黄褐色シルトブロックを含む	
	2h	10YR3/4 嗅褐色	シルト	径20cm以内に、ぶい黄褐色砂質シルトブロックを含む	埋戻し土
	2i	10YR3/4 嗅褐色	シルト		
	3	10YR3/3 嗅褐色	シルト	径10cm以内の黄褐色砂質シルトブロックを含む	
	4a	10YR5/3 にぶい黄褐色	砂質土	径20cm以内の暗褐色シルトブロック、徑5cm以内の円礫を含む	
	4b	10YR4/1 褐灰色	砂質シルト	径1cm以内の円礫を少量含む	
	4c	2.5Y5/2 明灰黄色	砂質シルト	径10cm以内の円礫を含む	
	5a	10YR5/4 にぶい黄褐色	砂質土	径5cm以内の暗褐色シルトブロックを含む	
	5b	2.5Y4/4 オリーブ褐色	砂質土	径5cm以内の黄褐色シルトブロックを含む	
	5c	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	にぶい黄褐色シルトブロックを含む	
	5d	10YR4/1 褐灰色	砂質シルト	径30cm以内の暗灰黄色砂質シルトブロックが層状に入る 徑5cm以内の円礫を含む	
	6a	10YR4/4 褐色	砂質土	徑5cm以内の円礫を含む	
	6b	10YR3/3 嗅褐色	シルト	径10cm以内の円礫を多量含む	
	6c	10YR4/1 褐灰色	砂質シルト	径10cm以内の円礫を多量含む	自然堆積土

第173図 58号溝跡

(1) 溝跡

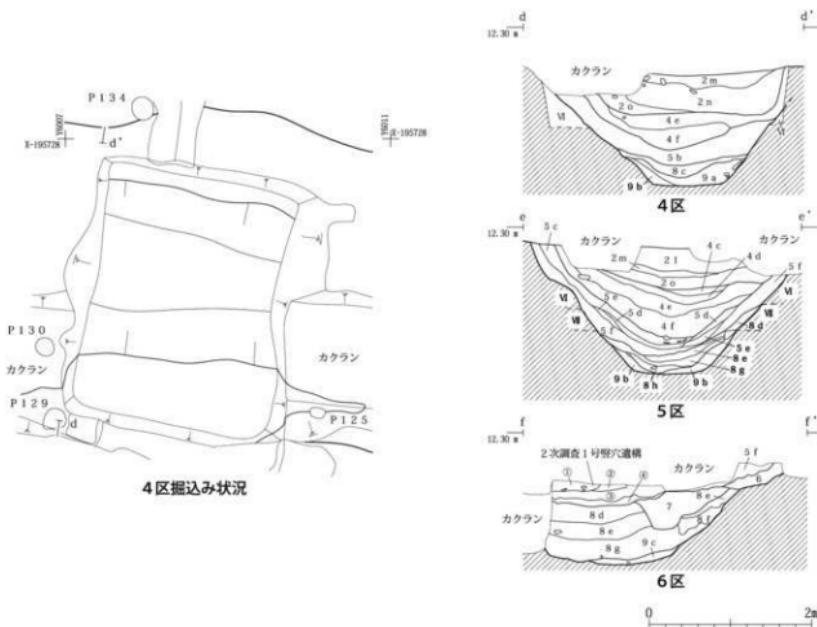


遺構	層位	土色	土性	特徴	備考
SD59 1-2-3区	1	2. 5Y4/3 オリーブ褐色	シルト	径10cm以内のぶい黄褐色・にふい黄褐色・暗褐色シルトブロック、灰白色火山灰を含む	
	2a	10Y8/4 褐色	シルト	径10cm以内のぶい黄褐色・暗褐色シルトブロックを含む	
	2b	10Y8/4 黄褐色	シルト	径10cm以内のぶい黄褐色・暗褐色シルトブロックを含む	
	2c	10Y8/3 にふい黄褐色	シルト	径10cm以内の黄褐色シルトブロック、灰白色火山灰を含む	
	2d	10Y8/2 黒褐色	シルト	径10cm以内の黄褐色シルトブロック、径10cm以内の火成岩を含む	
	2e	10Y8/3 にふい黄褐色	シルト	径10cm以内の黄褐色シルトブロックを多量、径10cm以内の火成岩を含む	
	2f	10Y8/2 黑褐色	シルト	径5cm以内の黄褐色シルトブロック、径10cm以内の火成岩・焼土を多量含む	
	2g	10Y8/4 褐色	シルト	径5cm以内の黄褐色シルト・黄褐色シルトブロックを多量、灰白色火山灰を微量含む	
	2h	10Y8/4 喀褐色	シルト	径5cm以内の黄褐色シルト・黄褐色シルトブロックを多量、径10cm以内の火成岩を含む	
	2i	10Y8/2 黒褐色	シルト	径5cm以内の黄褐色シルトブロック、径10cm以内の火成岩、灰白色火山灰を少量、径10cm以内の火成岩を含む	
	2j	10Y8/2 黑褐色	シルト	径5cm以内の黄褐色シルトブロック、径10cm以内の火成岩・焼土、径10cm以内の火成岩を多量含む	
	2k	2. 5Y4/3 オリーブ褐色	シルト	径5cm以内のオリーブ褐色シルトブロック、径10cm以内の火成岩・焼土を多量含む	
	3	10Y8/5 黄褐色	シルト	径10cm以内のオリーブ褐色シルトブロック、径10cm以内の火成岩・焼土を多量含む	
	4a	10Y8/6 褐色	シルト	径5cm以内のオリーブ褐色シルトブロックを多量含む	
	4b	10Y8/4 褐色	シルト	径5cm以内のオリーブ褐色シルト・黄褐色シルトブロックを多量、径10cm以内の火成岩を少量含む	
	4c	10Y8/6 黄褐色	砂質シルト	径5cm以内の灰褐色シルト・黄褐色シルトブロック、径5cm以内の円礫・砂粒を少量含む	
	4f	10Y8/6 黄褐色	砂質シルト	径5cm以内の黄褐色シルトブロックを多量、径10cm以内の火成岩、径10cm以内の火成岩を少量含む	
	5a	にふい黄褐色	シルト	径5cm以内のオリーブ褐色シルトブロックを含む	
	5b	10Y8/4 にふい黄褐色	シルト	径5cm以内の灰褐色シルト・黄褐色・暗褐色粘土・黄土・オリーブ褐色シルトブロックを含む	
	8a	10Y8/4 褐色	シルト	径5cm以内のオリーブ褐色シルトブロックを少量含む	
	8b	10Y8/6 褐色	砂質シルト	径5cm以内のぶい黄褐色シルトブロックを少量含む	

第174図 59号溝跡 (1)

灰は915年に噴出した十和田aであるが、残存量が少なく堆積状況も不安定であり、二次堆積の可能性がある。堆積土にはブロック土を含むものの、薄いレンズ状になることで自然堆積とみられる。また2区では溝同士の重複が認められ、途中で改修されたものと考えられる。6区では第2次調査の1号竖穴遺構が上層に重複しており、さらに1-3区では、溝の堆積過程で土坑やピット状となる他の遺構が掘り込まれていることから、溝は長い期間をかけ埋没していったと考えられる。

遺物は土師器、須恵器（E 26）が出土している。



遺構	層位	土色	土性	特徴	備考
SD59 4-5・6区	21	10YR5/4 にぶい黄褐色	シルト	径5cm以内の円礫を少量含む	
	2m	10YR4/5 にぶい黄褐色	シルト	径5cm以内のにぶい黄褐色・黄褐色シルトブロックを多量、径10cm以内の円礫を含む	
	2n	10YR4/4 褐色	シルト	15cm以内の黄褐色シルトブロックを少量、径10cm以内の円礫、径10cm以内の炭化物を含む	
	2o	10YR4/6 褐色	シルト	径5cm以内の黄褐色シルトブロック、径5cm以内の円礫を多量含む	
	4c	10YR5/6 黄褐色	砂質シルト	5cm以内の灰黄褐色シルトブロック、5cm以内の円柱・砂粒を少量含む	
	4d	10YR5/4 にぶい黄褐色	シルト	5cm以内の灰黄褐色シルトブロックを少量含む	
	4e	10YR5/4 にぶい黄褐色	粘土質シルト	5cm以内の黄褐色シルトブロックを多量、径10cm以内の円礫、径10cm以内の炭化物を少量含む	
	4f	10YR5/6 黄褐色	砂質シルト	5cm以内の黄褐色シルトブロックを多量、径10cm以内の円礫、径10cm以内の炭化物を少量含む	
	5b	10YR5/4 にぶい黄褐色	シルト	5cm以内の灰黄褐色シルト・黄褐色・暗褐色粘土質シルト・オリーブ褐色シルトブロックを含む	
	5c	10YR4/4 褐色	シルト		
	5d	10YR4/4 褐色	シルト	5cm以内のにぶい黄褐色シルトブロックを多量含む	
	5e	10YR5/4 にぶい黄褐色	シルト	5cm以内のにぶい黄褐色シルトブロックを多量含む	
	5f	10YR5/3 にぶい黄褐色	シルト	5cm以内のにぶい黄褐色シルトブロックを多量含む	
	6	10YR4/4 褐色	シルト	5cm以内のにぶい黄褐色シルトブロックを少量含む	
	7	10YR5/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	5cm以内のにぶい黄褐色シルトブロックを少量含む	
	8c	10YR4/6 褐色	シルト	5cm以内のにぶい黄褐色シルトブロックを多量含む	
	8d	10YR4/4 褐色	砂質シルト		
	8e	10YR5/6 黄褐色	砂質土	18cm以内の灰黄褐色砂質シルトブロックを含む	
	8f	10YR5/1 褐灰色	シルト	5cm以内の褐色粘土質シルトブロックを含む	
	8g	10YR4/4 褐色	砂質シルト	18cm以内の褐色色・にぶい黄褐色シルトブロックを含む	
	8h	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	5cm以内のにぶい黄褐色シルトブロックを多量含む	
	9a	10YR5/6 黄褐色	砂質シルト	5cm以内のにぶい黄褐色粘土質シルトブロック、径10cm以内の円礫を少量含む	
	9b	10YR4/4 褐色	砂質土		
	9c	10YR6/2 灰黄褐色	砂質土		
2次調査 1号壁穴遺構	①	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	5cm以内の炭化物を含む	堆積土
	②	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	5cm以内のにぶい黄褐色シルトブロックを多量含む	
	③	10YR6/4 にぶい黄褐色	シルト		
	④	10YR5/1 褐色	シルト	5cm以内のにぶい黄褐色シルトブロック、5cm以内の炭化物を含む	

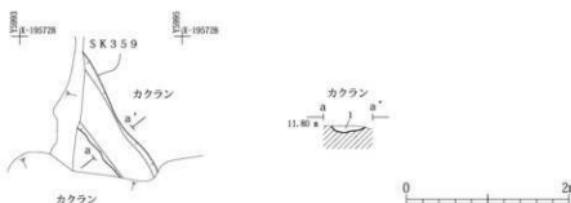
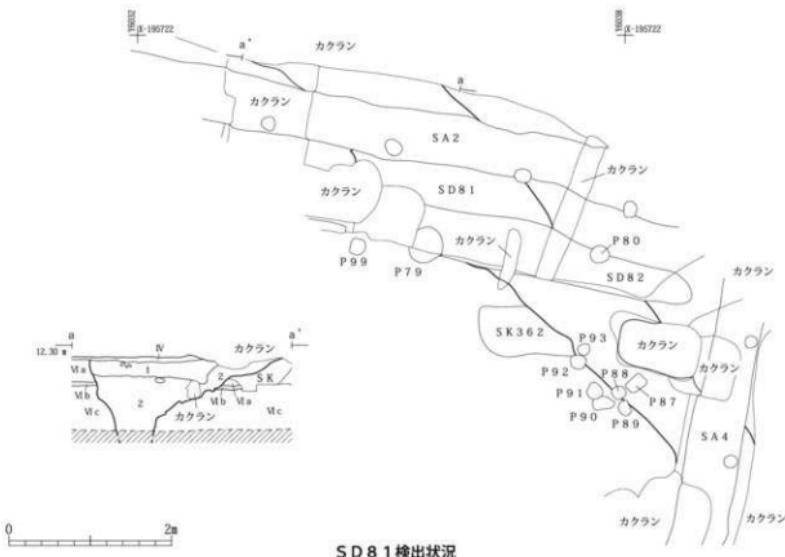
第175図 5号溝跡(2)

(1) 溝跡

81号溝跡

Y47・48、X45・46グリッドで検出した溝跡で、SK362より新しく、SD82、幾つかのピットより古く、両端は擾乱により確認できなかった。形状は直線状に延び、確認長は5.85m、幅1.02-1.41m、深さ0.8m以上である。軸方向はN-43°-Wで、若林城期遺構とは全く異なっている。断面形状は壁面が急角度で立ち上がり、底面は中央部が深い。堆積土は2層に分かれ、1・2層中には径5cm以内のブロック土を含んでいる。

遺物は出土しておらず時期は不明である。



SD 86 掘込み状況

遺構	層位	土色	土質性	特徴	備考
SD81	1	10YR4/1 黄灰色	砂質シルト	径5cm以内の黄褐色砂質シルトブロックを多量、径1cm以下の炭化物、砂粒を微量含む	堆積土
SD86	1	10YR7/4 に赤い黄褐色	砂質シルト	径3cm以内の褐色砂質シルトブロックを多量、灰白色粘土層を少量、径1cm以下の炭化物を下部に少量含む	堆積土

第176図 81・86号溝跡

86号溝跡

Y39、X46・47グリッドで検出した溝跡で、SD59より新しく、SK359より古い。北西側はIV層が残存し、南側は擾乱を受けることから続きを確認できなかった。形状は直線状で、確認長は約2mである。軸方向はN-35°-Wであり、若林城期遺構の軸方向とは大きく異なっている。断面形状は壁面が緩やかに立ち上がり、底面は中央が深くなっている。堆積土はブロック土の單一層で、灰白色火山灰を少量含むが、これは重複するSD59の堆積土を掘り込んだことによるものである。

遺物は出土しておらず時期は不明である。

(2) 竪穴住居跡

竪穴住居跡は調査区東側に密集して11軒を確認した。中には住居跡同士で重複しているものもあり、時期差が認められる。住居跡はIV層整地時に遺構上半部がかなり削平されたとみられ、また部分的にIV層により覆われているため、平面形状は不整形な検出状況となるものが多い。その状態から住居跡は床面が失われた掘り方下部の残存とみられるが、一部の残存状況から本来は方形の住居跡と推定される。軸方向はN-6°-W-N-25°-Eと統一されたものではない。擾乱断面の観察から、堆積土中には炭化物、焼土を含むものがある。住居跡は調査区西側の



第177図 4号竪穴住居跡

(2) 壁穴住居跡

擾乱断面では全く確認されていない。今回確認した住居跡群のまとめりは、南東側に位置する第2次調査確認分と一連のものと推定され、さらにそれは第6次調査で確認した住居跡群とつながる可能性が高いことから、この付近の住居跡は北西側から南東側方向にかけて、かつてこの地に存在していた微高地に立地していた可能性が高い。

4号壁穴住居跡

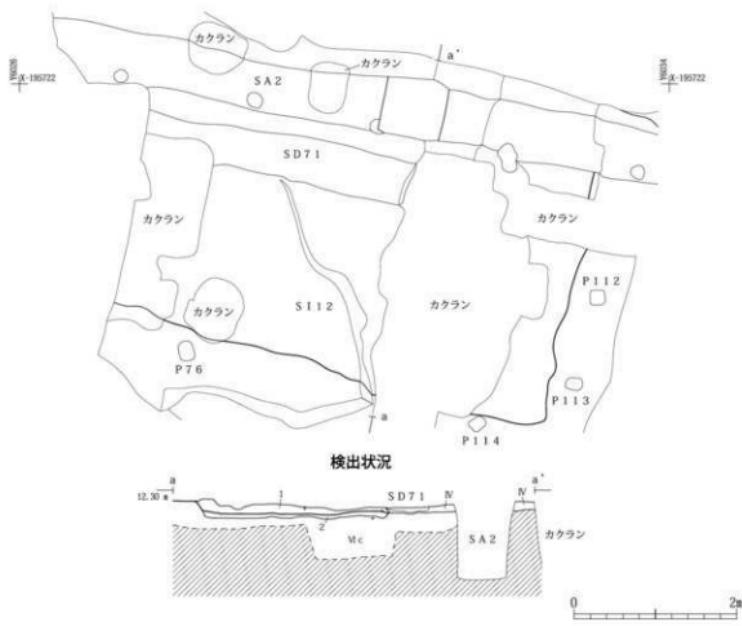
Y44・45、X43・44グリッドで検出し、P67より古い。周囲にIV層が残存するため、平面形状や軸方向は不明である。堆積土はにぶい黄褐色シルトの單一層で、炭化物や焼土を含み、掘り方理土とみられる。

遺物は土器器（C10・13）が出土している。まとまって出土していることから、住居内に廃棄されたか置かれていたものとみられる。

12号壁穴住居跡

Y46・47、X45・46グリッドで検出し、西側と北側は擾乱により確認できなかった。軸方向はN=13° - Eである。壁面は急に立ち上がり、底面は平坦である。堆積土は2層に分かれ、1層は暗褐色シルトにオリーブ褐色シルトブロック土や径10cm以内の円窪、炭化物を含み、2層にはにぶい黄褐色シルトで径5cm以内の暗褐色シルトブロックを含むが、双方とも掘り方理土とみられる。

遺物は出土していない。



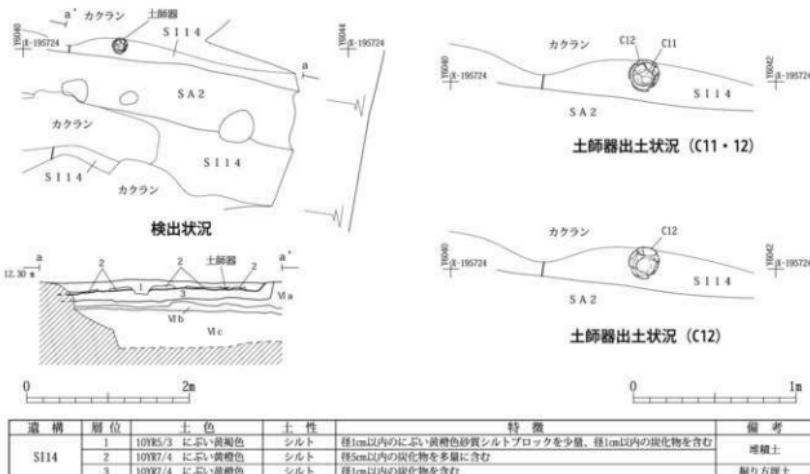
遺構	層位	土色	土性	特徴	備考
S 112	1	10YR3/4 増褐色	シルト	径20cm以内のオリーブ褐色シルトブロック、径10cm以内の円窪、径1cmの炭化物を少量含む	堆積土
	2	10YR3/4 にぶい黄褐色	シルト	径5cm以内の暗褐色シルトブロックを含む	掘り方理土

第178図 12号壁穴住居跡

14号竪穴住居跡

Y49、X45・46グリッドで検出し、北側と南側は搅乱に壊され、東側は調査区外に続き、西側に側辺部が残るのみで、平面形状は不明である。軸方向はN-9°-Eで、SD59とほぼ直交している。壁面は急に立ち上がり、底面は平坦である。堆積土は3層に分かれ、1・2層は堆積土でない黄褐色シルトブロック土や炭化物を含み、3層にはない黄褐色シルトで炭化物を含んだものだが、全て掘り方理土とみられる。

遺物は土師器（C11・12）が出土している。



第179図 14号竪穴住居跡

(3) 土坑

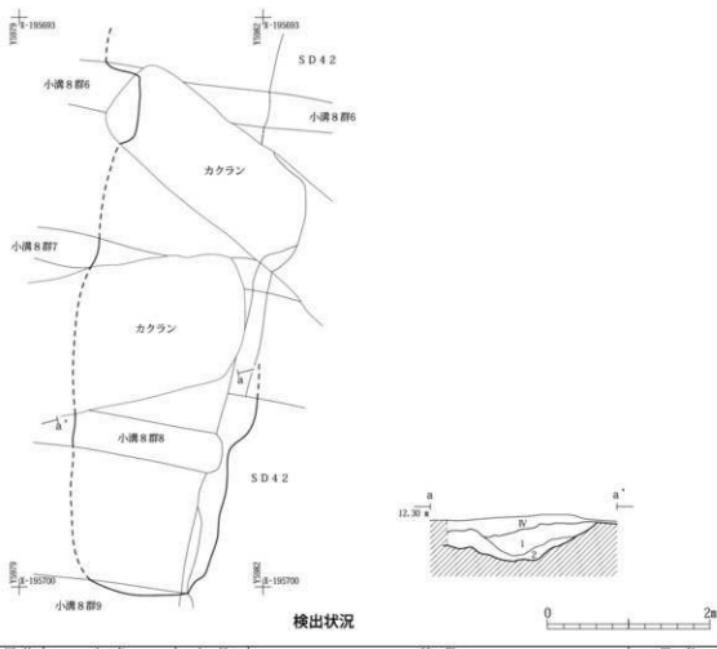
土坑は全部で16基のうち、住居跡同様主に東側で検出しておらず、西側での検出は少ない。平面形状は不整形のものがほとんどで、長軸は0.60-5.34mと様々である。土坑集中箇所には、住居跡やピットなど他の遺構も集中し、重複があるものが多い。また大型の土坑ではSK300があり、遺構が少ない調査区西側で検出している。土坑は断面観察ができないものが多く、平面確認にとめたものの堆積土は全て暗褐色砂質シルトで、出土遺物は無く、性格なども判然としない。

300号土坑

Y37、X40グリッドで検出し、IV層が残存する地区での確認のため、正確な形状は不明である。断面中心に確認した規模は長軸7m以上、短軸2.27m、深さ0.46mで、長軸方向はN-6°-Eで、近接するSD58とほぼ直交することでこの溝と関連した溝の可能性もある。壁面は緩やかに立ち上がり、底面はやや凹凸があり西側が深くなっている。堆積土は2層に分かれ、1層はオリーブ褐色シルトで径3cm以内の黄褐色ブロックを多量含み、2層は暗灰黄色シルトで径3cm以内にない黄色シルト、暗オリーブ褐色シルトブロックを含んでいる。堆積土の状況からSD58同様に埋め戻された可能性がある。

遺物は出土していない。

(3) 土坑



第180図 300号土坑

(4) ピット

ピットは溝跡の周辺で検出されることが多く、特にVI層が広く確認できたY47・48、X46グリッドで多数検出した。平面形状は円形、稍円形、不整形、不整円形があり、長軸径は0.12-0.54mである。他の遺構との関係性は確認できず、またピットは掘り込まれた層が不明であることから性格は判然としないが、第8次調査のP70-72・78・73は約0.5-1.1mの間隔でL字状に並び、軸方向は南北方向がN-14°-E、東西方向がN-76°-Wで、若林城期遺構とほぼ同じである。また第9次調査のP133-136は、軸方向がN-77°-Eで約1.2mの等間隔で並んでいるなど、杭跡の痕跡のあるものも認められる。この場合、時期的には若林城の遺構やそれ以降の可能性もある。ピット全般の堆積土は黒褐色砂質土や灰黄褐色砂質シルトなど幾つかの種類があるが、個別に異なるのではなく、概ね位置する場所により異なることで、掘削土の違いによる傾向がある。

遺物はP77検出時に平瓦、土師器が出土しているが、攪乱からの混入と考えられる。

遺構	検出地区	平面形状	規模 (m)			土色	土性	特徴
			長軸	短軸	深さ			
P70	Y38	X47	円形	0.16	0.16	-	2.5Y3/3 噴オリーブ褐色	粘土質シルト
P71	Y38	X47	不整形	0.14	0.12	-	2.5Y3/3 噴オリーブ褐色	粘土質シルト
P72	Y38	X47	楕円形	0.20	0.15	-	2.5Y3/3 噴オリーブ褐色	粘土質シルト
P73	Y37	X47	円形	0.14	0.14	-	2.5Y3/3 噴オリーブ褐色	粘土質シルト
P74	Y37	X46~47	楕円形	0.26	0.15	-	2.5Y3/3 噴オリーブ褐色	粘土質シルト
P75	Y37	X46	楕円形	0.35	0.21	-	2.5Y3/3 噴オリーブ褐色	粘土質シルト
P76	Y37	X46	不明	0.25	0.18	-	2.5Y3/3 噴オリーブ褐色	粘土質シルト
P77	Y37	X46	不整形	0.17	0.15	-	2.5Y3/3 噴オリーブ褐色	粘土質シルト
P78	Y37~38	X47	楕円形	0.19	0.16	-	2.5Y3/3 噴オリーブ褐色	粘土質シルト

第7表 VI層上面検出遺構一覧表（第8次調査）

遺構	検出地区	平面形状	規模 (m)			土色	土性	特徴
			長軸	短軸	深さ			
S15	Y46	X43	方形か?	4.19	-	-	10Y6/2 灰黄褐色	砂質シルト
S16	Y46~47	X43	方形か?	5.00	3.10	-	10Y6/1 灰褐色	シルト
S17	Y48	X43	方形か?	1.60	0.65	-	10Y3/2 黒褐色	シルト
S18	Y48~49	X43	方形か?	3.00	0.81	-	10Y3/2 黑褐色	シルト
S19	Y48	X44	方形か?	2.11	0.52	-	10Y3/2 黑褐色	シルト
S110	Y47~48	X44	方形か?	2.47	1.69	-	10Y3/2 黑褐色	シルト
S111	Y48	X44	方形か?	3.10	-	-	10Y6/4 にぶい黄褐色	シルト
S113	Y48	X46~47	方形か?	2.80	1.11	-	10Y6/1 灰褐色	砂質シルト
S116	Y44~45~46	X44~45	規則曲線	9.79	-	-	10Y6/2 灰黄褐色	シルト
S182	Y47~48	X45~46	直線	5.09	-	-	10Y6/2 灰黄褐色	シルト
S183	Y46~47	X47	直線	2.97	-	-	10Y6/2 灰黄褐色	シルト
S184	Y46~47	X47	直線	2.62	-	-	10Y6/2 灰黄褐色	シルト
S185	Y45~46	X48	直線	7.03	-	-	10Y6/2 灰黄褐色	シルト
SK355	Y44	X45	不整形	0.96	0.20	0.16	10Y4/4 黄褐色	砂質シルト
SK359	Y39	X46	不整形	1.02	0.48	-	10Y4/4 黄褐色	砂質シルト
SK360	Y46	X44~45	不整形	4.92	3.86	-	10Y4/4 黄褐色	砂質シルト
SK361	Y48	X46	不整形	1.54	1.00	-	10Y4/4 黄褐色	砂質シルト
SK362	Y48	X46	不整形	1.30	0.70	-	10Y4/4 黄褐色	砂質シルト
SK363	Y46	X46~47	不整形	5.34	1.54	-	10Y4/4 黄褐色	砂質シルト
SK364	Y47	X47	不整形	0.63	0.20	-	10Y4/4 黄褐色	砂質シルト
SK365	Y43	X42	不整形	1.00	0.40	-	10Y4/4 黄褐色	砂質シルト
SK366	Y46~47	X43	不整形	1.00	0.40	-	10Y4/4 黄褐色	砂質シルト
SK367	Y47	X43	円形	0.82	0.78	-	10Y4/4 黄褐色	砂質シルト
SK368	Y46	X43~44	不整形	1.54	0.58	-	10Y4/4 黄褐色	砂質シルト
SK369	Y46	X43~44	不整形	0.86	0.78	-	10Y4/4 黄褐色	砂質シルト
SK370	Y46	X44	不整形	0.66	0.38	-	10Y4/4 黄褐色	砂質シルト
SK371	Y46	X44	不整形	0.60	0.42	-	10Y4/4 黄褐色	砂質シルト
SK372	Y47~48	X44	不整形	1.14	0.54	-	10Y4/4 黄褐色	砂質シルト
P62	Y43	X42	不整形	0.35	0.15	-	10Y2/2 黑褐色	砂質シルト
P63	Y43	X43	不整形	0.24	0.24	-	10Y2/2 黑褐色	砂質シルト
P64	Y43	X43	不整形	0.40	0.18	-	10Y2/2 黑褐色	砂質シルト
P65	Y43	X44	半円形	0.26	0.16	-	10Y2/2 黑褐色	砂質シルト
P66	Y44	X43	不整形	0.62	0.47	-	10Y4/4 黄褐色	砂質シルト
P67	Y44~45	X44~44	不整形	0.50	0.40	-	10Y4/4 黄褐色	砂質シルト
P68	Y47	X43	円形	0.38	0.32	-	10Y4/4 黄褐色	砂質シルト
P69	Y46~47	X43	円形	0.54	0.47	-	10Y4/4 黄褐色	砂質シルト
P70	Y47	X43	円形	0.47	0.36	-	10Y4/4 黄褐色	砂質シルト
P71	Y48	X43	不整形	0.37	0.19	-	10Y4/5 黄褐色	シルト
P72	Y48	X43	不整形	0.43	0.35	-	10Y4/5 黄褐色	シルト
P73	Y48	X43	円形	0.23	-	-	10Y4/5 黄褐色	シルト
P74	Y49	X43	半円形	0.12	0.07	-	10Y4/5 黄褐色	シルト
P75	Y47	X44	不整形	0.24	0.19	-	10Y4/4 黄褐色	シルト
P76	Y46	X46	不整形	0.24	0.18	-	10Y4/4 黄褐色	シルト
P77	Y48	X44	不整形	0.36	0.23	-	10Y4/5 黄褐色	シルト
P78	Y49	X44	半円形	0.28	0.18	-	10Y4/5 黄褐色	シルト
P79	Y48	X45	円形	0.42	-	-	10Y4/4 黄褐色	シルト
P80	Y48	X45	円形	0.23	-	-	10Y4/4 黄褐色	シルト
P81	Y47	X47	円形	0.20	-	-	10Y4/4 にぶい黄褐色	砂質シルト
P82	Y47	X47	不整形	0.32	0.24	-	10Y5/3 にぶい黄褐色	砂質シルト
P83	Y47	X47	不整形	0.15	0.10	-	10Y7/4 にぶい黄褐色	砂質シルト
P84	Y48	X47	不整形	0.26	-	-	10Y4/5 黄褐色	シルト
P85	Y47	X47	不整形	0.22	0.09	-	10Y5/3 にぶい黄褐色	砂質シルト
P86	Y46	X48	不整形	0.17	-	-	10Y4/5 黄褐色	シルト
P87	Y46	X46	不整形	0.23	0.16	-	10Y5/2 灰黄褐色	砂質シルト
P88	Y48	X46	円形	0.18	-	-	10Y5/2 灰黄褐色	砂質シルト
P89	Y48	X46	不整形	0.18	-	-	10Y5/2 灰黄褐色	砂質シルト
P90	Y48	X46	不整形	0.27	0.15	-	10Y5/2 灰黄褐色	砂質シルト
P91	Y48	X46	不整形	0.20	-	-	10Y5/2 灰黄褐色	砂質シルト
P92	Y48	X46	円形	0.20	-	-	10Y5/2 灰黄褐色	砂質シルト
P93	Y48	X46	円形	0.15	-	-	10Y5/2 灰黄褐色	砂質シルト

※ 規模に関しては残存値を含む

第8表 VI層上面検出遺構一覧表（第9次調査）(1)

遺構	検出地区	平面形状	規模 (m)			土色	土性	特徴
			長軸	短軸	深さ			
P94	Y47	X46	円形	0.22	-	-	10Y5/2	灰黄褐色
P95	Y47	X46	不整円形	0.21	-	-	10Y5/2	灰黄褐色
P96	Y47	X46	円形	0.23	-	-	10Y5/2	灰黄褐色
P97	Y47	X46	円形	0.20	-	-	10Y5/2	灰黄褐色
P98	Y47	X46	円形	0.21	-	-	10Y5/2	灰黄褐色
P99	Y47	X45	不整円形	0.22	0.19	-	10Y5/2	灰黄褐色
P100	Y47	X46	不整円形	0.20	0.19	-	10Y5/2	灰黄褐色
P101	Y45	X46~47	不整形	0.29	0.29	-	10Y5/4	に赤い黄褐色
P102	Y45	X46	不整形	0.33	0.24	-	10Y5/4	に赤い黄褐色
P103	Y45	X46	不整形	0.45	0.34	-	10Y5/4	に赤い黄褐色
P104	Y44	X46	円形	0.14	-	-	10Y5/4	に赤い黄褐色
P105	Y44	X46	不整形	0.16	0.08	-	10Y5/4	に赤い黄褐色
P106	Y44	X46	不整形	0.14	0.10	-	10Y5/4	に赤い黄褐色
P107	Y44	X45	椭円形	0.28	0.18	-	10Y5/4	に赤い黄褐色
P108	Y41	X47	円形	0.24	-	-	10Y5/2	灰黄褐色
P109	Y45~46	X44	円形	0.30	-	-	10Y5/2	灰黄褐色
P110	Y46	X43	円形	0.28	-	-	10Y5/2	灰黄褐色
P111	Y46	X43	不整円形	0.33	-	-	10Y5/2	灰黄褐色
P112	Y47	X45	不整形	0.22	0.22	-	10Y5/2	灰黄褐色
P113	Y47	X46	椭円形	0.21	0.18	-	10Y5/2	灰黄褐色
P114	Y47	X46	不整椭円形	0.22	0.18	-	10Y5/2	灰黄褐色
P115	Y47	X46	円形	0.28	-	-	10Y5/2	灰黄褐色
P116	Y47	X46	円形	0.34	-	-	10Y5/2	灰黄褐色
P117	Y47	X46	円形	0.24	-	-	10Y5/2	灰黄褐色
P118	Y47	X46	不整形	0.24	0.17	-	10Y5/2	灰黄褐色
P119	Y46	X46	円形	0.25	-	-	10Y5/2	灰黄褐色
P120	Y46	X46	不整円形	0.29	0.27	-	10Y5/2	暗褐色
P121	Y46	X45	不整形	0.28	0.25	-	10Y5/2	灰黄褐色
P122	Y43	X47	円形	0.27	-	-	10Y5/2	暗褐色
P123	Y43	X47	不整形	0.24	0.16	-	10Y5/2	暗褐色
P124	Y43	X47	円形	0.16	-	-	10Y5/2	暗褐色
P125	Y43	X47	不整椭円形	0.19	0.12	-	10Y5/2	暗褐色
P126	Y46	X47	不整形	0.40	0.32	-	10Y5/2	暗褐色
P127	Y42	X47	円形	0.24	-	-	10Y4/4	褐色
P128	Y42	X47	不整形	0.28	0.18	-	10Y4/4	褐色
P129	Y42	X47	円形	0.30	-	-	10Y4/4	褐色
P130	Y42	X47	円形	0.24	-	-	10Y4/4	褐色
P131	Y42	X47	円形	0.17	-	-	10Y4/4	褐色
P132	Y41	X47	円形	0.26	-	-	10Y4/4	褐色
P133	Y42	X46	円形	0.24	-	-	10Y4/4	褐色
P134	Y42	X46	円形	0.29	-	-	10Y4/4	褐色
P135	Y42	X46	円形	0.24	-	-	10Y4/4	褐色
P136	Y43	X46	円形	0.32	-	-	10Y4/4	褐色
P137	Y45~46	X44	不整椭円形	0.35	0.26	-	10Y4/3	に赤い黄褐色
P138	Y45~46	X44	不整椭円形	0.30	0.23	-	10Y4/4	褐色
P139	Y46	X45	円形	0.24	-	-	10Y4/3	に赤い黄褐色
P140	Y44~45	X46~47	円形	0.28	-	-	10Y4/4	褐色
P141	Y44~45	X46	円形	0.24	-	-	10Y4/4	褐色
P142	Y44	X46	不整形	0.42	0.25	-	10Y4/4	褐色
P143	Y44	X46	不整形	0.46	0.26	-	10Y4/4	褐色
P144	Y44	X46	円形	0.27	-	-	10Y4/4	褐色
P145	Y44	X46	円形	0.20	-	-	10Y4/4	褐色
P146	Y44	X46	不整形	0.59	0.48	-	10Y4/4	褐色
P147	Y44	X46	円形	0.21	-	-	10Y4/4	褐色
P148	Y43	X41	不整形	0.34	0.12	-	10Y4/4	褐色
P149	Y43	X41	平円形	0.40	0.20	-	10Y4/4	褐色
							砂質土	

* 規模に関しては残存値を含む

第9表 VI層上面検出遺構一覧表(第9次調査)(2)

第4節 近代の遺構

若林城の跡地は近世の薬草園時代を経た後、明治12年（1879）に宮城集治監が設置され、明治36年（1903）に宮城監獄、大正11年（1922）には宮城刑務所と改称され、明治以来矯正施設として現在に至っている。今回の調査では集治監設置当初に建設された獄舎棟（六角塔）のほか、幾つかの建物基礎や各種施設跡を見出したが、それらの中には現代のものも含まれており、近代遺構との区別がつかないものもあったことから、多くの掘削はバックホールを使用して行っている。近代遺構の可能性のあるものとしては獄舎建物本体とその付属建物の基礎をはじめ、井戸跡1基、樋跡1基、土坑1基を確認している。これらのうち付属建物については昭和20年（1945）米軍撮影航空写真（巻頭写真図版）に見え、また井戸跡については大正期の刑務所建物配置図にその表記がある。

（1）六角塔跡

六角塔とは刑務所内にあった獄舎棟の通称で、第5次、第7次調査に続き、その基礎部分を今回の調査区でも広範囲に確認している。この建物は明治12年（1879）に建てられた木造の洋風建築で、フランスやベルギーの監獄にならったものとされ、中央部の3層の看守所から2階建ての舍房が6方向へ放射状に延びる独特な形状のものであった。屋根はスレート一部瓦葺きである。建物を含む集治監は西南戦争の国事犯を収容するために造られたとされ、初め約300名が集禁されたという。建物自体は昭和40年代の改築に際し順次取り壊され、昭和48年（1973）に全て解体された。

今回の調査では、中央塔基礎の全体と北側を除く5方向へ延びる舍房基礎部分を確認した。南側舍房の軸方向は若林城の南北軸と一致しており、玄関は北西側と南西側舍房の間に位置し、正面の西側を向いている。六角塔の基礎は第4次、第5次、第7次調査でも確認しており、第4次調査においてこの基礎に壊されている建物礎石跡（SB 1）を確認したこと、若林城に伴う建物の存在が明らかとなった経緯がある。

調査の結果、六角塔中央部の一辺は14.7~15.7mの六角形となり、規模は東西31m、南北方向での残存長は24.3mである。六角形の角の各辺の長さは4.2~5.0m程度である。舍房部分は南東側で全体を確認しており、規模は長さ32.8m、幅10.2mで、基礎については中央部より4条1組となる溝が延び、先端は閉じている。外側と内側の基礎間隔は約1.5mであるのに対し、内側同士の基礎間隔は約2.5mと広く、前者は収監部屋、後者は廊下部分に対応している。基礎はII層上面で検出でき、溝幅は狭い部分で1.0m、最大で1.7mと差があり、深さは0.3~0.84m程度と深いが、基礎底面では若林城建物の礎石跡も多数確認できた。断面形が方形となる基礎の中には最大で径80cmの礎が多量に詰められており、円礎がほとんどであるが、若林城の施設に使用されていたとみられる角礎もわずかに入れられている。また、調査区壁面の断面観察ではII層が六角塔建物下に盛られた整地土と、その盛土が建物解体後に削平され、周囲に敷かれた部分とに分層された。前者においてはIV層整地土と比較し、細かなブロック土を硬く締めた後に建物を建設していることが判明したが、II層の掘削はバックホールによるものであったことから、盛土範囲を明らかにすることは難しかった。第5次調査では南西側舍房基礎の周囲において、建物建築時に足場を組んだ跡とみられる長方形の小ピットを多数確認したが、今回は全く確認できなかった。

（2）井戸跡

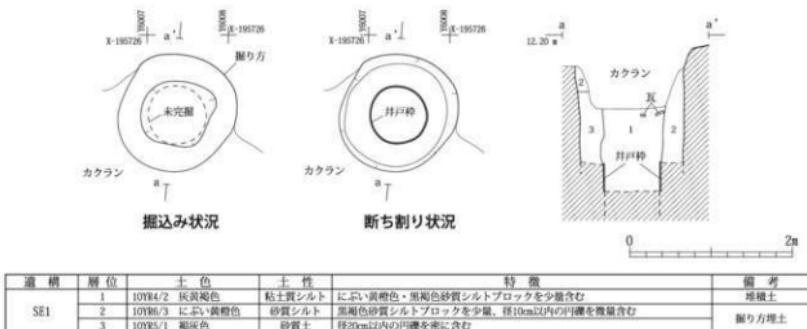
1号井戸跡

S E 1はY42、X46グリッドで検出し、南側は擾乱で壊されている。IV層確認面から1.45mの深さで井戸枠を検出しており、井戸枠の径は70cmで、形状は円形である。堆積土は固くしまっており、井戸は後に埋め戻されたとみられる。井戸枠は厚さ2cm程度の木製であり、桶状のもの以外、曲物を使用した可能性もあるが、残存が不良で詳細

(2) 井戸跡

は不明である。井戸枠内の堆積土を深さ1.95mまで掘削したが、安全面を考慮し掘削は途中で止め、底面は確認していない。掘り方形状は円形とみられ、残存径は1.5mである。掘り方埋土はブロック土で、下部の一部に径15cm以内の円窓が密に詰められていた。掘り方埋土には若林城期の瓦も含まれ、井戸枠内の堆積土にはガラス片や鉄線が含まれている。SE 1は掘り方埋土から近代の遺物が出土しないことから、近世段階に掘られた施設が使用し続けられた可能性も否定できないが、六角塔との位置関係からみて近代の遺構と考えられる。

遺物は平瓦、熨斗瓦、輪違い、丸瓦片か輪違い、面戸瓦、銅製品、井戸枠の木片が出土している。



第181図 1号井戸跡

(3) 樹跡

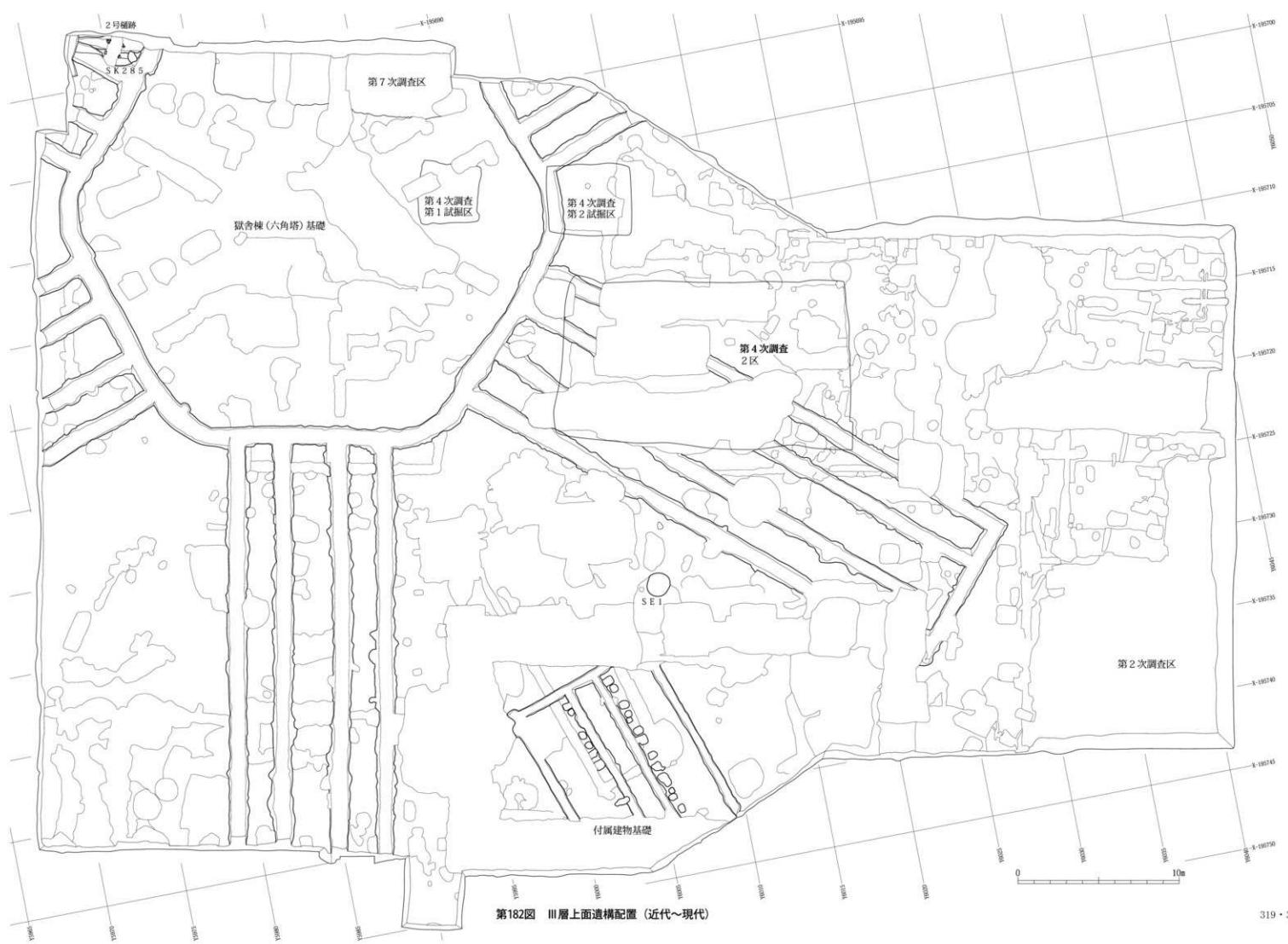
2号樹跡

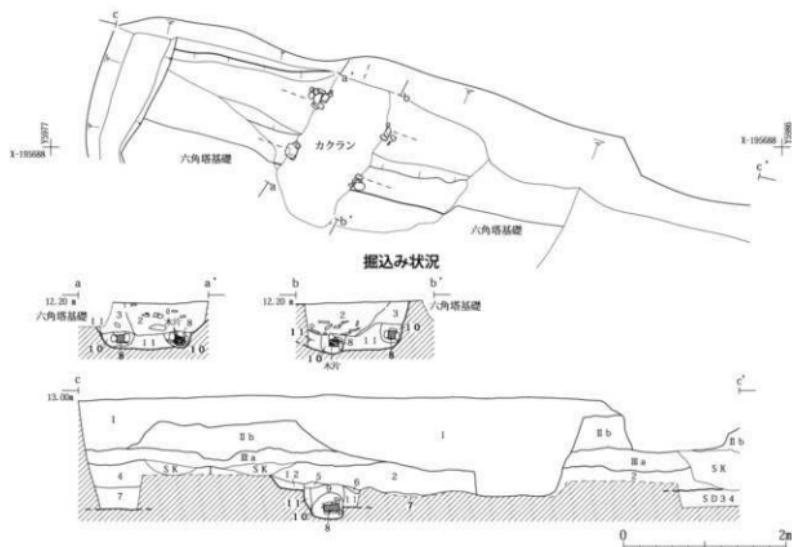
Y36、X38 グリッドで樹跡の掘り方とみられる溝状の掘り込みを検出した。東西端部は調査区外へ延びている。掘り方は搅乱や六角塔の基礎、SK 285により壊されている。掘り方の確認は東西 7.8m、深さは 0.6 ~ 0.7m であるが幅は不明である。掘り方の軸方向は N - 75° - W であり、若林城期の建物等の方向とは異なっている。

掘り込みの結果、中央部搅乱の東西壁に各 2か所、北壁に 1か所の計 5か所の断面で木樺痕跡を確認した。木樺は木質の腐食が著しいが、断面形が方形で、内部には板材が朽ちたとみられる木片を多量に含んでいる。東西壁側の木樺痕跡は 2つとも幅、高さが 10cm の方形で、北壁側は幅 20cm、高さ 10cm の長方形とやや大きい。東西壁側それぞれ 2つの痕跡の間隔は 0.6m で同じである。これらの配置関係としては、東西各 2つの木樺は繋がり、そこに北側の木樺が接続するものとみられるが、接続部分が搅乱により壊されていることで詳細な構造は不明である。

木樺痕跡はいずれも径 10cm 以内の円窓あるいは角窓で周囲を組んでおり、東西壁双方の北側の痕跡底面の標高は、東壁側で 11.65m、西壁側で 11.6m であり、南側は東西壁とも 11.6m とほぼ同じである。また北壁側の底面標高は 11.5m と、東西方向のものに比べやや低いが、それぞれの口径の違いもあり、水がどの方向に流されたかは判断できない。これらの木樺の関係は、東西壁北側の埋設土である 2 層が南側の埋設土である 3 層を掘り込んでおり、このことから南側の埋設後に北側を新たに埋設したと推定される。木樺痕跡の上面まで掘り込みを行ったが、木樺痕跡は南側にも北側も東西壁双方から 30cm 程度しか残存していなかった。

遺物は軒丸瓦 (F 16)、丸瓦、軒平瓦 (G 14)、平瓦、刻印平瓦、熨斗瓦、輪違い (H 76)、丸瓦片か輪違い、面戸瓦 (H 98・99・100 ~ 102)、陶器 (I 24・25)、土師質土器の皿 (X 35・36)、土師質土器の焼塙蓋 (X 37 ~ 41)、土師器、鉄釘が出土している。





遺構	層位	土色	土性	特徴	備考
2号跡	1	10YR4/3 にふい・黄褐色	砂質シルト	褐色質シルトブロックを含む	埋設土 (改修後)
	2	10YR4/4 褐色	砂質シルト	径20cm以内の円礫を含む	
	3	10YR4/4 褐色	砂質シルト	径5cm以内の円礫を含む	
	4	2.514/4 オリーブ褐色	シルト	砂粒を含む	
	5	10YR5/3 にふい・黄褐色	砂質シルト	径1cm以内の円礫を含む	
	6	10YR5/3 にふい・黄褐色	砂質シルト	径3cm以内の円礫を含む	
	7	10YR4/3 にふい・黄褐色	シルト	径10cm以内の明黄褐色シルトブロック、径3cm以内の円礫を含む	
	8	10YR4/2 灰黄褐色	砂質シルト	木片を多量含む	
	9	10YR5/3 にふい・黄褐色	砂質シルト	径5cm以内の黄褐色シルトブロック、径5cm以内の円礫を含む	
	10	10YR3/4 暗褐色	シルト	褐色オーバーレイ土質シルト・にふい・黄褐色シルトブロック、径10cm以内の円礫・砂粒を含む	
	11	10YR5/3 にふい・黄褐色	砂質シルト	径5cm以内の黄褐色シルトブロック、径5cm以内の円礫を含む	
	12	10YR4/4 褐色	シルト	径3cm以内の黄褐色シルトブロック、径20cm以内の円礫を含む	

第183図 2号跡

第5節 出土遺物

第8次調査と第9次調査を合わせた出土遺物は、調文土器、土師器、須恵器、土師質土器、陶器、磁器、瓦、土製品、埴輪、金属製品、石製品などがある。出土遺物の数量は平成21年3月の基礎整理作業終了時点で、遺物収納用コンテナで267箱となった。遺物の総点数は接合作業後で20,803点である。遺物点数については、特に瓦は接合後に種類を判別した後に分類を行っているため、集計は出土破片数でなく接合後点数で統一表記している。なお今回の調査は遺構確認が主目的であることから、遺構の掘削については、遺構保存を前提とした部分調査に止めたため、出土数量が必ずしもその遺構等が包含する遺物数量を示すものでは無い。

以下では若林城期の遺物を中心に、瓦、陶磁器、土師質土器、中世以前の土器、土製品・その他、金属製品、石製品等を種別ごとに概観する。

(1) 瓦

瓦の出土総点数は15,531点で、遺物全体の74.7%を占めている。瓦はその特徴から若林城期のものと、それ以外の時期のものに明確に分類できる。若林城期の瓦は本瓦葺のもので、種類は軒丸瓦・丸瓦の丸瓦系、軒平瓦・平瓦の平瓦系、伏間瓦・熨斗瓦・輪違い・菊丸瓦・面戸瓦の棟瓦類、鬼瓦などの飾瓦類がある。その他の瓦には刑務所をはじめこれまでの矯正施設建物に使用された近現代の棟瓦葺のものがあり、種類は軒桟瓦・桟瓦・鬼瓦がある。さらに古代の瓦が僅かではあるが出土している。

【若林城期の瓦】

軒丸瓦は15点出土しており、このうち瓦当文様が明確に判別できるものや、丸瓦部の残存が良好のものを中心化した。瓦当文様には三巴文と珠文三巴文がある。巴文は全て左巻きで、巴周辺に配置される珠文の数は17個と21個がある。丸瓦部の基部は玉縁が有るものと、玉縁が無く端部が丸くすぼまっているものがある。また丸瓦部に対して瓦当面が鋭角に取り着くものが1点あるが、これは鳥伏間瓦の可能性がある。出土した軒丸瓦は大半が瓦当面部分のみの破片であり、丸瓦部全体を含む形状が確認できるものは少ない。これは瓦当面がみられないものを全て丸瓦として分類したことが一因するとみられる。

丸瓦は1,430点出土しており、このうち残存が良好で、長さまたは幅が計測可能なものを中心に図化した。出土したものはほとんど玉縁を有し、玉縁が無いもののうち1点は頭部が欠損しており、軒丸瓦の可能性もある。丸瓦には凸面に刻印が認められるものが2点ある。他に破片のため一部の形状が類似する輪違いとの区別が難しいものについては、「丸瓦か輪違い」として1,235点を計量している。

軒平瓦は63点出土しており、軒丸瓦に比べ数が少ない。このうち瓦当文様が明確に判別できるものや、平瓦部が残存するものを中心に図化した。瓦当文様は中心飾りが三葉文、桔梗文、菊花文で、全ての左右には唐草文が配されている。唐草文は中心飾りにより意匠に明確な違いがある。また軒平瓦のうち14点は瓦当面下部の顎部分が三角状に角をもったいわゆる滴水瓦で、この瓦当文様には中心が花菱文で、左右に子葉と唐草文が配されるものと、中心が刺花菱文で、左右に唐草文が無く、周縁帯の下部に双葉文を表した文様が組まれるものがある。

平瓦は29,330点出土しており、種類別では最も数量が多い。このうち長さまたは幅が計測可能なものを中心に図化した。平瓦は瓦の出土点数の約60%を占めるが、これは1個体あたりの法量が大きく、かつ破損しやすいことに加え、一部に判別が難しい熨斗瓦が含まれていることが原因と考えられる。平瓦には僅かではあるが凹面側面に返しが付くものや隅切瓦も含まれている。また小口には棒状工具による刻印が認められるもののが多数ある。

伏間瓦は1点出土し、これを図化した。垂れ部分の破片とみられるが、箱熨斗瓦などの可能性もある。

熨斗瓦は1,915点出土しており、このうち長さおよび幅が計測できるものや、製作技法や調整等に特徴があるものを中心に図化した。ただし熨斗瓦の特徴である分割線や滑り止めの溝が認められない破片については、平瓦に分

類している可能性がある。熨斗瓦は基本的に平瓦を分割し製作したものであるが、焼成前に中央に切れ込みを入れ、焼成後に分割したものと、焼成前に分割し整形したものの2種類があり、前者の片側面には分割線が残存するのが特徴であり、また熨斗瓦の特徴である凹面に切られた滑り止め用の溝には幾つかの種類がある。平瓦同様に小口には棒状工具による刻印が認められるものがある。

輪違いは935点出土しており、このうち長さおよび幅が計測できるものを中心化した。SX9やSX11など、通常の溝跡以外の遺構からまとめて出土する傾向がある。幅は丸瓦とほぼ同様であるが、長さは半分程度であり、同様に丸瓦の形状に類似する面戸瓦に比べ、大きさや形状、調整などにおいて規格性が高い。

菊丸瓦は7点出土しており、このうち瓦当文様が明確に判別できるものか、側部が良好に残存するものを図化した。全て破片であり、瓦当文様は周縁帯をもたない十弁の菊花文と推定される。

面戸瓦は165点出土しており、このうち長さまたは幅が計測できるものを中心化した。形状は全て丸瓦を短く輪切りにしたもので、側面と凹面に広く面取りを施しているが、その大きさや形状は様々であり、規格性に乏しい。面戸瓦の隅を切ったものもあり、平瓦や丸瓦の隅切瓦と比べ出土比率が高い。

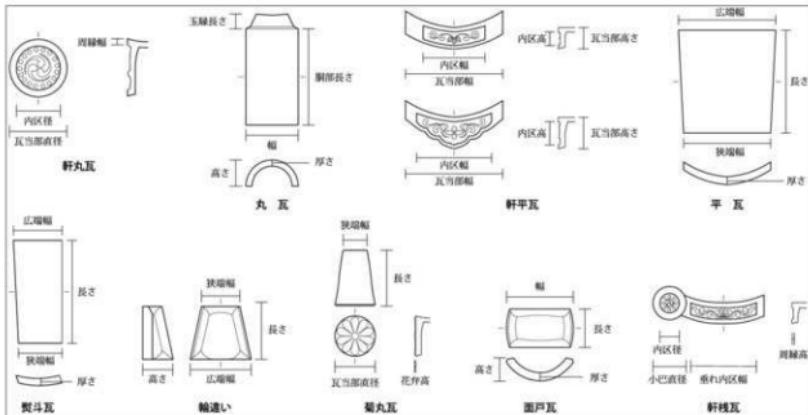
鬼瓦は16点出土しており、小破片の1点を除き全て図化した。ほとんどが側面部分の破片であり、これにより全体形状や中央の文様等が判明したものは少ないが、一部に無文の海津型鬼瓦と推定できるものがある。

その他種類不明の瓦としては15点出土しているが、ほとんどは図化が困難な小破片である。これらは鬼瓦など飾り瓦の一部の可能性があるものや、本瓦か棟瓦か区別できないものもあり、時期も特定できない。

【その他の瓦】

古代の瓦は平瓦が1点出土しており、これを図化した。焼成は良好で凸面と凹面に布目が認められる。

近現代の瓦として棟瓦がある。取り上げは残存が良好なものや文様が明瞭に判別できるものを中心化した。現行の棟瓦は若林城期の本瓦と比較すると、焼しが良好に施され、焼成もやや硬質である。軒棟瓦は瓦当面の残存がよい5点を図化した。瓦当文様は小巴に珠文三巴文と江戸式唐草文の垂れを組み合わせたものと、小巴が無文のものがある。巴文は左巻きで、珠文数は8個である。棟瓦は搅乱などから多量出土している。鬼瓦は2点を図化した。このうち1点は中央に「監」と表した文字瓦で、矯正施設関係の建物に葺かれたものと推定されるが、時期は特定できない。



第184図 瓦計測部位模式



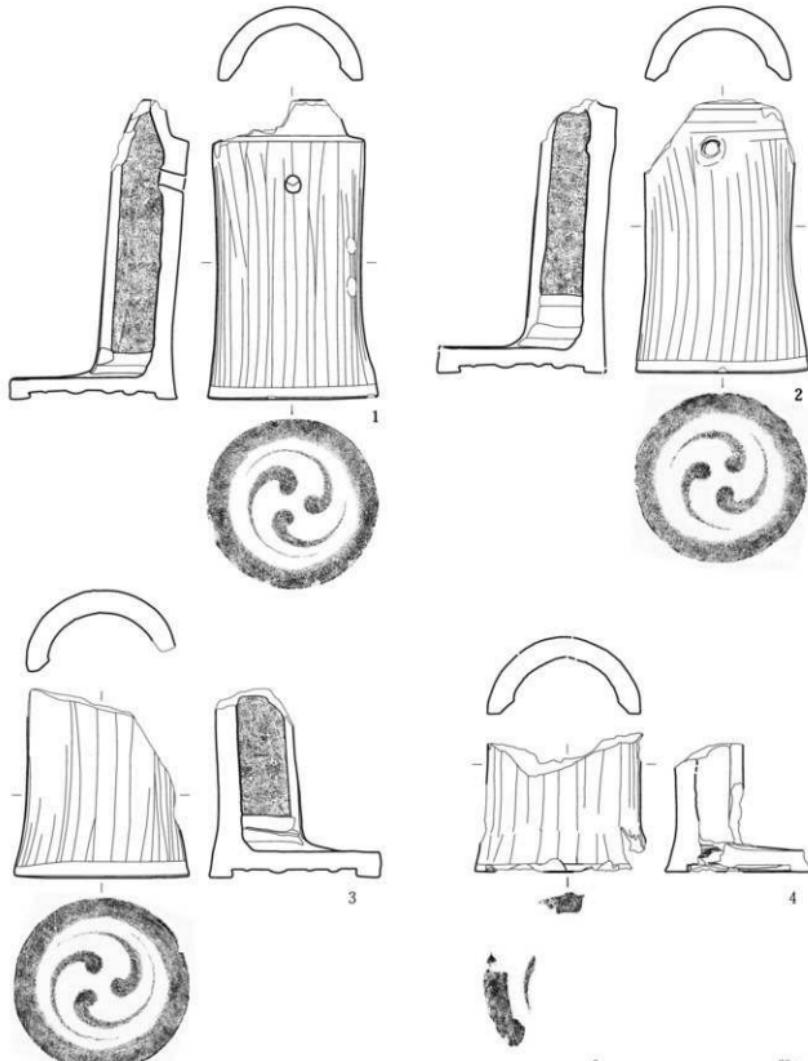
回収番号	登録番号	種類	文様	分類	遺物・部位	法長(cm)	互換部法長(cm)	重量(g)	凸面測定地	凹面測定地	備考	写真番号
1	円	軒丸瓦	縞文三巴文	Aa	S06-1盤	—	—	19.3	14.0	2.5	1091	—
2	F15	軒丸瓦	縞文三巴文	Aa	S81-30	—	—	18.8	14.0	2.4	1205	ナデ
3	F55	軒丸瓦	縞文三巴文	Aa?	SX11-7盤	—	—	(19.0)	(14.4)	2.2	229	—
4	F56	軒丸瓦	縞文三巴文	Aa?	S-遺物B-21	—	—	(19.0)	(14.0)	2.3	136	—
5	F8	軒丸瓦	縞文三巴文	Aa?	S042-1盤	—	—	(19.0)	(14.0)	2.5	263	—
6	F10	軒丸瓦	縞文三巴文	Aa?	S042-1盤	—	—	(19.0)	(14.0)	2.6	314	—
7	F12	軒丸瓦	縞文三巴文	Aa?	S042-1盤	—	—	(18.5)	(13.5)	2.2	276	—
8	F60	軒丸瓦	縞文三巴文	Aa?	楕瓦	—	—	(16.0)	(11.0)	2.0	118	—
9	F51	軒丸瓦	縞文三巴文	2ab	S42 PS-2盤	31.1	—	17.0	12.6	2.2	2324	ナデ,コビキ板
10	F45	軒丸瓦	縞文三巴文	2ab	S052-2-5盤	31.9	—	16.8	12.6	2.1	1910	ナデ

第185図 出土遺物 軒丸瓦 (1)



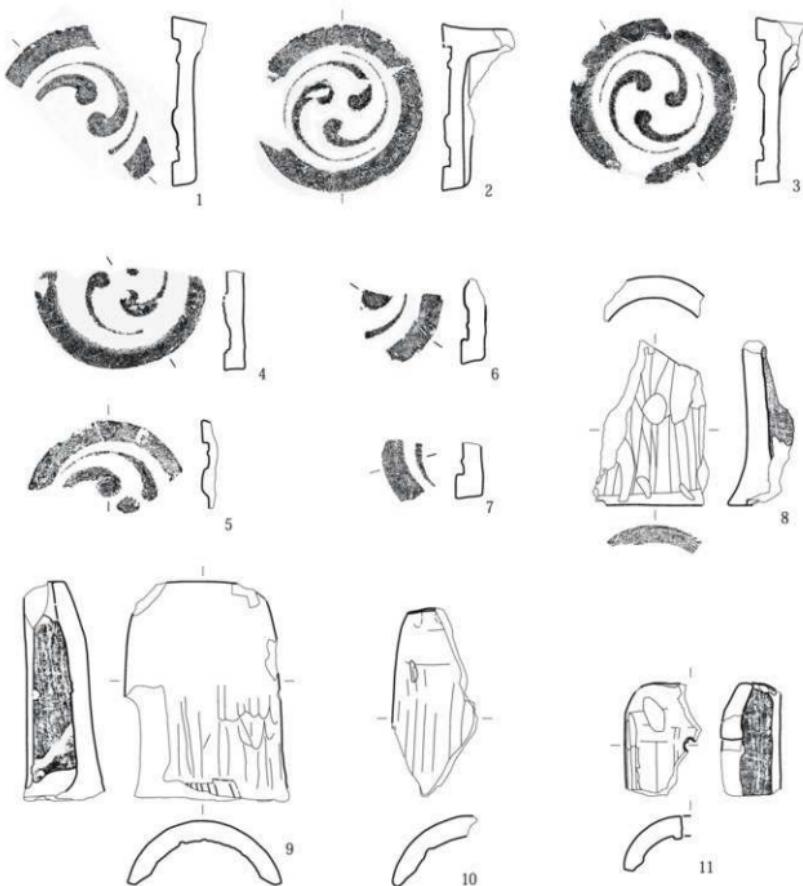
回収番号	登録番号	種類	文様	分類	遺構・部位	法量(cm)	瓦当部法量(cm)	重量(g)	凸面調整値	凹面調整値	備考	写真番号	
1	F6	軒丸瓦	珠文三巴文	他?	SD42-1横	—	—	17.1 13.6	2.1	1256	ナデ	コビキ瓶、布目瓶 巴左卷、珠文21、珠径1.0cm	118-11
2	F3	軒丸瓦	珠文三巴文	他?	SD36-2横	—	—	(18.0) (13.6)	2.5	154	—	—	118-12
3	F47	軒丸瓦	珠文三巴文	他?	SD70-1横	—	—	(18.0) (12.8)	2.3	353	—	—	118-13
4	F49	軒丸瓦	珠文三巴文	他?	SD76	—	—	(17.0) (13.4)	1.8	156	—	—	118-14
5	F14	軒丸瓦	珠文三巴文	他?	SS8	—	—	(17.0) (13.0)	2.1	225	—	—	118-15
6	F46	軒丸瓦	珠文三巴文	他?	SD70-1横	—	—	(17.0) (12.6)	2.1	341	—	—	118-16
7	F20	軒丸瓦	珠文三巴文	他?	小波紋9-6	—	—	(17.0) (13.0)	2.0	366	—	—	118-17
8	F48	軒丸瓦	珠文三巴文	他?	SD76	—	—	(17.0) (12.6)	2.1	275	—	—	118-18
9	F21	軒丸瓦	珠文三巴文	他?	直標	—	—	(17.0) (12.6)	2.2	150	—	—	118-19
10	F11	軒丸瓦	珠文三巴文	他?	SD44	—	—	(16.5) (11.7)	2.2	158	—	—	119-1
11	F50	軒丸瓦	三巴文	他?	SD76-1横	—	—	(17.0) (12.6)	2.4	1301	ナデ	コビキ瓶、布目瓶 巴左卷	119-2
12	F51	軒丸瓦	三巴文	他?	SD40	—	—	(17.5) (12.3)	2.6	668	ナデ	コビキ瓶、布目瓶 巴左卷	119-3
13	F17	軒丸瓦	三巴文	他?	桶状連續	—	—	(17.5) (12.8)	2.8	569	—	—	119-4

第186図 出土遺物 軒丸瓦 (2)



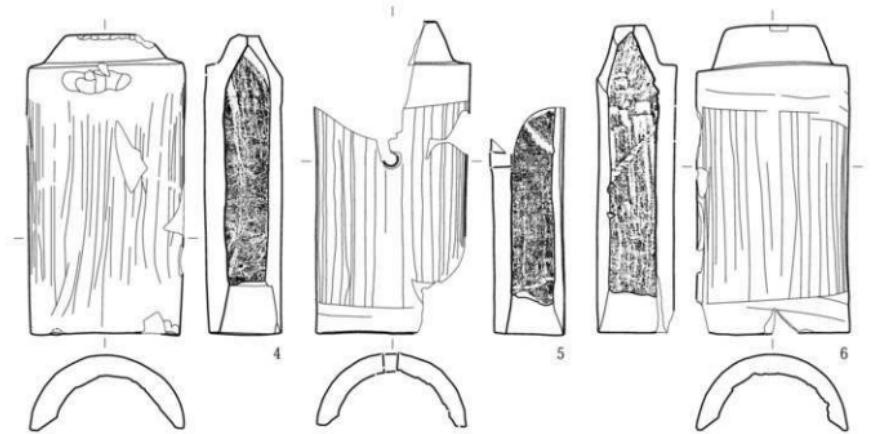
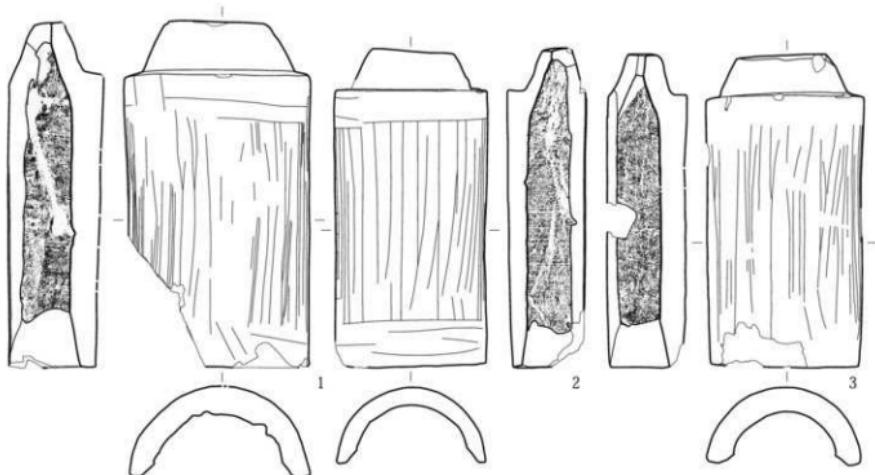
第187図 出土遺物 軒丸瓦 (3)

出目番号	住目番号	種類	文様	分類	道構・解剖	法 長(cm)	反当部法 幅(cm)	重 量(g)	凸面調整地	凹面調整地	備 考	写真番號		
1	F53	軒丸瓦	三巴文	1B	奥 横 引 出 側 縫 合	30.7	3.7	17.2	12.9	2.0	2595	ナデ	コビ半瓶、布目瓶 巴左巻、釘穴あり	119-5
2	F52	軒丸瓦	三巴文	1B	奥 横 引 出 側 縫 合	27.0	—	17.3	12.8	2.4	2617	ナデ	コビ半瓶、布目瓶 巴左巻、釘穴あり	119-6
3	F44	軒丸瓦	三巴文	B	SDS2-2解	—	—	17.5	12.7	2.4	1830	ナデ	コビ半瓶、布目瓶 巴左巻	119-7
4	F4	軒丸瓦	三巴文	B	SDS6-2解	—	—	(17.8)	(12.8)	2.5	958	ナデ	コビ半瓶、布目瓶 巴左巻	120-1



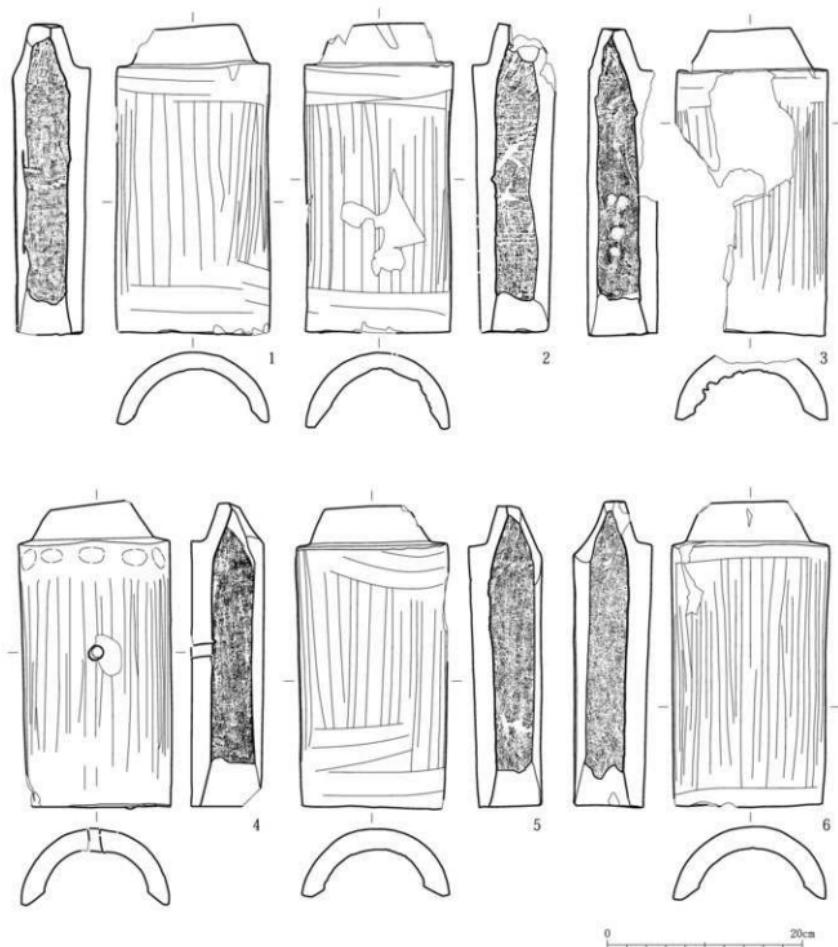
測定番号	材種番号	種類	文様	分類	遺構・部位	法量(cm)	瓦当部法量(cm)	重量(g)	凸面調整部	凹面調整部	備考	写真番号
1	F58	軒丸瓦	三巴文	B	直縫	—	17.3 3.8径2.3	2.4	400	—	—	120-2
2	F7	軒丸瓦	三巴文	B	S042-1縫	—	17.0 3.8径2.2	2.4	827	ナデ	—	120-3
3	F9	軒丸瓦	三巴文	B	S042-11縫	—	17.0 3.8径2.5	2.5	908	ナデ	—	120-4
4	F13	軒丸瓦	三巴文	B	S044	—	17.6 3.8径2.5	2.0	410	—	—	120-5
5	F57	軒丸瓦	三巴文	B	S338-3縫	—	(17.0) (15.7)	2.2	137	—	—	120-6
6	F2	軒丸瓦	三巴文	B	S06-3縫	—	(17.0) (12.6)	2.5	164	—	—	120-7
7	F54	軒丸瓦	三巴文	B	S311-2縫	—	(16.0) (11.6)	2.5	142	—	—	120-8
8	F56	軒丸瓦	—	—	S338-3縫	—	(15.0) (11.2)	1.9	534	ナデ	コビキ瓶、布目瓶	120-9
9	F18	軒丸瓦	—	2	S253-1縫	—	—	—	1285	ナデ	コビキ瓶、布目瓶	120-10
10	F19	軒丸瓦	—	2	S277B	—	—	—	416	ナデ	コビキ瓶、布目瓶	120-11
11	F16	軒丸瓦	—	2	2号磚跡	—	—	—	232	ナデ	布目瓶 割穴あり	120-12

第188図 出土遺物 軒丸瓦 (4)



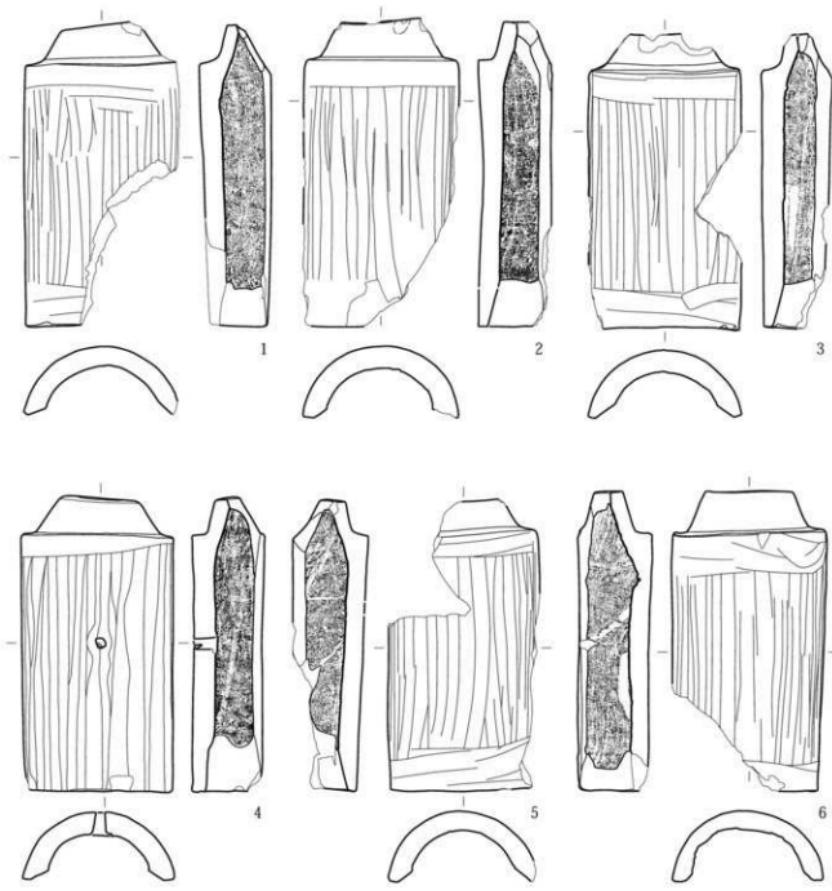
開版番号	登録番号	種類	分類	遺構・層位	法 番(cm)				重量(g)	凸面調整	凸面調整地	備考	写真図版	
					枝込	脚部径	幅	高さ						
1	F37	丸瓦	1	SK229-1層	35.5	30.1	5.4	19.2	9.7	3.0	2201	ナデ	コビキ板、布目板、吊り組仔板	121-1
2	F86	丸瓦	1	SK343-1層	32.7	26.5	4.2	15.8	8.1	1.8	1934	ナデ	コビキ板、布目板、吊り組仔板	121-2
3	F33	丸瓦	1	輪状遺構	32.1	27.8	4.3	16.2	8.2	2.7	2196	ナデ	コビキ板、布目板	121-3
4	F31	丸瓦	1	SK8-1層	30.8	27.6	3.2	16.2	7.9	2.5	2083	ナデ	コビキ板、布目板	121-4
5	F26	丸瓦	1	SD43-1層	32.0	27.6	4.4	15.9	7.6	2.0	1292	ナデ	コビキ板、布目板	121-5
6	F87	丸瓦	1	SK343-1層	31.7	27.6	4.1	15.6	8.2	2.0	1868	ナデ	コビキ板、布目板、吊り組仔板、棒状工具による網刃痕	121-6

第189図 出土遺物 丸瓦 (1)



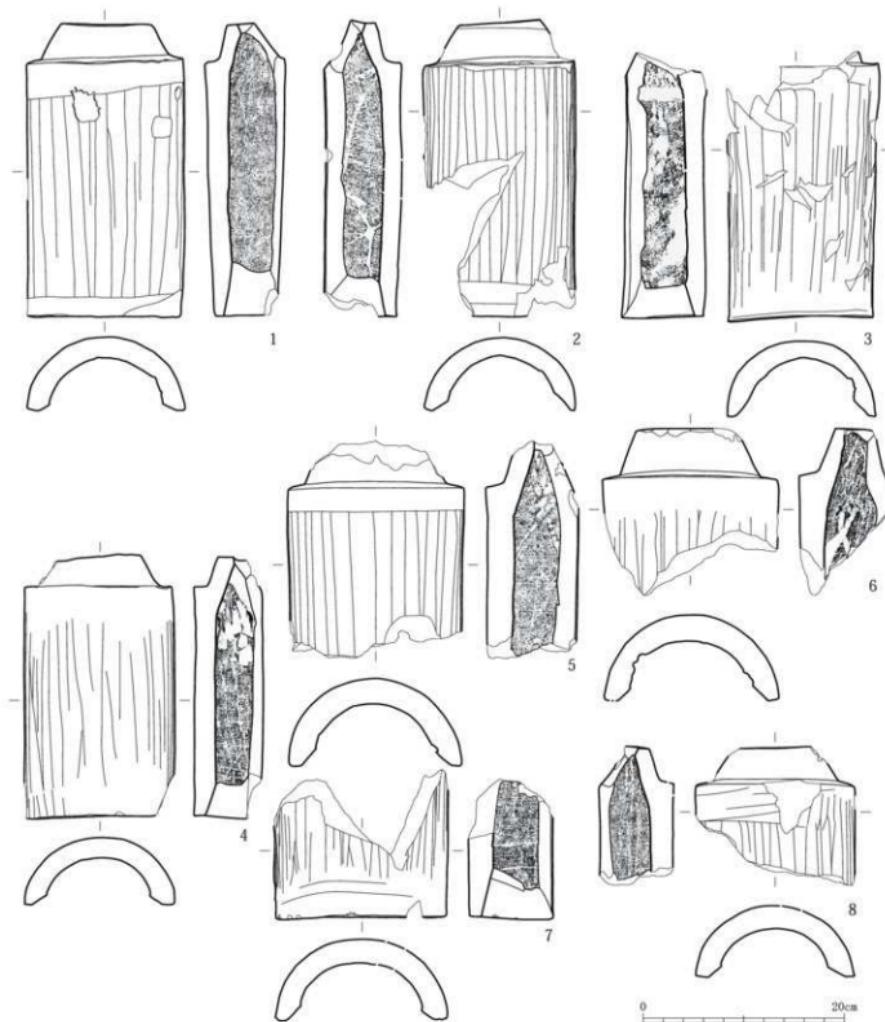
測定番号	測定番号	種類	分類	遺構・部位	法寸(㎝)					四面調査	備考	写真番号	
					段	側面	側面	高さ	厚さ	重量(g)			
1	F84	丸瓦	1	SK343	31.8	27.5	4.3	15.8	8.0	1.8	1782	ナデ	コビキ板、布目面、吊り紐仕面 122-1
2	F88	丸瓦	1	SK343-1層	31.7	27.4	4.3	15.3	8.5	2.0	1737	ナデ	コビキ板、布目面、吊り紐仕面 122-2
3	F36	丸瓦	1	柄状通縫-3層	31.5	27.1	4.4	15.6	7.2	1.9	1355	ナデ	コビキ板、布目面、棒状工具による刺突痕 122-3
4	F34	丸瓦	1	柄状通縫-3層	31.4	27.1	4.3	15.5	7.8	2.2	2007	ナデ	コビキ板、布目面 122-4
5	F62	丸瓦	1	SD65-1層	31.3	27.0	4.1	15.7	7.5	2.2	2035	ナデ	コビキ板、布目面、棒状工具による刺突痕 122-5
6	F74	丸瓦	1	SK302	31.3	26.8	4.5	17.2	8.1	2.2	2236	ナデ	コビキ板、布目面 122-6

第190図 出土遺物 丸瓦 (2)



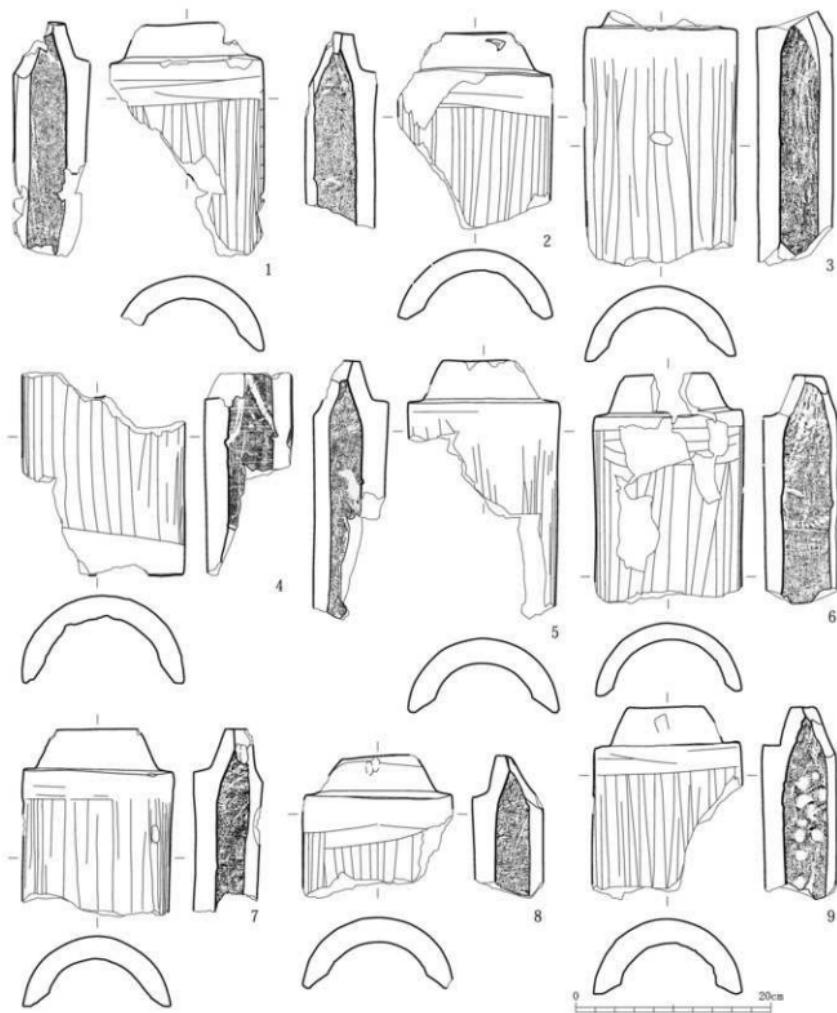
図版番号	登録番号	種類	分類	遺構・層位	法 番(cm)				重量(g)	凸面調整	凹面調整色	備 考	写真番号	
					長さ	側面長さ	幅	高さ						
1	F63	丸瓦	1	S074-1層	31.3	26.8	4.5	16.0	7.4	2.1	1433	ナデ	コビキ面、布目縫	123-1
2	F27	丸瓦	1	SD44	31.5	26.6	4.9	18.0	7.4	3.2	1737	ナデ	コビキ面、布目縫	123-2
3	F81	丸瓦	1	SK338-3層	30.4	26.5	3.9	15.8	7.3	2.2	1715	ナデ	コビキ面、布目縫、神狀工具による側突起	123-3
4	F32	丸瓦	1	純状造縛-3層	30.4	26.5	3.9	15.7	7.4	2.2	1978	ナデ	コビキ面、布目縫	123-4
5	F82	丸瓦	1	SK338-3層	29.9	26.4	3.5	15.6	7.8	2.0	1420	ナデ	コビキ面、布目縫	123-5
6	F85	丸瓦	1	SK343	30.8	26.3	4.5	16.0	7.8	2.0	1548	ナデ	コビキ面、布目縫	123-6

第191図 出土遺物 丸瓦 (3)



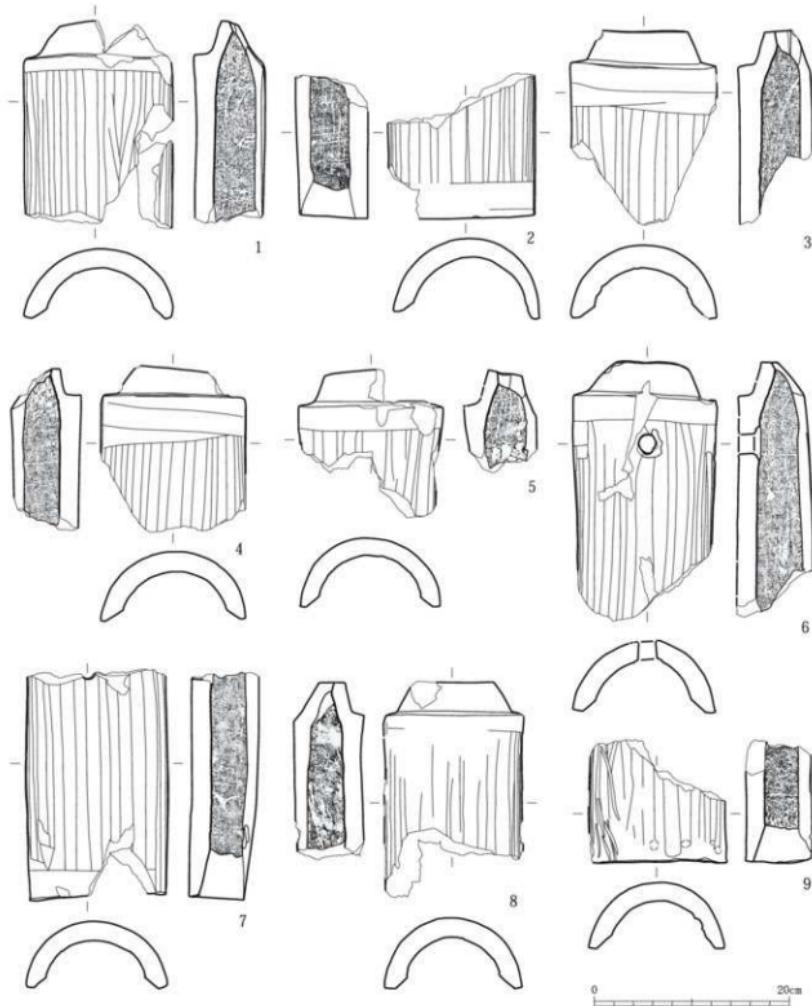
回収番号	登録番号	種類	分類	遺積・層位	法 庫(cm)				重量(g)	凸面調整	凹面調整他	備 考	写真図版	
					長さ	側面高さ	側面幅さ	幅						
1	F71	丸瓦	I	SK311-4・5層	29.8	26.2	3.6	15.7	8.0	2.2	2063	ナデ	コビキ板、布目板	124-1
2	F76	丸瓦	I	SK338-1~2層	30.4	26.1	4.3	15.2	7.7	2.1	1380	ナデ	コビキ板、布目板	124-2
3	F41	丸瓦	I	SK290-1層	—	26.2	—	15.1	8.0	2.2	1300	ナデ	コビキ板、布目板	124-3
4	F35	丸瓦	I	柄状遺構	27.1	23.8	3.3	15.0	6.9	2.1	1067	ナデ	コビキ板、布目板、棒状工具による削突痕	124-4
5	F65	丸瓦	—	SB76	—	—	—	17.6	9.2	2.6	1752	ナデ	コビキ板、布目板、柄の削圧痕	124-5
6	F25	丸瓦	I	SD42	—	4.9	17.5	8.9	2.7	942	ナデ	コビキ板、布目板、吊り削圧痕	124-6	
7	F22	丸瓦	—	SD6-1層	—	—	—	17.2	8.4	2.5	897	ナデ	コビキ板、布目板	124-7
8	F69	丸瓦	I	SD76-1層	—	—	3.8	15.9	7.5	2.3	729	ナデ	コビキ板、布目板	124-8

第192図 出土遺物 丸瓦(4)



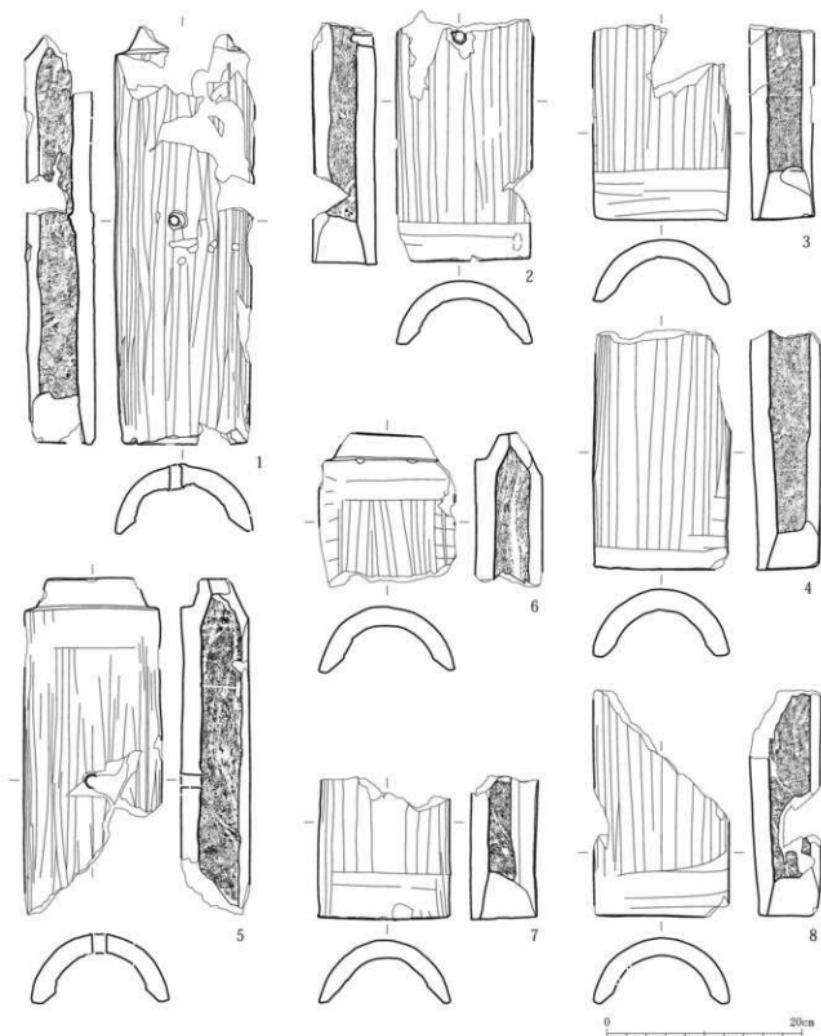
試験番号	存留番号	種類	分類	遺構・附着	法量(cm)				重量(g)	凸面測定	凹面測定	備考	写真版		
					長さ	胸幅(左)	馬蹄孔(右)	幅							
1	F68	丸瓦	1	S206	—	—	4.0	15.8	7.9	2.3	1015	ナデ	コビキ板、布目板 釘穴あり	125-1	
2	F91	丸瓦	1	無縫	—	—	4.2	15.8	7.4	2.2	929	ナデ	コビキ板、布目板	125-2	
3	F28	丸瓦	1	S245-2層	—	—	15.7	7.6	2.3	1700	ナデ	コビキ板、布目板	125-3		
4	F29	丸瓦	—	S245-2層	—	—	15.7	9.0	2.4	1136	ナデ	コビキ板、布目板、用り組注頭	釘穴あり	125-4	
5	F30	丸瓦	1	SK228-1層	—	—	4.4	15.6	7.7	2.6	914	ナデ	コビキ板、布目板		125-5
6	F78	丸瓦	1	SK338-1層	—	—	4.3	15.5	7.6	1.7	1160	ナデ	コビキ板、布目板、用り組注頭、棒状工具による刺突痕		125-6
7	F23	丸瓦	1	S206-2層	—	—	4.7	15.5	7.1	3.2	1238	ナデ	布目板、無目板		125-7
8	F80	丸瓦	1	SK338-1層	—	—	4.4	15.5	7.3	2.2	680	ナデ	コビキ板、布目板		125-8
9	F73	丸瓦	1	SK302	—	—	3.9	15.4	7.7	2.1	987	ナデ	コビキ板、布目板、指面注頭		125-9

第193図 出土遺物 丸瓦(5)



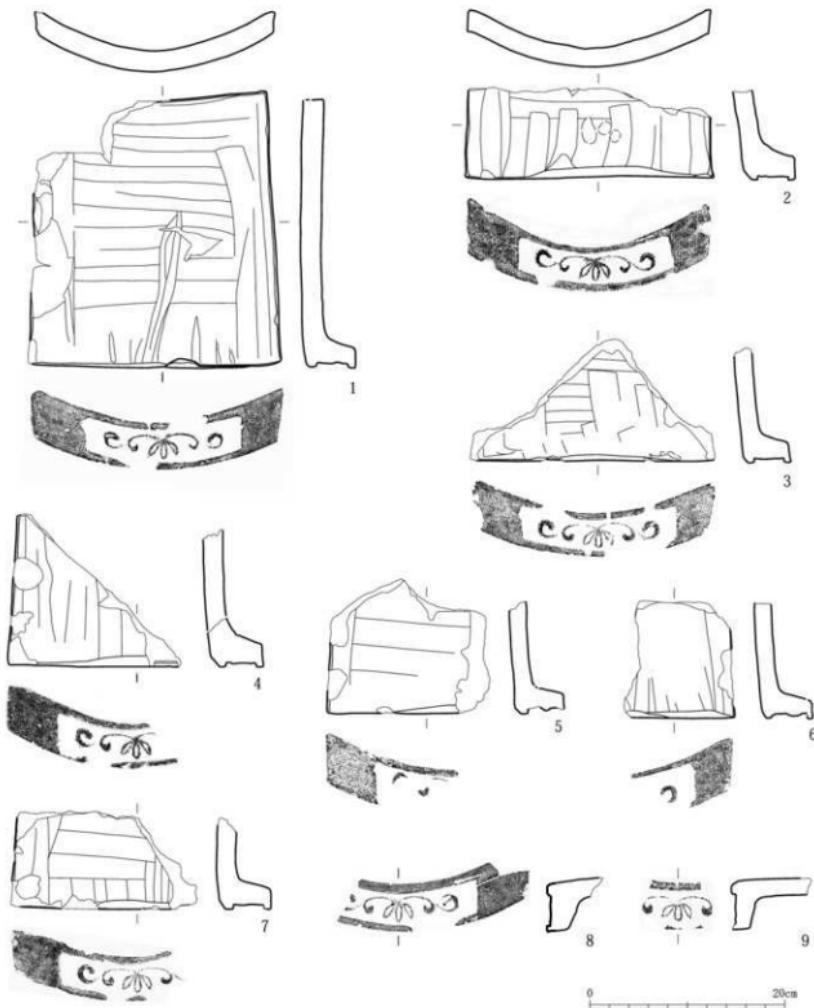
試験番号	目録番号	種類	分類	遺跡・層位	法寸(㎝)					凹面調査	凹面調査筋	備考	写真番號	
					長さ	幅	厚さ	重量(g)						
1	F77	丸瓦	I	SK338-3層	—	—	3.4	15.3	7.4	2.0	1065	ナデ	コビキ板、布目板	126-1
2	F30	丸瓦	—	Sd45-2層	—	—	—	15.1	7.9	2.0	647	ナデ	コビキ板、布目板	126-3
3	F67	丸瓦	I	Sd76	—	—	3.8	15.1	7.7	2.3	991	ナデ	コビキ板、布目板、棒状工具による剝突痕	126-2
4	F90	丸瓦	I	無縫	—	—	3.0	14.9	7.2	2.1	863	ナデ	コビキ板、布目板	126-4
5	F72	丸瓦	I	SK11-6・9層	—	—	3.8	14.8	7.5	1.8	539	ナデ	コビキ板、布目板、棒状工具による剝突痕	126-5
6	F64	丸瓦	—	Sd76	—	—	3.4	14.8	7.6	2.1	1365	ナデ	コビキ板、布目板	126-6
7	F89	丸瓦	—	無縫	—	—	—	14.6	6.9	2.0	1262	ナデ	コビキ板、布目板、織砂	126-7
8	F38	丸瓦	I	SK229-1層	—	—	3.4	14.4	7.2	2.0	1065	ナデ	ナデ、コビキ板、織砂	126-9
9	F40	丸瓦	I	SK252-1層	—	—	—	14.2	6.8	1.9	483	ナデ	コビキ板、織砂、削剥痕	126-8

第194図 出土遺物 丸瓦(6)



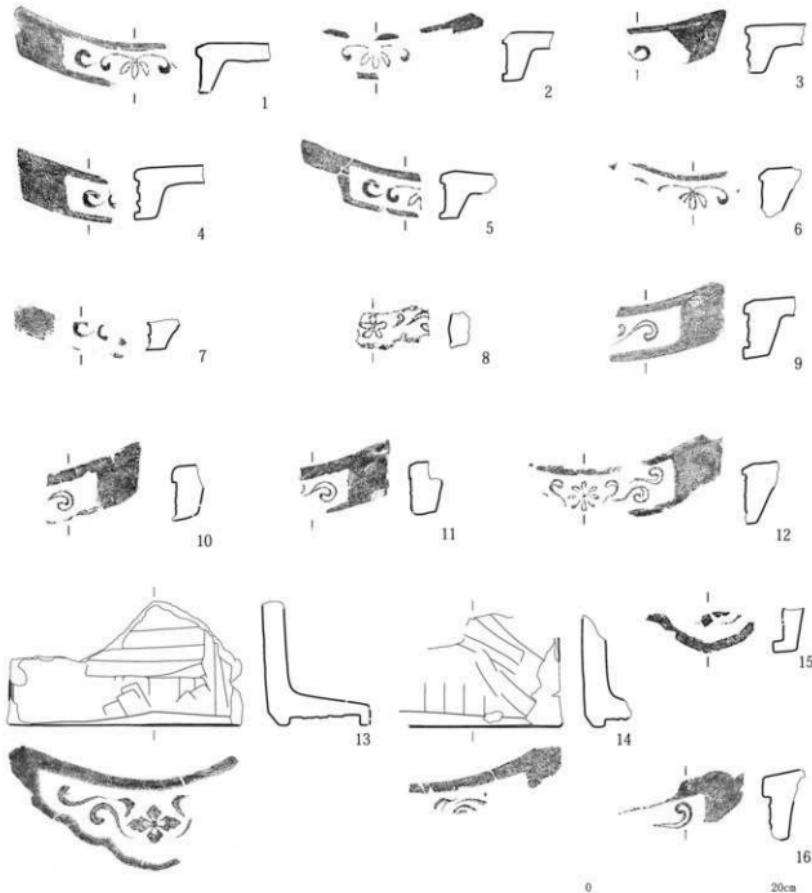
図版番号	登錄番号	種類	分類	遺跡・層位	寸法 (cm)					重量(g)	凸面調整	凹面調整枠	備考	写真図版		
					長さ	側面高さ	底面高さ	幅	高さ							
1	F83	丸瓦	I	SK338-3層	—	40.2	—	14.3	6.8	2.2	2115	ナデ	コビキ板、布目板	斜穴あり	127-1	
2	F75	丸瓦	—	SK338-1-3層	—	—	—	14.0	6.6	2.0	1193	ナデ	コビキ板、布目板、織砂	斜穴あり	127-2	
3	F79	丸瓦	—	SK338-1層	—	—	—	14.1	6.6	1.8	892	ナデ	コビキ板、布目板	—	127-3	
4	F70	丸瓦	—	SK338-1層	—	—	—	14.0	7.2	2.1	1317	ナデ	コビキ板、布目板、織砂	—	127-4	
5	F42	丸瓦	I	複瓦	—	—	—	3.0	14.1	7.2	2.0	1636	ナデ	コビキ板、布目板	斜穴あり	127-5
6	F66	丸瓦	I	S076	—	—	—	2.8	14.0	7.0	2.0	790	ナデ	コビキ板、布目板	—	127-6
7	F24	丸瓦	—	S036-2層	—	—	—	15.7	6.4	1.9	638	ナデ	コビキ板、布目板	—	127-7	
8	F61	丸瓦	—	S052	—	—	—	14.0	7.3	1.9	824	ナデ	コビキ板、布目板	—	127-8	

第195図 出土遺物 丸瓦 (7)



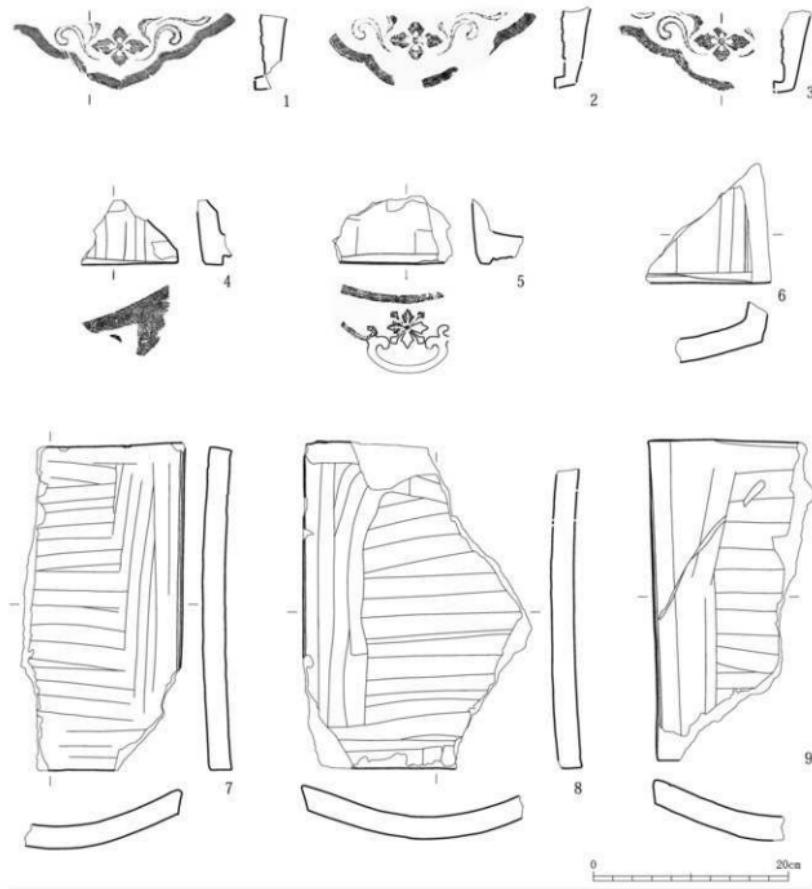
回収番号	登錄番号	種類	文様	分類期	遺構・層位	寸法(cm)	瓦当測定値(cm)	重量(g)	凸面調査	凹面調査	備考	写真番號
1	G2	軒平瓦	三葉文+唐草文	IA	SD03-2層	28.3	幅 26.0 高さ 16.0 内凹幅 3.2	2496	ナデ	ナデ		128-1
2	G10	軒平瓦	三葉文+唐草文	IA	SD43-4層	—	幅 25.0 高さ 15.8 厚さ 3.1	1064	ナデ	ハラナデ、指關口麻		128-2
3	G110	軒平瓦	三葉文+唐草文	IA	—	(25.0)	幅 4.4 高さ 15.8 厚さ 3.1	781	ナデ	ナデ		128-3
4	G11	軒平瓦	三葉文+唐草文	IA	SD43-1層	(26.4)	幅 4.5 高さ 15.4 厚さ 3.0	730	—	—		128-4
5	G102	軒平瓦	三葉文?+唐草文	IA?	SD03-1層	—	幅 4.4 高さ 15.7 厚さ 3.0	649	ナデ	ナデ、コビキ椎		128-5
6	G99	軒平瓦	三葉文?+唐草文	IA?	SD06	—	幅 4.6 厚さ 3.0	406	ナデ	ナデ、コビキ椎		128-6
7	G106	軒平瓦	三葉文+唐草文	IA	重層	(25.6)	幅 4.7 高さ 15.8 厚さ 3.0	709	ナデ	ナデ		128-7
8	G16	軒平瓦	三葉文+唐草文	IA	複瓦	(27.0)	幅 4.9 高さ 16.0 厚さ 3.2	441	ナデ	ナデ		128-8
9	G105	軒平瓦	三葉文+唐草文	IA	SX11-8・9層	—	幅 5.0 高さ 16.0 厚さ 3.0	211	ナデ	ナデ		128-9

第196図 出土遺物 軒平瓦(1)



第197図 出土遺物 軒平瓦（2）

国際番号	登録番号	種類	文様	分類	遺跡・層位	長さ(cm)	幅(cm)	高さ(cm)	内区高(cm)	重量(g)	凸面調整	凹面調整他	備考	写真番号
1	G12	軒平瓦	三葉文+唐草文	IA	SD40-1層	—	(25.0)	5.1	(15.6)	2.9	526	—	—	128-10
2	G4	軒平瓦	三葉文+唐草文	IA	SD42	—	—	5.0	(15.6)	3.1	299	ナデ	ナデ	128-11
3	G8	軒平瓦	三葉文+唐草文	IA?	SD42	—	—	4.6	—	3.2	355	ナデ	ナデ	128-12
4	G1	軒平瓦	三葉文?+唐草文	IA?	SD6-1層	—	—	4.8	—	3.2	407	ナデ	ナデ	128-13
5	G13	軒平瓦	三葉文+唐草文	IA	SD45-2層	—	—	4.5	—	3.1	308	ナデ	ナデ	128-14
6	G104	軒平瓦	三葉文+唐草文	IA	SK11-5層	—	—	(4.5)	(15.0)	(3.2)	309	ナデ	ナデ	128-15
7	G100	軒平瓦	三葉文?+唐草文	IA	SD76	—	—	—	—	155	—	—	—	128-16
8	G103	軒平瓦	枯桜文+唐草文	IB	SK11-1層	—	—	—	—	—	—	—	—	128-17
9	G108	軒平瓦	枯桜文?+唐草文	IB?	直觸	—	—	5.6	—	3.4	440	ナデ	ナデ	128-18
10	G17	軒平瓦	枯桜文?+唐草文	IB?	直触	—	—	5.4	—	3.2	226	ナデ	ナデ	129-1
11	G6	軒平瓦	枯桜文?+唐草文	IB?	SD42-2層	—	—	5.4	—	3.2	277	ナデ	ナデ	129-2
12	G109	軒平瓦	菊花文+唐草文	IC	直觸	—	(29.0)	5.6	(18.4)	4.1	556	ナデ	ナデ	129-3
13	G97	軒平瓦	花菱文+唐草文+子瓣	ZA	SD79-1層	—	(30.0)	6.4	(22.6)	7.0	1170	ナデ	漏水瓦	129-4
14	G98	軒平瓦	唐草文	ZA	SD76	—	—	—	—	732	ナデ	ナデ	漏水瓦	129-5
15	G9	軒平瓦	花菱文+唐草文	ZA	SD42-1層	—	—	—	—	110	ナデ	—	漏水瓦	129-6
16	G101	軒平瓦	唐草文	ZA	SD76-1層	—	—	—	—	283	ナデ	ナデ	漏水瓦	129-7



測定番号	登録番号	種類	文様	分類	遺構・崩位	法寸(㎝)		瓦当面法寸量(㎝)		重量(g)	凸面調整	凹面調整	備考	写真番號
						長さ	幅	高さ	内区幅					
1	G7	軒平瓦	花菱文+唐草文+子菱	2A	SD42-1崩	—	—	—	—	328	—	—	滴水瓦	129-8
2	G3	軒平瓦	花菱文+唐草文+丁字	2A	SD42-1崩	—	—	—	—	341	—	—	滴水瓦	129-9
3	C107	軒平瓦	花菱文+唐草文+子菱	2A	直崩	—	—	—	—	310	—	—	滴水瓦	129-10
4	C15	軒平瓦	唐草文	3	直崩	—	—	—	—	155	ナデ, ハラナデ	—	滴水瓦, 剥切	129-11
5	G5	軒平瓦	刺花菱	2B	SD42	—	—	—	—	280	ナデ	ナデ	滴水瓦	129-12
6	C14	軒平瓦	—	—	2号埴跡	—	—	—	—	377	ナデ	ナデ	拂平瓦?	129-13

測定番号	登録番号	種類	分類	遺構・崩位	法寸(㎝)		重量(g)	凸面調整	凹面調整	備考	写真番號
					長さ	幅					
7	G38	平瓦	I	SK297-1崩	33.6	—	2.3	1780	ナデ, 離砂	ナデ	129-14
8	C33	平瓦	I	SD45-1崩	33.5	—	2.4	2166	ナデ	ナデ	130-1
9	G26	平瓦	I	SD42	32.8	—	2.5	1696	ナデ	ナデ	129-15

第198図 出土遺物 軒平瓦（3）・平瓦（1）



実物番号	登録番号	種類	分類	遺構・層位	法量(cm)			重量(g)	凸面調整柵	凹面調整柵	備考	写真番号	
					長さ	広端幅	狭端幅						
1	G18	平瓦	I	SD6-1層	32.5	(28.8)	26.9	2.2	2580	ナデ、磨砂	ナデ	小口に創印あり	130-2
2	G24	平瓦	I	SD42	32.5	—	—	2.7	1297	ナデ、磨砂	ナデ	小口に創印あり。側口被熱(奥平瓦に転用?)	130-3
3	G115	平瓦	I	SK302	29.7	—	—	1.9	1442	ナデ、磨砂	ナデ		130-4
4	G111	平瓦	I	Q2-竹林山層	29.6	—	—	2.0	1231	ナデ、磨砂	ナデ		131-1
5	G34	平瓦	I	桶状道場	29.1	—	—	2.1	933	ナデ	ナデ	側口被熱(奥平瓦に転用?)	131-2
6	G117	平瓦	I	SK338-3層	29.0	(24.5)	(22.0)	1.8	1609	ナデ、磨砂	ナデ		131-3

第199図 出土遺物 平瓦(2)



回収番号	登録番号	種類	分類	遺構・部位	法 段さ 高さ	幅 幅幅 幅幅	厚さ	重量(g)	凸面調整板	凹面調整板	備考	写真No
1	G118	平瓦	I	SK338-3期	26.8	25.5	(22.5)	2.0	1621	ナデ		131-4
2	G22	平瓦	I	SD36-2期	26.8	—	—	2.5	1114	ナデ, 離砂	削口被熱(製瓦に転用?)	132-1
3	G123	平瓦	I	SK338-3期	—	(25.0)	(23.0)	2.0	1930	ナデ, 離砂		132-3
4	G122	平瓦	I	SK338-3期	26.7	(24.5)	21.0	1.9	1726	ナデ, 離砂		132-5
5	G138	平瓦	I	P41-1期	26.6	—	—	2.0	1161	ナデ, 離砂		132-2
6	G37	平瓦	I	SK295	26.4	—	—	2.1	1269	ナデ		132-4
7	G135	平瓦	I	SK343	26.4	—	—	1.9	1017	ナデ, 離砂		132-6

第200図 出土遺物 平瓦 (3)



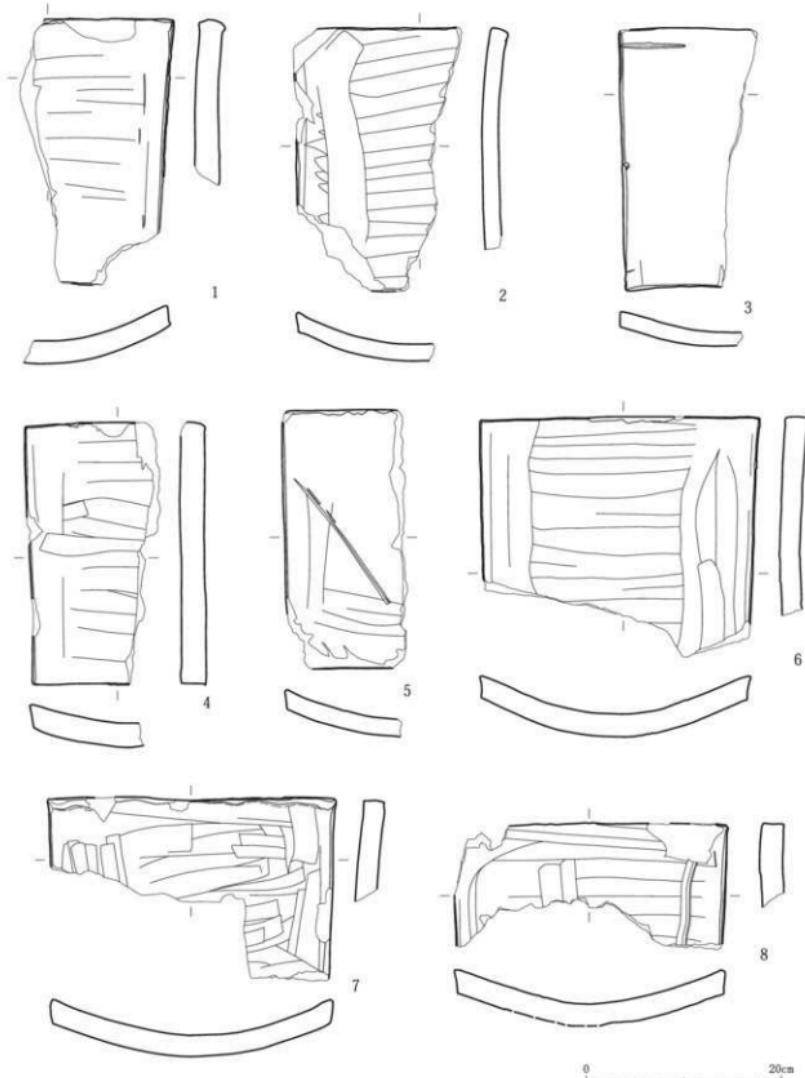
出典番号	登録番号	種類	分類	遺構・層位	法量(cm)	重量(g)	凸面調整値	凹面調整値	備考	写真回数
1	G116	平瓦	1	SK338-3層	28.3 25.5 (21.3)	2.1 — —	1973 1.9 —	ナデ、磨砂 ナデ、磨砂 ナデ、磨砂	ナデ	133-1
2	G126	平瓦	1	SK338-3層	28.3 —	21.7 —	1341 —	ナデ、磨砂 ナデ、磨砂	ナデ	133-2
3	G23	平瓦	1	S336-2M	28.3	—	2.1	1079 —	ナデ、磨砂 ナデ、磨砂	133-3
4	G134	平瓦	1	SK338-3M	28.2 (24.0) (22.0)	2.0 — —	1471 — —	ナデ、磨砂 ナデ、磨砂 ナデ、磨砂	ナデ	133-4
5	G32	平瓦	1	S344	28.2	—	2.2	1196 —	ナデ、磨砂 ナデ、磨砂	133-5
6	G125	平瓦	1	SK338-3層	28.2 —	— —	1.7 —	1158 ナデ、磨砂 ナデ、磨砂	ナデ	134-1
7	G136	平瓦	1	SK343	27.9	—	1.7	990 ナデ、磨砂	ナデ	134-2

第201図 出土遺物 平瓦(4)



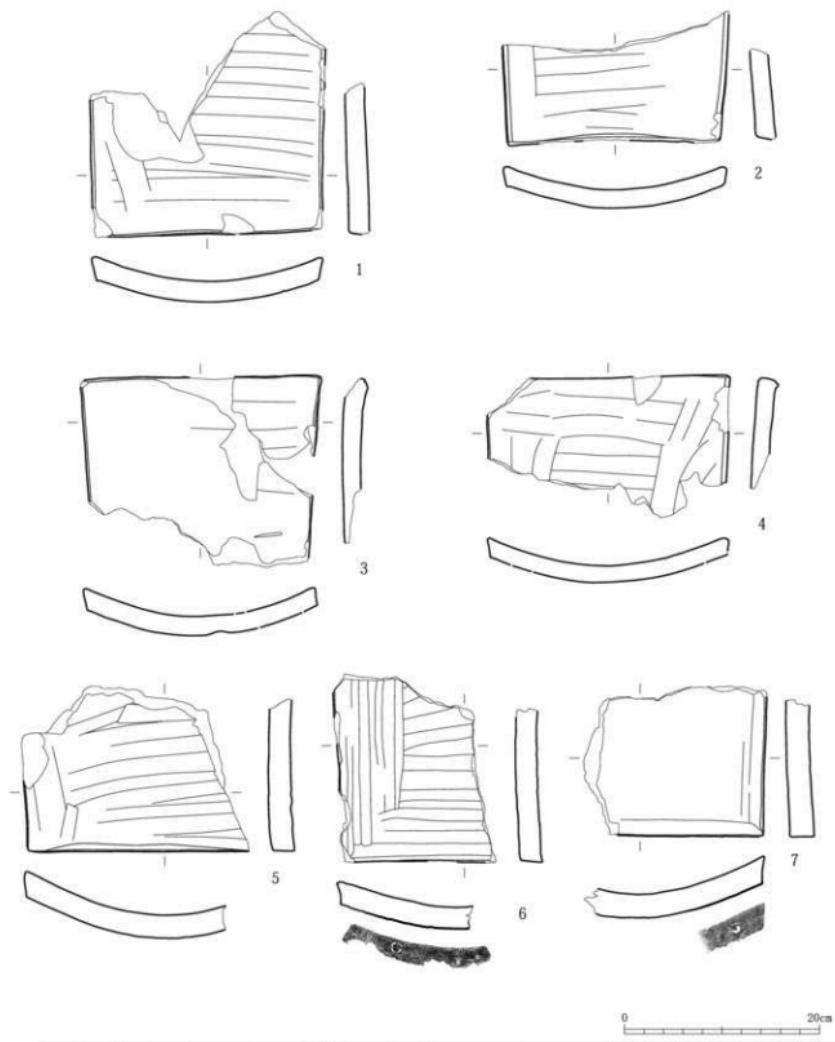
図版番号	登録番号	種類	分類	遺構・層位	法 量(cm)	重 量(g)	凸面調査値	凹面調査値	備 考	写真版	
1	G120	平瓦	1	SK338-3層	27.8	—	1.9	1608	ナデ、灘砂	134-3	
2	G139	平瓦	1	P41-1層	27.8	—	2.0	869	ナデ、灘砂	134-4	
3	G121	平瓦	1	SK338-3層	27.7	26.1	(22.5)	2.0	1885	ナデ、灘砂?	134-5
4	G112	平瓦	1	史跡-御陵跡	27.6	—	2.0	932	ナデ、灘砂	134-6	
5	G128	平瓦	1	SK338-3層	27.5	—	1.9	1002	ナデ、灘砂	135-1	
6	G124	平瓦	1	SK338-3層	27.4	—	2.0	1169	ナデ、灘砂	135-2	
7	G129	平瓦	1	SK338-3層	27.4	—	1.8	935	ナデ	135-3	

第202図 出土遺物 平瓦(5)



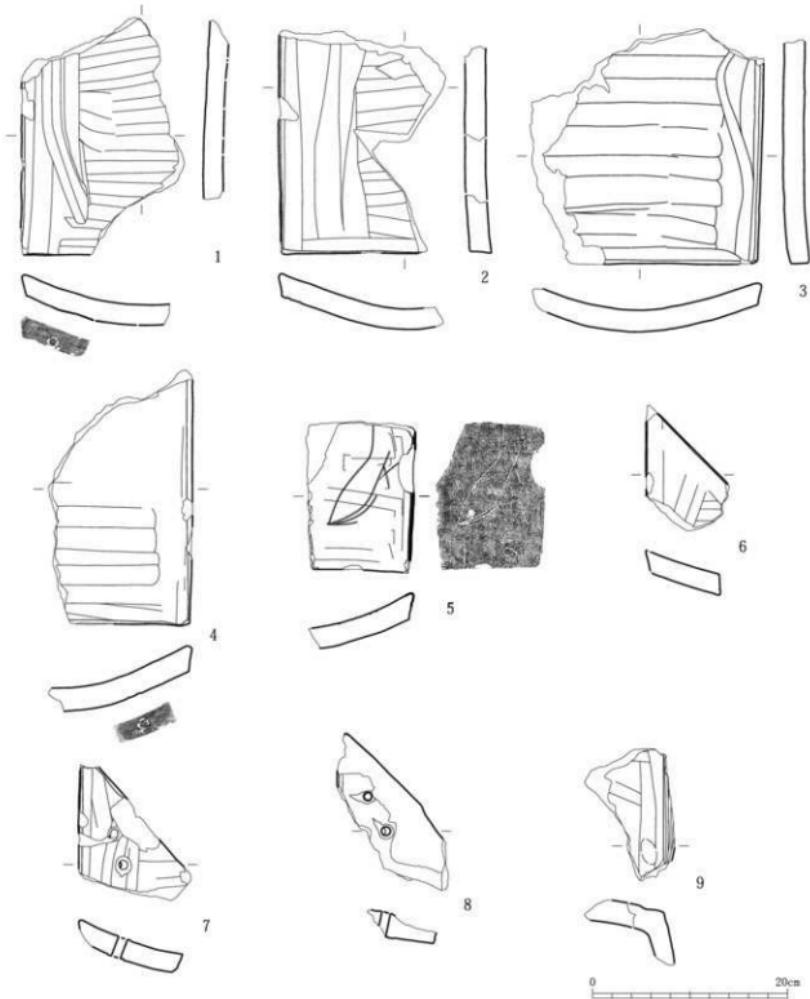
出土地番号	登記番号	種類	分類	遺構・層位	法 量(cm)	重 量(g)	凸面調整値	凹面調整値	備 考	写真番号	
1	G113	平瓦	1	SK339-5086	27.3	—	2.3	1965	ナデ、磨砂	135-4	
2	G131	平瓦	1	SK339-5087	27.0	—	1.7	1048	ナデ、磨砂	135-5	
3	G132	平瓦	1	SK338-5088	27.0	—	1.6	857	ナデ、磨砂	135-6	
4	G28	平瓦	1	SK42	26.8	—	2.6	1324	ナデ、磨砂	136-1	
5	G137	平瓦	1	SK43	26.6	—	2.0	992	ナデ、磨砂	136-3	
6	G30	平瓦	1	SD44-7187	—	28.7	—	2.3	2195	ナデ、磨砂	136-5
7	G20	平瓦	1	SD35-5036	—	29.5	—	2.3	1302	ナデ、磨砂	136-6
8	G31	平瓦	1	SK44	—	(28.5)	2.2	1017	ナデ	137-1	

第203図 出土遺物 平瓦(6)



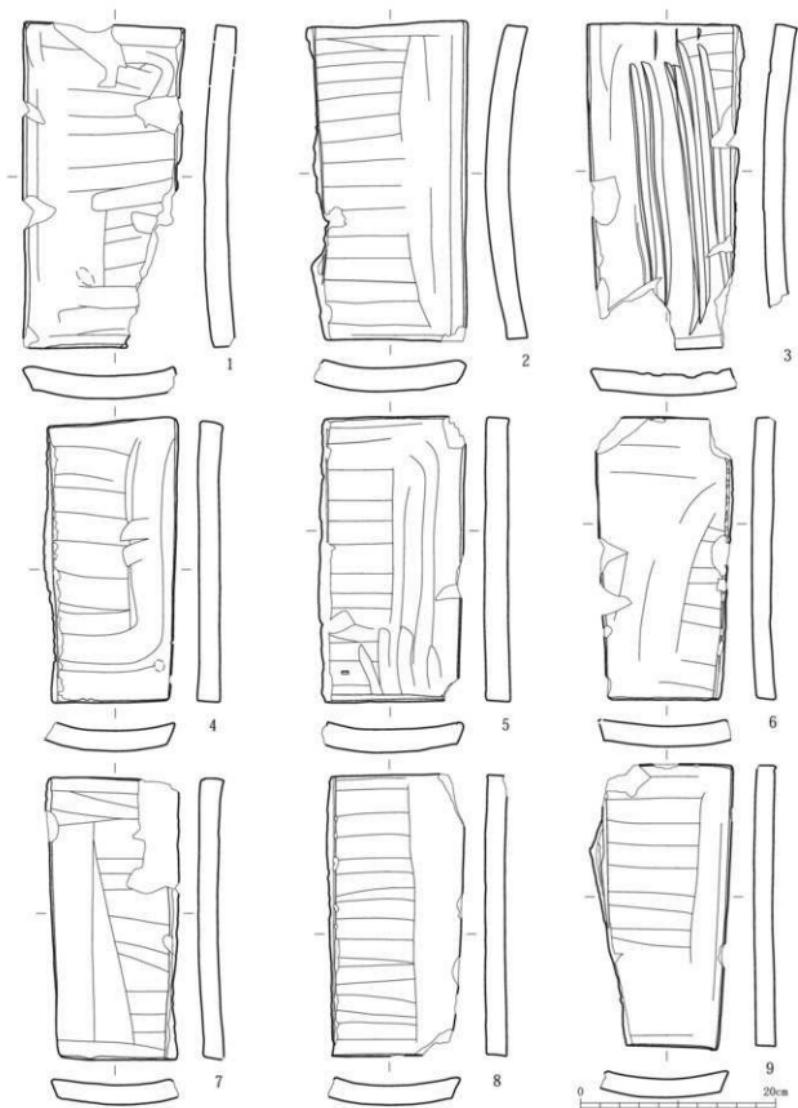
第204図 出土遺物 平瓦（7）

図版番号	登録番号	種類	分類	遺構・崩壊	法寸(㎝)			凸面調整柾	凹面調整柾	備考	写真番号
					長さ	広場幅	狭場幅				
1	G119	平瓦	I	SK338-3崩	—	23.7	2.1	1374	ナデ、離砂	ナデ	136-4
2	G130	平瓦	I	SK338-3崩	—	21.8	1.9	731	ナデ	ナデ	137-2
3	G133	平瓦	I	SK338-3崩	24.7	—	2.0	1152	ナデ	ナデ	136-2
4	G127	平瓦	I	SK338-3崩	(25.0)	—	1.8	668	ナデ、離砂	ナデ	137-3
5	G19	平瓦	I	SK333・SK306	—	—	2.4	1199	ナデ、離砂	ナデ	137-4
6	G21	平瓦	I	SK333・SK306	—	—	2.2	933	ナデ、離砂	ナデ	137-5
7	G25	平瓦	I	SK42	—	—	2.4	1050	ナデ、コピキ面	ナデ	137-6



開版番号	作縁番号	種類	分類	遺構・部位	法基(cm)			重量(g)	凸面調滑他	凹面調滑他	備考	写真図版
					長さ	広場幅	狭場幅					
1	G29	平瓦	1	S442	—	—	—	2.1	920	ナデ	小口に刻印あり	13B-1
2	G35	平瓦	1	SK224-1層	—	—	—	2.3	1067	ナデ、磨砂	ナデ	13B-2
3	G36	平瓦	1	SK229-1層	—	—	—	2.2	1721	ナデ	ナデ	13B-3
4	G41	平瓦	1	横瓦	—	—	—	2.4	1212	ナデ、磨砂	ナデ	13B-4
5	G40	平瓦	1	直縁	—	—	—	2.2	601	ナデ	ナデ、輪削	13B-5
6	G27	平瓦	3	S442	—	—	—	2.0	197	ナデ、磨砂	ナデ	13B-6
7	G39	平瓦	3	小溝部8割15	—	—	—	2.2	296	ナデ	輪切、鋸六辺形所あり	13B-7
8	G114	平瓦	3	SK11-6層	—	—	—	2.2	213	ナデ	輪切、鋸六辺形所あり	13B-8
9	H135	伏間瓦	3	SK11-6層	—	—	—	2.3	293	ナデ	ナデ、磨砂	13B-9

第205図 出土遺物 平瓦(8)・伏間瓦



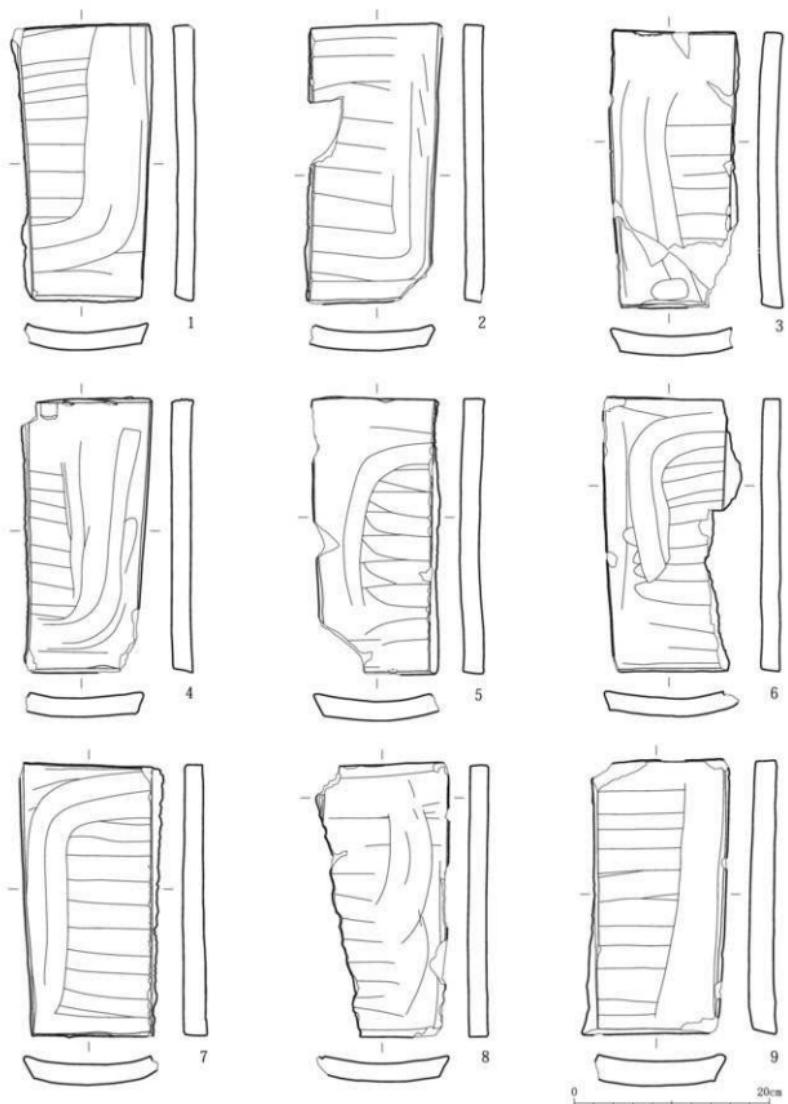
図版番号	標記番号	種類	分類	遺構・層位	法 量(cm)	重 量(g)	凸面調整板	凹面調整板	備 考	写真回数
1	羽14	熨斗瓦	10D	SB42	33.4 16.5 2.4	1150 ナデ、磨砂	ナデ	分割面被熱	139-1	
2	羽17	熨斗瓦	10D	SB42	33.1 16.5 2.5	1854 ナデ、磨砂	ナデ	分割面被熱	139-2	
3	羽19	熨斗瓦	10D	SB42	33.3 15.8 (13.0)	2.2 1476 ナデ、磨砂	ナデ	ヘラによる削離	139-3	
4	羽12	熨斗瓦	10D	SD41-2崩	29.2 13.2 12.0	2.1 1255 ナデ、磨砂	ナデ	削成後分割	139-4	
5	羽9	熨斗瓦	10D	SD36-2崩	29.1 14.8 14.0	2.5 1470 ナデ、磨砂	ナデ	分割面被熱	139-5	
6	H24	熨斗瓦	10D	SD44	26.9 (13.8) 11.4	2.2 1117 ナデ、磨砂	ナデ	削成後分割	139-6	
7	H34	熨斗瓦	10D	SB3-1崩	28.9 (13.5) 12.0	2.0 1098 —	ナデ	削成後分割	140-1	
8	H28	熨斗瓦	10D	SB3-1崩	28.8 — —	2.1 1137 ナデ	ナデ	削成後分割	140-2	
9	H31	熨斗瓦	10D	SB3-1崩	28.8 — —	2.1 1090 ナデ、磨砂	ナデ	削成後分割	140-3	

第206図 出土遺物 熨斗瓦(1)



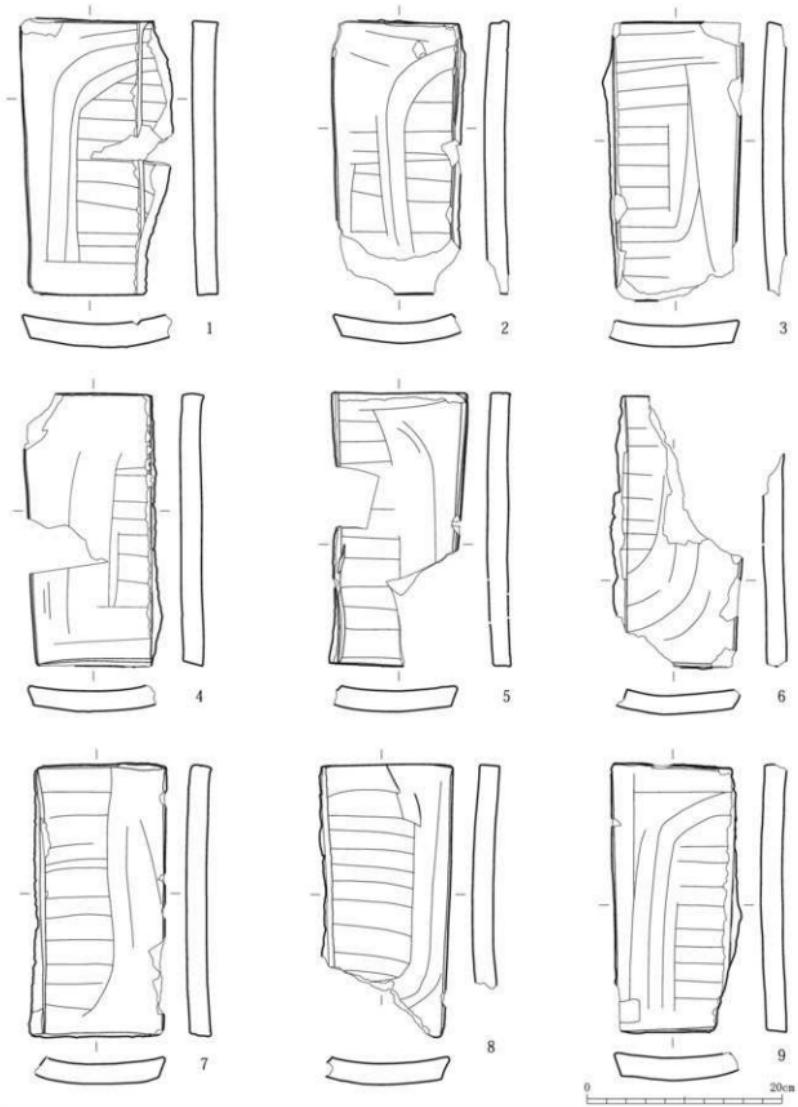
試験番号	登録番号	種類	分類	遺構・層位	法 長さ	法 広幅	法 厚さ	重量(g)	凸面調整部	凹面調整部	備考	写真図版
1	H43	熨斗瓦	10D	SK290-1層	28.8	(15.5)	12.8	1.9	なし	なし	焼成後分割、小口に刺印あり	140-4
2	H21	熨斗瓦	10D	S044	25.7	(18.0)	12.0	2.1	なし	なし	焼成後分割	140-5
3	H32	熨斗瓦	10D	S039-1層	28.7	13.8	2	—	なし	なし	焼成後分割	140-6
4	H38	熨斗瓦	10D	S039-1層	28.7	(14.6)	12.2	2.1	1192	なし	焼成後分割	141-1
5	H23	熨斗瓦	10D	S044	28.6	13.5	(12.1)	2.5	1210	なし	焼成後分割	141-2
6	H41	熨斗瓦	10D	横比道明	26	(14.0)	11.7	2.1	1054	なし	焼成後分割	141-3
7	H144	熨斗瓦	10D	SD76-1層	28.6	15.4	11.8	2.5	1081	なし	焼成後分割	141-4
8	H9	熨斗瓦	10D	SD36-2層	28.4	(18.3)	(12.4)	2.0	874	なし	分割面被熱	141-5
9	H37	熨斗瓦	10D	S039-1層	28.4	14.3	11.8	2.0	1082	なし	焼成後分割	141-6

第207図 出土遺物 熨斗瓦（2）



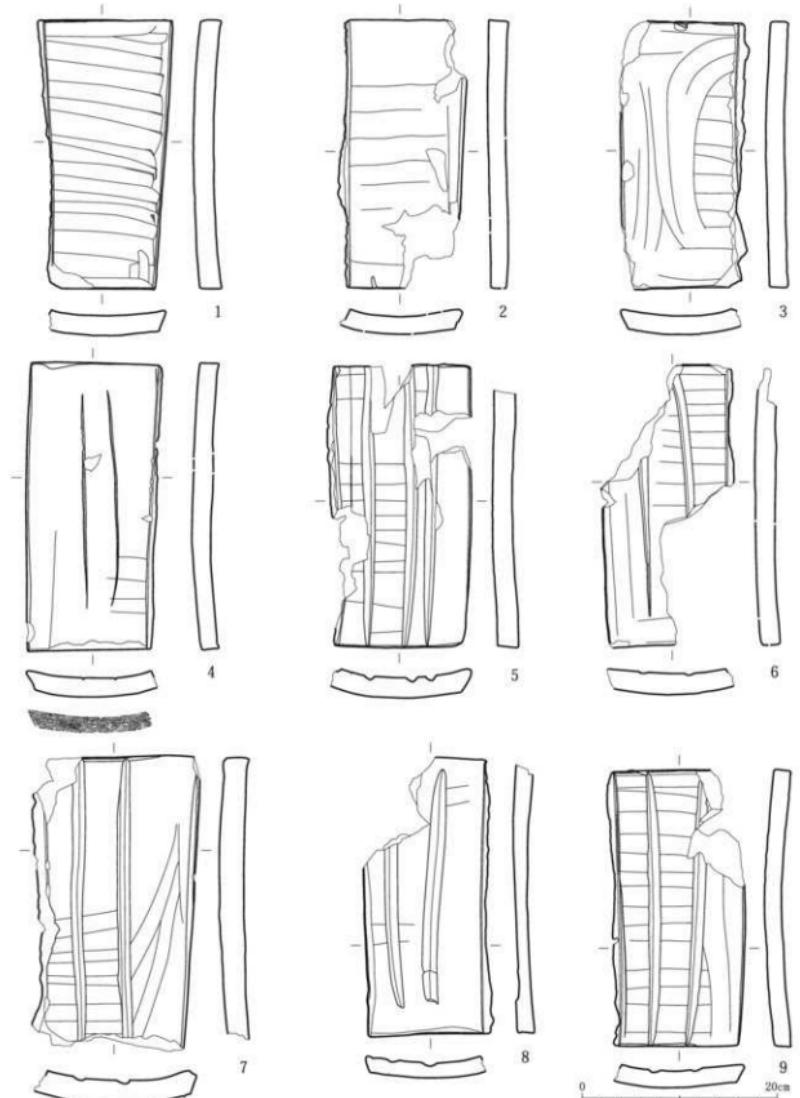
図版番号	登録番号	種類	分類	遺構・層位	法量(cm)	重量(g)	凸面調査色	凹面調査色	備考	写真回数
1	H13	熨斗瓦	10D	SB41-1層	26.3 14.3 12.1	2.1 1066	ナデ、難砂	ナデ	分割面無黒	142-1
2	039	熨斗瓦	10D	SB39-1層	26.3 13.4 —	2.0 1015	ナデ、難砂	ナデ	側面後縁黒	142-2
3	H22	熨斗瓦	10D	SB44	26.2 13.3 (11.5)	2.1 1061	ナデ、難砂	ナデ	側面後縁黒	142-3
4	H27	熨斗瓦	10D	SB39-1層	26.1 (14.5) (11.5)	2.1 1084	ナデ、難砂	ナデ	側面後縁黒	142-4
5	029	熨斗瓦	10D	SB39-1層	26.1 13.0 (11.8)	2.1 1074	ナデ、難砂	ナデ	分割面無黒	142-5
6	H5	熨斗瓦	10D	SB6	26.0 12.8 11.6	2.0 947	ナデ、難砂	ナデ	側面後縁黒	142-6
7	H5	熨斗瓦	10D	SB36-2層	26.0 15.1 12.3	2.3 1280	ナデ、難砂	ナデ	側面後縁黒	143-1
8	H11	熨斗瓦	10D	SB36-2層	26.0 (12.8) 6.2	2.0 940	ナデ、難砂	ナデ	側面後縁黒	143-2
9	H20	熨斗瓦	10D	SB44	26.0 (13.8) 13.8	2.9 1377	ナデ、難砂	ナデ	側面後縁黒	143-3

第208図 出土遺物 熨斗瓦 (3)



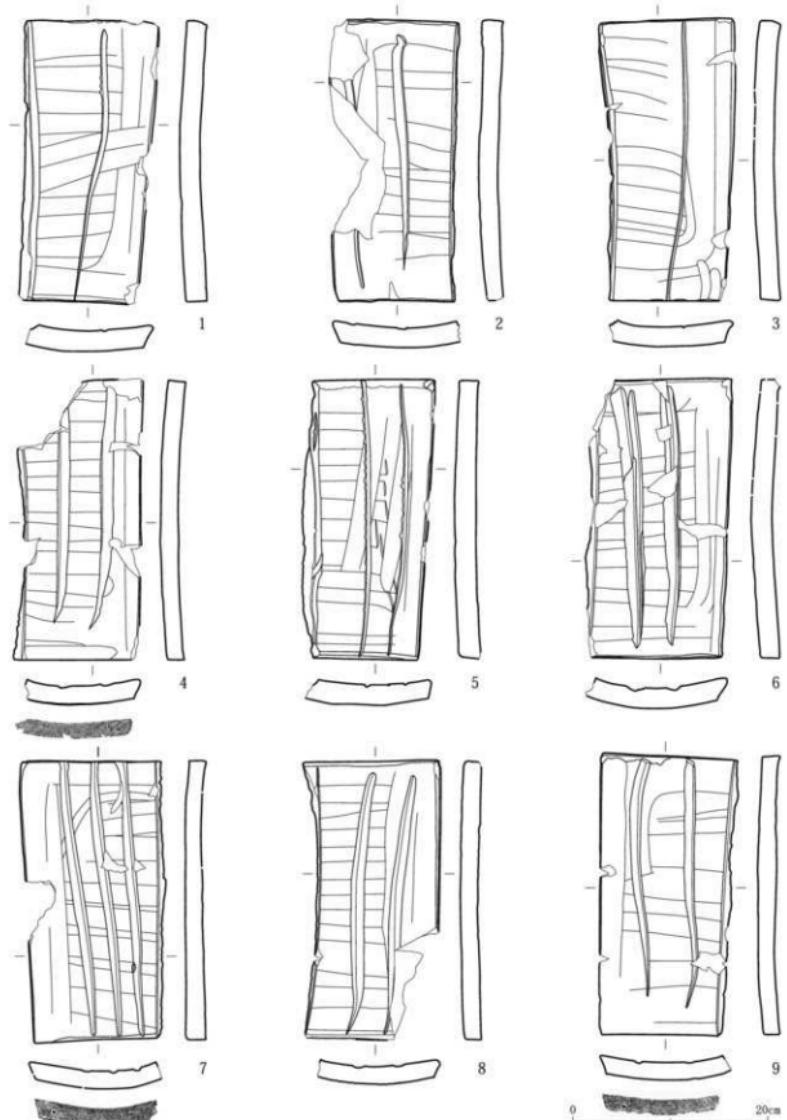
国宝番号	後継番号	種類	分類	遺構・部位	法量(cm)			凸面調整値	凹面調整値	備考	写真図版
					長さ	広場幅	狭場幅				
1	H33	熨斗瓦	100	SXB-1側	28.0	—	2.4	1382	ナデ	ナデ	焼成後分割
2	H40	熨斗瓦	100	1号埴跡	28.0	—	2.1	1139	ナデ	ナデ	焼成後分割
3	H42	熨斗瓦	100	SXB-1側	28.0	(12.5)	(12.0)	2.1	1167	ナデ、離砂	焼成後分割
4	H35	熨斗瓦	100	SXB-1側	27.9	(13.2)	11.6	2.1	1069	ナデ	焼成後分割
5	H49	熨斗瓦	100	SXB-1側+0側	27.9	15.9	(12.0)	2.1	1178	ナデ、離砂	焼成後分割
6	H47	熨斗瓦	100	四面焼成跡	27.9	—	—	2.9	732	ナデ	焼成後分割
7	H8	熨斗瓦	100	SXB-2側	27.8	13.4	13.1	2.0	1225	ナデ、離砂	焼成後分割
8	H30	熨斗瓦	100	SXB-1側	27.8	13.5	—	2.7	1054	ナデ、離砂	焼成後分割
9	H7	熨斗瓦	100	SXB-2側	27.6	12.8	11.2	2.3	1155	ナデ、離砂	焼成後分割

第209図 出土遺物 熨斗瓦(4)



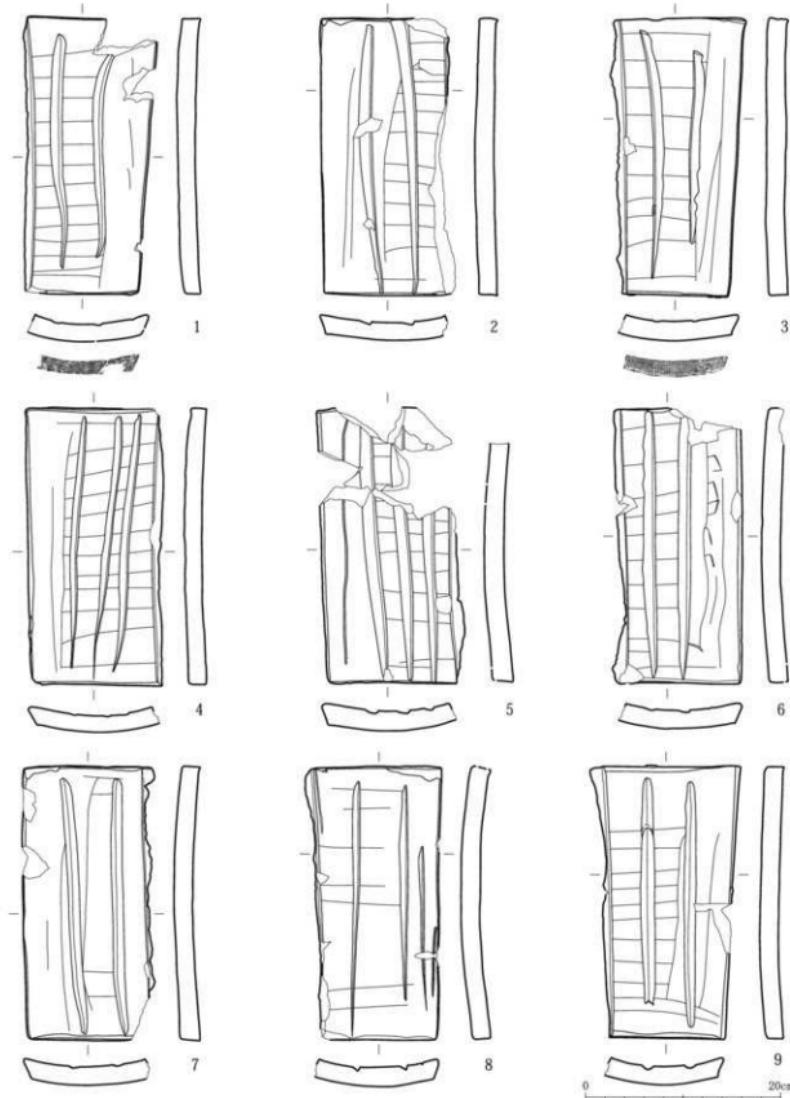
図版番号	登録番号	種類	分類	遺構・層位	法量(cm)			重量(g)	凸面調整物	凹面調整物	備考	写真回数	
					長さ	広端幅	狭端幅						
1	R25	熨斗瓦	YOD	SD45-2層	27.5	13.8	11.0	2.2	1142	ナデ、離砂	ナデ	焼成後分割	145-1
2	R137	熨斗瓦	YOD	SD52-2層	27.5	(13.0)	(11.5)	2.0	703	ナデ、離砂	ナデ	焼成後分割	145-2
3	R10	熨斗瓦	YOD	SD36-2層	27.3	(13.0)	(12.8)	2.0	969	ナデ、離砂	ナデ	焼成後分割	145-3
4	R155	熨斗瓦	YOD	SK343	29.4	13.1	12.6	2.0	1139	ナデ、離砂	ナデ、ヘラによる削継	焼成後分割、小口に削印あり	145-4
5	R164	熨斗瓦	YOD	SK343-1層	29.0	14.0	13.0	2.3	1139	ナデ、離砂	ナデ、ヘラによる削継	焼成後分割	145-5
6	R172	熨斗瓦	YOD	SK345-1層	29.0	(13.5)	(12.0)	2.1	657	ナデ	ナデ、ヘラによる削継	焼成後分割、小口に削印あり	145-6
7	R16	熨斗瓦	YOD	SD42	28.9	—	—	2.5	1709	ナデ	ナデ、ヘラによる削継	分割面離熱	146-1
8	R160	熨斗瓦	YOD	SK343	28.9	(13.0)	12.5	1.8	875	ナデ、離砂	ナデ、ヘラによる削継	焼成後分割	146-2
9	R140	熨斗瓦	YOD	SD52-2層	28.8	—	12.6	1.7	950	ナデ、離砂	ナデ、ヘラによる削継	焼成後分割	146-3

第210図 出土遺物 熨斗瓦(5)



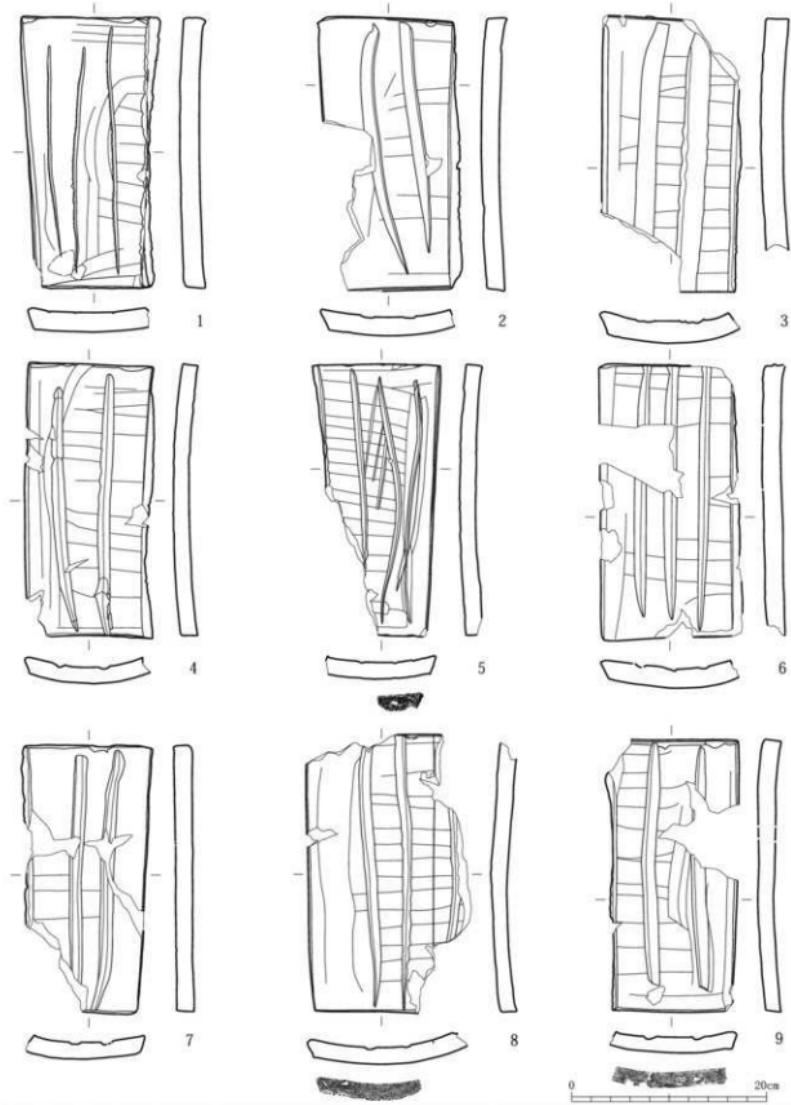
出土地番号	登錄番号	種類	分類	遺構・割位	法量(cm)	重量(g)	凸面調整台	凹面調整台	参考	写真回数
1	H146	熨斗瓦	1D	裏面D-側面縫隙	28.6 13.5 (12.0)	2.1 1265	ナデ、磨砂	ナデ、ヘラによる切削	焼成後分割	146-4
2	H149	熨斗瓦	1D	SK343-1周	28.7 (13.0) 11.9	1.9 1022	ナデ、磨砂	ナデ、ヘラによる切削	焼成後分割	146-5
3	H4	熨斗瓦	1D	SK346-2周	28.6 13.2 10.9	2.0 1077	ナデ、磨砂	ナデ、ヘラによる切削	焼成後分割	146-6
4	H1	熨斗瓦	1D	S26	28.6 (13.2) 12.7	1.9 862	ナデ、磨砂	ナデ、ヘラによる切削	焼成後分割。小口に削りあり	147-1
5	H145	熨斗瓦	1D	裏面D-側面縫隙	28.6 12.5 10.6	2.1 1174	ナデ、磨砂	ナデ、ヘラによる切削	焼成後分割	147-2
6	H158	熨斗瓦	1D	SK341	28.6 (12.1) (13.4)	2.1 1225	ナデ、磨砂	ナデ、ヘラによる切削	焼成後分割	147-3
7	H139	熨斗瓦	1D	S252	28.5 14.2 12.6	1.8 950	ナデ、磨砂	ナデ、ヘラによる切削	焼成後分割。小口に削りあり	147-4
8	H152	熨斗瓦	1D	SK338-1周	28.5 14.0 —	1.8 948	ナデ、磨砂	ナデ、ヘラによる切削	焼成後分割	147-5
9	H153	熨斗瓦	1D	SK343	28.5 14.1 11.8	1.8 1062	ナデ、磨砂	ナデ、ヘラによる切削	焼成後分割。小口に削りあり	147-6

第211図 出土遺物 熨斗瓦(6)



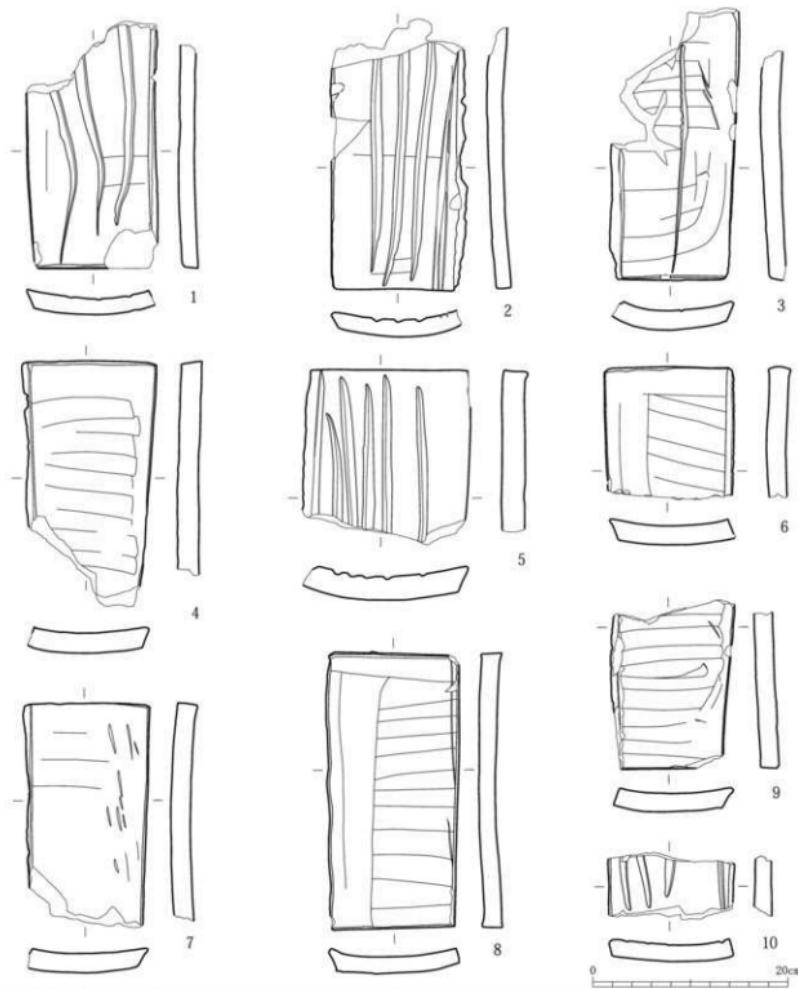
国歴番号	登録番号	種類	分類	遺構・部位	法 庫(cm)			凸面調整値	凹面調整値	備 考	写真版	
					長さ	広幅	狭幅					
1	RH65	熨斗瓦	I(D)	SK343-1脚	28.4	(14.5)	11.5	1.8	904	ナデ、端6	ナデ、ヘラによる削除	148-1
2	RH68	熨斗瓦	I(D)	SK343-1脚	28.4	(13.0)	(13.0)	1.8	1047	ナデ、端6	端成後分割	148-2
3	RH54	熨斗瓦	I(D)	SK343	28.3	13.5	10.3	2.0	1064	ナデ、端6	ナデ、ヘラによる削除	148-3
4	RH59	熨斗瓦	I(D)	SK343	28.3	13.5	13.0	1.7	1103	ナデ、端6	ナデ、ヘラによる削除	148-4
5	RH63	熨斗瓦	I(D)	SK343-1脚	28.2	—	13.0	2.1	952	ナデ、端6	ナデ、ヘラによる削除	148-5
6	RH8	熨斗瓦	I(D)	SD42	28.1	13.0	13.0	2.1	981	ナデ、端6	ナデ、ヘラによる削除	148-6
7	RH67	熨斗瓦	I(D)	SK343-1脚	28.1	13.1	(12.0)	1.9	1132	ナデ、端6	ナデ、ヘラによる削除	149-1
8	RH73	熨斗瓦	I(D)	基脚	28.0	14.0	(11.8)	2.0	1113	ナデ、端6	ナデ、ヘラによる削除	149-2
9	RH5	熨斗瓦	I(D)	SD45-2脚	27.9	15.4	11.8	1.9	1093	ナデ、端6	ナデ、ヘラによる削除	149-3

第212図 出土遺物 熨斗瓦(7)



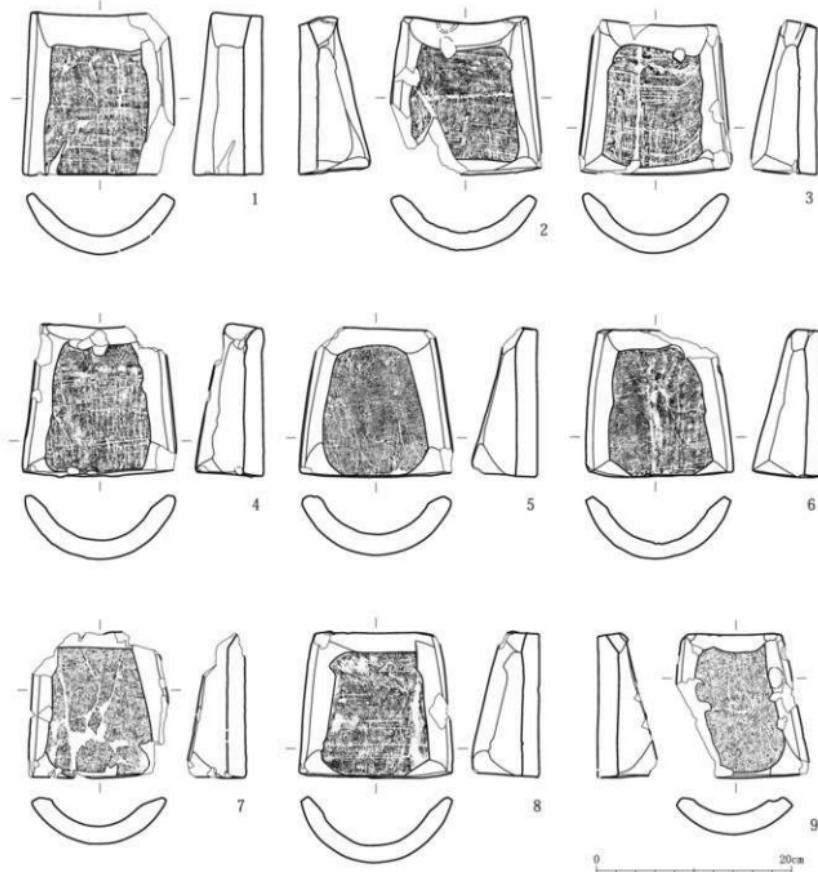
国宝番号	保管番号	種類	分類	遺構・層位	法量(cm)	重量(g)	凸面調整他	凹面調整他	備考	写真図版	
1	HJ51	熨斗瓦	100	SK343-1層	27.9	14.2	11.3	2.0	1159 ナデ、離砂	ナデ、ヘラによる削継 焼成後分割	149-4
2	HJ70	熨斗瓦	100	SK343-1層	27.5	13.9	—	1.9	990 ナデ、離砂	ナデ、ヘラによる削継 焼成後分割	149-5
3	HJ15	熨斗瓦	100	SK442	27.8	—	—	2.3	1054 ナデ、離砂	ナデ、ヘラによる削継 焼成後分割	149-6
4	HJ66	熨斗瓦	100	SK343-1層	27.8	12.8	(12.5)	1.6	915 ナデ、離砂	ナデ、ヘラによる削継 焼成後分割	149-1
5	HJ42	熨斗瓦	100	SK290-1層	27.7	15.1	—	1.7	768 ナデ	ナデ、ヘラによる削継 焼成後分割、小口に削印あり	150-2
6	B44	熨斗瓦	100	SK290-1層	27.7	—	—	2.1	1104 ナデ、離砂	ナデ、ヘラによる削継 焼成後分割	150-3
7	HJ62	熨斗瓦	100	SK343-1層	27.6	13.1	(11.0)	1.7	802 ナデ、離砂	ナデ、ヘラによる削継 分割面焼熱	150-4
8	HJ57	熨斗瓦	100	SK343-1層	28.4	(14.0)	(12.0)	1.7	1045 ナデ、離砂	ナデ、ヘラによる削継 焼成後分割、小口に削印あり	150-5
9	HJ56	熨斗瓦	100	SK343-1層	27.9	(13.0)	(12.0)	1.6	823 ナデ、離砂	ナデ、ヘラによる削継 焼成後分割、小口に削印あり	150-6

第213図 出土遺物 熨斗瓦 (8)



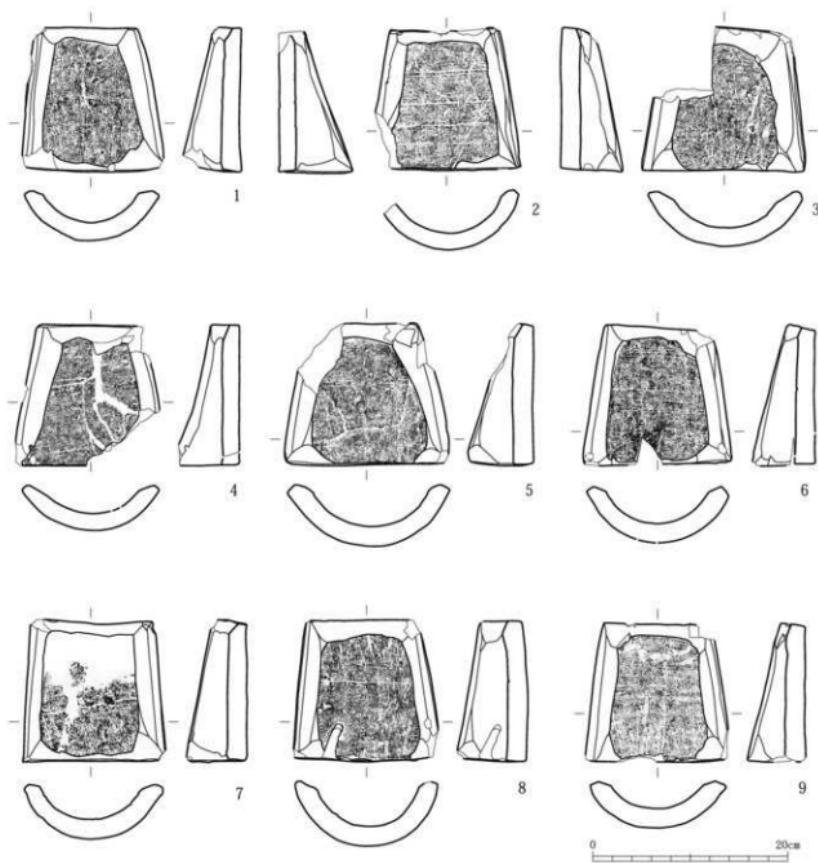
出目(番号)	棟脚番号	種類	分類	遺構・層位	法量(cm)	長さ 広場幅	片端幅	厚さ	重量(g)	凸面調整他	凹面調整他	備考	写真番号
1	HII61	剪斗瓦	1/3	SK343	—	(12.0)	1.6	777	ナデ、磨砂	ナデ、ヘラによる削彫	分割面削彫	151-1	
2	HII71	剪斗瓦	1/3	SK343	—	—	11.8	1.6	933	ナデ、磨砂	ナデ、ヘラによる削彫	151-2	
3	HII41	剪斗瓦	1/3	SDF9-1層	—	—	11.0	2.0	906	ナデ、磨砂	ナデ、ヘラによる削彫	機成後分割	151-3
4	HII38	剪斗瓦	1/3	SD52	—	13.6	—	2.2	948	ナデ、磨砂	ナデ	機成後分割	151-4
5	HII36	剪斗瓦	1/3	SD42	—	(16.5)	—	2.4	1011	ナデ、ヘラカゼリ、磨砂	ナデ、ヘラによる削彫	機成後分割	151-5
6	HII48	剪斗瓦	1/3	相次連續	—	(12.7)	—	2.0	576	ナデ、磨砂	ナデ	分割面削彫	151-6
7	HII50	剪斗瓦	1/3	SK302	—	(12.9)	—	2.0	826	ナデ、磨砂	ナデ	機成後分割	151-7
8	H3	剪斗瓦	1/3	SDF9-SDF6	26.4	(13.4)	12.7	1.9	1048	ナデ、磨砂	ナデ、ヘラ状工具彫	機成前分割	151-8
9	HII6	剪斗瓦	1/3	SD9-2層	—	—	(10.5)	2.0	558	ナデ、磨砂	ナデ	機成前分割	152-1
10	HII43	剪斗瓦	1/3	SDF9-1層	—	—	—	1.8	201	ナデ、磨砂	ナデ	機成前分割	152-2

第214図 出土遺物 剪斗瓦 (9)



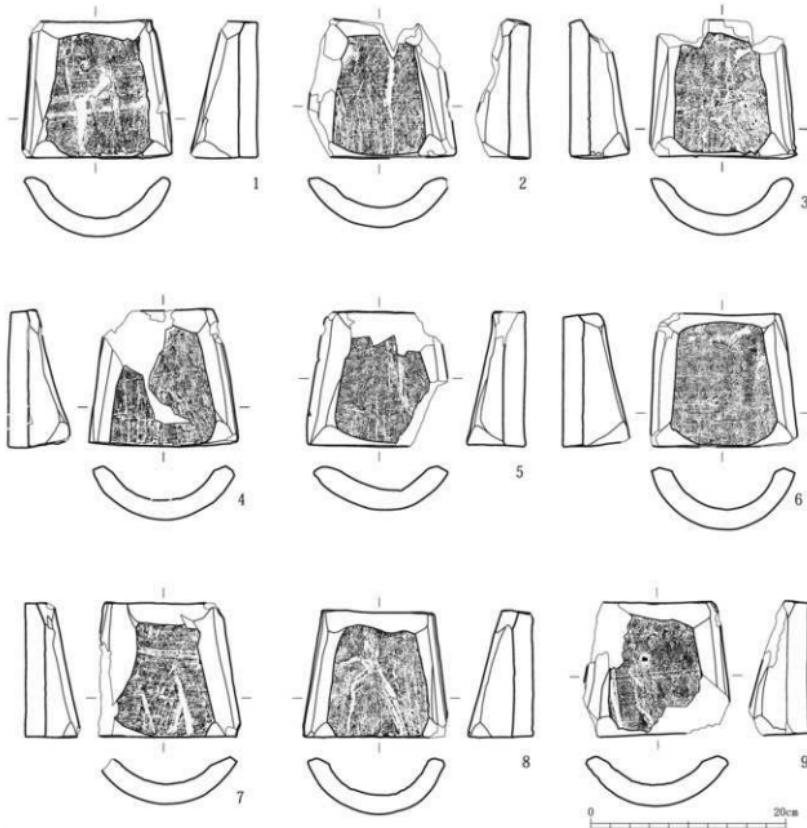
回収番号	性質番号	種類	分類	遺物・部位	法寸(㎝)				重さ(g)	凸面調整	凹面調整地	備考	写真回数
					長さ	広幅	狭幅	高さ					
1	BS4	輪違い	1	SD45-2周	16.7	(15.5)	(14.0)	7.1	1.9	807	ナデ	コビキ底、布目底	152-3
2	BS2	輪違い	1	SK290-1周	16.2	(16.0)	13.0	7.3	1.8	672	ナデ	コビキ底、布目底	152-4
3	BS4	輪違い	1	直縁	15.8	(15.6)	(12.0)	6.8	1.9	764	ナデ	コビキ底、布目底	152-5
4	BS5	輪違い	1	直縁	15.7	(15.7)	(12.0)	7.0	2.0	732	ナデ	コビキ底、布目底	152-6
5	BS7	輪違い	1	S39	15.2	(16.0)	(11.0)	6.7	2.2	718	ナデ	コビキ底、布目底	152-7
6	BS6	輪違い	1	2号輪跡	15.1	15.0	(12.0)	7.1	1.9	608	ナデ	コビキ底、布目底	152-8
7	BS178	輪違い	1	SD76-1周	15.0	—	—	(6.0)	1.8	575	ナデ	コビキ底、布目底	152-9
8	BS6	輪違い	1	直縁	15.0	15.7	12.3	6.9	1.7	677	ナデ	コビキ底、布目底	152-10
9	BS4	輪違い	1	直縁	14.8	—	10.5	6.0	2.1	548	ナデ	コビキ底、布目底	152-11

第215図 出土遺物 輪違い (1)



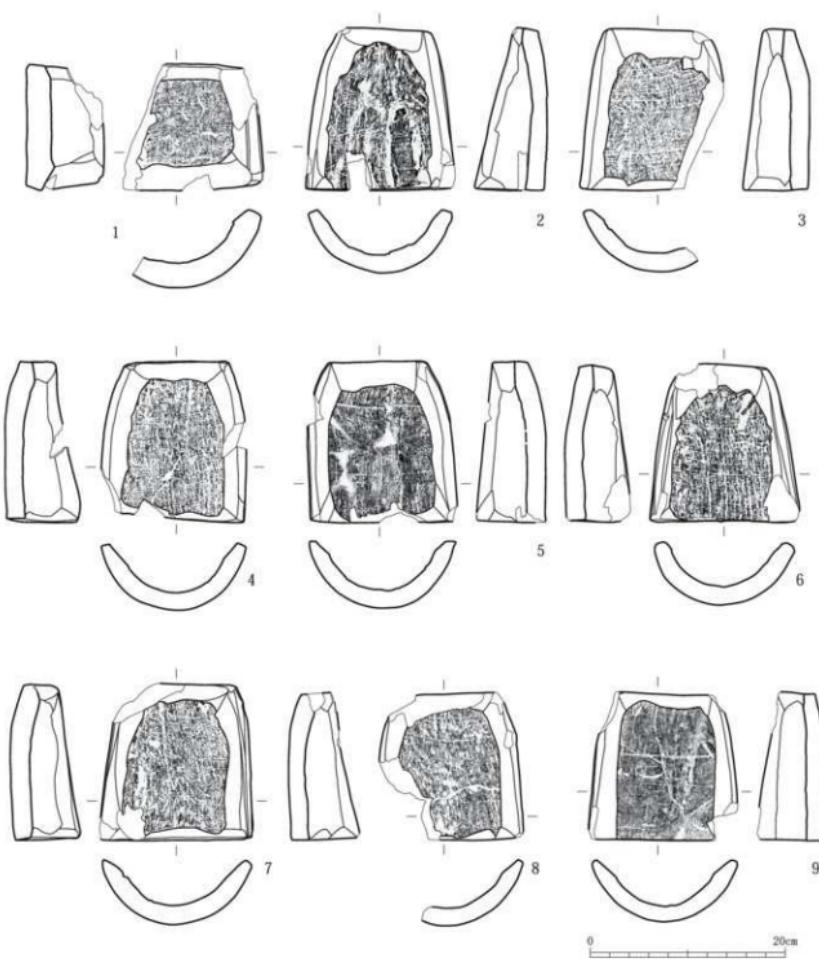
試験番号	登録番号	種類	分類	遺構・部位	法寸 (cm)			重量(g)	凸面調査	凹面調査地	備考	写真例集	
					長さ	広幅	狭幅						
1	858	輪違い	1	SX9-2柄	14.8	(14.5)	7.2	1.8	631	ナデ	コビキ底、布目底	153-12	
2	863	輪違い	1	SX90-1柄	14.8	(15.5)	11.0	7.5	546	ナデ	コビキ底、布目底	153-1	
3	846	輪違い	1	S841	14.6	16.7	(12.5)	(6.4)	611	ナデ	コビキ底、布目底	153-2	
4	8177	輪違い	1	S875-1柄	14.5	—	(11.0)	6.2	1.8	487	コビキ底、布目底	153-3	
5	851	輪違い	1	S844	14.5	16.8	(11.0)	6.8	2.1	736	ナデ	コビキ底、布目底	153-4
6	860	輪違い	1	S89-2柄	14.5	15.2	(11.0)	6.4	2.0	625	ナデ	コビキ底、布目底	153-5
7	873	輪違い	1	1号鍔跡	14.5	(14.7)	(12.3)	6.3	2.0	702	ナデ	コビキ底、布目底	新分付観
8	848	輪違い	1	S844	14.5	(15.0)	(11.5)	7.3	2.1	720	ナデ	コビキ底、布目底	153-7
9	859	輪違い	1	S89	14.3	(14.7)	(11.0)	6.0	2.1	644	ナデ	コビキ底、布目底	153-8

第216図 出土遺物 輪違い（2）



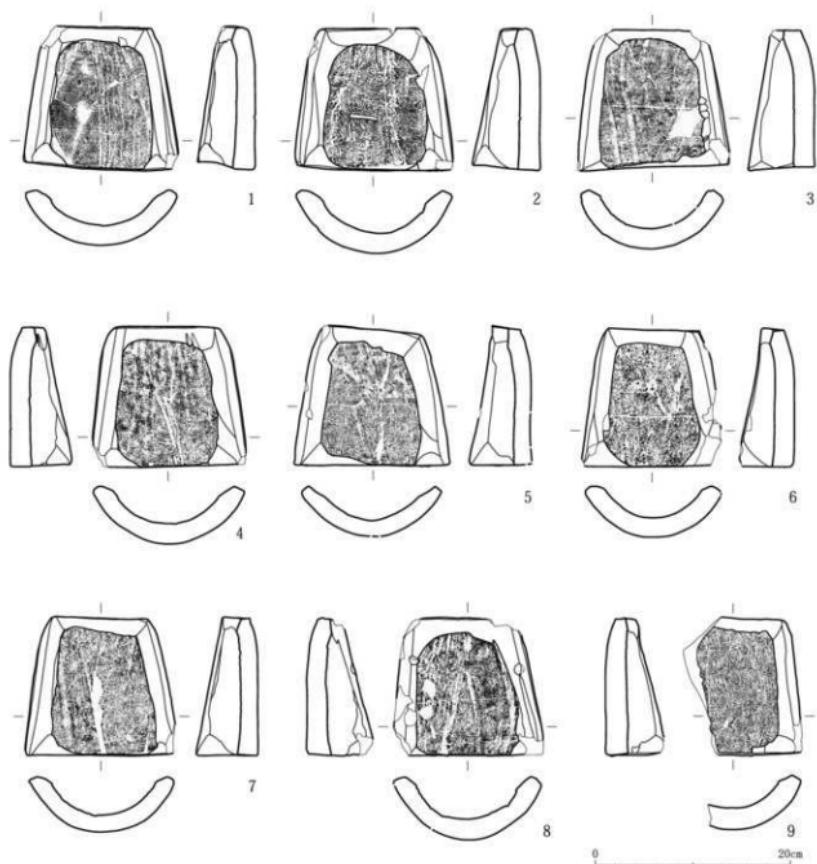
岡坂番号	登録番号	種類	分類	遺構・部位	法寸(㎝)			重量(g)	凸面調整値	凹面調整値	備考	写真図版	
					長さ	広幅部	狹幅部						
1	874	輪違い	1	1号輪跡	14.2	15.3	12.3	7.0	1.9	638	ナデ	コビキ面、布目地	153-9
2	869	輪違い	1	S39-1層	14.2	(15.0)	(11.0)	(6.1)	2.7	626	ナデ	コビキ面、布目地	153-10
3	875	輪違い	1	1号輪跡	14.2	(15.0)	—	6.1	2.0	627	ナデ	コビキ面、布目地	153-11
4	868	輪違い	1	S39-1層	14.0	15.2	(11.0)	6.3	2.1	623	ナデ	コビキ面、布目地	153-12
5	8182	輪違い	1	S3K42-1層	13.8	—	(11.0)	6.0	2.2	539	ナデ	コビキ面、布目地	154-1
6	879	輪違い	1	紙状遺構-3層	13.7	(15.0)	(12.0)	6.9	2.1	717	ナデ	コビキ面、布目地	154-2
7	881	輪違い	1	S39-1層	13.7	(15.0)	11.3	(5.8)	2.1	598	ナデ	コビキ面、布目地	154-3
8	880	輪違い	1	紙状遺構	13.1	(15.0)	11.2	6.7	2.0	619	ナデ	コビキ面、布目地	154-4
9	882	輪違い	1	S39-1層	13.0	(15.0)	(11.0)	(6.0)	2.2	647	ナデ	コビキ面、布目地	154-5

第217図 出土遺物 輪違い (3)



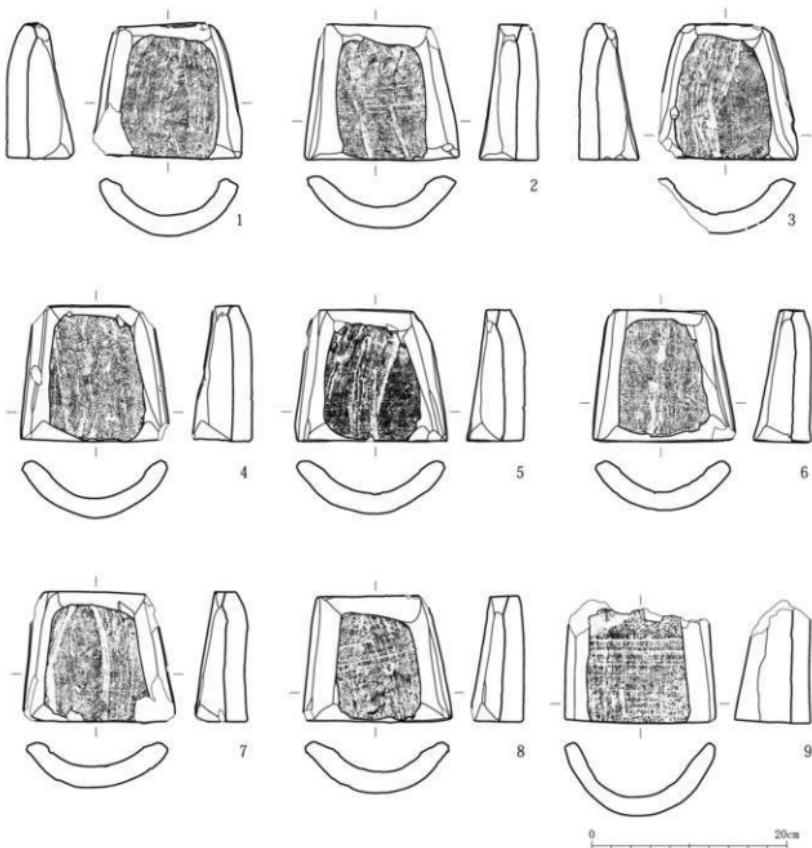
図版番号	登録番号	種類	分類	遺構・部位	法量(cm)			重量(g)	凸面調整	凹面調整	備考	写真番号	
					長さ	広場幅	狭場幅						
1	H170	輪違い	?	SD45	13.0	—	(8.0)	2.6	641	ナデ	コビキ瓶、布口瓶、肩り鉢口瓶	154-6	
2	H55	輪違い	2	SD45-2側	16.7	(15.5)	(9.6)	7.5	1.9	775	ナデ	コビキ瓶、布口瓶	154-7
3	H183	輪違い	2	SD45	16.6	—	(11.3)	6.8	1.9	698	ナデ	コビキ瓶、布口瓶	154-8
4	H57	輪違い	2	SD45-2側	16.6	(15.0)	11.0	7.7	1.8	784	ナデ	コビキ瓶、布口瓶	154-9
5	H53	輪違い	2	SD45-2側	16.5	(15.0)	10.0	(7.2)	2.0	843	ナデ	コビキ瓶、布口瓶	154-10
6	H56	輪違い	2	SD45-2側	16.2	(15.4)	(8.5)	6.7	2.0	735	ナデ	コビキ瓶、布口瓶	154-11
7	H45	輪違い	2	SD45-1側	16.0	(15.3)	(11.5)	7.2	2.0	829	ナデ	コビキ瓶、布口瓶	154-12
8	H175	輪違い	2	SD45-3側	15.2	(11.0)	7.3	1.8	573	ナデ	コビキ瓶、布口瓶	155-1	
9	H174	輪違い	2	SD45-2側	15.2	(15.0)	(11.3)	6.7	1.7	629	ナデ	コビキ瓶、布口瓶、肩り鉢口瓶	155-2

第218図 出土遺物 輪違い(4)



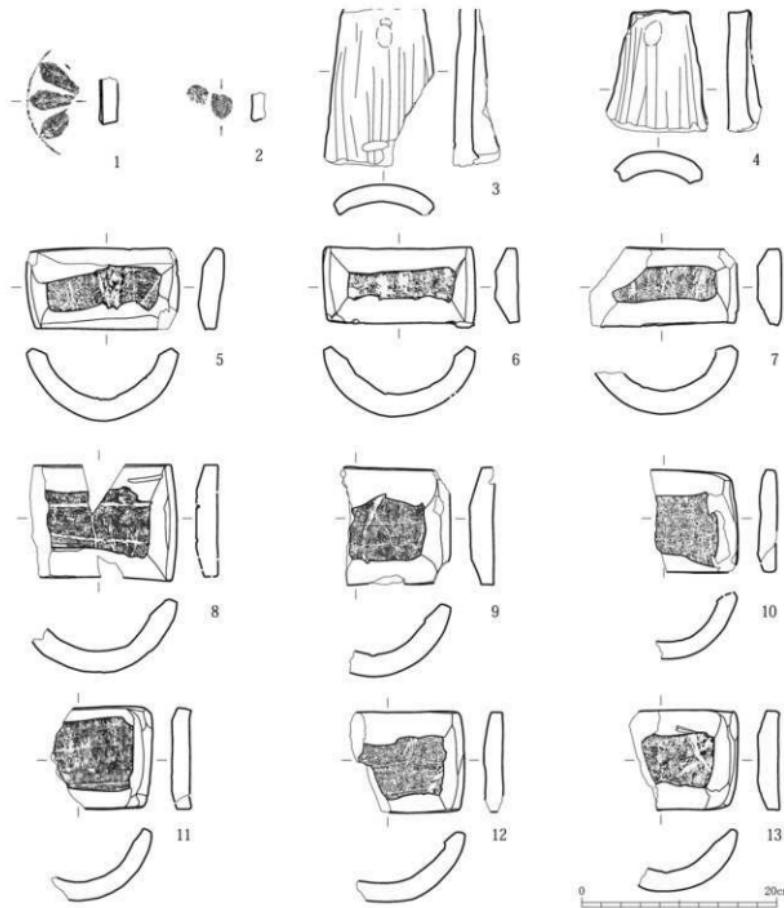
回収番号	登録番号	種類	分類	遺構・部位	寸法(cm)			重量(g)	凸部調整	凹部調整地	備考	写真番号	
					長さ	広幅幅	狭幅幅						
1	849	輪遺い	2	S844	14.7	(16.0)	(11.0)	5.9	2.2	700	ナデ	コビキ底、布目版	155-3
2	852	輪遺い	2	S844	14.6	(16.0)	10.0	7.0	2.2	753	ナデ	コビキ底、布目版	155-4
3	871	輪遺い	2	S89-1層	14.4	15.4	8.0	6.6	2.1	731	ナデ	コビキ底、布目版	155-5
4	878	輪遺い	2	柄状遺構	14.4	(15.6)	10.7	6.3	2.1	685	ナデ	コビキ底、布目版	155-6
5	H180	輪遺い	2	SKC8B-1-3層	14.3	16.0	10.2	6.4	1.7	575	ナデ	コビキ底、布目版	155-7
6	887	輪遺い	2	SK243	14.2	(15.0)	9.8	5.6	2.1	589	ナデ	コビキ底、布目版	155-8
7	850	輪遺い	2	S844	14.2	(15.5)	9.7	6.3	1.9	594	ナデ	コビキ底、布目版	155-9
8	865	輪遺い	2	S89-1層	14.2	(15.5)	(11.0)	6.8	2.1	618	ナデ	コビキ底、布目版	155-10
9	H179	輪遺い	2	SK11-8-9層	14.1	—	—	—	2.2	493	ナデ	コビキ底、布目版	155-11

第219図 出土遺物 輪遺い(5)



出土地番号	件名番号	種類	分類	遺傳・層位	法寸(㎝)			重さ(g)	凸面調整	凹面調整地	備考	写真番号	
					長さ	広場幅	狭場幅						
1	870	輪違い	2	S39-1層	14.0	(15.0)	8.9	5.8	2.1	660	ナデ	コビキ板、布口板	156-12
2	864	輪違い	2	S39-1層	13.9	15.8	10.2	6.0	2.1	522	ナデ	コビキ板、布口板	156-1
3	866	輪違い	2	S39-1層	13.9	(14.5)	8.1	6.1	2.1	679	ナデ	コビキ板、布口板	156-2
4	863	輪違い	2	S39-1層	13.9	(15.0)	(11.0)	6.1	2.0	636	ナデ	コビキ板、布口板	156-3
5	877	輪違い	2	積砂遺構	13.5	15.3	9.6	5.9	2.1	627	ナデ	コビキ板、布口板	156-4
6	847	輪違い	2	5D41	13.5	(14.5)	(9.5)	5.9	1.8	577	ナデ	コビキ板、布口板	156-5
7	887	輪違い	2	直側	13.3	15.5	10.3	5.3	2.1	638	ナデ	コビキ板、布口板	156-6
8	872	輪違い	2	1号埴跡	13.0	14.9	10.4	5.3	2.2	625	ナデ	コビキ板、布口板	156-7
9	8181	輪違い	—	S338-3層	—	15.4	—	7.7	2.0	589	ナデ	コビキ板、布口板	156-8

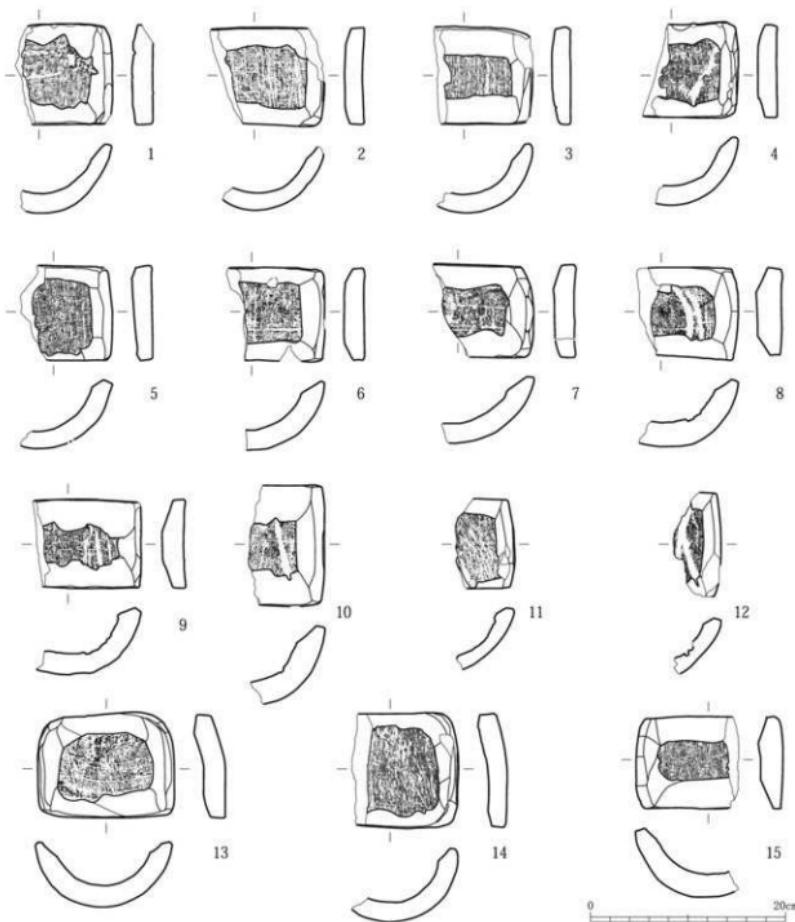
第220図 出土遺物 輪違い (6)



出典番号	登録番号	種類	分類	遺構・部位	長さ(cm)	瓦当部法量(cm)	重量(g)	凸面調整	凹面調整	備考	写真図版
1	RH86	菊丸瓦	A	直縁	—	(13.0)	0.3	96	—	—	156-9
2	RH12	菊丸瓦	A	SB42	—	(13.0)	—	24	—	—	156-10
3	RH11	菊丸瓦	A	SB42	—	—	—	413	ナデ	ナデ	156-11
4	RH85	菊丸瓦	A	SK342-1層	—	—	—	327	ナデ	ナデ	156-12

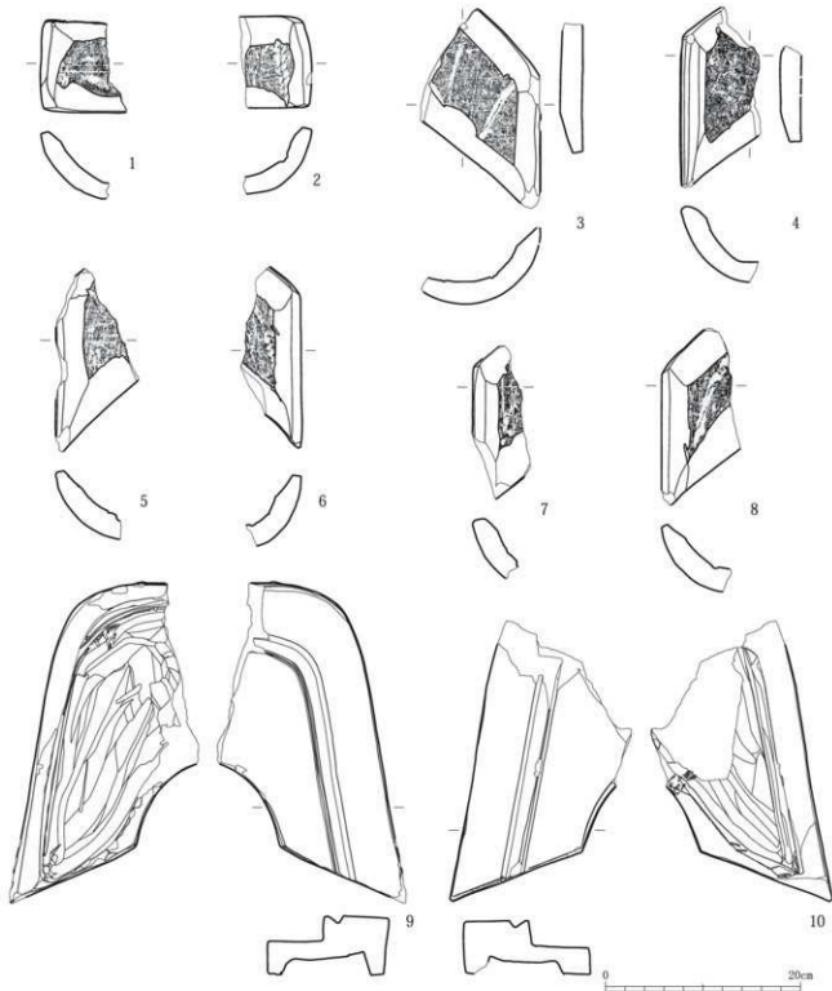
出典番号	登録番号	種類	分類	遺構・部位	法量(cm)	重量(g)	凸面調整	凹面調整	備考	写真図版		
5	RH88	面戸瓦	I	2号縫跡	8.3	15.6	7.4	2.3	440	ナデ	コビキぬ、布日ぬ、端削ケズリ	156-13
6	RH99	面戸瓦	I	2号縫跡	8.3	15.3	7.2	2.5	454	ナデ	コビキぬ、布日ぬ、端削ケズリ	156-14
7	RH100	面戸瓦	I	2号縫跡	8.1	(15.5)	(7.0)	2.4	377	ナデ	コビキぬ、布日ぬ、端削ケズリ	157-1
8	RH95	面戸瓦	I	SB42	11.9	(16.0)	(7.5)	2.3	571	ナデ(縫位)	コビキぬ、布日ぬ、端削ケズリ	157-2
9	RH90	面戸瓦	I	SB42	12.2	(16.4)	(7.4)	2.3	441	ナデ	コビキぬ、布日ぬ、端削ケズリ	157-3
10	RH92	面戸瓦	I	SK338-3層	10.6	(15.0)	(6.8)	2.0	280	ナデ	コビキぬ、布日ぬ、端削ケズリ	157-4
11	RH102	面戸瓦	I	2号縫跡	10.5	(15.0)	(7.5)	1.9	331	ナデ	コビキぬ、布日ぬ、端削ケズリ	157-5
12	RH91	面戸瓦	I	SK338-3層	10.4	(15.8)	(7.2)	2.0	363	ナデ	コビキぬ、布日ぬ、端削ケズリ	157-6
13	RH07	面戸瓦	I	SK290-1層	10.3	(15.6)	(6.4)	2.1	342	ナデ	コビキぬ、布日ぬ、端削ケズリ	157-7

第221図 出土遺物 菊丸瓦・面戸瓦（1）



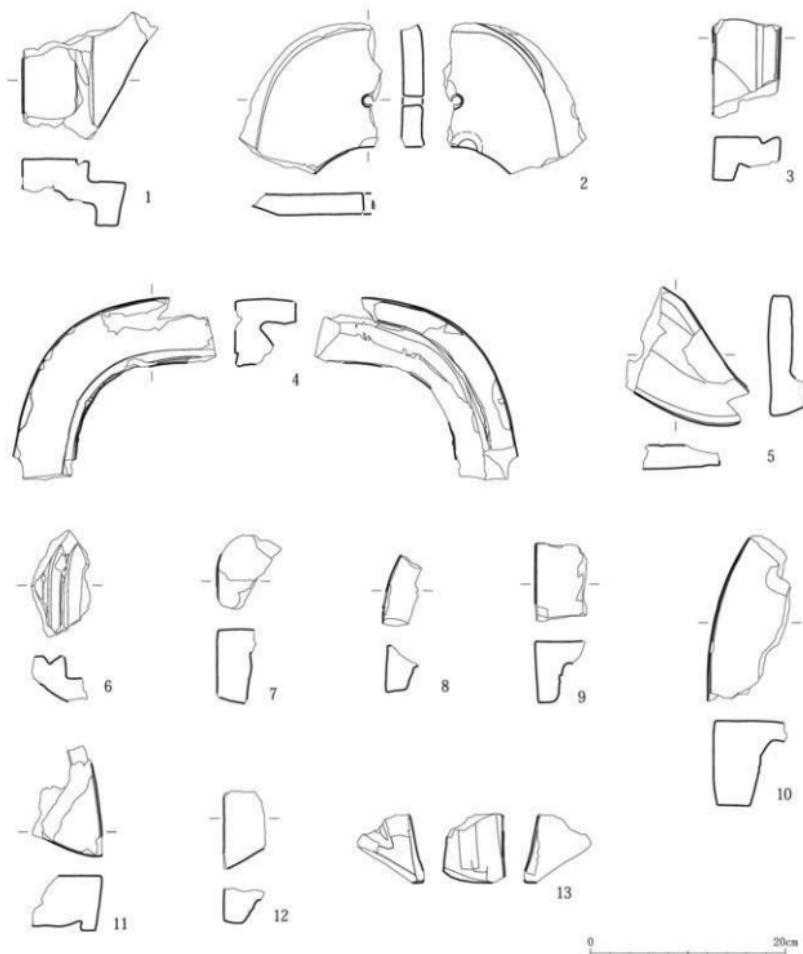
図版番号	登録番号	種類	分類	遺構・崩壊	法量(cm)			重量(g)	凸面調整	凹面調整値	備考	写真番号
					長さ	幅	高さ					
1	E188	面戸瓦	1	S076-1崩	10.2	(15.0)	(7.0)	2.1	311	ナデ	コビキ瓶、布目瓶、端取り鋸刃底、端面ケズリ	157-8
2	E188	面戸瓦	1	S06-1崩	10.1	(14.6)	(7.1)	1.9	336	ナデ	コビキ瓶、布目瓶、端面ケズリ	157-9
3	E190	面戸瓦	1	S076-1崩	10.0	(14.0)	(7.1)	1.9	323	ナデ	コビキ瓶、布目瓶、端面ケズリ	157-10
4	E97	面戸瓦	1	S045-2崩	9.8	(13.6)	(7.0)	2.0	283	ナデ	コビキ瓶、布目瓶、端面ケズリ	157-11
5	E91	面戸瓦	1	S042	9.7	(15.0)	(7.0)	2.0	286	ナデ	コビキ瓶、布目瓶、端面ケズリ	157-12
6	E92	面戸瓦	1	S042	9.6	(15.0)	(7.1)	2.2	269	ナデ	コビキ瓶、布目瓶、端面ケズリ	157-13
7	E89	面戸瓦	1	S042	9.5	(15.5)	(7.0)	2.2	304	ナデ	コビキ瓶、布目瓶、端面ケズリ	157-14
8	E101	面戸瓦	1	2号鏡鉢	9.5	(16.0)	(7.0)	2.5	327	ナデ	コビキ瓶、布目瓶、端面ケズリ	157-15
9	E87	面戸瓦	1	S076-1崩	9.1	(15.0)	(7.0)	2.2	350	ナデ	コビキ瓶、布目瓶、端面ケズリ	157-16
10	E105	面戸瓦	1	SX277-1崩	12.3	—	—	2.6	412	ナデ	コビキ瓶、布目瓶、端取り鋸刃底、端面ケズリ	157-17
11	E195	面戸瓦	1	崩壊	9.2	—	—	1.5	140	ナデ	コビキ瓶、布目瓶、端面ケズリ	158-1
12	E110	面戸瓦	1	側面	—	—	—	1.7	123	ナデ	コビキ瓶、布目瓶、端取り鋸刃底、端面ケズリ	158-2
13	E109	面戸瓦	2	崩壊	10.7	14.0	7.6	2.2	568	ナデ	コビキ瓶、布目瓶、端面ケズリ	157-18
14	E106	面戸瓦	2	SX290-1崩	11.8	(14.0)	(7.5)	2.0	442	ナデ	コビキ瓶、布目瓶、端面ケズリ	157-19
15	E189	面戸瓦	2	S076	9.4	(15.0)	(7.0)	2.5	365	ナデ	コビキ瓶、布目瓶、端面ケズリ	158-3

第222図 出土遺物 面戸瓦(2)



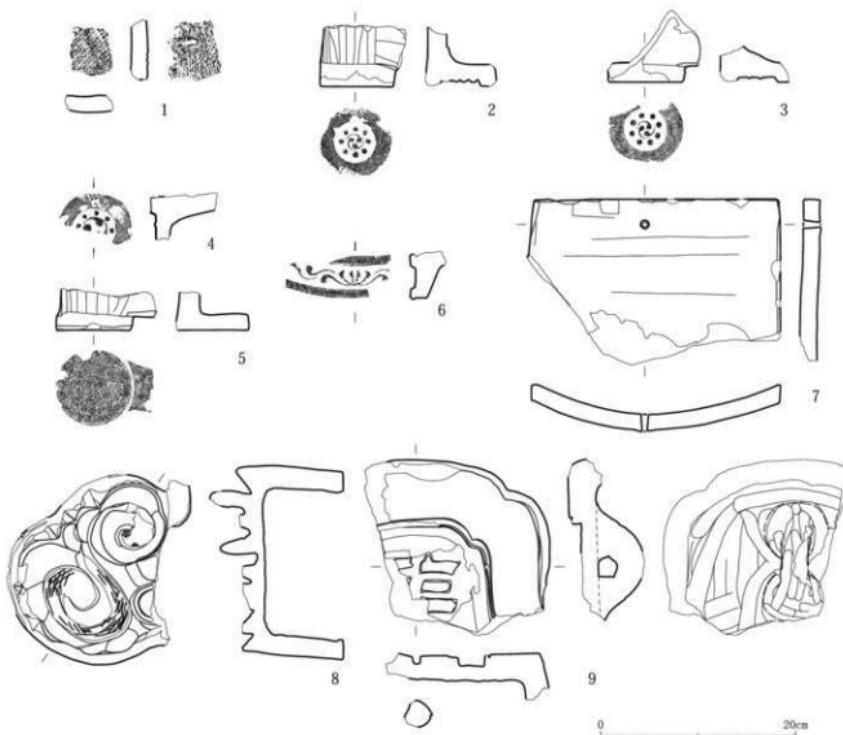
実物番号	管識番号	種類	分類	遺構・部位	法寸(cm)			重量(g)	凸面調整	凹面調整地	備考	写真番号	
					長さ	幅	高さ						
1	R104	面戸瓦	2	SK250	9.4	—	—	2.0	222	ナデ	コビキ面、布目面、隔壁部ケズリ	157-20	
2	R193	面戸瓦	2	SK338-3面	9.4	—	—	2.0	238	ナデ	コビキ面、布目面、切り掛け面、隔壁ケズリ	158-4	
3	R194	面戸瓦	3	隔壁	—	(16.0)	(8.0)	2.2	610	ナデ	コビキ面、布目面、切り掛け面、隔壁ケズリ	158-5	
4	R108	面戸瓦	3	SK207-1面	—	—	(7.8)	2.2	485	ナデ	コビキ面、布目面、切り掛け面、隔壁ケズリ	158-6	
5	R06	面戸瓦	3	SD42	—	—	—	2.3	362	ナデ	コビキ面、布目面、切り掛け面、隔壁ケズリ	158-7	
6	R103	面戸瓦	3	1号隔壁	—	—	—	2.6	366	ナデ	コビキ面、布目面、切り掛け面、隔壁ケズリ	158-8	
7	R04	面戸瓦	3	SD42	—	—	—	2.2	287	ナデ	コビキ面、布目面、切り掛け面、隔壁ケズリ	158-9	
8	R03	面戸瓦	3	SD42	—	—	—	2.4	414	ナデ	コビキ面、布目面、切り掛け面、隔壁ケズリ	158-10	
9	R005	鬼瓦	1?	隔壁	—	—	(32.8)	—	2375	ナデ	ナデ	西窓	158-11
10	R200	鬼瓦	1?	94 無5-0-0000	—	—	—	—	1439	ナデ	ナデ	西窓	158-12

第223図 出土遺物 面戸瓦 (3) · 鬼瓦 (1)



回収番号	登録番号	種類	分類	遺構・部位	法寸(㎝)				重量(g)	凸面調整	凹面調整枠	備考	写真番号
					長さ	幅	高さ	厚さ					
1	RJ01	鬼瓦	1?	SX11-2-6断	—	—	—	—	534	ナデ	ナデ	丸立鬼	158-13
2	RJ08	鬼瓦	1?	S070-1-6断	—	—	—	—	514	ナデ	ナデ		158-14
3	RJ02	鬼瓦	—	SX11-4-6断	—	—	—	—	269	ナデ	ナデ		158-15
4	RJ09	鬼瓦	—	S070-1-6断	—	—	—	—	963	ナデ	ナデ		159-1
5	RJ13	鬼瓦	—	S06	—	—	—	—	355	ナデ	ナデ		159-2
6	RJ06	鬼瓦	—	無網	—	—	—	—	173	ナデ	ナデ		159-3
7	RJ07	鬼瓦	—	無網	—	—	—	—	204	ナデ	ヘタクス		159-4
8	RJ07	鬼瓦	—	SX11-3-6断	—	—	—	—	97	ナデ	ナデ		159-5
9	RJ08	鬼瓦	—	無網	—	—	—	—	248	ナデ	ナデ		159-7
10	RJ06	鬼瓦	—	S063-1-6断	—	—	—	—	991	ナデ	ナデ、ケズリ		159-6
11	RJ04	鬼瓦	—	SK302	—	—	—	—	275	ナデ	ナデ		159-8
12	RJ03	鬼瓦	—	SX11-6-6断	—	—	—	—	123	—	ナデ		159-9
13	RJ14	鬼瓦	—	無網	—	—	—	—	126	ナデ	ナデ		159-10

第224図 出土遺物 鬼瓦（2）



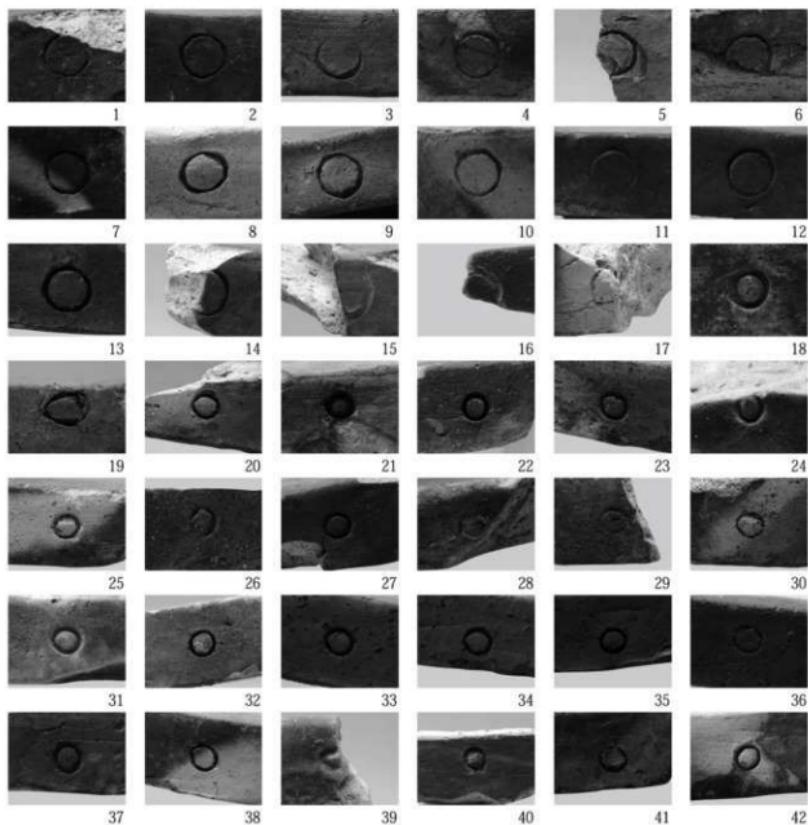
図版番号	登録番号	種類	分類	遺構・部位	法量(cm)		重量(g)	凸面調整値	凹面調整値	参考	写真番号	
					長さ	広場幅	狭場幅	厚さ	長さ	参考		
1	G42	平瓦	—	直筋	—	—	—	1.7	74	鰐口タキ 布目面、糸切り縫	古代	159-11

図版番号	登録番号	種類	文様	分類	遺構・部位	法量(cm)		重量(g)	凸面調整値	凹面調整値	参考	写真番号		
						長さ	小巴法量(cm)	側面法量(cm)	高さ	長さ	参考			
2	HJ19	軒瓦	唐文三巴文	IA	襷瓦	—	7.4	4.4	—	272	ナデ	ナデ	159-12	
3	HJ20	軒瓦	唐文三巴文	IA	襷瓦	—	7.4	4.3	—	226	ナデ	ナデ	159-13	
4	HJ20	軒瓦	唐文三巴文	IA	襷瓦	—	7.8	4.5	—	227	ナデ	ナデ	159-14	
5	HJ20	軒瓦	唐文(右神)	IB	襷瓦	—	7.5	—	—	245	ナデ	ナデ	159-15	
6	HJ18	軒瓦	江戸代用草文	IA	小腰部8-8	—	—	—	4.4	—	154	ナデ	ナデ	159-16

図版番号	登録番号	種類	分類	遺構・部位	法量(cm)		重量(g)	凸面調整値	凹面調整値	参考	写真番号
					長さ	幅	厚さ				
7	HJ21	瓦	2	襷瓦	—	—	1.8	989	ナデ	ナデ	159-17

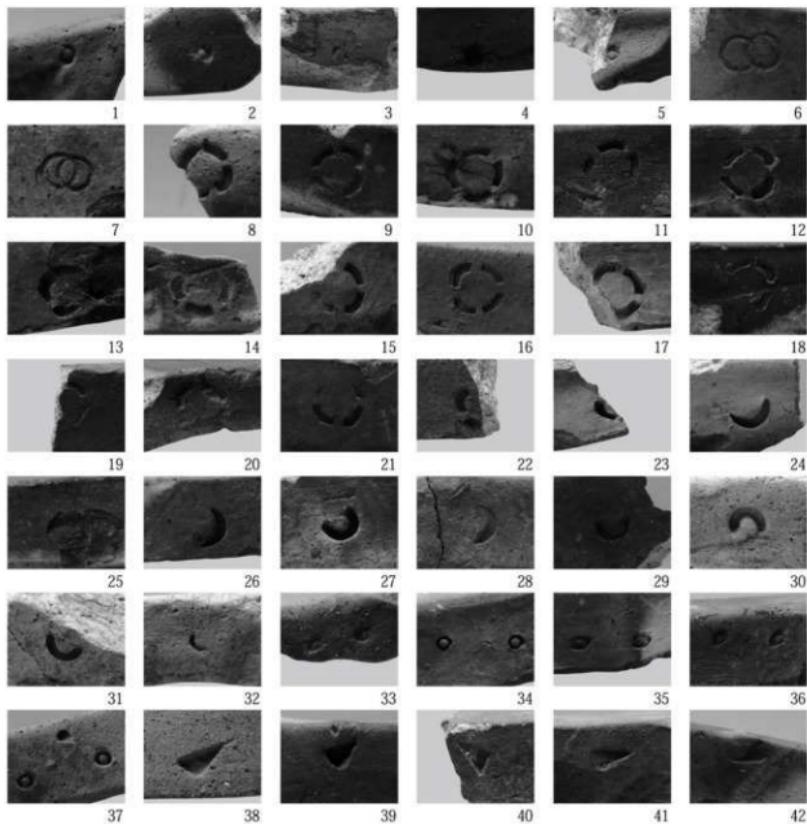
図版番号	登録番号	種類	分類	遺構・部位	法量(cm)		重量(g)	凸面調整	凹面調整	参考	写真番号	
					長さ	幅	厚さ					
8	HJ17	瓦	1?	襷瓦	—	—	—	—	1195	ナデ	ナデ	二つ窓型丸立瓦
9	HJ16	瓦	1	襷瓦	—	—	—	—	1942	ナデ	ナデ	丸窓型、凸面:「瓦」の文字、凹面:竈頭付

第225図 出土遺物 古代・近代の瓦



国版番号	登録番号	種類	分類	遺構・部位	印印位置	備考	国版番号	登録番号	種類	分類	遺構・部位	印印位置	備考
1	G46	平瓦	A1	SB34	小口	径10mm	22	H212	鰐斗瓦	A1	SD52	小口	径7mm
2	G52	平瓦	A1	SD42	小口	径10mm	23	H214	鰐斗瓦	A1	SD76	小口	径7mm
3	G62	平瓦	A1	SD44	小口	径10mm	24	H216	鰐斗瓦	A1	SKX3-1・2組	小口	径7mm
4	G76	平瓦	A1	小溝跡-16	小口	径10mm	25	H224	鰐斗瓦	A1	田刺	小口	径7mm
5	G78	平瓦	A1	田刺	小口	径10mm	26	G42	平瓦	A1?	SD76	小口	径7mm
6	G80	平瓦	A1	田刺	小口	径10mm	27	G61	平瓦	A1	SD43-1・2組	小口	径6mm
7	G86	平瓦	A1	田刺	小口	径10mm	28	G79	平瓦	A1	田刺	小口	径6mm
8	G88	平瓦	A1	田刺	小口	径10mm	29	G43	平瓦	A1	SK11-5組	小口	径6mm
9	G93	平瓦	A1	鰐瓦	小口	径10mm	30	G44	平瓦	A1	SK11-8・9組	小口	径6mm
10	G95	平瓦	A1	鰐瓦	小口	径10mm	31	H129	鰐斗瓦	A1	1号繩跡	小口	径6mm
11	G71	平瓦	A1	2号繩跡	小口	径10mm	32	H32	鰐斗瓦	A1	SK29-1・2組	小口	径6mm
12	H43	鰐斗瓦	A1	SK29-1・2組	小口	径10mm	33	H330	鰐斗瓦	A1	SD52	小口	径6mm
13	H130	鰐斗瓦	A1	SKC53-1・2組	小口	径10mm	34	H533	鰐斗瓦	A1	SK43	小口	径6mm
14	H131	鰐斗瓦	A1	SK372-1・2組	小口	径10mm	35	H54	鰐斗瓦	A1	SK43	小口	径6mm
15	H215	鰐斗瓦	A1	SK11-1組	小口	径(10mm)	36	H555	鰐斗瓦	A1	SK43	小口	径6mm
16	G60	平瓦	A1	SD42	小口	径(10mm)	37	H172	鰐斗瓦	A1	SK345-1・2組	小口	径6mm
17	G53	平瓦	A1	SD42	小口	径(9mm)	38	H217	鰐斗瓦	A1	SK358-3組	小口	径6mm
18	G51	平瓦	A1	SD42	小口	径9mm	39	G68	平瓦	A1	SD45-2組	小口	径6mm
19	H125	鰐斗瓦	A1	SD43-1・2組	小口	径8mm	40	G85	平瓦	A1	田刺	小口	径6mm
20	H146	平瓦	A1	SK11-8・9組	小口	径7mm	41	H1	鰐斗瓦	A1	SD6	小口	径6mm
21	H128	鰐斗瓦	A1	1号繩跡	小口	径7mm	42	H123	鰐斗瓦	A1	SD6	小口	径6mm

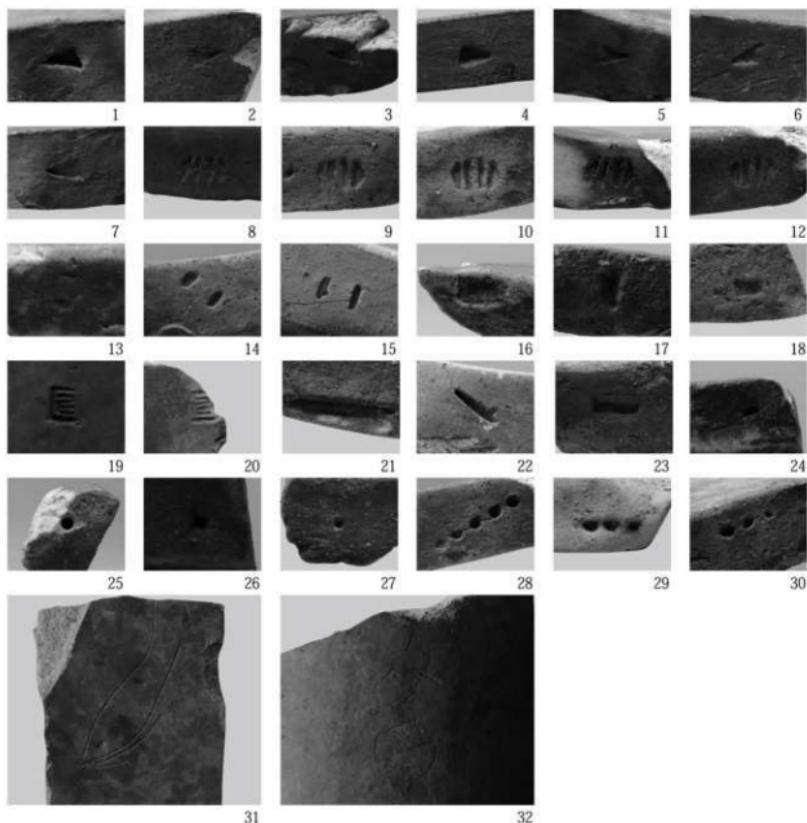
第226図 刻印他集成（1）



出典番号	登録番号	種類	分類	直横・縦位	印印位置	備考
1	R105	鰐牛瓦	A1	SK343-1横	小口	径4mm
2	G149	平瓦	A1	正側	小口	径4mm
3	G47	平瓦	A1	SK947	小口	径3mm
4	G63	平瓦	A1	SK944	小口	径3mm
5	H013	鰐牛瓦	A1	SK952	小口	径3mm
6	G54	平瓦	A2	SK942	小口	径8mmが2つ
7	G64	平瓦	A2	SK944	小口	径8mmが2つ
8	G141	平瓦	A4	SD76-1横	小口	径12mm
9	G145	平瓦	A4	SK11-8+9横	小口	径12mm
10	G29	平瓦	A4	SK942	小口	径11mm
11	G41	平瓦	A4	複数	小口	径11mm
12	G43	平瓦	A4	SB1-30	小口	径11mm
13	G45	平瓦	A4	SB6	小口	径11mm
14	G59	平瓦	A4	SK942	小口	径11mm
15	G65	平瓦	A4	SK944	小口	径11mm
16	G21	平瓦	A4	SD33-58横	小口	径10mm
17	G24	平瓦	A4	SK942	小口	径10mm
18	G55	平瓦	A4	SK942	小口	径10mm
19	G73	平瓦	A4	2号縫跡	小口	径10mm
20	G92	平瓦	A4	複数	小口	径10mm
21	R123	鰐牛瓦	A4	SK942	小口	径10mm

出典番号	登録番号	種類	分類	直横・縦位	印印位置	備考
22	G30	平瓦	A4	SD42	小口	径(10mm)
23	G75	平瓦	A4	SK272-1横	小口	径(10mm)
24	G81	平瓦	A6	正側	小口	径6mm
25	G94	平瓦	A6	複元	小口	径6mm
26	H134	鰐牛瓦	A6	P6-1横	小口	径6mm
27	G25	平瓦	A6	SD42	小口	径6mm
28	G56	平瓦	A6	SD42	小口	径6mm
29	G72	平瓦	A6	2号縫跡	小口	径6mm
30	G151	平瓦	A6	正側	小口	径6mm
31	G145	平瓦	A6	正側	小口	径6mm
32	G77	平瓦	A6	小頭部B-17	小口	径6mm
33	G82	平瓦	A6	複数	小口	径6mmが2つ
34	G69	平瓦	A8	2号縫跡	小口	径6mmが2つ
35	H124	鰐牛瓦	A8	SD43-1横	小口	径6mmが2つ
36	H127	鰐牛瓦	A8	SD45-2横	小口	径6mmが2つ
37	G67	平瓦	A8?	SD45-3横	小口	径6mmが2つと径2mmの斜交跡が1つ
38	G59	平瓦	B1	SD42	小口	径2.5mm
39	G150	平瓦	B1	正側	小口	径2.5mm
40	G96	平瓦	B1	複元	小口	径2.5mm
41	H133	鰐牛瓦	B1	SK932-1横	小口	径2.5mm
42	G157	鰐牛瓦	B1	SK943	小口	径2.5mm

第227図 刻印他集成（2）



図版番号	登録番号	種類	分類	造標・層位	刻印位置	備考	図版番号	登録番号	種類	分類	造標・層位	刻印位置	備考
1	G48	平瓦	B1	SD42	小口	長さ7mm	17	R121	廻斗瓦	B4	SD6-1層	小口	幅8×3mmの長方形
2	G57	平瓦	B1	SD47	小口	長さ7mm	18	G84	平瓦	B4	直側	小口	幅5×3mmの長方形
3	C152	平瓦	B1	直側	小口	長さ7mm	19	F92	丸瓦	C1	SD70-1層	凸面	「上」(裏面) 7mmの印判
4	B156	廻斗瓦	B1	SK343-1層	小口	長さ7mm	20	F93	丸瓦	C1	複丸	凸面	「上」(裏面) 7mm大的印判
5	H218	廻斗瓦	B1	SK338-3層	小口	長さ7mm	21	G91	平瓦	B1	直側	小口	幅24mm
6	H221	廻斗瓦	B1	SK343	小口	長さ7mm	22	G70	平瓦	B1	2号縫跡	小口	幅11mm
7	B42	廻斗瓦	B1	SK290-1層	小口	長さ6mm	23	R223	廻斗瓦	B1	直側	小口	幅10mm
8	H219	廻斗瓦	B2	SK338-3層	小口	幅10mm	24	G69	平瓦	D2	直側	側面	径4mmの刺突痕
9	H220	廻斗瓦	B2	SK338-1-2層	小口	幅10mm	25	G90	平瓦	D2	直側	小口	径2mmの刺突痕
10	H222	廻斗瓦	B2	SK343-1層	小口	幅10mm	26	G74	平瓦	D2	SK342-1層	側面	径2mmの刺突痕
11	H225	廻斗瓦	B2	複丸	小口	幅10mm	27	G49	平瓦	D2	SD-42	小口	径1mmの刺突痕
12	H226	廻斗瓦	B2	複丸	小口	幅10mm	28	G66	平瓦	D2	SD45-2層	小口	(径1~4mm)の刺突痕が5つ並ぶ
13	G87	平瓦	B3	直側	小口	幅9mm	29	G140	平瓦	B3	SD62	小口	(径1~4mm)の刺突痕が3つ並ぶ
14	E126	廻斗瓦	B3	SD45-2層	小口	幅9mm	30	G83	平瓦	B3	直側	小口	幅1.5~3mmの刺突痕が3つ並ぶ
15	G18	平瓦	B3	SD6-1層	直側	幅9mm	31	G40	平瓦	F1	直側	凹面	輪状
16	G44	平瓦	B4	SD6-1層	小口	幅9×6mmの長方形	32	F43	丸瓦	F2	輪状遺構	凸面	「六ノ口」?

第228図 刻印他集成 (3)

(2) 陶器

陶器の総点数は接合後で158点であるが、確認した遺構数に対し出土遺物数は極めて少ないとえる。また近現代のものを除くとほとんどが小破片である。図化は口縁部や底部などの形状が判別可能なもの、近代以降の主要なものについて行った。近世に属するものが123点で全体の77.8%を占め最も多く、その他には近世以前のものが7点、近現代のものが27点、時期不明のものが1点出土している。出土場所では擾乱から49点、Ⅲ層から65点出土しており、遺構ではSD42から12点、SX11から5点と他の遺構に比較して多く出土している。SX11は縄文時代から近世後期まで幅広い出土がみられるが、SD42、SD44、1号植跡では若林城が機能していた近世初期かそれに近い時期に限定される。産地別にみると、若林城期に該当するものは瀬戸美濃、肥前（唐津）、丹波、岸窯系、越前の製品があり、その他の時代のものとして18世紀以降の小野相馬、大堀相馬、堤、中世の常滑や在地のものがある。器種別にみると、碗、皿、鉢は瀬戸美濃の志野・織部と肥前（唐津）を主体とし、擂鉢は瀬戸美濃、丹波、岸窯系のものが主体となり、若林城期の産地・器種組成の中心となっている。また瓶類、壺、甕などにおいては越前、小野相馬、大堀相馬、堤、常滑、在地のものがある。

(3) 磁器

磁器の総点数は接合後で59点であり、陶器同様に出土数は少なく、近現代以外のものは極めて残存の悪い小破片である。図化は口縁部や底部などの形状が判別可能なものや、文様が認められるものについて行った。近世に属するものが46点で全体の78.0%と陶器とほぼ同様の割合を占めている。その他には近現代のものが9点、時期不明のものが4点出土した。出土場所では擾乱から11点、Ⅲ層から39点出土しており、遺構出土のものは溝跡などから僅かにあるに過ぎない。産地別では最も多い中国が25点、次いで肥前が22点あり、その他で産地が判明するものとしては、瀬戸や岐阜（美濃）の近現代の国産磁器が数点出土している。中国のものは全て若林城期に該当するものである。肥前は若林城期以外にも近世中期以降のものも出土している。磁器は青花や染付が施されるものが多く、他には肥前と中国両方の青磁、白磁がある。器種は碗、皿、小杯、鉢、香炉、瓶類などがある。

(4) 瓦質土器

瓦質土器は3点出土しており、全て図化した。内2点は近世と見られるが、1点は近世か近代か限定できないものである。器種は火鉢と植木鉢で、産地は在地の可能性がある。

(5) 土師質土器

土師質土器の接合後の総点数は3,534点である。器種には皿、焼塙壺があり、皿が3,352点、焼塙壺が182点と皿が圧倒的に多い。皿が最も多く出土したのは廐棄土坑と考えられるSK255とSK297である。皿には口縁部や見込みに煤の付着が認められるものが幾つかあり、灯明皿として使用したものも一定数ある。SK232ではこのような皿4枚を伏せ重ねて埋設した状況がみられ、残存の良好な資料は特定の遺構からまとまって出土することで、各遺構の性格をうかがうことができる。焼塙壺はSB1に隣接する構のSD42などから多く出土している。土師質土器は口縁部や底部が残存し、かつ径が推定できるものを中心に図化しており、土師器との判別が難しいもののうち、ロクロを使用し、黒色処理を施されていないものについては土師質土器としている。皿の成形はロクロを使用し、大きさは口径が15cm前後のものが最も多い。焼塙壺もまたロクロ成形され、全体形状のわかるものは少ないが、体部下側の径が最大となり、大半の体部下端には横位または斜位のヘラケゼリによる面取りが顕著である。皿に比べ焼塙壺の胎土は緻密で、個体差はあまりみられず、その性格上、二次被熱により表面が赤色化しているものが多い。

(6) 中世以前の土器

中世以前の土器では縄文土器、土師器、須恵器が出土している。今回の調査では若林城造営時の整地層であるIV層より下層にある遺構については、原則として検出と一部の掘削に止めていたため、中世以前の遺物は遺構検出時の削り込み等に伴い、僅かに出土しているに過ぎない。

縄文土器とみられるものは3点出土しており、全て図化した。体部の破片には縄文が施されており、そのうち1点の内外面に丁寧なミガキ、底部にナデがされており、弥生時代中期まで下るもの可能性がある。

土師器は調査区全体のⅢ層から出土しているが、VI層上面で検出されるS I 4、S I 14やその周辺から比較的残存の良好な資料が出土している。そのうちの口縁部や底部が残るものを中心に18点図化した。時期は大別して7—8世紀のものと9世紀以降のものがある。7—8世紀のものは非クロコ成形によるもので、坏、高坏、壺、甕があり、坏、高坏と一部の壺と思われるものの内面に黒色処理が施されている。また甕底部には木葉痕が残る。9世紀以降のものはクロコ成形のもので、坏、甕がある。坏はS I 14から内面に黒色処理を施したもののが2点重ねた状態で出土している。甕は口縁部に最大径を持つもので、口縁は屈曲せずほぼ直立している。

須恵器は50点出土しており、ほとんどが小破片である。Ⅲ層からの出土が大半であり、他には近世の遺構から13点出土しているが、全て混入品である。器種は坏、甕、壺、瓶類があり、口縁部や底部、調整痕が明瞭な甕部などを中心に12点図化した。甕は外面に平行タキや格子タキ、内面に同心円オサエ痕が残るか、それをナデ消しているものがほとんどである。内面に格子状のオサエ痕が残るものも1点出土している。

(7) 土製品・その他

土製品には土人形1点と取瓶か堆塙とみられるもの1点があり、その他の遺物として埴輪が1点出土しており、全て図化した。

土人形はⅢ層から出土しており、犬が尾を巻いて立った様子を表現している。取瓶か堆塙とみられるものはSD 44から出土した。破片であるが、口縁部から底部まで残存しており全体形状が推定でき、器高は浅いものである。内面および口縁部は全体が溶解しており、内面には径0.1—0.5mm程度の金の粒子が目視で9か所に付着している。SD 44の堆積土下部からの出土であることから、近世のものとみられ、若林城に伴うものの可能性もある。

埴輪はⅢ層から出土しており、タガが確認できる胴部片であるが、形状は円筒型か朝顔型か判別できない。タガの断面形は台形であるが、摩滅のため調整は不明である。

(8) 金属製品

金属製品は鉄製品が最も多く697点あり、その他には銅製品が9点、その他の金属製品が5点出土している。出土傾向としては鉄釘を中心に基本層に比べ遺構出土の割合が高い。

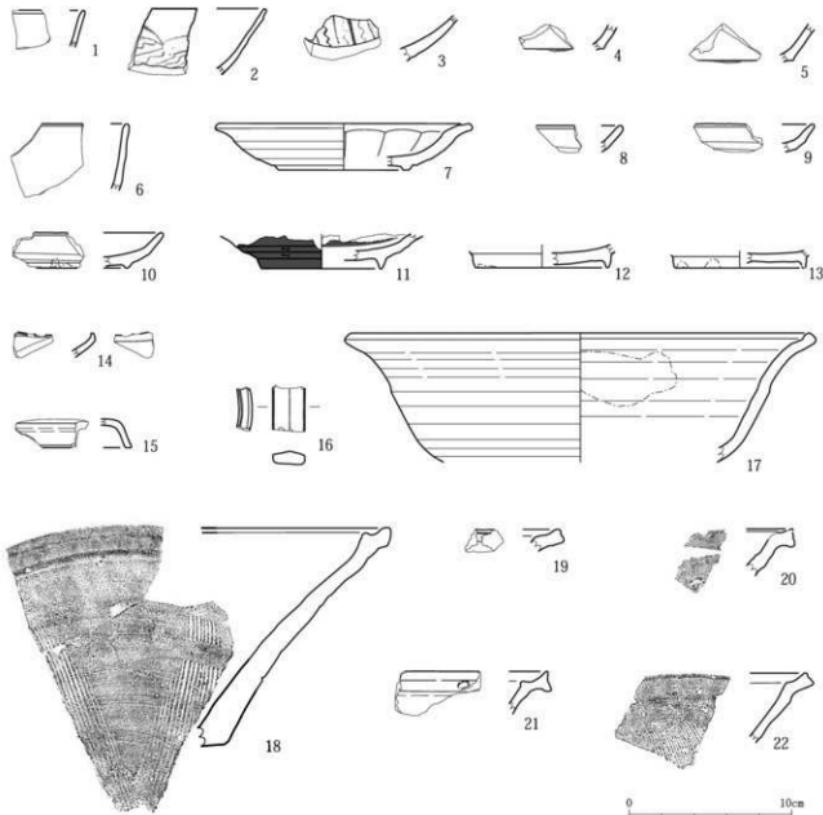
鉄製品では釘が最も多く637点あり、出土遺構ではSD 44から102点、SD 42から84点、SK 302から58点、1号桶跡から40点、桶状遺構から34点となり、木製の桶や板材など埋設した遺構内からの出土数が多い。その他の鉄製品は60点あり、火箸、鍔などが出土している。銅製品は矢立の蓋1点、錢6点、不明2点が出土している。その他の金属製品としては、小柄の鞘と刀身1点、煙管2点、鉄砲玉1点、一分判金1点が出土している。

(9) 石製品

石製品は砥石が2点、硯が54点出土しており、これらは全て搅乱またはⅢ層からの出土である。

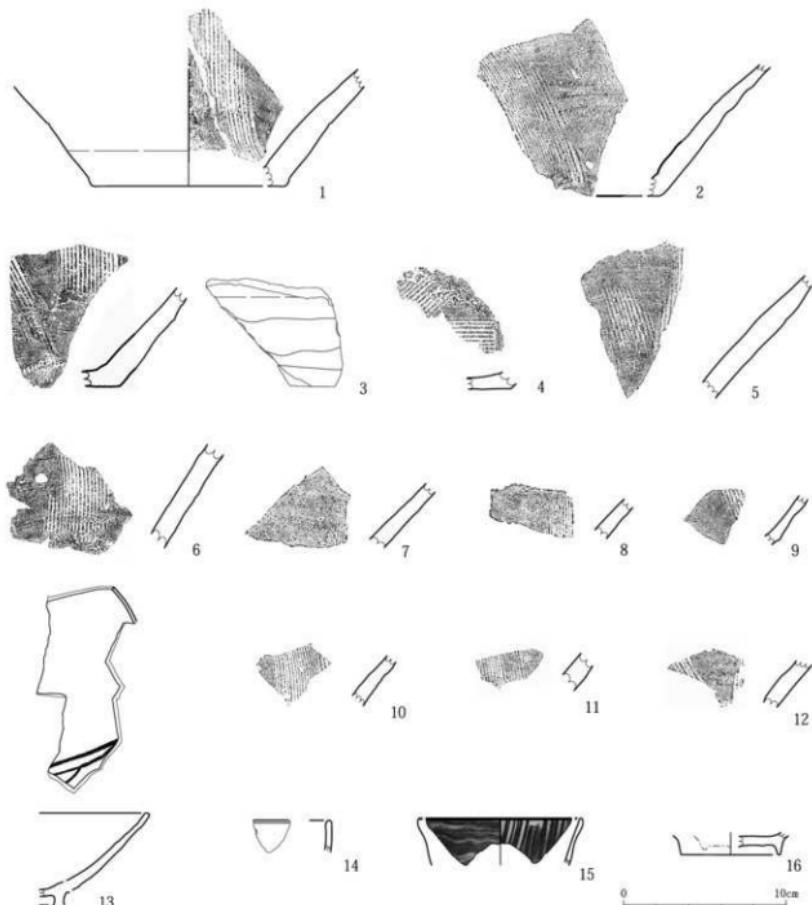
砥石は全て図化し、硯は形状等の異なる4点を図化した。砥石は共に断面が方形で、端部片側のみの残存であるが、本来は長方体基調の砥石と推定される。石材は砂岩で、全面が使用され強い磨耗のため中央部がくびれている。

硯は全て長方硯で、材質は黒色硬質粘板岩（雄勝石）である。表面は全面に研磨加工が施されているが、使用された形跡はなく、製作途中で廃棄された未製品と考えられる。硯面陸部に「(名?)取郡」と描いた浅い線刻がみられるものがある。同一規格品とみられるものが数点出土している。



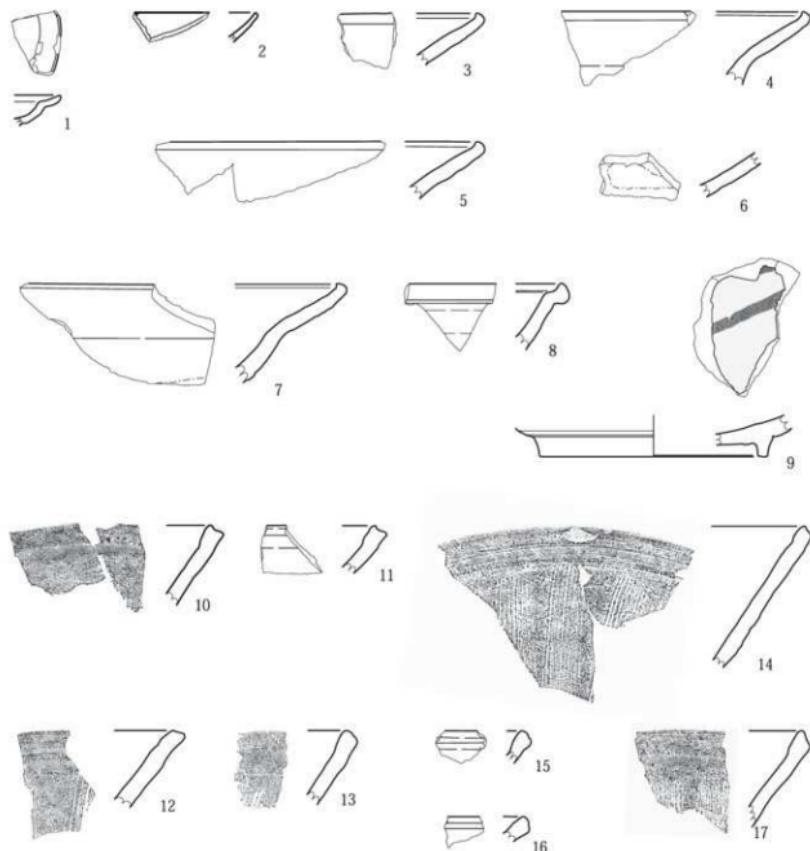
図版番号	遺物番号	種類	器種	遺構・部位	法量(cm)			産地	時期	備考	写真版
					口径	底径	高さ				
1	164	陶器	丸瓶?	Ⅲ崩	—	—	—	瀬戸美濃	17C-18C	灰釉(側面突出?)	160-1
2	119	陶器	平瓶?	1号崩部	—	—	—	瀬戸	17C初め	長石釉 内: 鉄鉢 赤錆斑か黒錆斑	160-2
3	172	陶器	向付?	Ⅲ崩	—	—	—	瀬戸	17C初め	長石釉 内: 鉄鉢 赤錆斑か黒錆斑	160-3
4	1132	陶器	瓶	Ⅲ崩	—	—	—	瀬戸美濃	17C初め	白天目	160-4
5	1146	陶器	碗	楕円	—	—	—	瀬戸美濃	17C初め	白天目	160-5
6	1118	陶器	碗	SXII-6個	—	—	—	瀬戸美濃	17C-18C	灰釉	160-6
7	173	陶器	皿	皿崩 (16.0)(8.0)	2.9	—	—	志野	17C初め	長石釉 花文(型押し?)	160-7
8	1128	陶器	皿	皿崩	—	—	—	志野	17C初め	長石釉	160-8
9	1125	陶器	皿	皿崩	—	—	—	志野	17C初め	長石釉	160-9
10	1129	陶器	皿	皿崩	—	—	2.2	志野	17C初め	長石釉	160-10
11	140	陶器	皿	皿崩	—	—	7.5	瀬戸	16C末	【構造部: 灰釉 内: 鉄鉢(花文?) 全体に側付着】	160-11
12	1130	陶器	皿	皿崩	—	—	—	志野?	不明	長石釉 勃起色斑黒色	160-12
13	1131	陶器	丸皿	皿崩	—	(8.0)	—	瀬戸美濃	17C初め	灰釉 高台: 施釉時の跡残る	160-13
14	114	陶器	輪花皿	SXII-1個	—	—	—	瀬戸美濃?	近世	長石釉	160-14
15	1134	陶器	系帯皿	皿崩	—	—	—	瀬戸美濃	近世	鉄鉢	160-15
16	193	陶器	深皿?	楕円	—	—	—	瀬戸美濃	近世	鉄鉢 扊	160-16
17	1122	陶器	鉢	SXII-1個	(29.0)	—	—	瀬戸	17C初め	灰釉 鋼鉢底流し	160-17
18	115	陶器	開鉢	SM42	—	—	13.5	瀬戸美濃	17C初め	鉄鉢 推日 (14本・幅3.6cm) 171と同一個体?	160-18
19	165	陶器	開鉢	Ⅲ崩	—	—	—	瀬戸	17C初め?	鉄鉢	160-19
20	192	陶器	開鉢	楕円	—	—	—	瀬戸美濃	17C初め	鉄鉢	160-20
21	134	陶器	開鉢	小瀬野8-6	—	—	—	瀬戸	17C初め	鉄鉢	160-21
22	168	陶器	開鉢	Ⅲ崩	—	—	—	瀬戸美濃	18C初め?	鉄鉢 推日	160-22

第229図 出土遺物 陶器 (1)



開発番号	登録番号	種類	器種	遺構・部位	法 寸 径	高 さ	产地	時 期	備 考	写真図版
1	171	陶器	縦跡	直縫	—	(12.0)	瀬戸美濃	17C前半	縦跡 手目 (16本・幅3.6cm)	161-1
2	110	陶器	縦跡	SD42	—	—	瀬戸美濃	17C後半	縦跡 手目	161-2
3	1115	陶器	縦跡	SD60-1縫	—	—	瀬戸美濃	17C後半	縦跡 手目 (14本・幅3.6cm)	161-3
4	1133	陶器	縦跡	直縫	—	—	瀬戸美濃	17C後半	縦跡 手目	161-4
5	169	陶器	縦跡	直縫	—	—	瀬戸美濃	17C前半	縦跡 手目 (12本・幅3.0cm)	161-5
6	1137	陶器	縦跡	直縫	—	—	瀬戸美濃	17C-18C	縦跡 手目 (16本・幅4.0cm)	161-6
7	166	陶器	縦跡	直縫	—	—	瀬戸美濃	17C前半	縦跡 手目	161-7
8	133	陶器	縦跡	小縫跡付-6	—	—	瀬戸美濃	16C末	縦跡 手目	161-8
9	191	陶器	縦跡	縫見	—	—	瀬戸美濃	17C前半	縦跡 手目	161-9
10	170	陶器	縦跡	直縫	—	—	瀬戸美濃	17C後半	縦跡 手目	161-10
11	167	陶器	縦跡	直縫	—	—	瀬戸美濃	16C末	縦跡 手目	161-11
12	190	陶器	縦跡	縫孔	—	—	瀬戸美濃	17C前半	縦跡 手目	161-12
13	115	陶器	網	SD40-27縫	—	5.9	瀬洋	17C前半	縫孔網 内に鉄船	161-13
14	138	陶器	網	小縫跡付-9	—	—	肥前	17C後半	矢印?	161-14
15	1140	陶器	網	直縫	(10.0)	—	瀬川	沈4-800年	白漆魯削毛目文	161-15
16	118	陶器	網小底	SD44-4縫	(6.2)	—	瀬洋	17C前半	長石胎	161-16

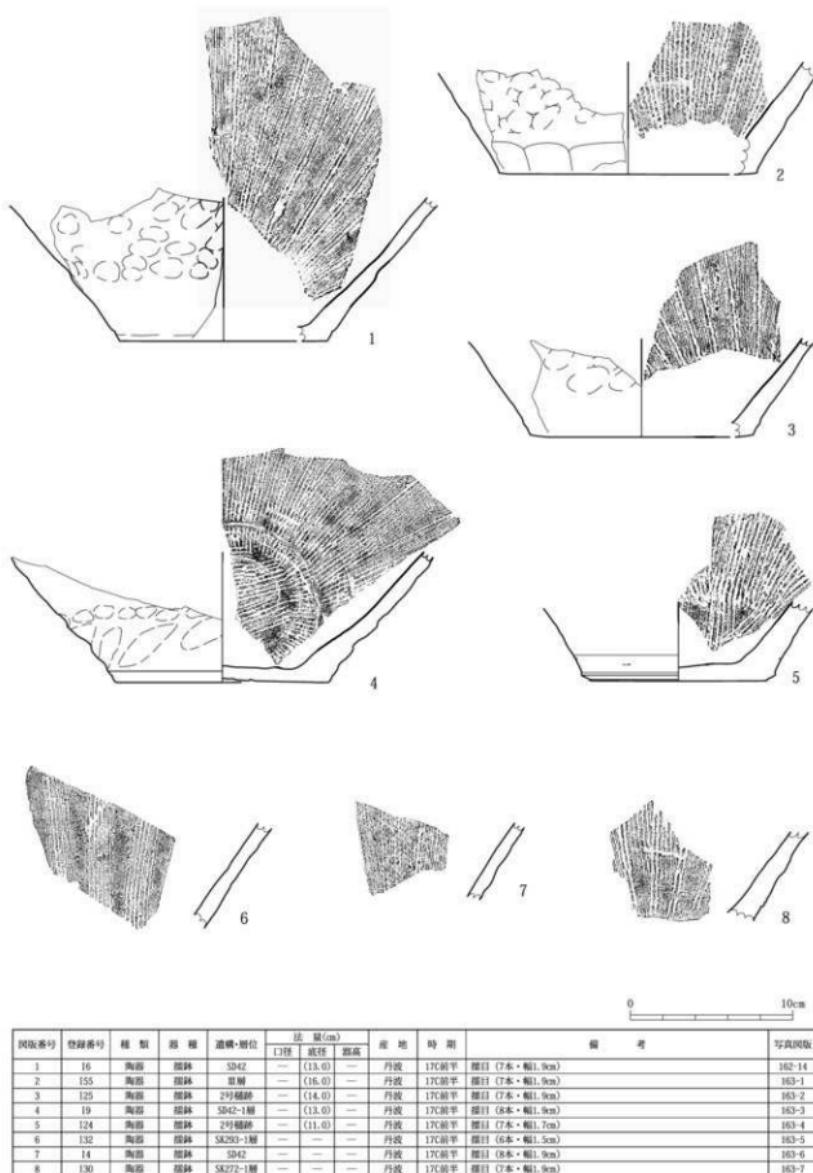
第230図 出土遺物 陶器 (2)



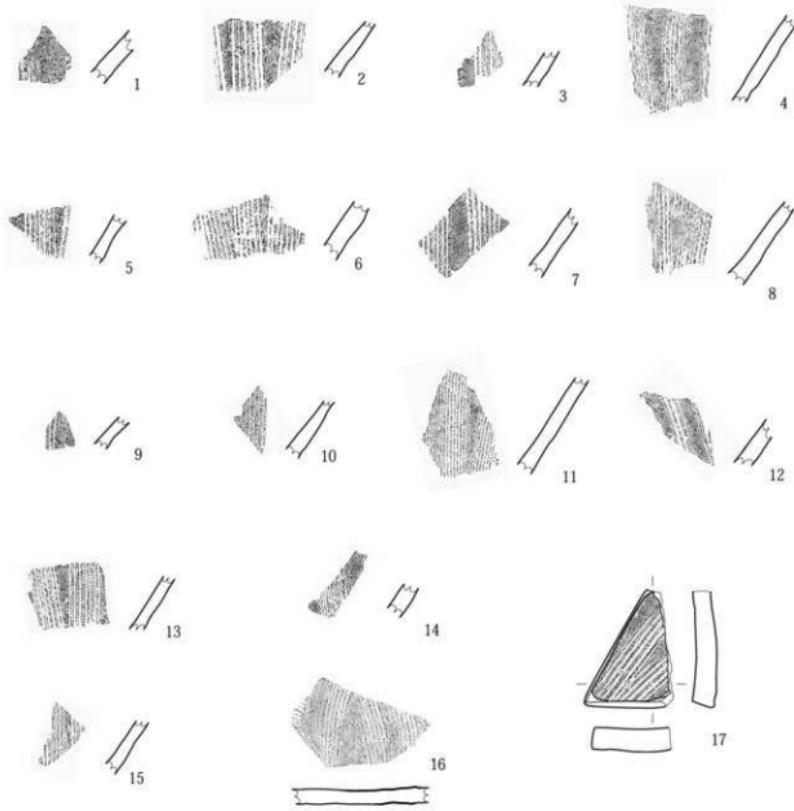
0 10cm

固形番号	登録番号	種類	器種	遺構・附位	法 線(cm)			產地	時期	備 考	写真図版
					口径	底径	高さ				
1	160	陶器	皿	直縁	(14.4)	—	—	唐津	17C前半	長石釉 内：鉄船	161-17
2	116	陶器	皿	直縁	—	—	—	唐津	SM40-27層	—	161-18
3	159	陶器	大皿(大鉢)	直縁	—	—	—	唐津	17C前半	長石釉 内：鉄船 内1：鉄船	161-19
4	120	陶器	大皿(大鉢)	直縁	—	—	—	唐津	1号埴跡	120×21×58×61と同一個体？	161-20
5	158	陶器	大皿(大鉢)	直縁	—	—	—	唐津	17C前半	長石釉	162-1
6	161	陶器	大皿(大鉢)	直縁	—	—	—	唐津	17C前半	長石釉	162-2
7	121	陶器	大皿(大鉢)	1号埴跡	—	—	—	唐津	17C前半	長石釉	162-3
8	1139	陶器	折縁鉢	直縁	—	—	—	唐津	17C前半	透明白、輪郭強調出し、一部唐津	162-4
9	1147	陶器	折小鉢	腹丸	—	(14.0)	—	唐津	底4-次4層	透明釉 内：鉄船	162-5
10	129	陶器	盤鉢	SK296-1層	—	—	—	丹波	17C前半	捲口	162-6
11	128	陶器	盤鉢	SK295-1層	—	—	—	丹波	17C前半	捲口	162-7
12	157	陶器	盤鉢	直縁	—	—	—	丹波	17C前半	捲口	162-8
13	127	陶器	盤鉢	SK295-1層	—	—	—	丹波	17C前半	捲口	162-9
14	18	陶器	盤鉢	SK42-1層	—	—	—	丹波	17C前半	捲口 (8本、幅2.0cm)	162-10
15	152	陶器	盤鉢	直縁	—	—	—	丹波	17C前半	捲口	162-11
16	15	陶器	盤鉢	直縁	—	—	—	丹波	17C前半	捲口	162-12
17	148	陶器	盤鉢	直縁	—	—	—	丹波	17C前半	捲口	162-13

第231図 出土遺物 陶器 (3)



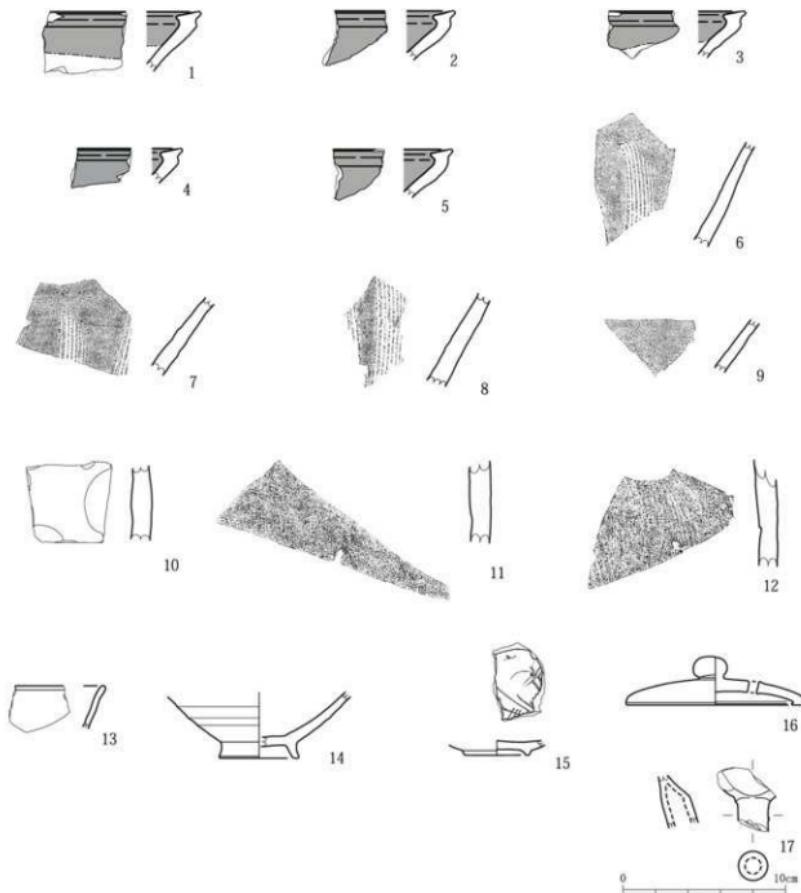
第232図 出土遺物 陶器 (4)



0 10cm

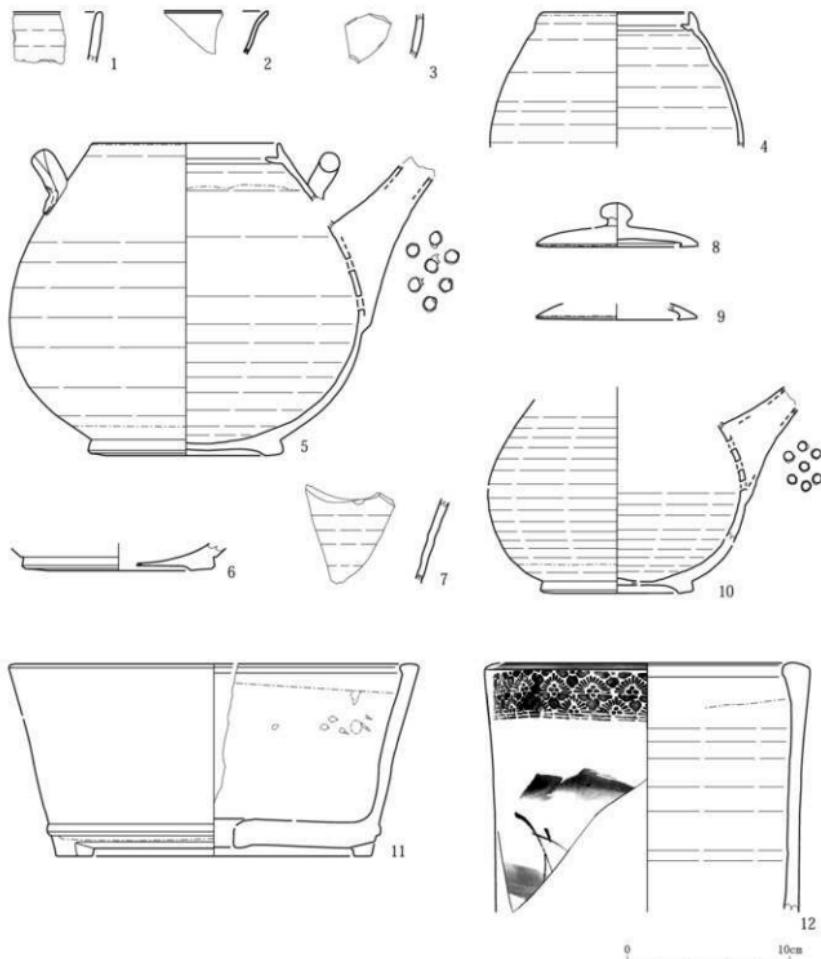
圆版番号	登録番号	種類	面種	遺構・部位	法 線(cm)			產 地	時 期	備 考	写真闇版
					口径	底径	高さ				
1	11	陶器	縦鉢	S80-9	—	—	—	丹波	17C前半	縦目	163-8
2	149	陶器	縦鉢	三層	—	—	—	丹波	17C前半	縦目(6本・幅1.9cm)	163-9
3	186	陶器	縦鉢	縦丸	—	—	—	丹波	17C前半	縦目	163-10
4	185	陶器	縦鉢	縦丸	—	—	—	丹波	17C前半	縦目(6本・幅1.5cm)	163-11
5	151	陶器	縦鉢	三層	—	—	—	丹波	17C前半	縦目(7本・幅1.9cm)	163-12
6	153	陶器	縦鉢	三層	—	—	—	丹波	17C前半	縦目(7本・幅1.9cm)	163-13
7	123	陶器	縦鉢	1号縦跡	—	—	—	丹波	17C前半	縦目(7本・幅1.9cm)	163-14
8	13	陶器	縦鉢	S842	—	—	—	丹波	17C前半	縦目	164-1
9	189	陶器	縦鉢	縦丸	—	—	—	丹波	17C前半	縦目	164-2
10	150	陶器	縦鉢	三層	—	—	—	丹波	17C前半	縦目	164-3
11	17	陶器	縦鉢	S842	—	—	—	丹波	17C前半	縦目(9本・幅1.7cm)	164-4
12	187	陶器	縦鉢	縦丸	—	—	—	丹波	17C前半	縦目(8本・幅0.8cm)	164-5
13	154	陶器	縦鉢	三層	—	—	—	丹波	17C前半	縦目(7本・幅1.9cm)	164-6
14	156	陶器	縦鉢	三層	—	—	—	丹波	17C前半	縦目(7本・幅1.7cm)	164-7
15	136	陶器	縦鉢	小溝跡8-9	—	—	—	丹波	17C前半	縦目	164-8
16	147	陶器	縦鉢	三層	—	—	—	丹波	17C前半	縦目(6本・幅1.5cm)	164-9
17	12	陶器	縦鉢	S80-2層	—	—	—	丹波	17C前半	破断面2面摩滅、硬石に転用？縦目(5本・幅1.5cm)	164-10

第233図 出土遺物 陶器(5)



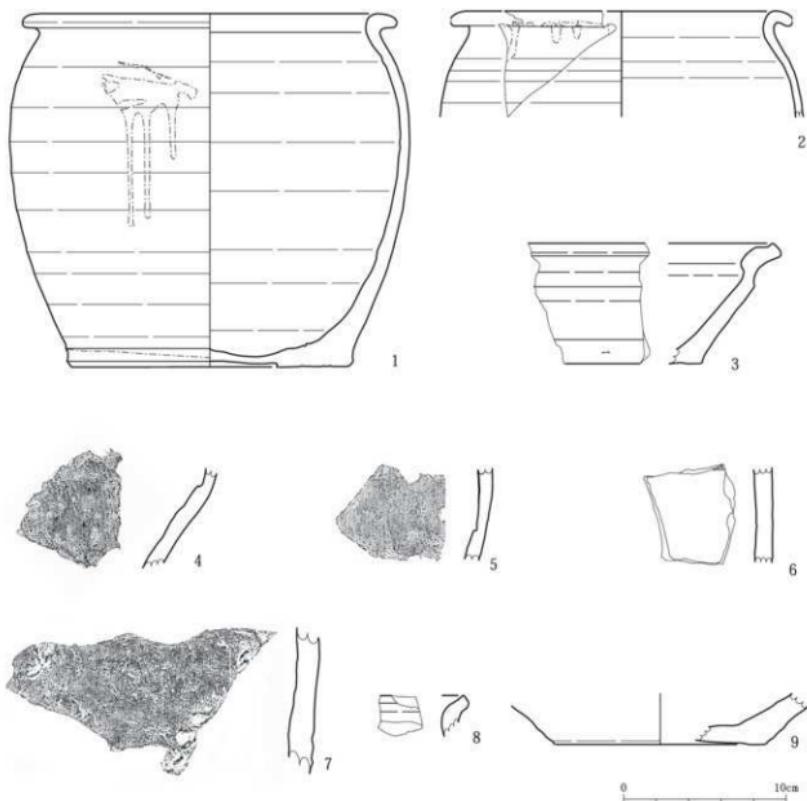
図版番号	登録番号	種類	器種	遺構・部位	法面(m)			產地	時期	備考	写真図版
					口径	底径	高さ				
1	131	陶器	盤鉢	SK276-1盤	—	—	—	坪窯系	沢谷下-中段	口縁部:灰釉、全体:輪胎	16-11
2	111	陶器	盤鉢	SK42-1盤	—	—	—	坪窯系	沢谷下-中段	灰釉	16-12
3	176	陶器	盤鉢	皿形	—	—	—	坪窯系	沢谷下-中段	口縁部:灰釉、全体:輪胎	16-13
4	175	陶器	盤鉢	皿形	—	—	—	坪窯系	沢谷下-中段	灰釉	16-14
5	174	陶器	盤鉢	皿形	—	—	—	坪窯系	沢谷下-中段	口縁部:灰釉、全体:輪胎	16-15
6	137	陶器	盤鉢	小溝唇S-9	—	—	—	坪窯系	17C前半	輪胎 稲田(8本・幅1.8cm)	16-16
7	112	陶器	盤鉢	SK42-8盤	—	—	—	坪窯系	沢谷下-中段	口縁部:灰釉、全体:輪胎	16-17
8	178	陶器	盤鉢	皿形	—	—	—	坪窯系	沢谷下-中段	輪胎 稲田	16-18
9	177	陶器	盤鉢	皿形	—	—	—	坪窯系	沢谷下-中段	輪胎 稲田(11本・幅2.2cm)	16-19
10	143	陶器	甕	皿形	—	—	—	輪胎系	16C後半	輪胎	16-20
11	1119	陶器	甕	SK11-7-9甕	—	—	—	輪胎系	16C後半	1110と共に一體体?	16-21
12	1120	陶器	甕	SK11-6甕	—	—	—	輪胎系	16C後半	1110と共に一體体?	16-22
13	1141	陶器	甕	皿形	—	—	—	不明	ACM-1006	輪胎の内底輪	16-1
14	139	陶器	甕	小溝唇S-16	(5.0)	—	—	不明	17C-?~	坪窯系	16-2
15	179	陶器	陶小鉢	皿形	—	—	—	地中窯?	近中段-後期	塗付 内:草花文・長石胎?	16-3
16	1161	陶器	甕	窓孔	11.0	—	3.0	更生か成層	不明	白面胎(灰胎)	16-4
17	196	陶器	壺	窓孔	—	—	—	壺	19C前半~	輪胎 小型品	16-5

第234図 出土遺物 陶器 (6)



図版番号	登録番号	種類	器種	遺構・部位	法量(cm)		産地	時期	備考	写真図版	
					口径	底径					
1	1117	陶器	鍋(117)	SX1-2層	—	—	小野相馬	1世	灰陶(黒灰?)	165-6	
2	195	陶器	罐反側	罐底	—	—	大野相馬	19C前半	白陶(灰陶)	165-7	
3	181	陶器	土瓶	蓋	—	—	大野相馬	19C後半-20世	白陶(黒灰?)	165-8	
4	1149	陶器	土瓶	罐底	8.0	—	大野相馬	19C前半	灰陶	165-9	
5	1150	陶器	土瓶	罐底	11.5	12.0	19.2	大野相馬	19C前半	灰陶 把手基部2つ 真2つ	165-10
6	1100	陶器	瓶	罐底	—	(12.0)	—	大野相馬	近代	外:灰陶 内:灰釉か呉石釉	165-11
7	1101	陶器	瓶	罐底	—	—	大野相馬	近代	灰陶	165-12	
8	1106	陶器	瓶	瓶底	(10.0)	—	2.7	大野相馬	近代	断径:1.9cm 灰陶	165-13
9	199	陶器	瓶	瓶底	(10.0)	—	—	大野相馬	近代	灰陶	165-14
10	1157	陶器	土瓶	罐底	—	9.4	—	20C前半	灰陶 孔2つ	165-15	
11	198	陶器	植木鉢	罐底	(25.5)	19.6	12.0	不明	高台脚 コバルト釉? 高台内:墨書「昭和二年七月廿日 ○○場」	165-16	
12	1148	陶器	植木鉢	罐底	(20.0)	—	—	会津本郷	19C後半 柿付(銅鋸刷+手書き) 外:花文+山水文	165-17	

第235図 出土遺物 陶器(7)



図版番号	登録番号	種類	器種	遺構・部位	法量(cm)			産地	時期	備考	写真図版
					口径	底径	高さ				
1	1159	陶器	甕	腹足	23.0	17.1	21.7	在地	近畿代	底部に黒釉上絞け	166-1
2	1160	陶器	甕	腹足	(21.0)	—	—	在地	近畿代	底部に黒釉上絞け	166-2
3	135	陶器	浅鉢少水形	小嘴部分-6	—	—	7.5	露頭?	中世		166-3
4	144	陶器	大甕	腹足	—	—	—	常滑	中世		166-4
5	145	陶器	大甕	腹足	—	—	—	常滑	中世		166-5
6	142	陶器	甕(中空)	腹足	—	—	—	常滑	中世	白石? 中世後半-中世	166-6
7	1144	陶器	甕	腹足	—	—	—	白石?	中世後半-中世	長石粒多い	166-7
8	146	陶器	甕	腹足	—	—	—	白石	中世後半-中世		166-8
9	141	陶器	口縁分離脚	腹足	—	(13.0)	—	在地	中世後半-近世		166-9

第236図 出土遺物 陶器 (8)



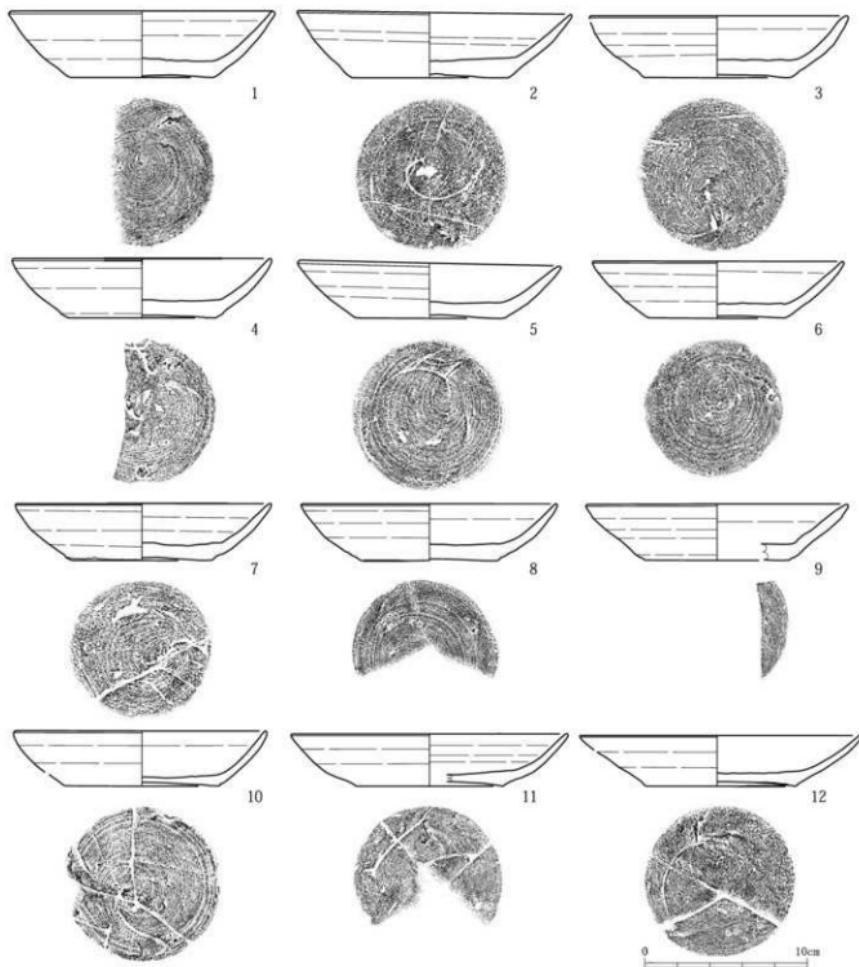
图版番号	登録番号	種類	器種	遺構・解剖	法 長(cm)	備 考	写真図版	
				口径 底径 高さ	底面	地 期		
1	J3	磁器	碗	S042-1層	—	—	中国 HCE~OCE 青花 55: 漢綸+植物文?、内: 二重繩縁	167-1
2	J47	磁器	碗	—	—	中国 近世 青花 55: 西方佛像	167-2	
3	J42	磁器	磁反側	磁側	—	—	中国 HCE~OCE 青花 55: 二重繩縁+植物文、内: 二重繩縁 J46と同一個体?	167-3
4	J46	磁器	磁反側	磁側	—	—	中国 HCE~OCE 青花 55: 二重繩縁+植物文?、内: 二重繩縁 J42と同一個体?	167-4
5	J15	磁器	磁反側	磁側	—	—	中国 HCE~OCE 青花 55: 草花(荷葉形)文	167-5
6	J45	磁器	磁反側	磁側	—	—	中国 HCE~OCE 青花 55: 漢綸+植物文(梅?) J44と同一個体?	167-6
7	J44	磁器	磁反側	磁側	—	—	中国 HCE~OCE 青花 55: 漢綸+植物文(梅?) J45と同一個体?	167-7
8	J14	磁器	碗	—	—	中国 HCE~OCE 青花 内: 圓綸	167-8	
9	J13	磁器	皿	—	—	中国 HCE~OCE 青花 55: 圓綸、内: 漢綸+植物文	167-9	
10	J12	磁器	折縁皿	—	—	中国 HCE~OCE 青花 内: 圓綸+漢綸	167-10	
11	J49	磁器	碗	—	—	中国 HCE~OCE 青花 55: 圓綸+漢+植物文、内: 二重繩縁 J48・J50・J51と同一個体?	167-11	
12	J51	磁器	碗	—	—	中国 HCE~OCE 青花 55: 圓綸+漢+植物文、内: 二重繩縁 J48・J49・J50と同一個体?	167-12	
13	J48	磁器	碗	—	—	中国 HCE~OCE 青花 55: 圓綸+漢+植物文、内: 二重繩縁 J48・J49・J51と同一個体?	167-13	
14	J50	磁器	碗	—	—	中国 HCE~OCE 青花 外: 圓綸+植物文、内: 二重繩縁 J48・J49・J51と同一個体?	167-14	
15	J10	磁器	皿	—	—	中国 HCE~OCE 青花 外: 植物文2種文、高台内: 動物(兔?) 遷世: 漢綸の深縁(カンナ幅)	167-15	
16	J40	磁器	碗	S040-1層	3.6	中国 近世 青花 55: 漢綸+漢、内: 漢物文+圓綸口条 形態: 指剥付の深縁(カンナ幅)	167-16	
17	J1	磁器	磁反側	S040-66	—	中国か 近世 白綸	167-17	
18	J4	磁器	輪花底	S054-1層	—	中国 HCE~OCE 青花/白 磁型押し?	167-18	
19	J19	磁器	輪花底?	盤	—	中国 HCE~OCE 青花/白 磁型押し?	167-19	
20	J34	磁器	輪花孔少	盤	—	不明 磁型?	167-20	
21	J11	磁器	碗	—	—	中国 16C末 青花 55: 底模、内: 漢綸、高台内: 田文	167-21	
22	J2	磁器	碗	S040-1層	3.6	肥前 江戸~明治 青花 55: 植物文、高台内: 大明年年款	167-22	
23	J31	磁器	碗	—	—	肥前 江戸~明治 青花 55: 植物文	167-23	
24	J28	磁器	碗	—	—	肥前 江戸~明治 青花 55: 漢綸	167-24	
25	J24	磁器	碗	—	—	肥前 18C後半~ 青花 55: 漢綸	167-25	
26	J19	磁器	碗	—	—	肥前 18C? 青花 55: 漢綸	167-26	
27	J21	磁器	碗	—	—	肥前 18C? 青花 55: 植物文	167-27	

第237図 出土遺物 磁器 (1)



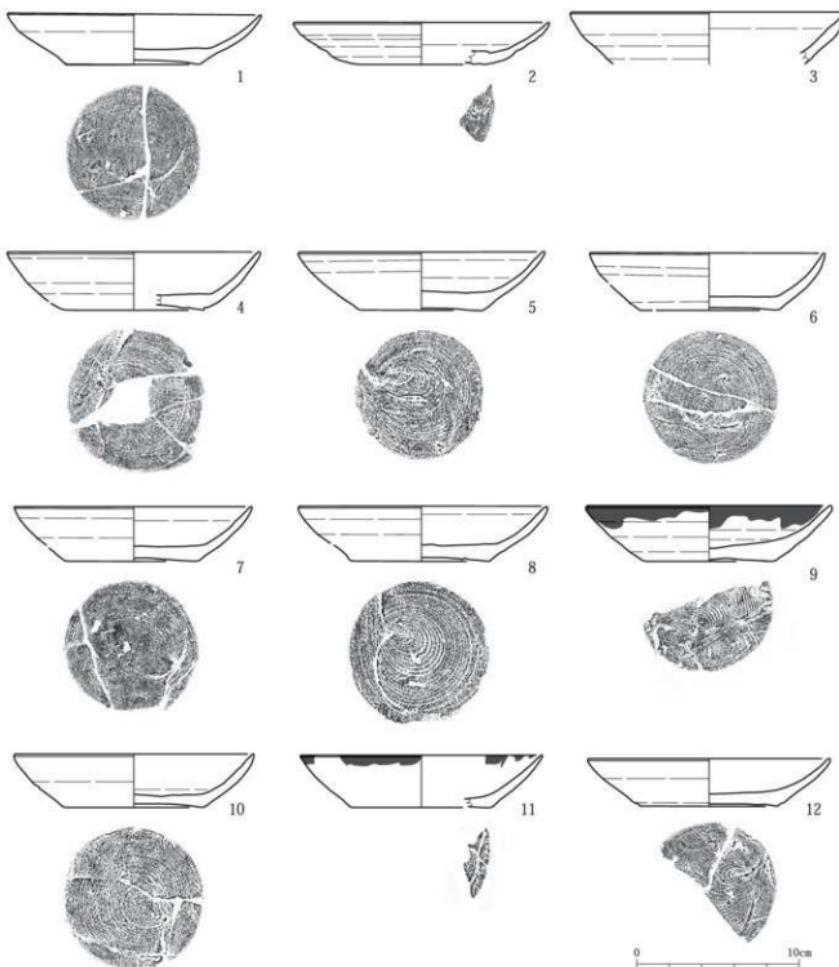
回収番号	登録番号	種類	器種	遺構・部位	法 異(m)			原地	時 期	考	写真図版
					口径	底径	高さ				
1	J18	磁器	罐口	罐口	—	—	—	更前	1KC前半	染付 外:雨淋らし文	167-28
2	J16	磁器	小型側小耳	罐口	—	—	—	更前	1KC	染付 外:植物文	167-29
3	J53	磁器	瓶	罐口	—	—	—	油津	17C初頭	染付 外:植物文	167-30
4	J23	磁器	腹翹	腹翹	—	(3.0)	—	更前	16C末~17C初	染付 外:螺旋・茎・脚神酒匙利?	167-31
5	J30	磁器	〔筒形油瓶?〕	罐口	—	—	—	肥前か	1KC~1KC	白板?	167-32
6	J39	磁器	碗?	罐口	—	—	—	肥前??	近世	染付 外:植物文(梅?)	167-33
7	J29	磁器	瓶	罐口	—	—	—	西濃油瓶	16C半~17C初	腰から下擦脱	167-34
8	J22	磁器	腹翹(油瓶?)	罐口	—	—	—	肥前	近世	青磁	167-35
9	J26	磁器	香炉	罐口	—	—	—	1KC前半?	青磁	—	167-36
10	J38	磁器	筒系瓶	瓶底	(6.5)	—	—	繩口?	近代	—	167-37
11	J54	磁器	筒系瓶	瓶底	6.4	3.6	7.5	繩口?	近代	—	167-38
12	J55	磁器	筒系瓶	瓶底	(6.5)	3.7	7.4	繩口?	近代	—	167-39
13	J37	磁器	不明	瓶底	—	—	—	不明	近唐代?	染付 外:裡縫、内:暗緋	168-1
14	J32	磁器	碗	罐口	—	—	—	不明	16C後半~	染付(刷毛刷) 外:無縫	168-2
15	J56	磁器	碗	碗底	12.0	4.6	8.0	圓底	近代	染付 高台付:「板」	168-3
16	J57	磁器	碗	碗底	14.4	6.3	6.3	稜卓	近代	染付(刷毛刷) 内外:平行文 高台内:具脚印(鉢脚番号「鉢33」)	168-4
17	126	瓦質土器	火鉢	SK225-1脚	—	—	—	右地	近世	—	168-5
18	197	瓦質土器	植木鉢	瓶底	—	(22.0)	—	不明	近世~近代?	高台3脚 孔径3.2cm 外周:横汀彈突	168-6
19	1116	瓦質土器	火鉢	S079-1脚	—	—	—	不明	近世	—	168-7

第238図 出土遺物 磁器（2）・瓦質土器



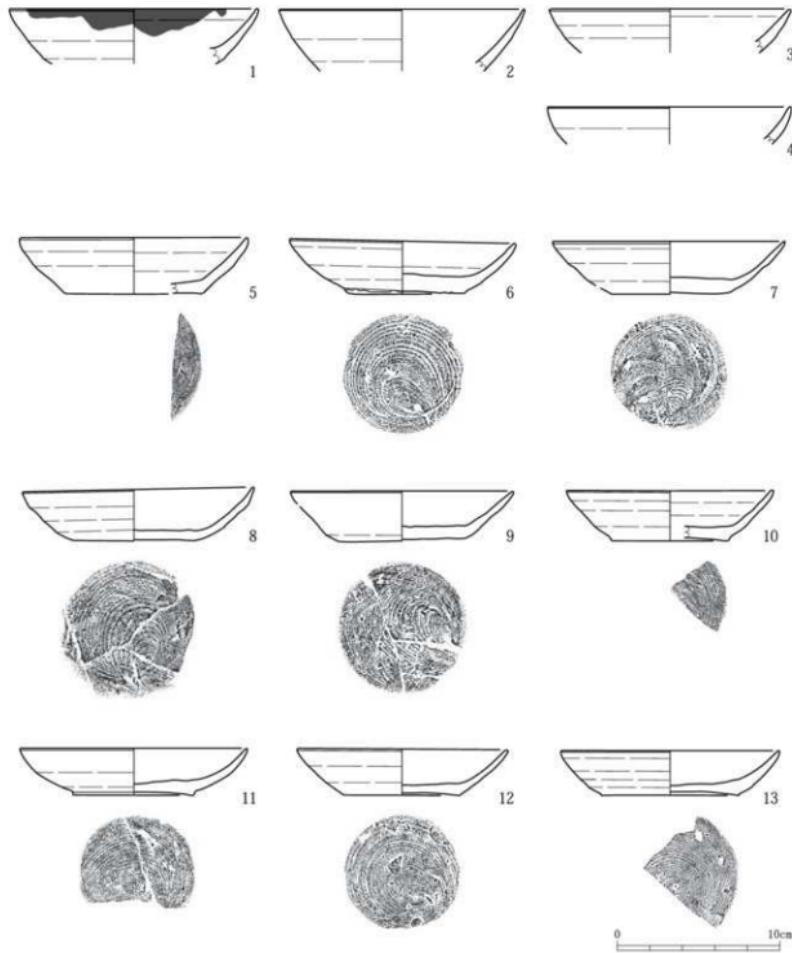
图版番号	登錄番号	種類	器種	分類	遺跡・層位	寸法(cm)			產地	時期	底部系切り技法	備考	写真版
						口径	底径	周高					
1	X72	土師質土器	瓶	1	SK297-1層	(16.4)	(9.2)	4.1	在地	17C初め	bl.		17D-1
2	X80	土師質土器	瓶	1	SK297-1層	(16.9)	9.1	4.0	在地	17C初め	bl.		17D-2
3	X82	土師質土器	瓶	1	SK297-1層	(16.0)	9.0	3.8	在地	17C初め	al.		17D-3
4	X61	土師質土器	瓶	1	SK297-1層	(16.0)	9.2	3.7	在地	17C初め	bl.		17D-4
5	X77	土師質土器	瓶	1	SK297-1層	(16.4)	9.4	3.6	在地	17C初め	al.		17D-5
6	X68	土師質土器	瓶	1	SK297-1層	(16.0)	8.3	3.5	在地	17C初め	al.		17D-6
7	X79	土師質土器	瓶	1	SK297-1層	(15.8)	8.6	3.5	在地	17C初め	al.		17D-7
8	X84	土師質土器	瓶	1	SK297-1層	(15.6)	8.2	3.5	在地	17C初め	不明		17D-8
9	X95	土師質土器	瓶	1	SK297-1層	(16.4)	(9.0)	3.5	在地	17C初め	不明	底部: 焼切り後子手?	17D-1
10	X70	土師質土器	瓶	1	SK297-1層	(15.6)	9.5	3.4	在地	17C初め	bl.		17D-9
11	X8	土師質土器	瓶	1	SD42	(17.0)	(9.0)	3.2	在地	17C初め	al.		17D-10
12	X7	土師質土器	瓶	1	SD42	(17.4)	9.2	3.1	在地	17C初め	al.		17D-11

第239図 出土遺物 土師質土器 (1)



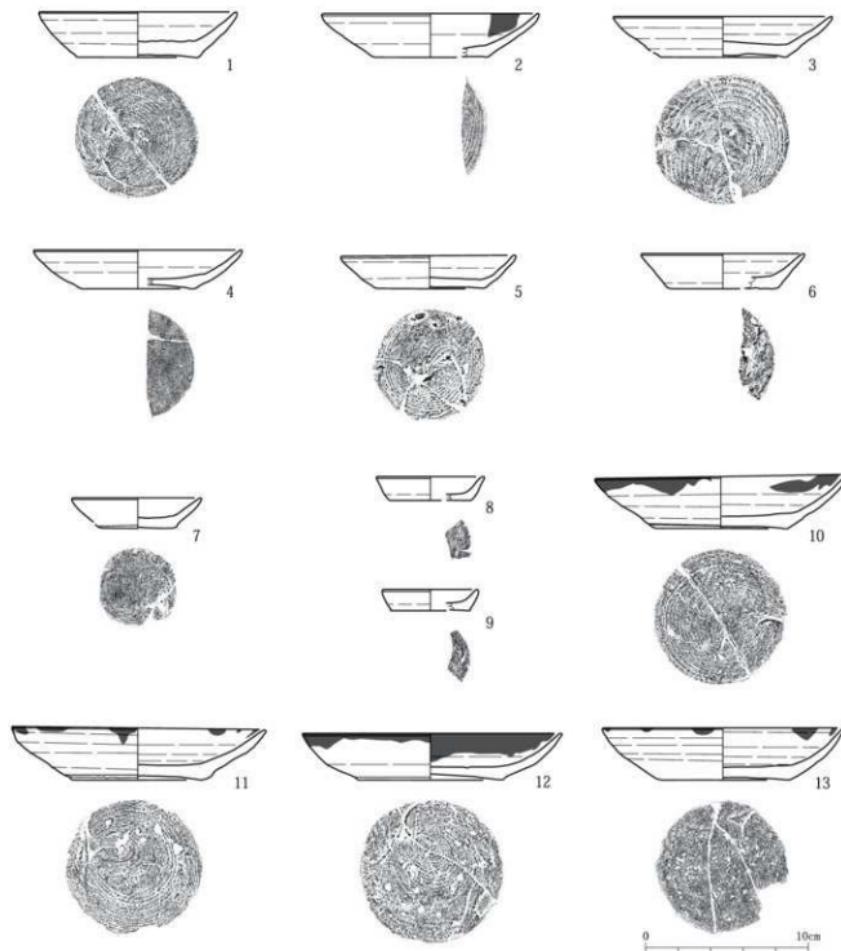
図版番号	登録番号	種類	器種	分類	遺構・割位	法量(cm)			産地	時期	底部糸切り技法	備考	写真図版
						口径	直径	底高					
1	X22	土師質土器	皿	1	SD42-9號	15.6	8.2	3.1	在地	1次初め	底		170-12
2	X33	土師質土器	皿	1	SD54-1號	(15.8)	(9.0)	2.6	在地	1次初め	不明		172-8
3	X100	土師質土器	皿	1	SK297-1號	(17.2)	—	—	在地	1次初め	不明		172-2
4	X93	土師質土器	皿	2	SK297-1號	(15.4)	(8.6)	3.6	在地	1次初め	al		170-14
5	X74	土師質土器	皿	2	SK297-1號	15.2	7.8	3.6	在地	1次初め	al		170-15
6	X62	土師質土器	皿	2	SK297-1號	14.5	8.5	3.5	在地	1次初め	al		170-16
7	X85	土師質土器	皿	2	SK297-1號	(14.7)	8.4	3.4	在地	1次初め	al		170-17
8	X88	土師質土器	皿	2	SK297-1號	(15.4)	8.9	3.4	在地	1次初め	al		170-18
9	X127	土師質土器	皿	2	SD11-1號	(15.2)	(8.2)	3.4	在地	1次初め	al	体側上半に縫付着	170-19
10	X69	土師質土器	皿	2	SK297-1號	14.8	8.7	3.3	在地	1次初め	al		170-20
11	X125	土師質土器	皿	2	SD65-1號	(14.9)	(8.5)	3.2	在地	1次初め	不明	口縁部に縫付着	172-3
12	X114	土師質土器	皿	2	SD65	(14.9)	8.4	2.9	在地	1次初め	al		170-21

第240図 出土遺物 土師質土器（2）



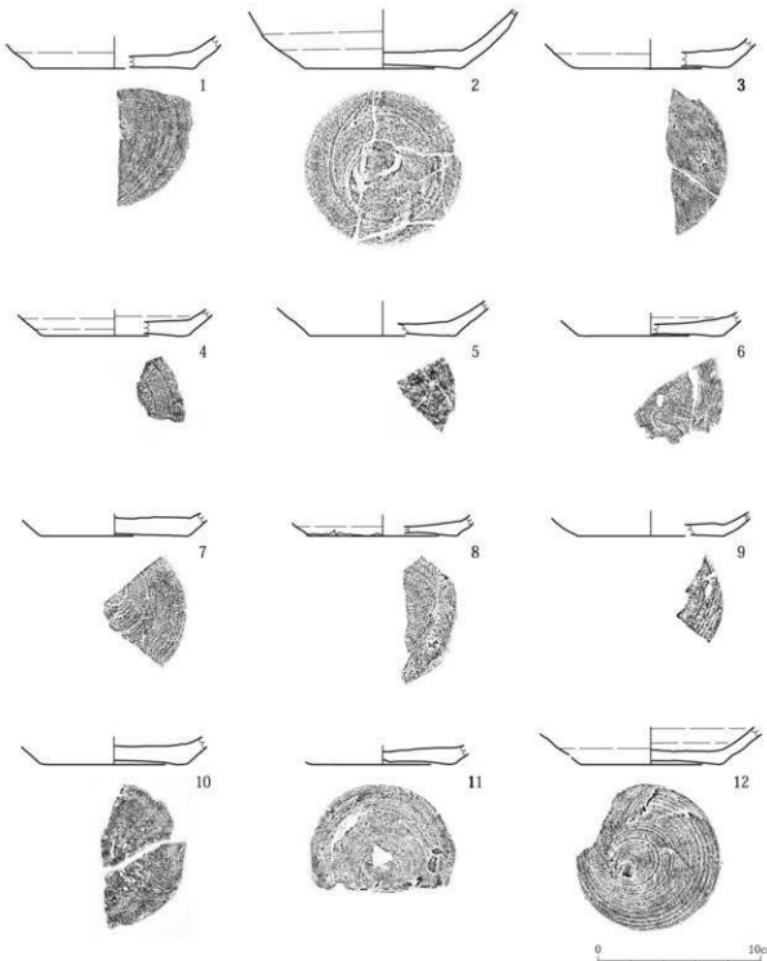
図版番号	登録番号	種類	器種	分類	遺構・層位	法量(cm)			産地	時期	底部糸切り技法	備考	写真図版
						口径	底径	高さ					
1	X119	土師質土器	皿	2	皿縁	(15.4)	—	—	在地	1TC初期	不明	口縁部に側付着	172-4
2	X102	土師質土器	皿	2	SK297-1層	(15.1)	—	—	在地	1TC初期	不明	不明	172-5
3	X96	土師質土器	皿	2	SK297-1層	(15.0)	—	—	在地	1TC初期	不明	不明	172-6
4	X101	土師質土器	皿	2	SK297-1層	(15.0)	—	—	在地	1TC初期	不明	不明	172-7
5	X94	土師質土器	皿	3	SK297-1層	(14.2) (8.4)	3.5	—	在地	1TC初期	不明	不明	171-1
6	X71	土師質土器	皿	3	SK297-1層	14.2	7.7	3.4	在地	1TC初期	aR	側成硬質	171-2
7	X76	土師質土器	皿	3	SK297-1層	(14.4)	7.2	3.3	在地	1TC初期	aL	不明	171-3
8	X78	土師質土器	皿	3	SK297-1層	14.3	7.4	3.3	在地	1TC初期	aL	不明	171-4
9	X90	土師質土器	皿	3	SK297-1層	(13.7)	7.6	3.2	在地	1TC初期	aL	不明	171-5
10	X120	土師質土器	皿	3	陶乱	(12.8)	7.0	3.2	在地	1TC初期	aL	不明	171-6
11	X34	土師質土器	皿	3	SD54-1層	(14.0)	7.4	2.9	在地	1TC初期	aL	不明	171-7
12	X87	土師質土器	皿	3	SK297-1層	13.2	7.4	2.9	在地	1TC初期	aR	不明	171-8
13	X24	土師質土器	皿	3	SB44-9層	(13.4) (8.4)	2.8	—	在地	1TC初期	不明	見込みに側付着	171-9

第241図 出土遺物 土師質土器(3)



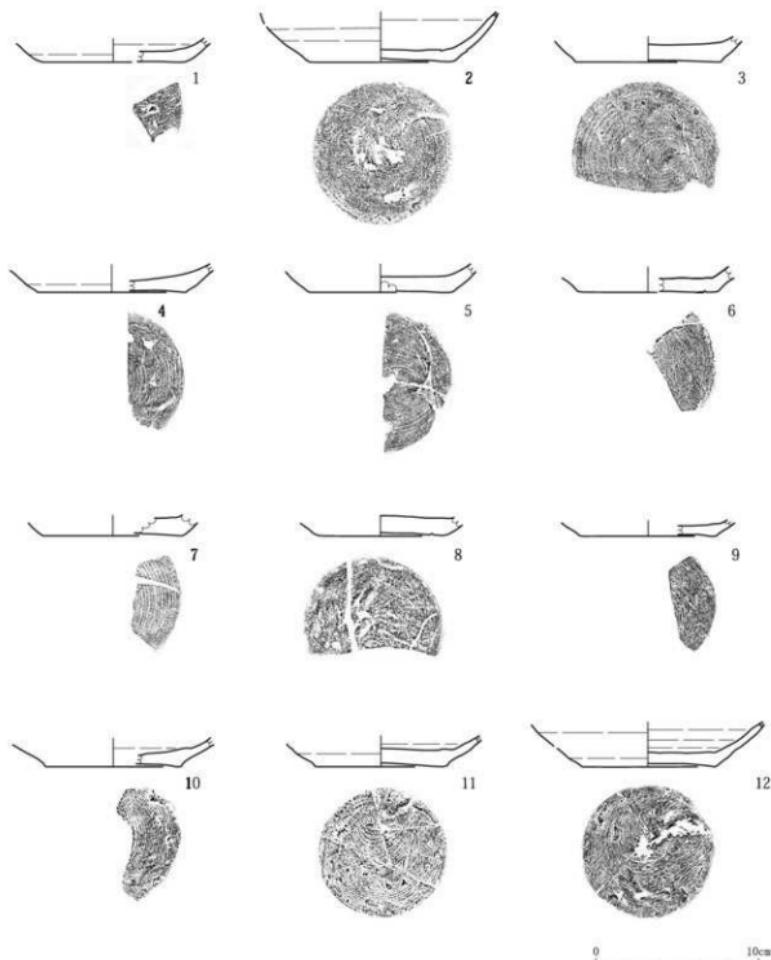
図版番号	管識番号	種類	海綿	分類	遺構・部位	法量(cm)			産地	時 期	追跡系切り技法	備 考	写真図版
						口径	底径	高さ					
1	X83	土師質土器	粗	3	SK297-1縷	12.2	2.6	2.8	在地	17C初め	aR		17-10
2	X46	土師質土器	粗	3	SK238-1縷	(13.4)	(7.0)	2.7	在地	17C初め	不明	口縁部に縦付着	17-13
3	X67	土師質土器	粗	3	SK297-1縷	(13.9)	8.3	2.5	在地	17C初め	aL		17-11
4	X116	土師質土器	粗	3	直縷	(12.6)	(7.0)	2.4	在地	17C初め	不明	底部:ナデ	17-12
5	X89	土師質土器	粗	4	SK297-1縷	10.8	6.8	2.1	在地	17C初め	aL		17-13
6	X142	土師質土器	粗	4	縫孔	(10.0)	(6.8)	2.1	在地	17C初め	不明		17-14
7	X32	土師質土器	粗	4	SD54-1縷	(8.0)	4.8	1.9	在地	17C初め	aL		17-15
8	X123	土師質土器	粗	5	縫孔	(6.7)	(5.0)	1.5	在地	17C初め	不明		17-16
9	X58	土師質土器	粗	5	SK276-1縷	(5.8)	(4.8)	1.3	在地	17C初め	不明		17-17
10	X42	土師質土器	粗	1	SK232-1縷	15.6	8.3	3.4	在地	17C初め	aR	口縁部に縦付着	17-18
11	X44	土師質土器	粗	1	SK232-1縷	15.7	8.1	3.3	在地	17C初め	aR	口縁部に縦付着	17-19
12	X45	土師質土器	粗	1	SK232-1縷	16.2	9.0	2.9	在地	17C初め	aR	底部上に縦付着	17-20
13	X43	土師質土器	粗	2	SK232-1縷	15.0	8.3	3.2	在地	17C初め	aR	口縁部に縦付着	17-21

第242図 出土遺物 土師質土器（4）



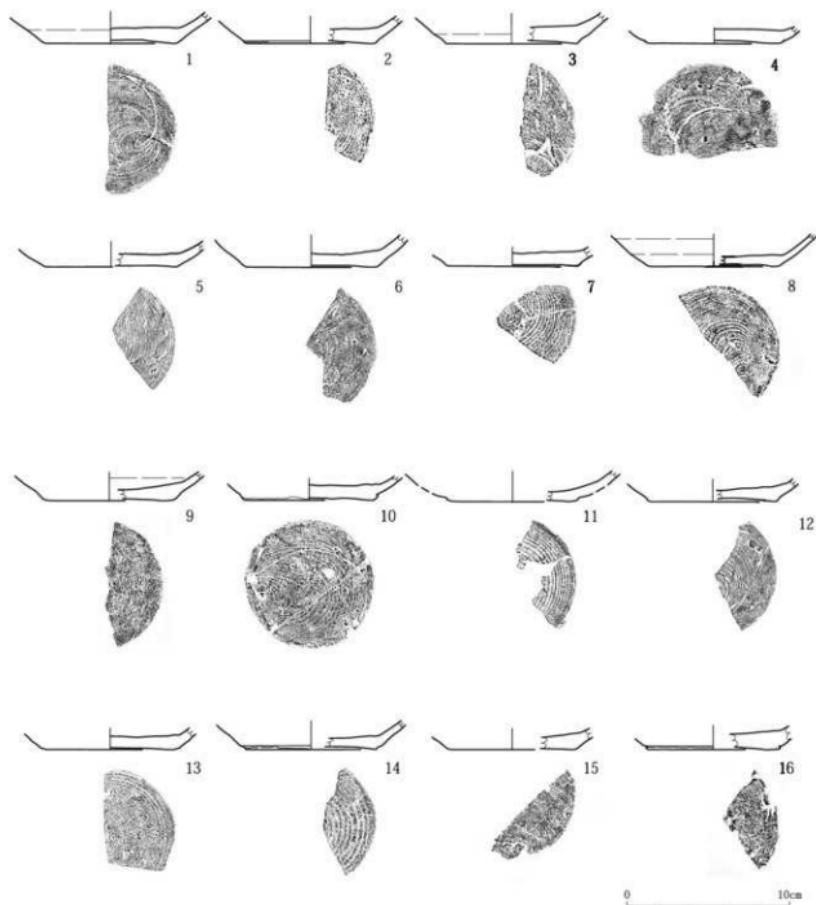
図版番号	登録番号	種類	器種	分類	遺構・部位	法量(cm)			产地	時期	底部糸切り技法	備考	写真図版	
						口径	底径	高さ						
1	X3	土師質土器	組	—	SD33-36	(10.0)	—	在地	17C初め	不明	—	—	172-9	
2	366	土師質土器	組	—	SK297-1組	—	8.8	—	在地	17C初め	Ms.	—	—	172-22
3	X105	土師質土器	組	—	SK297-1組	(9.6)	—	在地	17C初め	不明	底面:ヘタケズリ?	—	—	172-10
4	X128	土師質土器	組	—	SK11-2組	(9.2)	—	在地	17C初め	不明	—	—	—	172-11
5	X136	土師質土器	組	—	SK339-1-2組	(9.2)	—	在地	17C初め	不明	—	—	—	172-12
6	X138	土師質土器	組	—	田觸	(9.2)	—	在地	17C初め	不明	—	—	—	172-13
7	X30	土師質土器	組	—	SD54-1組	(9.1)	—	在地	17C初め	不明	—	—	—	172-14
8	X104	土師質土器	組	—	SK297-1組	(8.1)	—	在地	17C初め	不明	—	—	—	172-15
9	X115	土師質土器	組	—	田觸	(8.0)	—	在地	17C初め	不明	—	—	—	172-16
10	X126	土師質土器	組	—	SD76-1組	(8.0)	—	在地	17C初め	不明	—	—	—	172-17
11	X86	土師質土器	組	—	SK297-1組	(8.0)	—	在地	17C初め	不明	—	—	—	172-18
12	X91	土師質土器	組	—	SK297-1組	(8.0)	—	在地	17C初め	aR	—	—	—	172-19

第243図 出土遺物 土師質土器（5）



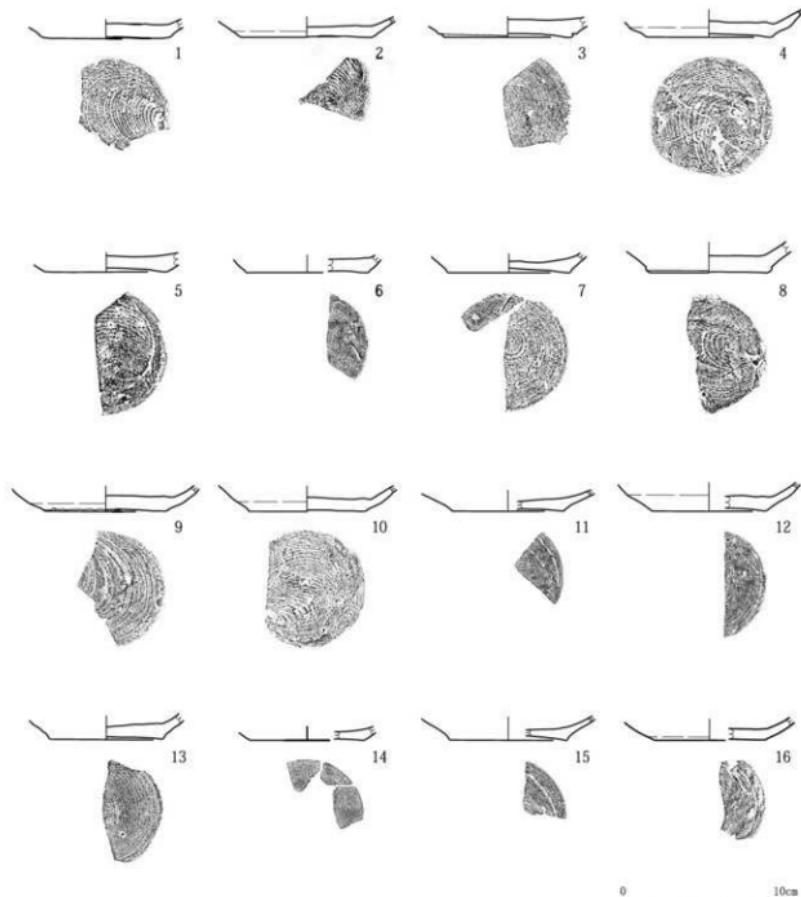
図版番号	登録番号	種類	器種	分類	遺構・層位	法量(cm)			产地	時 期	底部系切り技法	備 考	写真図版
						口径	底径	深 度					
1	X137	土師瓦土器	皿	—	SK338-1・2層	—	(5.0)	—	在地	17C初め	不明	外面に焼付着？ 全面黒褐色	172-20
2	X73	土師瓦土器	皿	—	SK297-1層	—	8.9	—	在地	17C初め	aR		171-23
3	X52	土師瓦土器	皿	—	SK255-1層	—	8.9	—	在地	17C初め	aR		172-21
4	X117	土師瓦土器	皿	—	皿盤	—	(8.9)	—	在地	17C初め	不明		172-22
5	X51	土師瓦土器	皿	—	SK255-1層	—	(8.7)	—	在地	17C初め	aR		173-1
6	X48	土師瓦土器	皿	—	SK255-1層	—	(8.6)	—	在地	17C初め	不明		173-2
7	X118	土師瓦土器	皿	—	皿盤	—	(8.6)	—	在地	17C初め	不明		173-3
8	X53	土師瓦土器	皿	—	SK255-1層	—	8.5	—	在地	17C初め	不明		173-4
9	X99	土師瓦土器	皿	—	SK297-1層	—	(8.4)	—	在地	17C初め	不明		173-5
10	X121	土師瓦土器	皿	—	複瓦	—	(8.4)	—	在地	17C初め	不明		173-6
11	X63	土師瓦土器	皿	—	SK297-1層	—	8.2	—	在地	17C初め	aL		173-7
12	X65	土師瓦土器	皿	—	SK297-1層	—	8.2	—	在地	17C初め	aL		171-24

第244図 出土遺物 土師質土器（6）



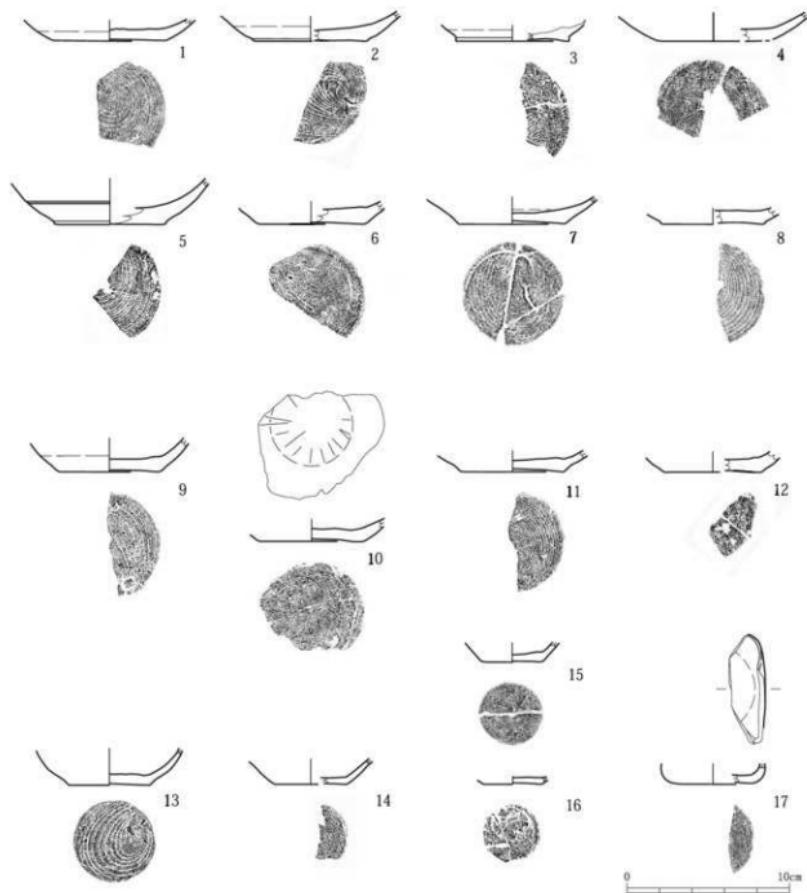
閲覧番号	登録番号	種類	面種	分類	道構・位置	法量(cm)			产地	時期	底部手切り技法	備考	写真版面
						口径	底径	高さ					
1	X75	土師質土器	皿	—	SK297-1盤	—	(8.2)	—	在地	17C初め	aR		173-8
2	X9	土師質土器	皿	—	SD42	—	(8.2)	—	在地	17C初め	不明		173-9
3	X54	土師質土器	皿	—	SK255-1盤	—	(8.2)	—	在地	17C初め	aR		173-10
4	X108	土師質土器	皿	—	小瀬部8-10	—	(8.2)	—	在地	17C初め	aR		173-11
5	X18	土師質土器	皿	—	SD42	—	(8.1)	—	在地	17C初め	不明		173-12
6	X49	土師質土器	皿	—	SK255-1盤	—	(8.1)	—	在地	17C初め	不明		173-13
7	X107	土師質土器	皿	—	小瀬部8-5	—	(8.1)	—	在地	17C初め	不明		173-14
8	X124	土師質土器	皿	—	SB13-1	—	(8.1)	—	在地	17C初め	aL		173-15
9	X33	土師質土器	皿	—	SK338-3盤	—	(8.1)	—	在地	17C初め	不明		173-16
10	X81	土師質土器	皿	—	SK297-1盤	—	(8.0)	—	在地	17C初め	aL		173-17
11	X17	土師質土器	皿	—	SD42	—	(8.0)	—	在地	17C初め	不明		173-18
12	X36	土師質土器	皿	—	2号鍋跡	—	(8.0)	—	在地	17C初め	不明	見込みに塗付有	173-19
13	X98	土師質土器	皿	—	SK297-1盤	—	(8.0)	—	在地	17C初め	不明		173-20
14	X110	土師質土器	皿	—	小瀬部8-19	—	(8.0)	—	在地	17C初め	不明		173-21
15	X131	土師質土器	皿	—	SK11-6盤	—	(8.0)	—	在地	17C初め	不明		173-22
16	X139	土師質土器	皿	—	皿盤	—	(8.0)	—	在地	17C初め	不明		173-23

第245図 出土遺物 土師質土器(7)



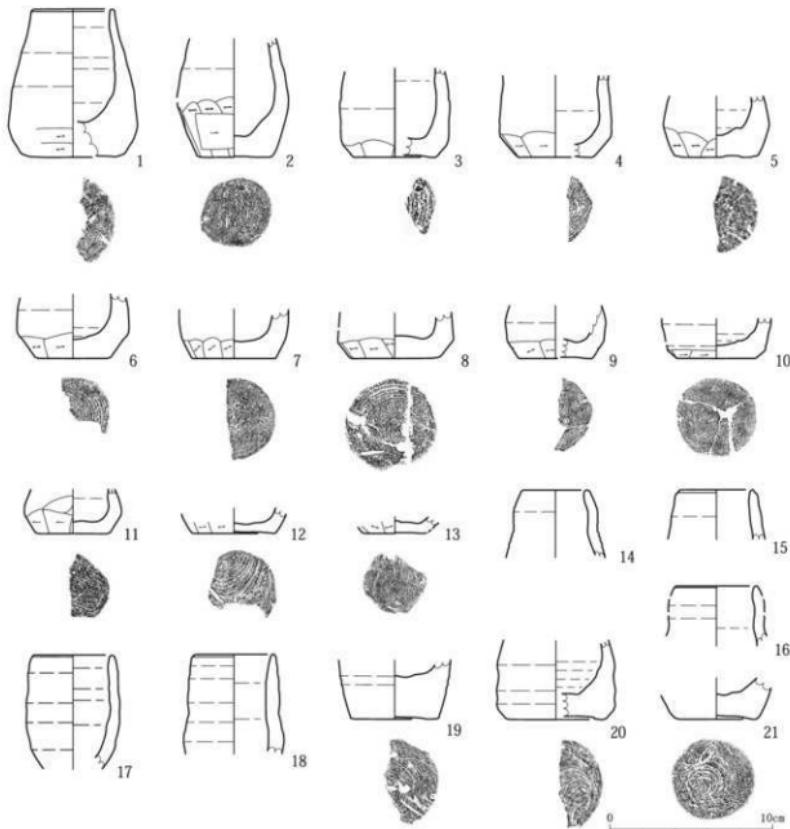
固版番号	登録番号	種類	器種	分類	法量(cm)			产地	時 期	底部赤切り技法	備 考	写真図版
					口径	底径	高さ					
1	X14	土師質土器	皿	—	SD42	—	(7.9)	在地	17C初め	al.		174-24
2	X143	土師質土器	皿	—	—	—	(7.9)	在地	17C初め	不明		174-25
3	X103	土師質土器	皿	—	SK297-1盤	—	(7.9)	在地	17C初め	不明		174-1
4	X64	土師質土器	皿	—	SK297-1盤	—	7.8	在地	17C初め	al.		174-2
5	X13	土師質土器	皿	—	SD42	—	(7.6)	在地	17C初め	al.		174-3
6	X97	土師質土器	皿	—	SK297-1盤	—	(7.5)	在地	17C初め	不明		174-4
7	X112	土師質土器	皿	—	皿盤	—	(7.5)	在地	17C初め	al.		174-5
8	X10	土師質土器	皿	—	SD42	—	(7.4)	在地	17C初め	al.		174-6
9	X122	土師質土器	皿	—	皿底	—	(7.4)	在地	17C初め	不明		174-7
10	X92	土師質土器	皿	—	SK297-1盤	—	7.3	在地	17C初め	al.		174-25
11	X19	土師質土器	皿	—	SD42	—	(7.1)	在地	17C初め	不明		174-8
12	X21	土師質土器	皿	—	SD42	—	(7.1)	在地	17C初め	不明		174-9
13	X23	土師質土器	皿	—	SD44-1盤	—	(7.1)	在地	17C初め	不明		174-10
14	X26	土師質土器	皿	—	SD45-2盤	—	(7.1)	在地	17C初め	不明	外側・底部: 三ガギ	174-11
15	X20	土師質土器	皿	—	SD42	—	(7.0)	在地	17C初め	不明		174-12
16	X50	土師質土器	皿	—	SK255-1盤	—	(7.0)	在地	17C初め	不明		174-13

第246図 出土遺物 土師質土器 (8)



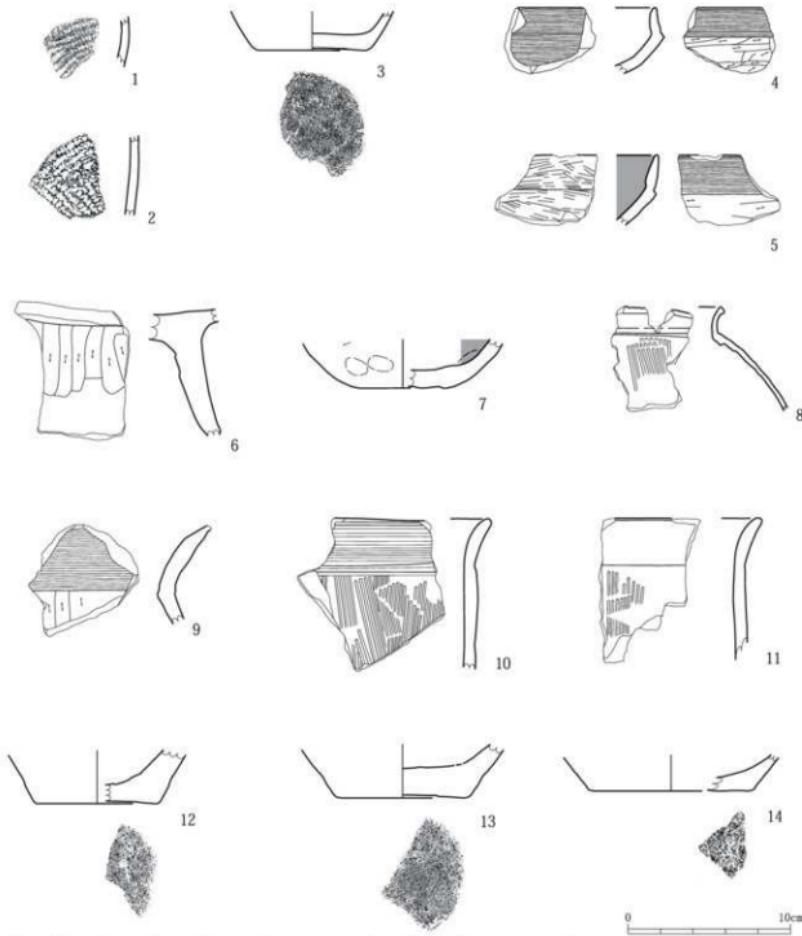
固版番号	登録番号	種類	器種	分類	遺構・層位	法量(cm)		产地	時 期	底部赤堀り技法	備 考	写真複版	
						口径	底径						
1	X109	土師質土器	組	—	小鍋部8-15	(6.9)	—	在地	17C初め	不明		17A-14	
2	X129	土師質土器	組	—	SK11-1層	(7.0)	—	在地	17C初め	aL		17A-15	
3	X132	土師質土器	組	—	SK11-1-2層	(7.1)	—	在地	17C初め	aL		17A-16	
4	X135	土師質土器	組	—	SK33-1-2層	(7.1)	—	在地	17C初め	不明		17A-17	
5	X134	土師質土器	組	—	SK33-3層	(6.9)	—	在地	17C初め	不明		17A-26	
6	X130	土師質土器	組	—	SK11-6層	(5.8)	—	在地	17C初め	aR		17A-18	
7	X6	土師質土器	組	—	SD42	—	6.6	—	在地	17C初め	aR		17A-27
8	X47	土師質土器	組	—	SK25-1層	—	(5.5)	—	在地	17C初め	不明		17A-19
9	X11	土師質土器	組	—	S86-7	—	(5.4)	—	在地	17C初め	aR		17A-20
10	X113	土師質土器	組	—	田彌	—	6.4	—	在地	17C初め	aR	内面：放射状のナデ ^{カス} 刃手	17A-21
11	X35	土師質土器	組	—	24號	—	6.4	—	在地	17C初め	不明		17A-22
12	X144	土師質土器	組	—	圓丘	—	(6.0)	—	在地	17C初め	不明		17A-23
13	X106	土師質土器	組	—	SD9	—	(5.0)	—	在地	17C初め	aR		17A-28
14	X111	土師質土器	組	—	田彌	—	(4.4)	—	在地	17C初め	不明	外側に櫛付着	17A-29
15	X31	土師質土器	組	—	SD54-1層	—	(4.0)	—	在地	17C初め	不明		17A-24
16	X25	土師質土器	組	—	SD34	—	3.6	—	在地	17C初め	aL		17A-25
17	X57	土師質土器	組	—	SK25B-1層	—	(5.0)	—	在地	17C初め	不明	口縁部変形(耳状) 底部：ナデ	17A-26

第247図 出土遺物 土師質土器 (9)



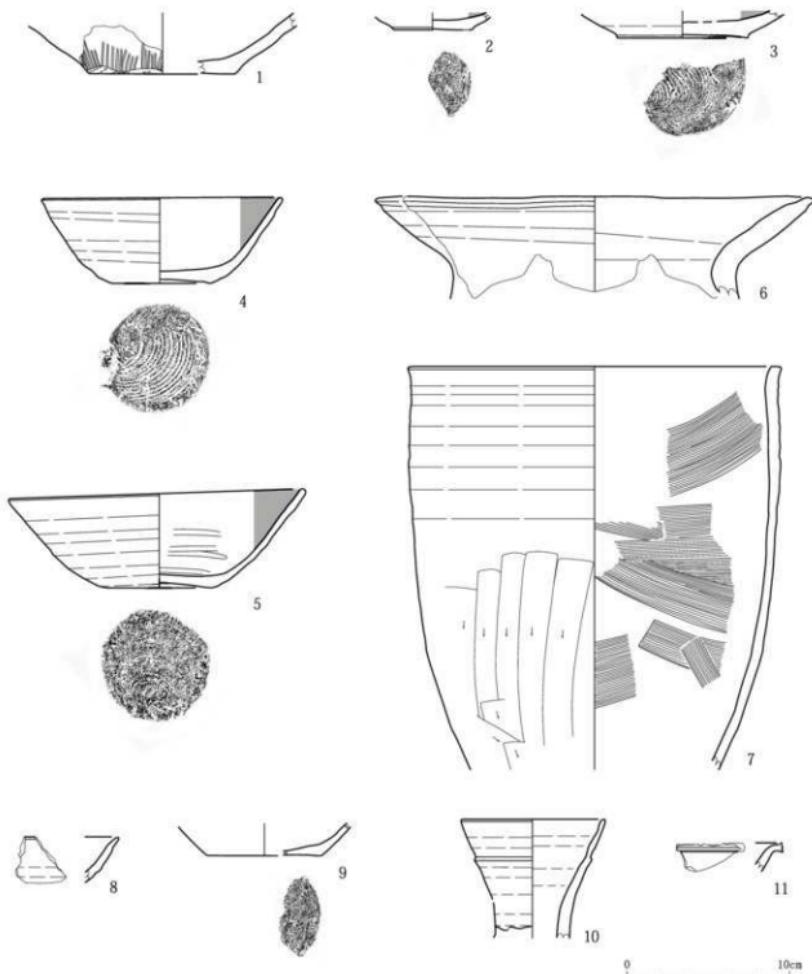
図版番号	登録番号	種類	器種	遺構・部位	法量(cm)	産地	時期	備考	写真版
1	X5	土師質土器	燒塗壺	SDQ2-2脚	(5.2) (6.4) 9.2	在地	1TC期の 外面：下端に横位のケズリ 底部：糸切り後ナデ？		175-1
2	X37	土師質土器	燒塗壺	2号縫跡	— 4.6	在地	1TC期の 外面：下端に横位のケズリ		175-2
3	X140	土師質土器	燒塗壺	直腹	— (5.0)	在地	1TC期の 外面：下端に横位のケズリ、鋏け剥け		175-3
4	X11	土師質土器	燒塗壺	SDQ2-8脚	(4.6)	在地	1TC期の 外面：下端に横位のケズリ		175-4
5	X39	土師質土器	燒塗壺	2号縫跡	— (5.2)	在地	1TC期の 外面：下端に横位のケズリ		175-5
6	X12	土師質土器	燒塗壺	SDQ2-1脚	(4.6)	在地	1TC期の 外面：下端に横位のケズリ		175-6
7	X15	土師質土器	燒塗壺	SD2	(5.2)	在地	1TC期の 外面：下端に横位のケズリ		175-7
8	X41	土師質土器	燒塗壺	2号縫跡	— 5.6	在地	1TC期の 外面：下端に横位のケズリ		175-8
9	X56	土師質土器	燒塗壺	SK255-1脚	—	在地	1TC期の 外面：下端に横位のケズリ		175-9
10	X29	土師質土器	燒塗壺	SD54-1脚	— 5.0	在地	1TC期の 外面：下端に横位のケズリ 底部：手持ちヘラケズリ		175-10
11	X55	土師質土器	燒塗壺	SK255-1脚	— (4.5)	在地	1TC期の 外面：下端に横位のケズリ		175-11
12	X28	土師質土器	燒塗壺	SD53-1脚	— (5.2)	在地	1TC期の 外面：下端に横位のケズリ		175-12
13	X27	土師質土器	燒塗壺	SD45-2脚	4.0	在地	1TC期の 外面：下端に横位のケズリ 底部：糸切り後ナデ		175-13
14	X141	土師質土器	燒塗壺	直腹	(4.0)	在地	1TC期の 外面：鋏け剥け		175-14
15	X4	土師質土器	燒塗壺	SD42	(4.6)	在地	1TC期の		175-15
16	X59	土師質土器	燒塗壺	SK270-1脚	(5.0)	在地	1TC期の		175-16
17	X60	土師質土器	燒塗壺	SK271-1脚	(5.0)	在地	1TC期の 外面：下端に横位のケズリ		175-17
18	X16	土師質土器	燒塗壺	SD42	(5.0)	在地	1TC期の		175-18
19	X2	土師質土器	燒塗壺	SD5-1脚	— (5.5)	在地	1TC期の		175-19
20	X38	土師質土器	燒塗壺	2号縫跡	— (6.4)	在地	1TC期の		175-20
21	X40	土師質土器	燒塗壺	2号縫跡	— (5.2)	在地	1TC期の 底部：糸切り、一部ナデ		175-21

第248図 出土遺物 土師質土器（10）



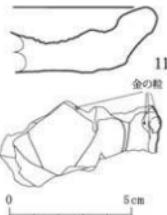
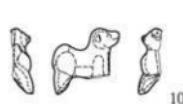
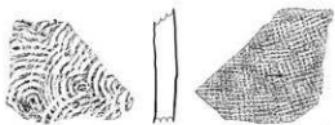
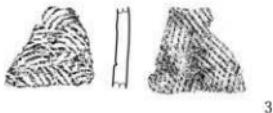
四版番号	登録番号	種類	器種	遺構・層位	法量(cm)			産地	時期	外面調整	内部調整	底部調整	写真図版
					口径	底径	高さ						
1	A1	绳文土器	鉢	直縁	—	—	—	在地	绳文	18周文	不明	—	176-1
2	A2	绳文土器	不明	SXII-8-9層	—	—	—	在地	绳文	绳文初期?	羽状織文	ナデ	176-2
3	A3	直口鋸歯縁	直?	腹丸	(7.0)	—	—	在地	鹿陣-1号坑	織文文?	ミガキ	ミガキ	176-3
4	C5	土師器	环	直縁	—	—	—	在地	古代	ハラケツリ後ヨコナデ	ヨコナデ	ナデ	176-4
5	C6	土師器	环	腹丸	—	—	—	在地	古代	ハラケツリ後ヨコナデ	黑色處理	ヘラミガキ	176-5
6	C9	土師器	高环	SXI-1-1層	—	—	—	在地	古代	ハラケツリ	黑色處理	ヘラミガキ?	176-6
7	C7	土師器	環?	SIXI-1-1層	(6.0)	—	—	在地	古代	ケツリ、折腹圧延	黑色處理?	無調整	176-7
8	C14	土師器	梗	Q3B-割り方墻上	—	—	—	在地	古墳	ハラメ	ヨコナデ	ヨコナデ	176-8
9	C1	土師器	梗	小溝跡8-9	—	—	—	在地	古代	ハラケツリ後ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	176-9
10	C15	土師器	梗	—	—	—	在地	古代	ハラケツリヨコナデ	ヨコナデ?、ヘラナデ	ヨコナデ?	ヘラナデ	176-10
11	C16	土師器	梗	P62	—	—	—	在地	古代	ハラメ、ヨコナデ	ヘラナデ	—	176-11
12	C2	土師器	梗	小溝跡8-8	(7.4)	—	—	在地	古代	ナデ	ヘラナデ	木葉痕?	176-12
13	C3	土師器	梗	小溝跡8-15	(7.5)	—	—	在地	古代	ナデ	ヘラナデ	木葉痕	176-13
14	C18	土師器	梗	梗	(10.0)	—	—	在地	古代	ハラケツリ	ヘラナデ	木葉痕	176-14

第249図 出土遺物 繩文土器・土師器 (1)



回収番号	登録番号	種類	器種	遺構・部位	法長(cm)	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	産地	時期	外面調整	内面調整	直削調整	写真図版
1	C4	土師器	甕	里層	—	(9.0)	—	在地	古代	ナフ施ハケメ	ナフ施ヘラナデ	ヘラケズリ	—	176-15
2	C17	土師器	甕	里層	—	(4.8)	—	在地	古代	ロクロナデ	黒色処理	回転切り	—	176-16
3	C8	土師器	甕	SX11-1-5脚?	—	(6.0)	—	在地	古代	ロクロナデ	黒色処理	回転切り	—	176-17
4	C11	土師器	甕	S11C-1脚	14.8	6.4	5.3	在地	古代	ロクロナデ	黒色処理後ヘラミガキ?	回転切り	—	176-18
5	C12	土師器	甕	S11C-1脚	18.2	6.4	6.1	在地	古代	ロクロナデ、ナデ	黒色処理後ヘラミガキ	回転糸切り	—	176-19
6	C13	土師器	甕	S14-1脚	(27.0)	—	—	在地	古代	ロクロナデ	ロクロナデ	—	—	176-20
7	C10	土師器	甕	S14-1脚	(23.0)	—	—	在地	古代	ロクロナデ、ヘラケズリ	ロクロナデ、ヘナナデ	—	—	177-1
8	E21	須恵器	甕	里層	—	—	—	在地	古代	ロクロナデ	ロクロナデ	—	—	177-2
9	E36	須恵器	甕	里層	—	(7.0)	—	在地	古代	ロクロナデ	ロクロナデ	手持ちヘラケズリ	—	177-3
10	E26	須恵器	平瓶?	S269	(8.0)	—	—	在地	古代	ロクロナデ	ロクロナデ	—	—	177-4
11	E28	須恵器	曲が瓶	SX11-2脚	—	—	—	在地	古代	ロクロナデ	ロクロナデ	—	—	177-5

第250図 出土遺物 土師器(2)・須恵器(1)



0 10cm

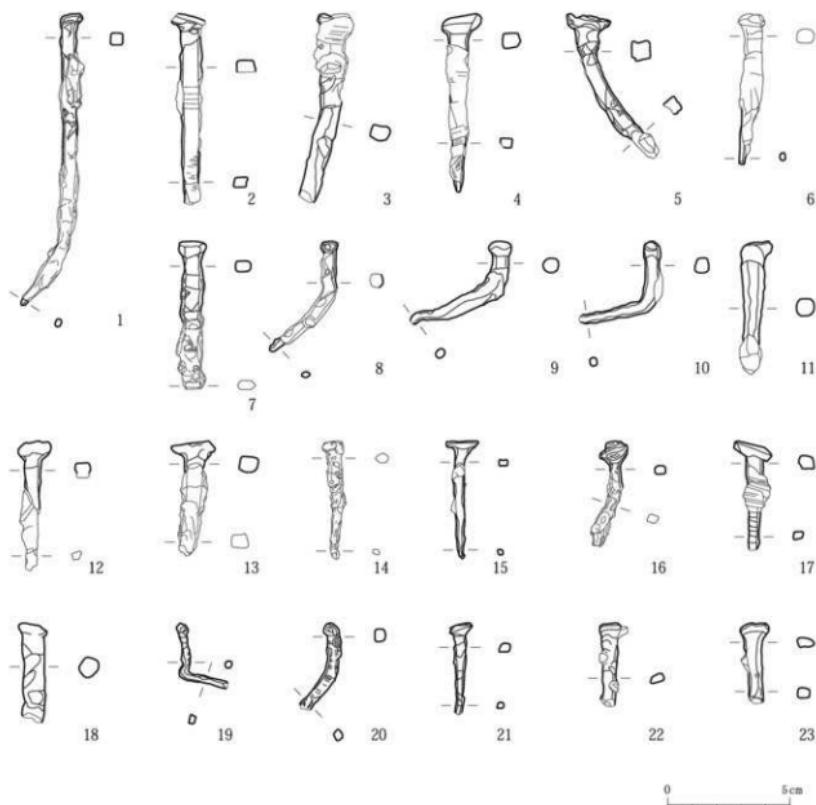
0 5cm

図版番号	登録番号	種類	器種	遺構・部位	法量(cm)		産地	時期	外面調整	内部調整	底面調整	写真図版
					口径	底径						
1	E1	須恵器	甕	S36-8	—	—	在地	古代	平行タタキ後ナデ	同心円オサ工後ナデ	—	177-6
2	E2	須恵器	甕	S25-1棚	—	—	在地	古代	平行タタキ	同心円オサ工	—	177-7
3	E29	須恵器	甕	SXII-2棚	—	—	在地	古代	平行タタキ	同心円オサ工	—	177-8
4	E5	須恵器	甕	小溝E8-13	—	—	在地	古代	平行タタキ	同心円オサ工後ナデ	—	177-9
5	E8	須恵器	甕	田原	—	—	在地	古代	格子タタキ	同心円オサ工	—	177-10
6	E19	須恵器	甕	田原	—	—	在地	古代	格子タタキ	同心円オサ工	—	177-11
7	E15	須恵器	甕	田原	—	—	在地	古代	格子タタキ?後ナデ	同心円オサ工	—	177-12
8	E37	須恵器	甕	田原	—	—	在地	古代	平行タタキ	格子状オサ工	—	177-13

図版番号	登録番号	種類	器種	遺構・部位	法量(cm)		産地	時期	備考		写真図版	
					長さ	幅			底面	内面		
9	S1	埴輪	円筒埴輪?	直筒	—	—	在地	古墳	タガあり	—	177-14	
10	P1	土製品	犬形人形	直筒	(4.1)	(2.4)	(4.1)	在地	近世?	元は着色あり 積合せず中空	—	177-15

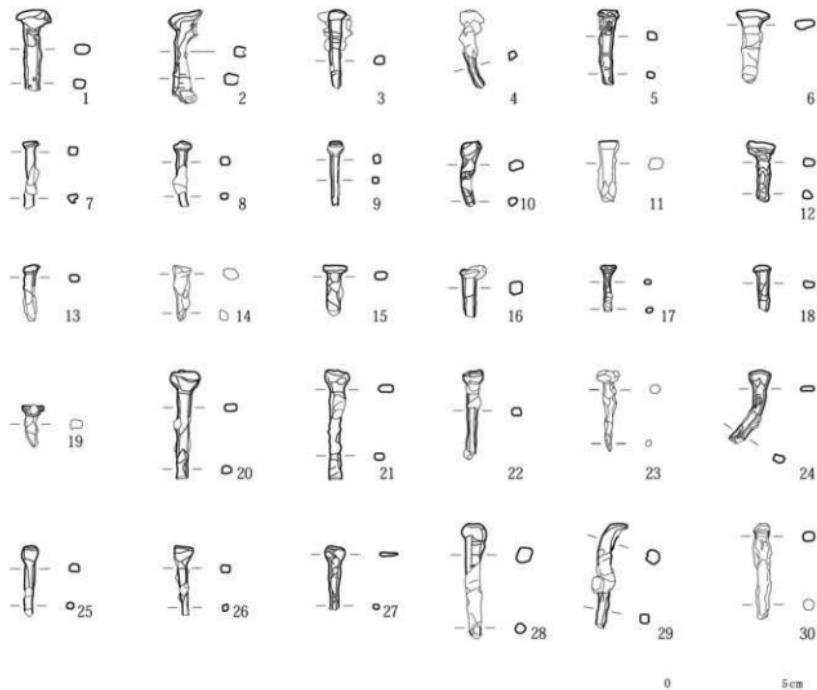
図版番号	登録番号	種類	器種	遺構・部位	法量(cm)		産地	時期	備考		写真図版
					口径	底径			底面	内面	
11	P2	土製品	陶瓶小切端	S244-8棚	(9.4)	(6.6)	2.7	不明	近世?	内面・口縁部:金粒・藍青付着 底部:ヘラケズリ?	168-8

第251図 出土物 須恵器 (2)・埴輪・土製品



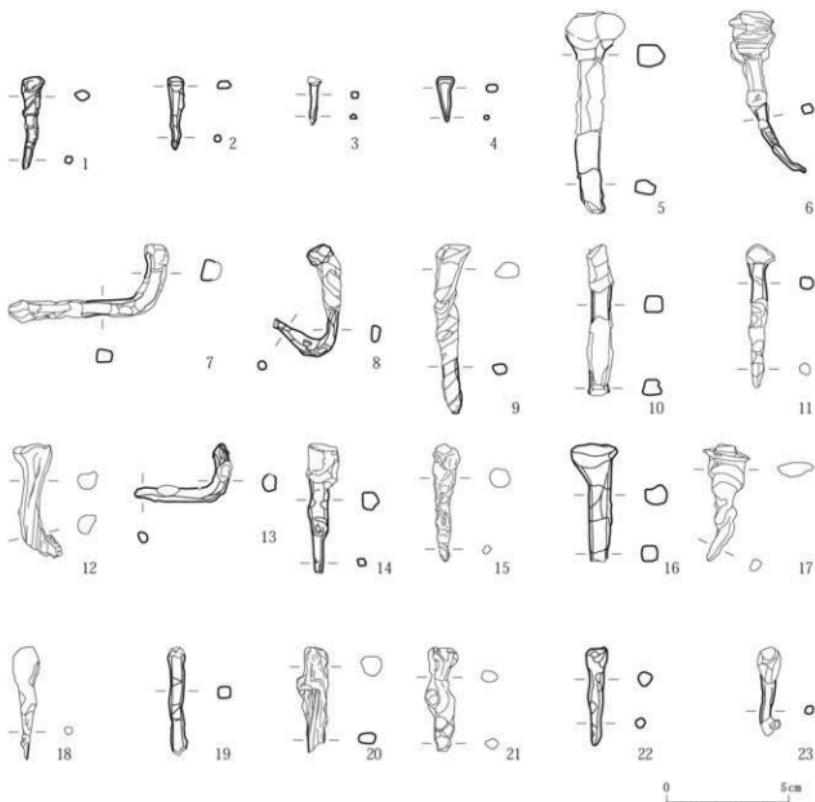
図版番号	登錄番号	種類	原種	分類	遺構・部位	法 長(cm)	半残存幅 幅(cm)	厚さ 厚(cm)	測定径 径(cm)	重量	備考	写真図版
1	8711	鉄製品	釘	1	頭丸	12.5	0.6	0.5	0.9	16.3	木片付器	178-1
2	8317	鉄製品	釘	1	1号桶頭-2頭	7.8	0.8	0.6	—	15.2	木片付器	178-2
3	8276	鉄製品	釘	1	SD4-1頭	7.7	1.1	0.9	1.3	17.2	木片付器	178-3
4	8316	鉄製品	釘	1	1号桶頭-3頭	7.3	0.8	0.6	1.6	9.6	木片付器	178-4
5	8346	鉄製品	釘	1	SX11-1頭	6.9	0.9	0.8	1.8	10.7		178-5
6	8180	鉄製品	釘	1	SD44-5頭	6.1	0.8	0.6	1.1	4.7		178-6
7	8294	鉄製品	釘	1	1号桶頭	6.0	0.7	0.5	1.1	9.4	木片付器	178-7
8	8335	鉄製品	釘	1	SD5-5頭	5.6	0.6	0.6	1.1	3.8		178-8
9	8229	鉄製品	釘	1	SD44-6頭	5.6	0.7	0.6	0.9	5.1		178-9
10	8114	鉄製品	釘	1	SD42-1頭	5.5	0.6	0.6	0.9	4.7		178-10
11	8195	鉄製品	釘	1	SD44-1頭	5.4	1.0	0.9	—	5.7		178-11
12	8361	鉄製品	釘	1	SD44-1頭-1頭	5.3	0.7	0.6	1.4	3.7		178-12
13	8661	鉄製品	釘	1	頭扁	4.8	0.7	0.7	1.8	11.2		178-13
14	8272	鉄製品	釘	1	SD45-2頭	4.8	0.6	0.4	0.9	2.5		178-14
15	8490	鉄製品	釘	1	頭扁	4.8	0.4	0.3	1.3	2.4		178-15
16	8324	鉄製品	釘	1	喉状遺跡-1頭	4.9	0.5	0.4	1.2	3.0		178-16
17	8386	鉄製品	釘	1	頭扁-側面	4.5	0.7	0.5	1.5	4.3	木片付器	178-17
18	8650	鉄製品	釘	1	SK302	4.1	0.9	0.7	1.1	4.3		178-18
19	8480	鉄製品	釘	1	頭扁	4.1	0.4	0.2	0.9	1.3		178-19
20	8662	鉄製品	釘	1	頭扁	4.0	0.5	0.4	1.0	2.6		178-20
21	8413	鉄製品	釘	1	SK292	3.8	0.5	0.4	0.9	1.4		178-21
22	8125	鉄製品	釘	1	SD42-11頭	3.4	0.7	0.5	0.9	3.0		178-22
23	8652	鉄製品	釘	1	SD42-11頭3	3.3	0.6	0.5	1.1	2.6		178-23

第252図 出土遺物 鉄製品（1）



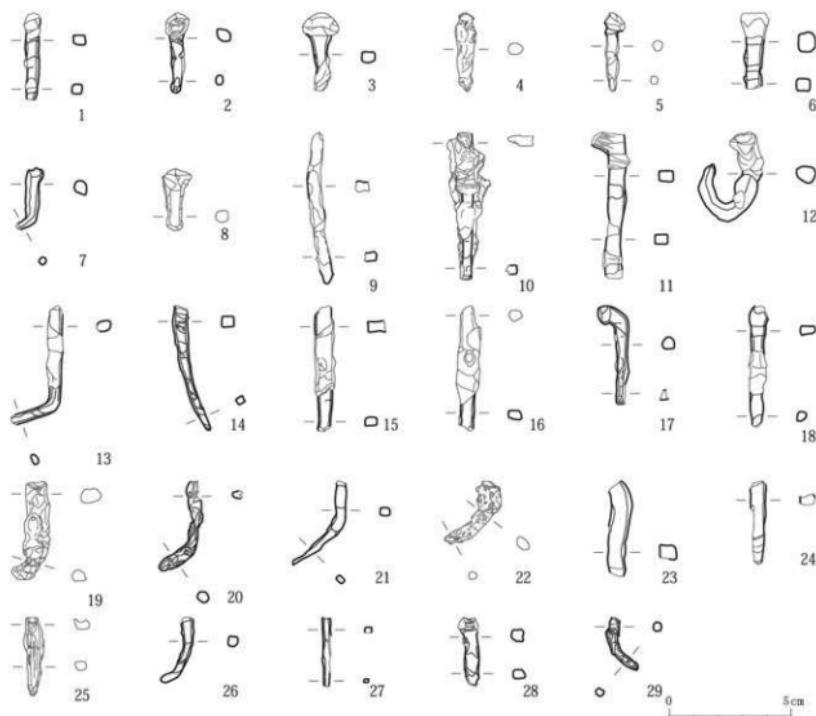
図版番号	登録番号	種類	器種	分類	遺構・部位	法 番(規)			重鑄	備考	写真図版
						長さ	幅	厚さ			
1	3001	鉄製品	釘	1	1号釘頭	3.3	0.6	0.3	1.4	3.0	木片付釘 178-24
2	3088	鉄製品	釘	1	2号釘頭	3.3	0.7	0.5	1.5	4.9	木片付釘 178-25
3	3120	鉄製品	釘	1	SD42-11釘	3.2	0.5	0.3	0.7	1.6	木片付釘 178-26
4	359	鉄製品	釘	1	SD42-1釘	3.2	0.5	0.3	—	3.8	木片付釘 178-27
5	8427	鉄製品	釘	1	小鴨頭-9	3.1	0.4	0.3	0.7	1.3	178-28
6	3562	鉄製品	釘	1	SD42-10釘	3.0	0.7	0.6	1.4	2.6	178-29
7	3689	鉄製品	釘	1	正鴨	2.7	0.5	0.3	0.7	0.8	178-30
8	3680	鉄製品	釘	1	正鴨	2.7	0.3	0.3	0.7	0.9	178-31
9	3696	鉄製品	釘	1	鶴足	2.7	0.3	0.3	0.7	0.7	178-32
10	3425	鉄製品	釘	1	小鴨頭-8	2.7	0.6	0.5	0.8	1.1	178-33
11	3223	鉄製品	釘	1	SD44-8釘	2.5	0.7	0.6	0.8	1.3	178-34
12	337	鉄製品	釘	1	SD33-5SD40	2.4	0.3	0.3	1.1	1.6	178-35
13	3669	鉄製品	釘	1	正鴨	2.3	0.4	0.3	0.7	0.7	178-36
14	3378	鉄製品	釘	1	SK243	2.3	0.5	0.4	0.8	1.1	178-37
15	3541	鉄製品	釘	1	SD52-2釘	2.1	0.6	0.4	1.0	1.2	178-38
16	3325	鉄製品	釘	1	鶴足直頭-1釘	2.1	0.5	0.5	0.8	1.3	178-39
17	3209	鉄製品	釘	1	SD44-12釘	1.9	0.3	0.2	0.7	0.4	178-40
18	3479	鉄製品	釘	1	正鴨	1.9	0.5	0.3	0.7	0.6	178-41
19	3540	鉄製品	釘	1	SD52-2釘	1.7	0.5	0.4	0.8	0.5	178-42
20	3287	鉄製品	釘	2	SK9-2釘	4.5	0.6	0.4	1.2	2.2	178-43
21	38	鉄製品	釘	2	SK7-17	4.5	0.6	0.3	1.0	2.0	178-44
22	3064	鉄製品	釘	2	SK243	3.6	0.5	0.4	0.8	1.3	178-45
23	3036	鉄製品	釘	2	SK902	3.4	0.5	0.4	0.9	0.9	178-46
24	3559	鉄製品	釘	2	SD76-1釘	3.3	0.5	0.4	0.8	1.2	178-47
25	338	鉄製品	釘	2	SD41-2釘	2.9	0.4	0.3	0.7	0.7	178-48
26	3543	鉄製品	釘	2	精1号直頭	2.8	0.4	0.4	0.8	1.0	178-49
27	3407	鉄製品	釘	2	SK280	2.6	0.4	0.2	0.8	0.5	178-50
28	3128	鉄製品	釘	2	SD42-11釘	4.7	0.8	0.7	1.0	3.7	178-51
29	3536	鉄製品	釘	2	SD52	4.4	0.6	0.5	—	2.8	178-52
30	3556	鉄製品	釘	2	SD65-1釘	3.9	0.5	0.5	0.6	2.1	178-53

第253図 出土遺物 鉄製品（2）



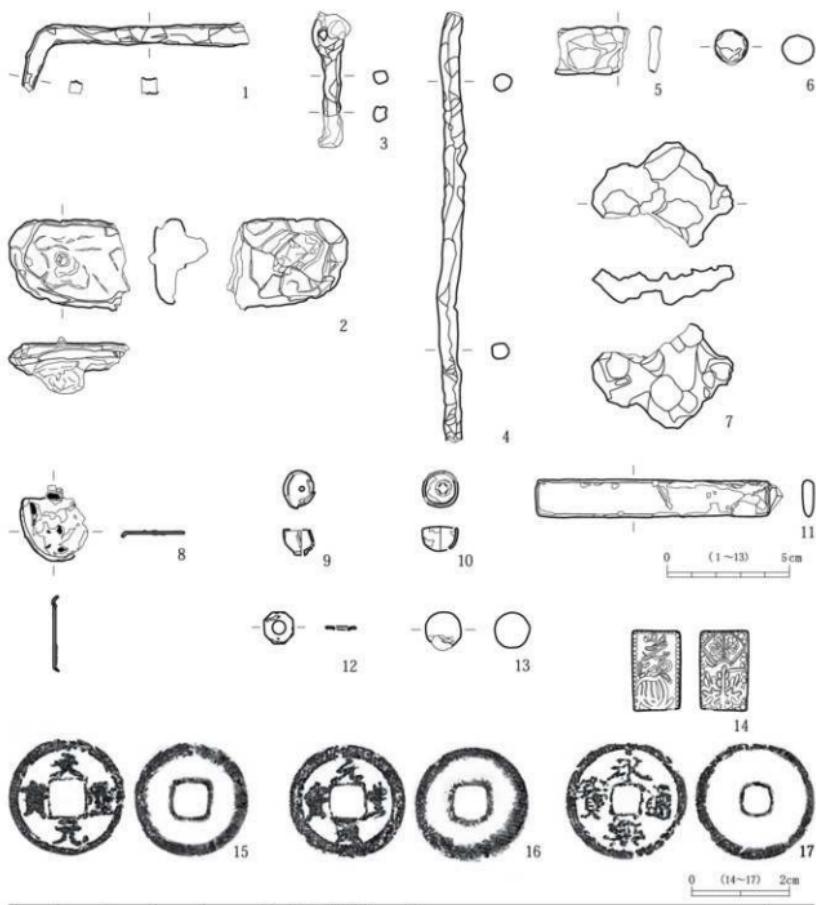
図版番号	世御番号	種類	器種	分類	遺構・部位	法 長さ(m)	半残存納 幅(幅)	厚さ (厚)	頭部径 (頭)	重量	備 考	写真図版
1	8345	鉄製品	釘	3	S601	3.8	0.5	0.4	0.8	1.6		179-54
2	8344	鉄製品	釘	3	S601	3.0	0.5	0.5	0.6	1.0		179-55
3	8445	鉄製品	釘	3	小溝鉗-1	2.0	0.3	0.2	—	0.3		179-56
4	8543	鉄製品	釘	3	S601	1.7	0.4	0.3	0.6	0.4		179-57
5	8421	鉄製品	釘	—	小溝鉗-6	8.5	1.1	0.9	—	17.8		179-1
6	8219	鉄製品	釘	—	SD42-1釘	8.5	0.6	0.5	1.5	7.3	木片付着	179-2
7	8530	鉄製品	釘	—	鉗頭	8.3	0.9	0.7	1.5	15.4	木片付着	179-3
8	8532	鉄製品	釘	—	鉗頭	7.3	1.0	0.9	1.4	9.5		179-4
9	8314	鉄製品	釘	—	11号鉗頭-4釘	6.9	1.0	0.7	1.4	10.9	木片付着	179-5
10	8666	鉄製品	釘	—	SD42-1釘	6.2	0.8	0.7	—	12.8		179-6
11	8126	鉄製品	釘	—	SD42-11鉗	5.9	0.6	0.6	1.7	4.8		179-7
12	8318	鉄製品	釘	—	11号鉗-22鉗	5.6	0.9	0.9	1.6	9.9	木片付着	179-8
13	890	鉄製品	釘	—	SD42-1鉗	5.5	0.8	0.5	1.1	5.2		179-9
14	8145	鉄製品	釘	—	S644	5.2	0.8	0.8	1.3	6.4		179-10
15	8429	鉄製品	釘	—	小溝鉗-9	4.8	0.8	0.7	1.6	4.3		179-11
16	8138	鉄製品	釘	—	SD42-16鉗	4.8	0.9	0.9	1.9	9.2		179-12
17	8651	鉄製品	釘	—	S6302	4.8	0.6	0.6	0.6	4.3	木片付着	179-13
18	8649	鉄製品	釘	—	S6302	4.6	0.6	0.3	1.0	3.3		179-14
19	878	鉄製品	釘	—	SD42-1鉗	4.4	0.7	0.6	—	3.7		179-15
20	8109	鉄製品	釘	—	S644-9鉗	4.3	0.7	0.6	—	3.5		179-16
21	8669	鉄製品	釘	—	SD42-1鉗	4.2	0.8	0.5	1.2	5.0		179-17
22	8232	鉄製品	釘	—	SD44-9鉗	4.0	0.6	0.6	0.9	3.2		179-18
23	8122	鉄製品	釘	—	SD42-12鉗	3.6	0.5	0.3	—	2.5		179-19

第254図 出土遺物 鉄製品（3）



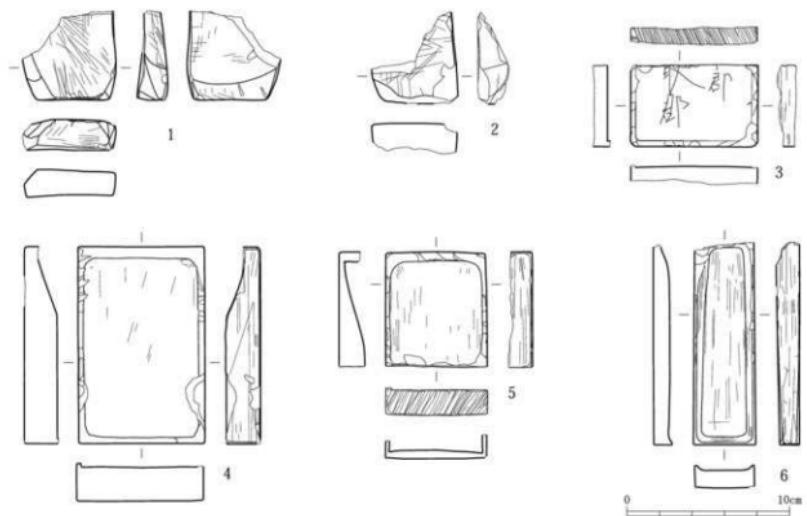
图版番号	登記番号	種類	器種	分類	遺物名・部位	法量(cm)	※残存部	重量	備考	写真図版	
1	3588	鐵製品	釘	—	SX11-7鋸	2.5	0.6 0.5	—	2.1	179-20	
2	306	鐵製品	釘	—	SX03+5026	3.3	0.5 0.5	—	2.7	179-21	
3	3531	鐵製品	釘	—	面鋸	3.2	0.7 0.6 1.5	4.6		179-22	
4	3221	鐵製品	釘	—	SD44-8鋸	3.2	0.6 0.6	—	2.0	179-23	
5	3637	鐵製品	釘	—	SX02	3.2	0.5 0.5 0.9	1.3		179-24	
6	3102	鐵製品	釘	—	SD42-1鋸	3.1	0.9 0.8	—	2.7	179-25	
7	3127	鐵製品	釘	—	SD42-11鋸	2.8	0.5 0.5	—	1.2	179-26	
8	3424	鐵製品	釘	—	小鋸頭8-6	2.6	0.8 0.7 1.2	3.1		179-27	
9	3222	鐵製品	釘	—	SD44-6鋸	6.2	0.6 0.5	—	5.2	179-28	
10	3391	鐵製品	釘	—	中鋸 附鋸頭	6.1	0.6 0.5	—	8.1	木片付器	179-29
11	3302	鐵製品	釘	—	1号鋸頭	6.0	0.7 0.5	—	7.8	木片付器	179-30
12	3199	鐵製品	釘	—	SD44-11鋸	6.0	1.0 1.0	—	5.8		179-31
13	332	鐵製品	釘	—	S60-18鋸	6.0	0.6 0.5	—	2.4		179-32
14	3298	鐵製品	釘	—	1号鋸頭	5.3	0.6 0.5	—	3.3	木片付器	179-33
15	W7	鐵製品	釘	—	S66-07	5.2	0.6 0.5	—	4.4		179-34
16	361	鐵製品	釘	—	SD42-1鋸	5.1	0.6 0.4	—	5.8		179-35
17	3381	鐵製品	釘	—	SX344	5.0	0.6 0.6	—	3.6		179-36
18	3118	鐵製品	釘	—	SD42-9鋸	5.0	0.6 0.4	—	2.4		179-37
19	3211	鐵製品	釘	—	SD44-12鋸	4.7	0.8 0.6	—	5.9		179-38
20	3692	鐵製品	釘	—	面鋸	4.3	0.6 0.6	—	1.7		179-39
21	3646	鐵製品	釘	—	面鋸	4.0	0.5 0.4	—	1.3		179-40
22	341	鐵製品	釘	—	SD41	3.4	0.6 0.4	—	2.0		179-41
23	382	鐵製品	釘	—	SD42-9鋸	3.4	0.6 0.6	—	5.8		179-42
24	3186	鐵製品	釘	—	SD42-11鋸	3.4	0.6 0.5	—	2.5		179-43
25	3184	鐵製品	釘	—	SD44-9鋸	3.2	0.6 0.5	—	1.6		179-44
26	3206	鐵製品	釘	—	SD42-9鋸	3.0	0.5 0.4	—	0.7		179-45
27	3295	鐵製品	釘	—	1号鋸頭	2.8	0.3 0.2	—	0.7	木片付器	180-1
28	3190	鐵製品	釘	—	SD44-12鋸	2.8	0.6 0.5	—	1.4		180-2
29	3338	鐵製品	釘	—	袖釘頭8-1鋸	2.7	0.4 0.3	—	6.9		180-3

第255図 出土遺物 鉄製品（4）



図版番号	登録番号	種類	面種	裏種	測定・部位	法 長さ(cm)	半径存続 長さ	幅 幅さ	重量	備 考	写真図版
1	N567	鉄製品	鏡		SX11-1断	8.3	0.9	0.9	19.8		180-4
2	N34	鉄製品	不明		S96	4.9	3.5	1.1	43.5		180-5
3	N399	鉄製品	火薬		SK255	5.5	0.7	0.9	9.3		180-6
4	N326	鉄製品	火薬	柄状火薬	28	17.6	0.6	0.6	30.6		180-7
5	N253	鉄製品	不明		SK44-25断	3.1	1.9	0.5	5.3		180-8
6	N404	鉄製品	不明		SK280	径1.4	—	—	5.2		180-9
7	N494	鉄製品	鉄伴	里照		5.8	4.3	1.5	37.3	鉄内部	180-10
8	N46	鉄製品	矢立		SK42-1断	3.1	2.8	0.1	1.6	通	180-11
9	N360	その他金属類	腰带		SB70-1断	1.1	1.2	0.1	1.5	火把：銅製	180-12
10	N100	その他金属類	腰带		SK43-8断	1.0	1.5	0.1	1.7	火把：銅製	180-13
11	N25	その他金属類	小判		S91-1断	10.1	1.5	0.5	28.2	銅圓 刀身：鉄製	180-14
12	N449	鉄製品	不明	里照		1.3	1.2	0.1	0.4	中央部に径0.5cmのU形孔あり	180-15
13	N448	その他金属類	銀五五	里照	径1.5	—	—	—	14.6	真鍮	180-16
14	N434	その他金属類	一分割金	小鏡B9-16	1.6	1.0	0.2	4.4	4.4	金鏡 表：「一分」 裏：「光次」	180-17
15	N417	銅製品	錢		SK297	径2.5	—	0.1	2.5	「天聖通寶」	180-17
16	N557	銅製品	錢		SB70-1断	径2.4	—	0.1	2.5	「元豐通寶」	180-18
17	N418	銅製品	錢		SK297	径2.5	—	0.1	2.7	「永樂通寶」	180-19

第256図 出土遺物 鉄製品(5)・銅製品・その他の金属製品



図版番号	登録番号	種類	器種	遺構・部位	法 庫(cm)			産 地	材 質	備 考	写真図版
					長さ	幅	高さ				
1	Kd2	石製品	砾石	直削	—	—	—	不明	砂岩	欠損面一側赤色化(焼け跡?)	180-23
2	Kd3	石製品	砾石	概丸	—	—	—	不明	砂岩	隨創「(名?)」取都	180-24
3	Kd4	石製品	砾	概丸	—	7.8	—	在地	黒色破質粘板岩	180-25	
4	Kd5	石製品	砾	概丸	12.3	7.8	2.3	在地	黒色破質粘板岩	180-26	
5	Kd6	石製品	砾	概丸	—	6.8	—	在地	黒色破質粘板岩	中央で切断される	180-27
6	Kd7	石製品	砾	概丸	—	3.8	1.4	在地	黒色破質粘板岩		180-28

第257図 出土遺物 石製品

遺構・部位	軒丸瓦		丸瓦		斜平瓦		平瓦		伏面瓦		輪縫い		丸瓦か縫合		菊丸瓦		面戸瓦		鬼瓦		その他の瓦		軒鉢瓦		棟瓦		合計				
	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量			
SB1-壁30	1	1205	1	121	1	47	9	942								1	38										1	51	14	2403	
SB1-壁42							2	235																			2	235			
SB2-壁66			1	119			1	95																			1	214			
SB6-壁3							6	389								1	83										7	472			
SB6-壁4			1	212																								1	212		
SB6-壁7							1	32																			1	32			
SB6-壁8							1	89																			1	99			
SB6-壁18							4	319								2	38									6	357				
SB6-壁27	1	32					4	102		2	49					2	77									9	260				
SB6-壁36																2	218										2	218			
SB6-壁59																1	438										1	438			
SB6-壁84							4	165		1	433					1	95									5	394				
SB9-壁13															1	95											1	95			
SB9-壁20															1	581											1	581			
SB9-壁32							1	156		1	191														2	297					
SB9-壁63							3	485								2	22									5	507				
SB5							8	208		1	257														9	597					
SB6	4	1354	23	8056	1	407	100	13802	50	13862	23	5809	11	307	3	473	1	355								1	103	215	4418		
SB6-42								1		322				1	383											2	705				
SB7			1	574			6	789						4	1426											11	2789				
SB33-36	2	386	11	2885		35	8412		10	3506	4	869	1	3											63	10603					
SB34							25	3907		1	247			3	73	2	214								31	4441					
SB36	4	1308	14	4572	2	2004	70	9496	48	25677	4	619	6	238	3	386	1	37							157	41937					
SB40	1	498					2	908		3	1179			1	7										8	2463					
SB41			1	175			11	1689		11	3332	8	2016	1	9										32	9221					
SB42	6	3879	196	41092	10	2115	842	8113	56	25625	36	6192	77	2747	2	437	38	6889	1	141							1298	16750			
SB43			21	2196	3	2200	11	1164	11	1525	7	1038	3	128	1	66									49	8438					
SB44a	4	1171	56	8960		265	28962		35	13519	19	5469	30	925	4	882								3	20	414	59702				
SB44b			7	1362		23	1214		14	4149	3	101	2	37										31	6887						
SB45			14	5280	1	306	69	16238	33	8297	65	14054	13	156	2	440								197	38775						
SB52	2	3840	9	1284		39	2894		21	9645		2	29											69	16547						
SB53			1	195									1	424											2	614					
SB56			11	696		4	908	8	1399	1	25													32	3022						
SB60		1	102			6	278		1	487															10	867					
SB61			1	45		2	764																		3	808					
SB62			2	28		1	212																		3	245					
SB63			1	111																					1	1103					
SB64			2	208																					2	308					
SB65			5	2845		9	1745		5	758															19	5349					
SB66			2	408		1	619																		3	1027					
SB68			2	68		1	264																		3	324					
SB70			1	118		1	53																		2	171					
SB74			2	1551		21	3154		4	283		1	32											28	3023						
SB75		1	88		7	169		2	253	2	277				1	105								13	88-6						
SB76	10	4403	149	51326	11	4613	458	57885	119	37265	46	8223	75	2142	10	2843	2	1475	3	568						883	160743				
SB77			1	1195		19	811		5	635		5	88										30	2779							
橋式造構	1	569	8	11026		28	6798		13	3064	4	2648	4	45										58	27550						
SAC			1	56		21	1862		1	16														23	1906						
SAC PS	1	2324																						1	2324						
SAC PS3	2	3812	2	1496		18	9102		7	3237						1	1436								30	2419					
SAC			1	98											1	154									2	254					
1号繩跡			4	335		33	9141		28	1816	47	8835	8	315		1	366								141	27170					
2号繩跡	5	476	33	7749	4	602	198	23068	27	7395	42	2024	16	3558	15	3030								271	45083						
SAC	1	225																						1	225						
SAC			5	2903		11	8644		73	36867	62	17413	6	58		1	426							1	28	265	66307				
SAC10			2	182		2	182		2	377	1	307	1	72										6	936						
SAC11	14	1857	206	39905	6	11402	126	92365	1	293	300	36752	107	11396	226	79986	5	559	4	963	3	308			2	203	2163	193717			
SE1			41	2182		4	908	2	139	5	73				1	129								53	3431						
SK224			2	1558		23	4342		2	46	1	150	4	59									32	6161							
SK225			2	68										1	32									1	65	4	165				
SK226			1	108		11	291		3	423														15	722						
SK228			5	5567		8	3703		4	1497	2	162	2	11									21	10875							
SK230			2	54										1	31									3	85						
SK241														1	88									1	88						
SK242			79	9307		4	693		2	42														85	10042						
SK243			2	521		1	95	3	727	4	121												15	1466							
SK244			1	75																			1	75							
SK246			5	96											1	23								5	318						
SK250			3	44		1	32																	1	222						
SK252			5	3249		10	1961		5	1469	7	2069	4	18										31	8970						
SK253	1	1285	5	565		23	2238		6	1219	1	290	3	85		2	370							37	9961						

遺構・部位	軒丸瓦			丸瓦			軒平瓦			平瓦			伏瓦瓦			廻斗瓦			輪違い			丸丸か輪違い			廻丸瓦			山面瓦			鬼瓦			その他瓦			斜丸瓦			残瓦			合計		
	数量	重量	密度	数量	重量	密度	数量	重量	密度	数量	重量	密度	数量	重量	密度	数量	重量	密度	数量	重量	密度	数量	重量	密度	数量	重量	密度	数量	重量	密度	数量	重量	密度	数量	重量	密度	数量	重量	密度						
SK278	1	416	5	2062	1	116	3	966	1	483																										11	4045								
SK279		1	16		6	83		2	34																											9	133								
SK280		3	307		35	1250		4	197	2	201	4	109																						46	2150									
SK281		1	496																																	1	406								
SK289						1	315																													1	58	373							
SK290		2	2308		75	4670		31	13748	10	3380	22	403																					143	25743										
SK292		2	582		17	930		3	397	1	20	1	10																					19	1957										
SK293		2	486		14	2116		2	826	3	433	4	173																				25	4001											
SK294						2	29																												5	29									
SK295		2	736		12	3128		7	2387		1	12																					23	8267											
SK297		8	1686		1	229		1	4		1	7		1	485																	17	4473												
SK302	5	4653	1	157	61	13434		17	8063		2	74																				93	2130												
SK308	7	553		88	6566		20	2534		4	132																				115	9795													
SK309				9	73																												6	73											
SK319		4	34		1	8																											5	42											
SK330	6	774		41	4645		19	2374	3	2330	5	263																			77	9088													
SK335		8	632		2	421	2	107																							1	137	13	1297											
SK337			1	84																													1	84											
SK338	2	721	36	20596	418	78255	94	17733	10	1956	29	1253	8	1683																	597	122463													
SK340								1	296																							1	296												
SK341	5	535		7	1430		4	683	2	489																					18	3137													
SK342	4	1035		14	652		2	391	1	530	4	63	1	327																26	3009														
SK343	6	8881		19	5241		26	18973		2	45																			53	34051														
SK345			7	185		9	2326	1	70	3	94																			16	2656														
SK353			7	438		1	41			1	36																			4	515														
SK356																															1	28													
SK357	1	40		7	62						1	32																		9	159														
SK358				4	421																										5	374													
P3 (第3次)																															1	7													
P6 (第3次)			7	646		4	285		1	18																			12	826															
P32 (第3次)																															1	45	1	45											
P35 (第3次)			1	42																										1	42														
P46 (第3次)			1	87																										1	87														
P52 (第3次)			1	36																										1	36														
P65 (第3次)			1	104																										1	104														
P77 (第3次)	2	473		3	354		1	79																						6	906														
P10 (第3次)			2	92		1	15																						3	107															
P15 (第3次)	1	180														1	252													2	432														
P21 (第3次)			1	8		1	6																						2	14															
P25 (第3次)			1	23																										1	23														
P30 (第3次)			2	28																										2	28														
P41 (第3次)	1	238		2	2032																								3	2263															
P42 (第3次)			1	7																										1	7														
P57 (第3次)	1	48	1	8	89		1	181																					6	324															
P59 (第3次)			1	105																										1	105														
P77 (第3次)			1	4																										1	4														
小溝群④-4			5	214												1	20													6	234														
小溝群⑤-5		2	541		6	86		2	361	1	14																		11	1003															
小溝群⑥-6	2	414	2	304	102	2853	12	996	2	524	13	353																137	9456																
小溝群⑦-7		1	79		6	276		1	137																			19	473																
小溝群⑧-8		2	252		36	555		2	105	2	36																	37	1076																
小溝群⑨-9		5	840		27	874		2	485	2	126	7	333		1	134											44	2796																	
小溝群⑩-10			14	224												3	149											17	373																
小溝群⑪-11	1	25	14	124												1	75											17	246																
小溝群⑫-12			15	671		3	179	3	126	1	88					1	70										23	1127																	
小溝群⑬-13	1	19	1	655	43	1237	11	1053	9	760	13	315					2	301									42	4359																	
小溝群⑭-14		2	88		32	956		2	44	3	363	2	224														48	1675																	
小溝群⑮-15		5	526		36	1262		10	1550	11	566	14	412		1	41										83	4366																		
小溝群⑯-16		1	247		43	3545		2	228		3	126					1	75									52	4271																	
小溝群⑰-17			29	1912		3	258		4	88																	27	2258																	
小溝群⑱-18		1	64		26	367		1	226		4	36														34	693																		
小溝群⑲-19			17	359		2	68	9	126																		28	548																	
小溝群⑳-20	1	57	3	229	43	998										12	206		1	15								60	1507																
小溝群㉑-21	2	152	4	425	36	765		1	83	2	231	18	405													63	2063																		
小溝群㉒-22		2	29		24	733		1	963</																																				

遺構・層位	陶器	磁器	瓦質土器	土師質土器 皿 鉢	陶文土器 供物壺	土師器	調査器	土製品	埴輪	鉄製品 釘	その他	銅製品	その他 の金属	石製品	石器 (調片)	ガラス 製品	その他	合計
S81-830					2													2
S86-833				4														4
S86-837				1														1
S86-838								1										1
S86-839	1																	1
S86-840										1								1
S86-840										3	1							4
S86-845											1							1
S86-846				1														1
S86-847											1							1
S87-847											1							1
S87																		1
S89																		1
S90																		1
S96																		1
S96+42																		1
S97																		1
S033+36					5													7
S034					4			1										5
S036	1			2	1		1											5
S040				1	20		1											22
S041										8								8
S042	12	1	83%	55	16				81	11	1	1						1013
S043				2		1				7								5
S044a	1		31	4	2		1			78	15					木片1		133
S044b	3		6		1					27	1							28
S045			3	1						16	2							18
S052			2								7							9
S053			40	3	4													47
S054	1		68	9	2					10								90
S057											1							1
S059						56	1											57
S060	1		2		1						1							5
S061											12							12
S064						1	3											2
S065			11		2					2								15
S068					1													1
S070												1						1
S074	2					2				1								5
S076		1	2							1		1						5
S078						1												1
植生状況										34	1				石1			36
S42						2												2
S42 沿柱3						1					3							4
S43			1		1													2
19号墳	5		6	1	2					40								54
24号墳	2		32	13	1					3					日1			52
S39			10							3								13
SX11	5		14	2	1	16	2			22	7				8			77
S81												1			木片1			2
S14							2											2
S15							1											1
S114						2												2
S0225	1	2									1							4
S0226					12					3								15
S0232					12													12
S0238					4													4
S0239					1													1
S0242											1							1
S0243		5			7					19								31
S0244										1								1
S0247						3												3
S0252		2																2
S0253										7								7
S0255	1		77%	29	11					3	1							823
S0256					1													1
S0258	1		11		1													13
S0264	1		2															2
S0266	1		4															5
S0270			9		3													12
S0272	1		4		4													8
S0276	1		14%	9	1						1							152
S0277	1		10	1	3													15
S0279			16		4													26
S0280		2			3						5	2						17
S0286	1	1																2
S0288			3															1
S0289							1				2							3
S0290							6	1										7
S0292			1		1					4								6

*数値は総合後の点数

第12表 出土遺物集計表 瓦以外（1）

遺構・部位	陶器	磁器	瓦質土器	土質土器 皿 燒成物	陶文土器	土器類	漆器	土製品	埴輪	鉄製品 釘 その他	銅製品	その他 の金属	石製品	石器 (調片)	ガラス 製品	その他	合計
SK293	1		9		3					1	3						13
SK297			261	3	3												271
SK301			1														1
SK302										58	2						60
SK308						1				1							2
SK309											1						1
SK316	1																1
SK329						2											2
SK335						1											1
SK338			9		4	1				1							15
SK341			6														6
SK345			1			1				1							3
SK353						2											2
P16 (第8.3C)							1										1
P27 (第8.3C)			2														2
P37 (第8.3C)			1														1
P42 (第8.3C)			2														2
P48 (第8.3C)							1										1
P53 (第8.3C)								1									1
P61 (第8.3C)							1										1
P68 (第8.3C)			3														3
P69 (第8.3C)			7														7
P21 (第9.3C)			1			2											3
P28 (第9.3C)			3														3
P62 (第9.3C)						2											2
P77 (第9.3C)						1											1
小遺跡8-4			2														2
小遺跡8-5			3														3
小遺跡8-6	3	1	13		5				2								24
小遺跡8-7			7		1												8
小遺跡8-8	1		27	2	19				3								52
小遺跡8-9	3		37	5	6				4								55
小遺跡8-10			7		6	3											14
小遺跡8-11			1		6												7
小遺跡8-12					2					2							4
小遺跡8-13					2	1			2								5
小遺跡8-14			1		3												4
小遺跡8-15			1		3												4
小遺跡8-16	1		1		6				2		1						10
小遺跡8-17			3		4				3								10
小遺跡8-18			6		3				2								11
小遺跡8-19			12		4												16
小遺跡8-20			2		2												4
小遺跡8-21			1							1							2
小遺跡8-22			1														1
小遺跡8-1	1		25	2	5				4								37
三層	65	38	456	30	1	228	34	3	1	110	7	3	1	2	2	1(レンガ)	983
陶器	48	11	303	9	1	135	36			17	3		54		35		619
不明					4				2								6
合計	158	59	3352	182	3	643	50	2	1	637	60	9	5	56	21	41	5270

*数量は接合後の点数

第13表 出土遺物集計表 瓦以外（2）

(10) 加工痕跡のある石材

ここで石材としたものは、主に第8次調査において、近代の整地土であるII層や搅乱層を中心に出土したもので、若林城期溝跡の側石やS X11の石組みなどに組まれた角礫と同じ石質のものである。このようなものは六角塔の基礎中にも円礫に混じって利用されているが、おそらくは後世に転用されたものと考えられ、角礫は当初、若林城の施設構築に利用する目的で採掘・搬入されたものとみられる。石材は表面が橙色に風化した自然面が残存するもので、仙台城の各期石垣にも利用されている玄武岩や玄武岩質安山岩（通称 三滝安山岩）である。法量や加工痕を確認し記録した石材は大小数十点に上るが、ノミによる加工面や矢穴などの加工痕跡が残る石材は11石ある。

石材は全て不定型な形状であることから、便宜的に安定した状態で置き、計測した結果、長さ50~155cm、幅36~118cm、高さ33~79cmの大きさがあり、加工状態や割れにより形状は様々である。矢穴痕が残る石材は5石あり、矢穴列は1列から多いもので3列残存し、それぞれが1~2個の矢穴が穿たれている。矢穴の残存法量は、間口幅8~11.5cm、間口厚さ1.6~3.5cm、底部幅3~8cm、底部厚さ0.5~2cm、深さ3~10cmあり、断面形状は逆台形で、矢穴芯との間隔は14.5~19cmである。矢穴は性格上、2つに分割されることから、本来の厚さは不明である。

仙台城各期石垣の石材の表面や側面には多数の刻印の他、朱書きや墨書き等が認められるが、この石材にそのような印的なものは全く認められない。唯一特徴的なのは、ノミにより平坦に加工した精緻な面を有する石材であり、この石材は表面の殆どの自然面を残しているが、一面のみを平坦に加工している。仙台城II期石垣の築石はIII期石垣石材とは異なり、正面をげんのうによる粗削りやノミにより全面を加工することは無く、こぶをとるための一部の加工に止めているものである。しかしこの石材は形状や規模からみても石垣や石組みに使用されたものとは考え難く、ノミ加工面は明らかに面全体を平坦にする意図がうかがわれる事から、おそらくは建物の礎石として加工されたものと考えられる。矢穴はこのようなノミ加工面にも穿たれていることから、当初この石材を加工し用いた時期と、矢穴により石材を分割した時期には違いがあり、後に別目的で再利用されたものと推定される。また一部の石材にはげんのうによる剥離が認められるものもあるが、これについては矢穴による分割以前のものか、或いは再利用時の整形作業によるものかは判断できない。

仙台城本丸跡のIII期石垣は1668年（寛文8年）の地震でII期石垣が崩壊した後に構築された切石による整層積みによるもので、築石はほぼ全面に整形加工を受けた角錐状を呈する。III期石垣の修復工事に伴う石材調査によると、計測可能であった7,917個を対象とした矢穴の間口幅は3.3~17.8cmとかなりの差がある中、6.0~6.9cmのものが最も多く、1寸5分から3寸のものが全体の97%を占めるとされている。これに対し、若林城の石材に残された間口幅は8.5~11.5cmの概ね3寸程度となり、III期石垣のものと比較して全体に大きい傾向がある。逆台形の穴を穿つ矢穴は近世を通じ、近代までの長い期間使用されたとするが、一般には間口幅は小さくなり、矢穴自体も当初は木製であったものが鉄製に変化していくとされている。また徳川大阪城東六甲採石場における割石の研究によると、近世初期における矢穴の一般的な大きさは、矢穴口長辺（間口幅）8~12cm、矢穴口短辺<分割前>（間口厚さ）5cm前後、深さは6~10cmとされ、これが近世中頃以降から現代になると、長辺6cm未満、短辺（分割前）4~5cm、深さは6cm未満が一般的となるとされている。

以上のことから、若林城における矢穴を残す石材は、若林城の建物基礎をはじめ庭石の一部などとして城内に置かれていたものが、建物の移築時に城外に持ち出されず、廃城後に何かしら別の用途に再利用するために小さく分割されたものと推定され、その時期は矢穴幅からみて廃城時かそれをあまり下らない時期の可能性が高い。また刑務所敷地内にはかなり風化が進んでいるが、同様の石質とみられ、一部にノミ加工を施した石材が転石として数個確認できる。これらもまた現在にいたるまで庭石等として地上に残された若林城にかかるるもの可能性がある。

石材番号	石材法量(cm)			矢穴法量(cm)						備考
	長さ	幅	高さ	列数	矢穴数	間口幅	底部幅	深さ	間隔	
1	50	33	33	—	—	—	—	—	—	自然面残存
2	77	72	33	1	2	8.5+9.5	4+4.5	7+10	19	自然面残存
3	92	81	37	—	—	—	—	—	—	自然面残存
4	127	65	51	—	—	—	—	—	—	自然面残存
5	67	36	33	—	—	—	—	—	—	自然面残存
6	155	118	79	—	—	—	—	—	—	自然面残存
7	68	47	59	1	2	8+9	4.5	9	15	ノミ面加工あり(礫石?を分離)
8	55	53	37	1	1	9	3	8.5	—	自然面残存
9	66	50	40	3	4(2+1+1)	8~10	5~8	3~9	20	自然面残存
10	55	48	46	1	2	11.5	4.5	(3)×9	14.5	※()は彫りかけ、自然面残存
11	55	50	34	—	—	—	—	—	—	自然面残存

第14表 石材観察表



石材1(打欠き面・自然面)



石材2(矢穴打込み面・自然面)



石材2(割面)



石材2(矢穴)



石材3(自然面)



石材4(自然面)



石材5(自然面)



石材6(自然面)

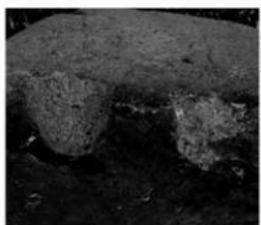


石材7(ノミ加工面と割面)

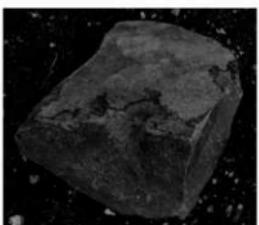
第258図 石材(1)



石材7（剖面）



石材7（矢穴）



石材8（矢穴打込み面・自然面）



石材8（矢穴）



石材9（剖面）



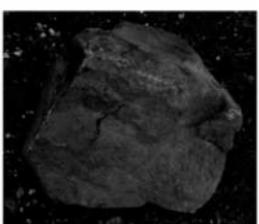
石材9（剖面）



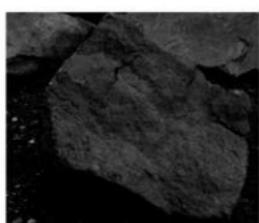
石材9（矢穴）



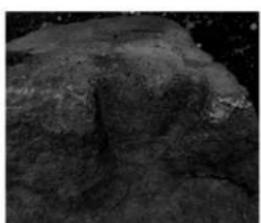
石材9（矢穴）



石材10（剖面）



石材10（剖面）



石材10（矢穴）



石材11（自然面・節理による剥離）

第259図 石材(2)

第6章 自然科学分析

第1節 土壤分析

株式会社 古環境研究所

仙台市若林城第8次・第9次調査では礎石建物跡をはじめ、溝跡、堀跡、池跡（S X 8）、池状遺構（S X 11）敷石遺構（S X 9）や若林城以前の溝跡などが検出された。そこで、これらの遺構や基本土層から採取された試料について、遺構の性格や周囲の植生・環境を把握する目的で花粉分析と植物珪酸体分析を行った。また、SD59の2区の1層で採取された試料についてテフラ分析を行った。次表に各分析の試料一覧を示す。

地点	層位	試料番号	花粉分析	植物珪酸体(プラント・オーバル)分析	テフラ分析
S X 9	III-a層	No. 1989	○	○	—
	堆積土	No. 1990	○	○	—
	IV-a層	No. 1991	○	○	—
調査区西壁	III-a層	No. 1997	○	○	—
	IV-b層	No. 1998	○	○	—
	1層	No. 2012	○	○	—
S X 8	III-a層	No. 2016	○	○	—
	IV-b層	No. 2017	○	○	—
	V-b層	No. 2018	○	○	—
S X 11	7層	No. 1035	○	○	—
	8層	No. 1036	○	○	—
	9層	No. 1037	○	○	—
	10層	No. 1038	○	○	—
	11層	No. 1039	○	○	—
SD 58	4b層	No. 1080	○	—	—
	4c層	No. 1081	○	—	—
	5d層	No. 1082	○	—	—
SD 59 2区	6c層	No. 1083	○	—	—
	1層	No. 1084	—	—	○
	3層	No. 1089	○	—	—
SD 59 5区	24層	No. 1092	○	—	—
	21層	No. 1101	○	—	—
	4f層	No. 1107	○	—	—
	5f層	No. 1111	○	—	—
	8g層	No. 1114	○	—	—
調査区南壁	9b層	No. 1116	○	—	—
	III-a層	No. 1127	○	○	—
	IV-c層	No. 1128	○	○	—
	V-c層	No. 1135	○	○	—

第15表 分析試料

1 花粉分析

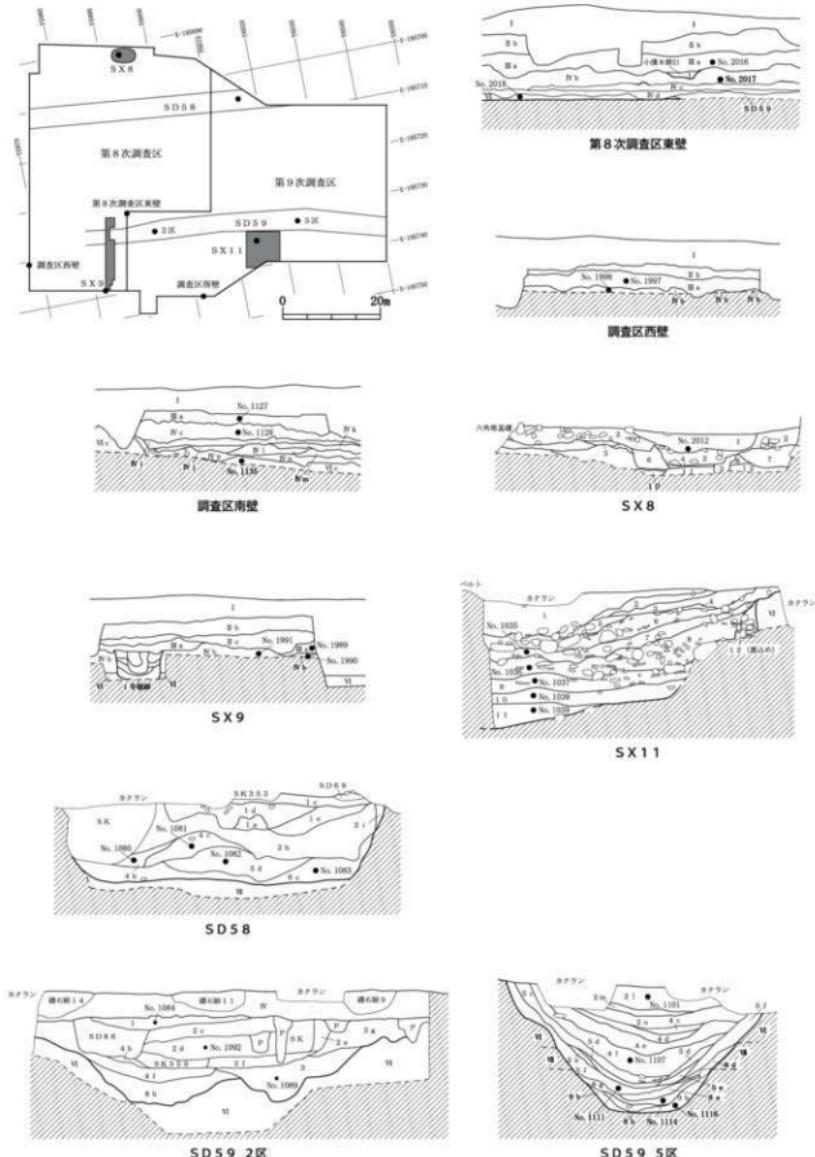
(1) はじめに

花粉分析は、一般に低湿地の堆積物を対象とした比較的広域な植生・環境の復原に応用されており、遺跡調査においては遺構内の堆積物などを対象とした局地的な植生の推定も試みられている。花粉などの植物遺体は、水成堆積物では保存状況が良好であるが、乾燥的な環境下の堆積物では分解されて残存していない場合もある。

(2) 方法

花粉の分離抽出は、中村（1967）の方法をもとに、以下の手順で行った。

- 1) 試料から 1 cm³を秤量
- 2) 0.5%リン酸三ナトリウム（12水）溶液を加えて15分間湯煎
- 3) 水洗処理の後、0.5mmの筋で礫などの大きな粒子を取り除き、沈澱法で砂粒を除去



第260図 分析試料採取位置

- 4) 25% フッ化水素酸溶液を加えて30分放置
- 5) 水洗処理の後、氷酢酸によって脱水し、アセトリシス処理（無水酢酸9：濃硫酸1のエルドマン氏液を加え1分間湯瓶）を施す
- 6) 再び氷酢酸を加えて水洗処理
- 7) 沈渣に石炭酸フクシンを加えて染色し、グリセリンゼリーで封入してプレパラート作成
- 8) 検鏡・計数

検鏡は、生物顕微鏡によって300~1000倍で行った。花粉の同定は、島倉（1973）および中村（1980）をアトラスとして、所有の現生標本との対比で行った。結果は同定レベルによって、科、亜科、属、亜属、節および種の階級で分類し、複数の分類群にまたがるものはハイフン（-）で結んで示した。イネ属について、中村（1974, 1977）を参考にして、現生標本の表面模様、大きさ、孔、表層断面の特徴と対比して同定しているが、個体変化や類似種もあることからイネ属型とした。

（3）結果

【分類群】

出現した分類群は、樹木花粉14、樹木花粉と草本花粉を含むもの3、草本花粉9、シダ植物胞子2形態の計28である。分析結果を第16表に示し、花粉数が100個以上計数された試料については花粉総数を基数とする花粉ダイヤグラムを示した。主要な分類群について顕微鏡写真を示す。以下に出現した分類群を記載する。

樹木花粉

モミ属、ツガ属、マツ属複維管束亜属、スギ、イチイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科、ヤナギ属、クルミ属、ハンノキ属、カバノキ属、クマシデ属-アサダ、クリ、シイ属、ブナ属、コナラ属コナラ亜属

樹木花粉と草本花粉を含むもの

クワ科-イラクサ科、マメ科、ウコギ科

草本花粉

ガマ属-ミクリ属、イネ科、イネ属型、カヤツリグサ科、アカザ科-ヒユ科、アブラナ科、タンボボ亜科、キク亜科、ヨモギ属

シダ植物胞子

単条溝胞子、三条溝胞子

【花粉群集の特徴】

S X 9

III層（試料番号No. 1989）では、樹木花粉のマツ属複維管束亜属、スギ、ハンノキ属、コナラ属コナラ亜属、草本花粉のガマ属-ミクリ属、イネ科が検出されたが、いずれも少量である。堆積土（試料番号No. 1990）では、樹木花粉のスギ、コナラ属コナラ亜属、草本花粉のカヤツリグサ科が検出されたが、いずれも少量である。IVb層（試料番号No. 1991）では花粉が検出されなかった。

調査区西壁

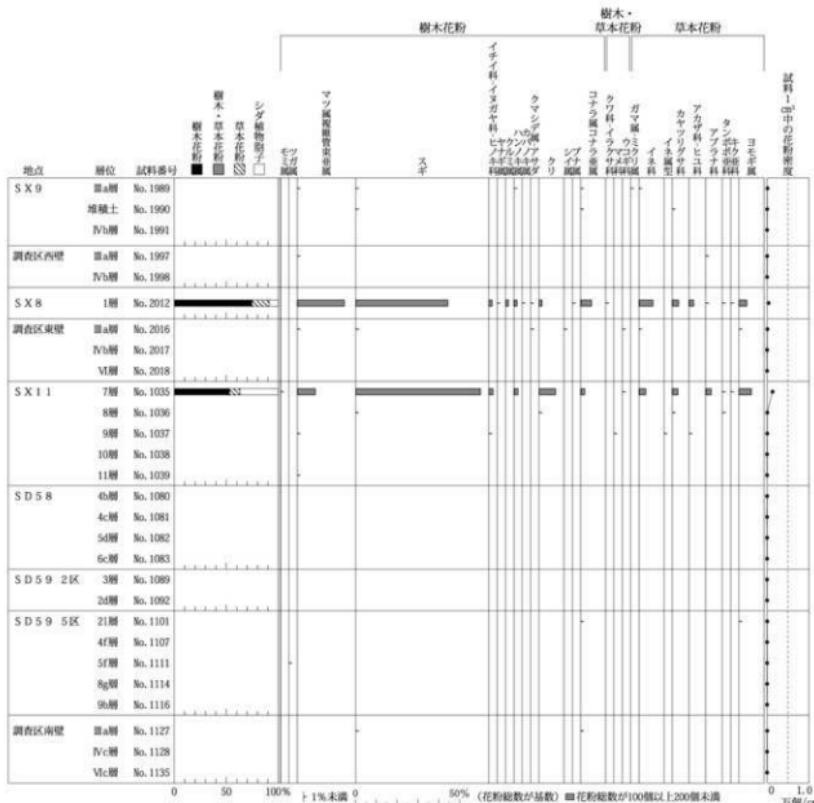
III層（試料番号No. 1997）では、樹木花粉のマツ属複維管束亜属、草本花粉のアブラナ科が検出されたが、いずれも少量である。IVb層（試料番号No. 1998）では花粉が検出されなかった。

S X 8

1層（試料番号No. 2012）では、花粉密度が低く、樹木花粉の割合が74%を占める。樹木花粉ではスギ、マツ属複維管束亜属が優占し、コナラ属コナラ亜属などが伴われる。草本花粉ではイネ科、ヨモギ属、カヤツリグサ科、

学名	和名	分類群		調査(西高麗)		調査(東北)		S11		SD59		SD59		SD59		SD59		
		田小漁	野水漁	西高麗	東北	西高麗	東北	西高麗	東北	西高麗	東北	西高麗	東北	西高麗	東北	西高麗	東北	
ArboREAL pollen	樹木花粉	1969	1990	1991	1997	1998	2012	2016	2017	2018	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	
<i>Aleurites</i>	モミ属																	
<i>Fagus</i>	ツバキ属																	
<i>Pinus</i> subgen. <i>Bipinnata</i>	マツ属	2		1		30	1	13	1									1
<i>Cryptomeria japonica</i>	スギ	2	2	59	3	90	2	3	3	1								2
Taxaceae-Cypraceae-Cyperaceae	イチジク科/タガヤ科/セイヨウキ科	2																
<i>Selaginella</i>	ヤナギヒキ属	2																
<i>Lycopodium</i>	クルミ属	2																
<i>Alnus</i>	ハノキ属	1																
<i>Betula</i>	カバノキ属	1																
<i>Caprifolium</i> / <i>Chrysanthemum</i> / <i>Gnaphalium</i>	ケヤキ属/アザミ属	1	1	1														
<i>Castanea crenata</i>	カジカ属	2		12	1													
<i>Carpinus</i> / <i>S</i>	シイ属	1																
<i>Fagus</i>	ブナ属	1																
<i>Quercus</i> subgen. <i>Leptocephala</i> / <i>Mossii</i>	コナラ属/コナラモチ属	2	1	7	7													1
ArboREAL • Keartoreal pollen	クワ科/クサ科	1																
Muricaceae-Bittercressace	ウコギ科	1																
Ligulatae	アリカ科	1																
Keartoreal pollen	直木本花粉	1																
Keartoreal pollen	ガマ属/ミクリ属	1																
Gramineae	イネ科	5		9	2	5												
<i>Dryza</i> type	イネ属	1		4	1	1												
Cyperaceae	カヤツリグサ科	1		3		1												
Chenopodiaceae-Moranthaceae	アカバナ科/ヒユ科	7	3	0	1	0	108	6	0	0	125	3	2	0	1	0	1	0
Croc. Iridace	アブリナ科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Lecythidaceae	タツノオトシゴ科	6	1	0	1	0	24	3	0	0	24	2	0	0	0	0	0	0
Annonaceae	キク科	1		1														
<i>Artocarpus</i>	ヨモギ科	5	1	9														1
Fern spore	シダ類花粉子	3		12	3	10	24											
Monocot spore	単子葉類花粉子	1		3		3												
Trilete spore	三糸輪孢子	7	3	0	1	0	108	6	0	0	125	3	2	0	1	0	1	0
ArboREAL pollen	樹木/草木花粉	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Keartoreal pollen	草木花粉	6	1	0	1	0	24	3	0	0	24	2	0	0	0	0	0	0
Total pollen	花粉總數	13	4	0	2	0	133	10	0	0	150	5	5	1	0	0	2	0
Pollen Frequency of 1cm ³	試料1cm ³ 中の花粉密度	7.8	2.4	0	1.2	0.5	8.6	0.0	1.3	3.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Unknown pollen	未知花粉	×10 ×10		×10	×10	×10 ²	×10										×10	
Fern spore	シダ植物花粉	0	0	0	0	3	1	0	0	3	10	0	0	1	0	0	0	0
Benth. spores	底生植物花粉	1	3	0	12	3	13	24	0	0	88	24	0	0	0	0	1	0
Digestion time ins	明らかに酸化処理	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

第16表 花粉分析結果



第261図 花粉ダイヤグラム

アカザ科ヒュ科などが認められた。

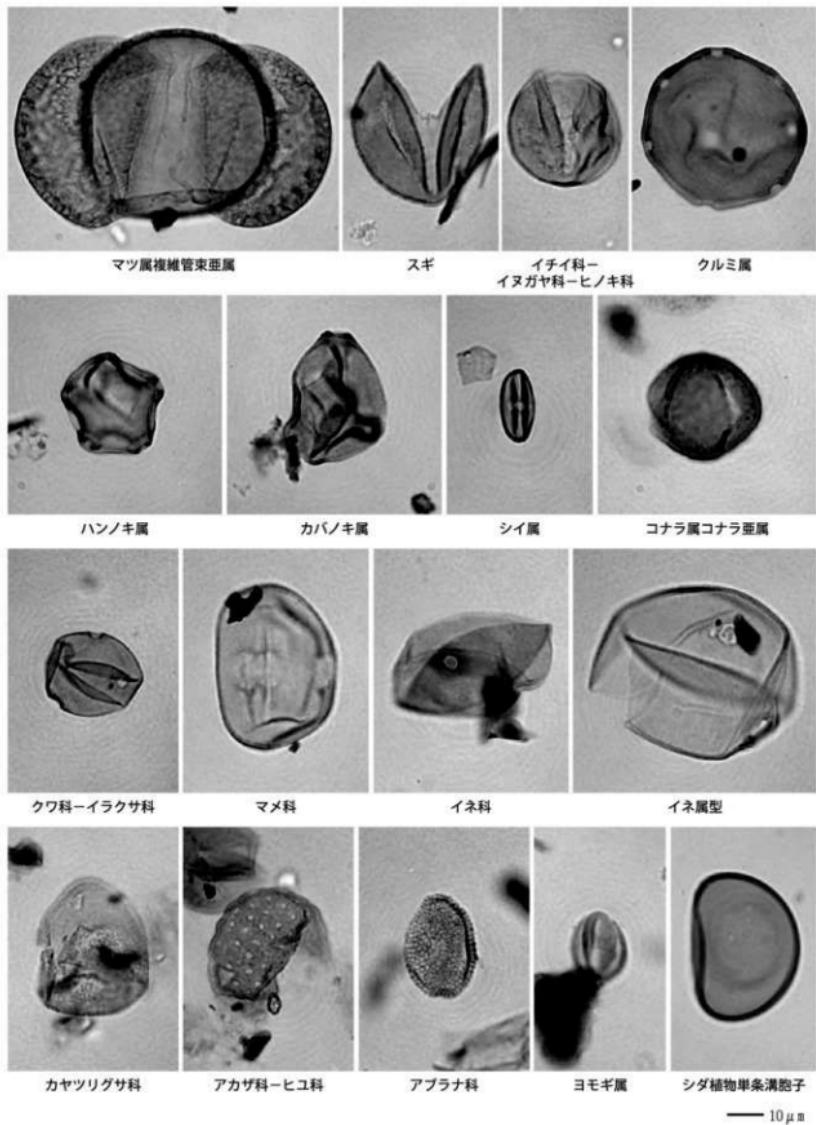
調査区東壁

IIIa層（試料番号No. 2016）では、樹木花粉のマツ属複管束東亜属、スギ、クマシデ属ーアサダ、シイ属、樹木・草木花粉のウコギ科、草木花粉のイネ科、ヨモギ属が検出されたが、いずれも少量である。IVb層（試料番号No. 2017）、VI層（試料番号No. 2018）では花粉が検出されなかった。

S X 11

7層（試料番号No. 1035）では、花粉密度が低く、樹木花粉の割合が53%、シダ植物胞子が37%である。樹木花粉ではスギが優占し、マツ属複管束東亜属、クリなどが伴われる。草木花粉ではヨモギ属、イネ科、カヤツリグサ科、アブラナ科などが認められた。

8層（試料番号No. 1036）では樹木花粉のスギ、クリ、草木花粉のカヤツリグサ科、タンボポ科が検出された。



第262図 花粉・胞子顕微鏡写真

が、いずれも少量である。また、9層（試料番号No. 1037）では樹木花粉のマツ属複維管束亜属、イチイ科一イヌガヤ科ヒノキ科、樹木・草本花粉のマメ科、草本花粉のイネ属型、アカザ科ヒユ科、11層（試料番号No. 1039）では樹木花粉のマツ属複維管束亜属が検出されたが、いずれも少量である。10層（試料番号No. 1038）では花粉が検出されなかった。

S D58

4b層（試料番号No. 1080）、4c層（試料番号No. 1081）、5d層（試料番号No. 1082）、6c層（試料番号No. 1083）では、花粉が検出されなかった。

S D59 2区

3層（試料番号No. 1089）、2d層（試料番号No. 1092）では、花粉が検出されなかった。

S D59 5区

21層（試料番号No. 1101）では樹木花粉のコナラ属コナラ亜属、草本花粉のヨモギ属、5f層（試料番号No. 1111）では樹木花粉のツガ属が検出されたが、いずれも少量である。4f層（試料番号No. 1107）、8g層（試料番号No. 1114）、9b層（試料番号No. 1116）では、花粉が検出されなかった。

調査区南壁

IIIa層（試料番号No. 1127）では樹木花粉のスギ、コナラ属アカガシ亜属が検出されたが、いずれも少量である。IVc層（試料番号No. 1128）、VIc層（試料番号No. 1135）では、花粉が検出されなかった。

（4）花粉分析から推定される植生と環境

花粉分析の結果、全体的に花粉密度が低く、VI層やS D58の3区などでは花粉がほとんど検出されなかった。花粉が検出されない原因としては、乾燥もしくは乾湿を繰り返す堆積環境下で花粉などの有機質遺体が分解されたことや、土層の堆積速度が速かったことなどが考えられる。

花粉が比較的多く検出されたSX8の1層およびSX11の7層の結果によると、各層位の堆積当時は、周辺にスギ、マツ属複維管束亜属（アカマツなど）が多く分布し、コナラ属コナラ亜属、クリ、ハンノキ属などの樹木も生育していたと考えられる。また、草本類ではイネ科、ヨモギ属、カヤツリグサ科、アカザ科ヒユ科、アブラナ科、シダ植物などが生育していたと推定される。

SX11の9層（試料番号No. 1037）では、少量ながらイネ属型が認められることから、周辺で稲作が行われていた可能性が示唆される。

また花粉分析においては薬草に関わるものは特定できなかった。

文献

- 金原正明（1993）花粉分析法による古環境復原。新版古代の日本第10巻古代資料研究の方法、角川書店、p. 248-262。
島倉巳三郎（1973）日本植物の花粉形態。大阪市立自然科学博物館収蔵目録第5集、60p。
中村純（1967）花粉分析。古今書院、p. 82-110。
中村純（1974）イネ科花粉について、とくにイネ (*Oryza sativa*) を中心として。第四紀研究、13、p. 187-193。
中村純（1977）稲作とイネ花粉。考古学と自然科学、第10号、p. 21-30。
中村純（1980）日本産花粉の標識。大阪自然史博物館収蔵目録第13集、91p。

2 植物珪酸体（プラント・オパール）分析

（1）はじめに

植物珪酸体は、植物の細胞内に珪酸 (SiO_4) が蓄積したもので、植物が枯れたあともガラス質の微化石（プラント・オパール）となって土壤中に半永久的に残っている。植物珪酸体分析は、この微化石を遺跡土壤などから検出して同定・定量する方法であり、イネをはじめとするイネ科栽培植物の同定および古植生・古環境の推定などに応用されている（杉山, 2000）。また、イネの消長を検討することで埋蔵水田跡の検証や探査も可能である（藤原・杉山, 1984）。

（2）分析法

植物珪酸体の抽出と定量は、ガラスピーズ法（藤原, 1976）を用いて、次の手順で行った。

- 1) 試料を105°Cで24時間乾燥（絶乾）
- 2) 試料約1gに対し直径約40μmのガラスピーズを約0.02g添加（0.1mgの精度で秤量）
- 3) 電気炉灰化法（550°C・6時間）による脱有機物処理
- 4) 超音波水中照射（300W・42KHz・10分間）による分散
- 5) 沈底法による20μm以下の微粒子除去
- 6) 封入剤（オイキット）中に分散してプレパラート作成
- 7) 検鏡・計数

同定は、400倍の偏光顯微鏡下で、おもにイネ科植物の機動細胞に由来する植物珪酸体を対象として行った。計数は、ガラスピーズ個数が400以上になるまで行った。これはほぼプレパラート1枚分の精査に相当する。試料1gあたりのガラスピーズ個数に、計数された植物珪酸体とガラスピーズ個数の比率をかけて、試料1g中の植物珪酸体個数を求めた。

また、おもな分類群についてはこの値に試料の仮比重（1.0と仮定）と各植物の換算係数（機動細胞珪酸体1個あたりの植物体乾重、単位： 10^{-5} g ）をかけて、単位面積で層厚1cmあたりの植物体生産量を算出した。これにより、各植物の繁茂状況や植物間の占有割合などを具体的にとらえることができる（杉山, 2000）。

（3）分析結果

【分類群】

検出された植物珪酸体の分類群は以下のとおりである。これらの分類群について定量を行い、その結果を第17表および第263図に示した。主要な分類群について顕微鏡写真を示す。

イネ科

イネ、ムギ類（穎の表皮細胞）、ヨシ属、シバ属、キビ族型、ススキ属型（おもにススキ属）、ウシクサ族A（チガヤ属など）

イネ科—タケ亜科

メダケ節型（メダケ属メダケ節・リュウキュウチク節、ヤダケ属）、ネザサ節型（おもにメダケ属ネザサ節）、チマキザサ節型（ササ属チマキザサ節・チシマザサ節など）、ミヤコザサ節型（ササ属ミヤコザサ節など）、未分類等

イネ科—その他

表皮毛起源、棒状珪酸体（おもに結合組織細胞由来）、未分類等

樹木

その他

[植物珪酸体の検出状況]

S X 9

IIIa層（試料番号No. 1989）、堆積土（試料番号No. 1990）、IVb層（試料番号No. 1991）について分析を行った。その結果、すべての試料からイネが検出された。このうち、堆積土（試料番号No. 1990）では密度が3,000個/gと比較的高い値であり、稲作跡の検証や探査を行う場合の判断基準としている3,000個/gと同等である。また、他の試料では2,000個/g前後と比較的低い値である。IV層（試料番号No. 1991）ではムギ類（穂の表皮細胞）が検出された。密度は600個/gと低い値であるが、穀（穀殻）が栽培地に残される確率は低いことから、少量が検出された場合でもかなり過大に評価する必要がある。

その他の分類群では、ススキ属型、ウシクサ族A、ネザサ節型、チマキザサ節型、ミヤコザサ節型、および樹木（その他）などが検出されたが、いずれも比較的少量である。樹木は一般に植物珪酸体の生産量が低いことから、少量が検出された場合でもかなり過大に評価する必要がある（杉山, 1999）。なお、すべての樹種で植物珪酸体が形成されるわけではなく、落葉樹では形成されないものも多い（近藤・佐藤, 1986）。

調査区西壁

IIIa層（試料番号No. 1997）とIVb層（試料番号No. 1998）について分析を行った。その結果、両試料からイネが検出された。密度は2,800個/gおよび2,100個/gと比較的低い値である。その他の分類群では、シバ属型、キビ族型、ウシクサ族A、メダケ節型、ネザサ節型、チマキザサ節型、ミヤコザサ節型などが検出されたが、いずれも比較的少量である。

S X 8

1層（試料番号No. 2012）について分析を行った。その結果、イネが4,900個/gと比較的高い密度で検出された。その他の分類群では、ススキ属型、ウシクサ族A、メダケ節型、ネザサ節型、チマキザサ節型、ミヤコザサ節型、および樹木（その他）などが検出されたが、いずれも比較的少量である。

調査区東壁

IIIa層（試料番号No. 2016）、IVb層（試料番号No. 2017）、VI層（試料番号No. 2018）について分析を行った。その結果、IIIa層（試料番号No. 2016）と4b層（試料番号No. 2017）からイネが検出されたが、密度は2,100個/gおよび2,900個/gと比較的低い値である。その他の分類群では、IIIa層（試料番号No. 2016）とIVb層（試料番号No. 2017）ではススキ属型、ウシクサ族A、ネザサ節型、チマキザサ節型、ミヤコザサ節型などが検出され、IVb層（試料番号No. 2017）ではヨシ属も認められたが、いずれも比較的少量である。VI層（試料番号No. 2018）ではメダケ節型、ネザサ節型、ミヤコザサ節型などが検出されたが、いずれも比較的少量である。

S X 11

7層（試料番号No. 1035）、8層（試料番号No. 1036）、9層（試料番号No. 1037）、10層（試料番号No. 1038）、11層（試料番号No. 1039）について分析を行った。その結果、10層（試料番号No. 1038）を除く各試料からイネが検出された。密度は700~2,100個/gと比較的低い値である。その他の分類群では、ミヤコザサ節型が比較的多く、ウシクサ族A、ネザサ節型、チマキザサ節型なども検出された。また、9層より上位では樹木（その他）、11層（試料番号No. 1039）ではヨシ属も認められた。

調査区南壁

IIIa層（試料番号No. 1127）、IVc層（試料番号No. 1128）、Vlc層（試料番号No. 1135）について分析を行った。その結果、IIIa層（試料番号No. 1127）とIVc層（試料番号No. 1128）からイネが検出された。密度は1,400個/gと比較的低い値である。その他の分類群では、ミヤコザサ節型が比較的多く、ネザサ節型、チマキザサ節型なども検出された。Vlc層（試料番号No. 1135）では、ヨシ属、ネザサ節型、ミヤコザサ節型などが検出されたが、いずれも比較的

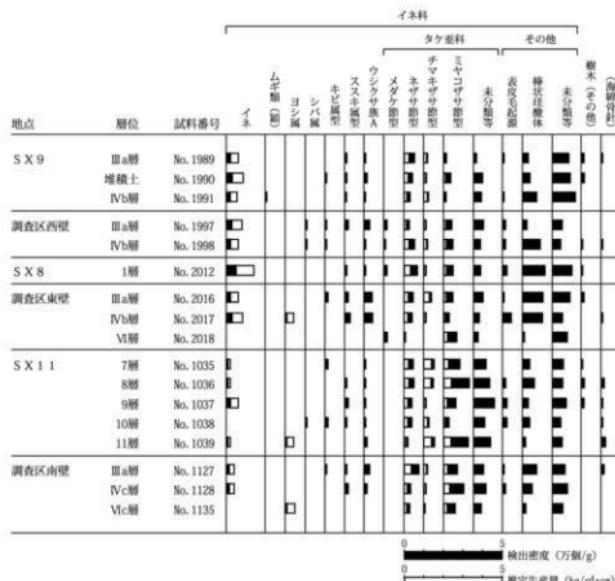
分類群	和名	SX9		調査区西壁		SX8		調査区東壁		SX11		調査区南壁						
		IIIa刷	堆積土	IVb刷	IIa刷	IVb刷	I刷	IIIa刷	IVb刷	V刷	7刷	8刷	9刷	10刷	IIIa刷	IVc刷	Vc刷	
		試料番号 (No.)																
学名		1989	1990	1991	1997	1998	2012	2016	2017	2018	1035	1036	1037	1038	1039	1127	1128	1135
Gramineae	イネ科																	
<i>Oryza sativa</i>	イネ	21	30	19	28	21	49	21	29		7	7	21		7	14	14	
<i>Hordeum-Triticum</i> (Osk Phytolith)	ムギ類(穀の表皮細胞)		6															
<i>Phragmites</i>	ヨシ属									7							8	
<i>Zoysia</i>	シバ属					7	7								7			
Panicoidae type	キビ族型	7		7	7		14				14			14		7		
<i>Miscanthus</i> type	ススキ属型	7	7	6	14		7	14	22		7	14	7	7	14			
<i>Andropogoneae</i> A type	ウシクサ属A	7	15	6	28	7	7	41	43		7	7	7	14	28	14		
Bambusoideae	タケ亞科																	
<i>Pleiothlasius</i> sect. <i>Nipponocalamus</i>	メダカ属型				14	7	14			15								
<i>Pleiothlasius</i> sect.	ネザサ属型	55	45	32	28	55	71	48	43	8	49	52	42	42	21	78	35	30
<i>Sasa</i> sect. <i>Sasa</i> etc.	チマキササ属型	21	15	26	14	21	14	41	14		56	52	14	28	57	21	14	8
<i>Sasa</i> sect. <i>Crassinodii</i>	ミヤコササ属型	14	37	13	42	48	49	48	29	68	84	133	63	28	127	71	104	60
Others	未分類等	14	45	39	49	34	35	48	29	23	63	83	105	56	85	50	62	38
Others	その他のイネ科																	
Husk hair origin	表皮毛原形	7		6	14	14	21	7	43		15	21	21		7	14		
Rod-shaped	錐状柱状体	28	37	71	21	89	113	103	101	8	35	59	28	35	14	71	48	15
Others	未分類等	83	90	117	49	41	99	89	51	75	56	52	70	42	49	64	76	53
Arborescens	樹木起源																	
Others	その他の	14	15			7	7	14			7	15	14					
Sponge spicules	(海綿骨針)	7				7		7			15	7	7	21	14			
Total	植物珪酸体総数	269	345	343	317	357	487	487	411	196	378	480	398	286	382	419	394	210

検出密度 (単位: ×100個/g)

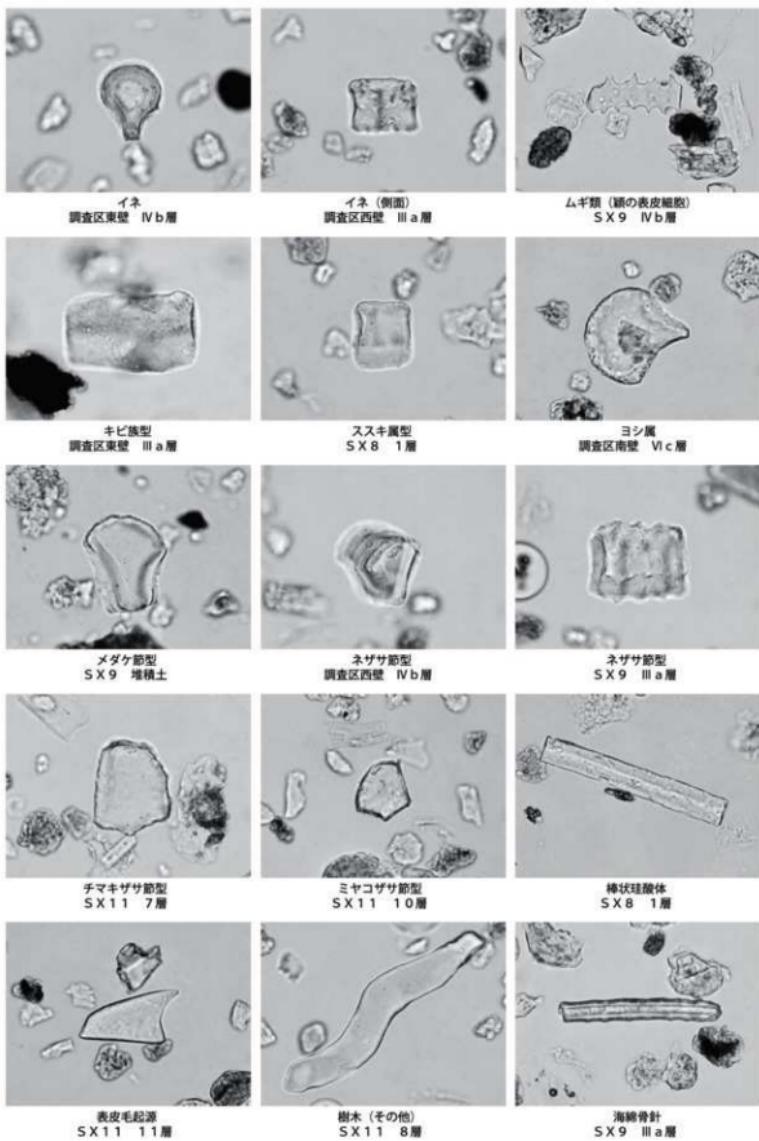
<i>Oryza sativa</i>	イネ	0.61	0.88	0.57	0.83	0.61	1.45	0.60	0.85	0.21	0.22	0.62	0.21	0.42	0.41	0.45	0.47	
<i>Phragmites</i>	ヨシ属									0.46								
<i>Miscanthus</i> type	ススキ属型	0.09	0.09	0.08	0.17		0.09	0.17	0.27		0.09	0.17	0.09		0.09	0.17		
<i>Pleiothlasius</i> sect. <i>Nipponocalamus</i>	メダカ属型					0.16	0.08	0.16		0.17								
<i>Pleiothlasius</i> sect. <i>Nipponocalamus</i>	ネザサ属型	0.27	0.22	0.16	0.14	0.26	0.34	0.23	0.21	0.04	0.24	0.25	0.20	0.20	0.10	0.37	0.17	0.14
<i>Sasa</i> sect. <i>Sasa</i> etc.	チマキササ属型	0.16	0.11	0.19	0.11	0.15	0.11	0.31	0.11		0.47	0.39	0.10	0.21	0.42	0.16	0.10	0.06
<i>Sasa</i> sect. <i>Crassinodii</i>	ミヤコササ属型	0.04	0.11	0.04	0.13	0.14	0.15	0.14	0.09	0.20	0.25	0.40	0.19	0.08	0.38	0.21	0.31	0.18

おもな分類群の推定生産量 (単位: kg/m²·cm) : 試料の比重を1.0と仮定して算出

第17表 植物珪酸体 (プランツ・オパール) 分析結果



第263図 植物珪酸体 (プランツ・オパール) 分析結果



第264図 植物珪酸体（プラント・オパール）顕微鏡写真

50 μm

少量である。

(4) 植物珪酸体分析から推定される植生と環境

植物珪酸体分析の結果、VI層を除くほとんどの試料からイネが検出された。このうち、SX 9の堆積土やSX 8の1層では、イネの密度が比較的高い値である。また、SX 9のIVb層ではムギ類（穂の表皮細胞）も認められた。これらのことから、各層位の堆積当時には周辺でイネやムギ類の栽培が行われていた可能性が考えられるが、遺構構築や整地の際に周辺の耕作地の土壤が利用されたことや、遺構周辺で利用されていた稻藁などに由来する可能性も考えられる。稻藁の利用としては、屋根材や壁材、敷物、履物、俵、網など多様な用途が想定される。

各層位の堆積当時は、メダケ属（おもにネザサ節）やササ属（おもにミヤコザサ節）などの竹笹類をはじめ、スキ属やチガヤ属、キビ族なども生育する比較的乾燥した環境であったと考えられ、周辺には何らかの樹木が分布していたと推定される。なお、湿地的なところに生育するヨシ属などがほとんど認められないことから、池状遺構などの遺構内は常時滲水するような状況ではなかった可能性も考えられる。

文献

- 近藤鉢三・佐瀬隆（1986）植物珪酸体、その特性と応用。第四紀研究、25, p. 31-63.
- 杉山真二・藤原宏志（1986）機動細胞珪酸体の形態によるタケ亜科植物の同定—古環境推定の基礎資料として一。考古学と自然科学、19, p. 69-84.
- 杉山真二（1999）植物珪酸体分析からみた九州南部の照葉樹林発達史。第四紀研究、38 (2), p. 109-123.
- 杉山真二（2000）植物珪酸体（プラント・オパール）。考古学と植物学。同成社, p. 189-213.
- 藤原宏志（1976）プラント・オパール分析法の基礎的研究（1）—数種イネ科植物の珪酸体標本と定量分析法—。考古学と自然科学、9, p. 15-29.
- 藤原宏志・杉山真二（1984）プラント・オパール分析法の基礎的研究（5）—プラント・オパール分析による水田址の探査一。考古学と自然科学、17, p. 73-85.

3 テフラ分析

(1) はじめに

東北地方仙台市域とその周辺に分布する後期更新世以降に形成された地層や土壤の中には、蔵王、安達、肘折、鳴子、十和田など東北地方の火山のほか、洞爺、浅間、御岳、大山、三瓶、阿蘇、姶良、鬼界など遠方の火山に由来するテフラ（火山碎屑物、いわゆる火山灰）が数多く認められる（町田・新井、2003など）。テフラの中には、噴出年代が明らかにされている指標テフラがあり、これらとの層位関係を遺跡で求めることで、遺構の構築年代や遺物包含層の堆積年代を知ることができるようになっている。ここでは、SD59の2区の1層（試料番号No. 1084）から採取された試料について火山ガラス比分析と火山ガラスの屈折率測定を行い、指標テフラの検出同定を試みた。

(2) 火山ガラス比分析

[分析試料と分析方法]

試料に含まれる特徴的な火山ガラスの量比傾向をみるために火山ガラス比分析を行った。分析の手順は次のとおりである。

- 1) 風乾試料8gを秤量。
- 2) 超音波洗浄により泥分を除去。

- 3) 80°Cで恒温乾燥。
- 4) 実体顕微鏡下でテフラ粒子の量や色調などを概査(テフラ検出分析)。
- 5) 分析篩をもちいて、1/4(2φ)～1/8mm(3φ)と1/8(3φ)～1/16mm(4φ)の粒子を篩別。
- 6) 偏光顕微鏡下で1/4(2φ)～1/8mm(3φ)の250粒子を観察し、火山ガラスの色調形態別比率を求める。

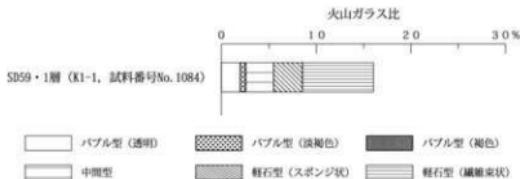
[分析結果]

テフラ検出分析の結果を第18表に示す。SD59の2区の1層(試料番号No.1084)には、比較的粗粒の軽石やスコリアは含まれていないが、火山ガラスの量は比較的多く、軽石型、分厚い中間型、平板状のバブル型が認められる。火山ガラスの色調では、透明のものが多く、淡褐色や褐色を呈するものも含まれている。

火山ガラス比分析の結果をダイヤグラムにして第265図に、その内訳を第19表に示す。試料に含まれる火山ガラスの比率は15.6%であり、纖維束状に発泡した軽石型(7.6%)、スポンジ状に発泡した軽石型および分厚い中間型(各2.8%)、透明のバブル型(2.0%)、淡褐色のバブル型(0.4%)が認められる。

地点	層位	試料番号	軽石・スコリア			火山ガラス		
			量	色調	最大径	量	形態	色調
SD59 2区	1層	No.1084	**	**	**	**	pm, ad, bw	透明, 淡褐, 褐

第18表 テフラ検出分析結果



第265図 火山ガラス比ダイヤグラム

地点	層位	試料番号	bw (cl)	bw (pb)	bw (br)	ad	pm (sp)	pm (fb)	その他	合計
SD59 2区	1層	No.1084	5	1	0	7	7	19	211	250

第19表 火山ガラス比分析結果

(3) 屈折率測定

[測定試料と測定方法]

試料に含まれる1/8(3φ)～1/16mm(4φ)の火山ガラスについて、温度変化型屈折率測定装置(京都フィッショング・トラック社製RIMS2000)により屈折率(n)の測定を行った。

[測定結果]

屈折率測定の結果を第20表に示す。火山ガラス(30粒子)の屈折率(n)は1.497～1.506である。

地点	層位	試料番号	火山ガラス	
			屈折率 (n)	測定点数
SD59 2E	1層	No.1084	1.497–1.506	30

測定は屈度変化型屈折率測定装置 (RIMS2000) による。

第20表 屈折率測定結果

(4) 考察

SD59の2区の1層（試料番号No. 1084）に含まれる火山ガラスの屈折率（n）は1.497–1.506であり、915年に十和田火山から噴出した十和田aテフラ（To-a, 大池, 1972, 町田ほか, 1981, 町田・新井, 2003など）について、給源域である青森地域で記載された屈折率（n）の1.496–1.508（町田・新井, 2003）とほぼ一致する。なお、To-aに含まれる火山ガラスは地点によって水和の進行の程度が異なり、細粒の火山ガラスが降灰した遠隔地では屈折率の値は一般的に高くなっている（故新井房夫群馬大学名誉教授談）、仙台地域における屈折率の値は1.503–1.507と記載されている（町田・新井, 2003）。

試料に含まれる火山ガラスの形態や色調をみると、To-aによく見られるスポンジ状や纖維束状の軽石型ガラスが多いものの、バブル型ガラスの比率がやや高く、有色のものも認められる。また、試料の純度が高くないことや、現段階では同様な特徴をもつテフラの降灰は仙台市域で知られていないことから、To-aのほかにより下位のテフラに由来する火山ガラスが混在している可能性も考えられる。

(5) まとめ

SD59の2区の1層（試料番号No. 1084）について、火山ガラス比分析と火山ガラスの屈折率測定を行った。その結果、十和田aテフラ（To-a, 915年）と考えられる火山ガラスが検出された。また、To-aのほかにより下位のテフラに由来する火山ガラスが混在している可能性も認められた。

文献

- 町田 洋・新井房夫（1992）火山灰アトラス。東京大学出版会, 276p.
- 町田 洋・新井房夫（2003）新編火山灰アトラス。東京大学出版会, 336p.
- 町田 洋・新井房夫・森脇 広（1981）日本海を渡ってきたテフラ。科学, 51, p. 562–569.
- 大池昭二（1972）十和田火山東麓における完新世テフラの編年。第四紀研究, 11, p. 232–233.

第2節 金属分析

株式会社 東都文化財保存研究所

金粒が付着する土製品の取瓶か壺（P2）と、金属製品の小柄（N25）を金属分析の対象とした。P2はSD44、N25はSD6から出土しており、時期の特定は難しいが近世と考えられるものである。P2の金粒に関しては国立歴史民俗博物館 永島正春氏に鑑定を依頼した。

1 軟X線透過撮影

電流、電圧、撮影物とX線源との距離の条件を固定して、P2とN25の軟X線透過撮影を行う。軟X線透過撮影することで得ることができる情報から、遺物の脆弱性や錆の進行の度合や錆に隠れた本来の形状を調べることができる（第266図）。

【軟X線透過撮影条件】

1) 軟X線透過撮影使用機種

ソフテックス製「M-150」

2) 撮影に使用した電圧

90kV

3) 撮影に使用した電流

3mA

4) 軟X線照射時間

2分間

5) 撮影物とX線源との距離

0.6m

2 蛍光X線元素分析

P2とN25について原子番号11のナトリウムから原子番号92のウランまで元素の定性、定量分析を行った。定性分析とは、試料中に含まれる元素の存在を判定することであり、定量分析とは試料中に含まれる元素の量を求ることである。P2は付着金粒を含む4箇所、N25は2箇所で測定した（第267図）。

【蛍光X線元素分析条件】

1) 使用した機械の名称

堀場製作所製 エネルギー分散型蛍光X線元素分析装置「MESA-500」

2) 測定面積

X線が試料に照射されている面積は長径約5mmの楕円形となる。楕円形に照射されている理由は、発生源から発生したX線が試料に当たる際には45°の角度がついているためである。

3) 測定時間

測定試料が未知試料（試料に含まれている成分とその濃度がわからない試料）のため、測定条件を自動にして測定している。X線管電圧を15kVで50秒、50kVで50秒の合計100秒測定している。

4) 2種類のX線管電圧（15kV・50kV）で測定している意味について

測定に異なる2種類のX線管電圧を使用する理由としては、軽元素は15kVのデータ、重元素は50kVのデータを用いて定量計算を行っている。

5) 測定条件の中の「D T%」の意味について

MESA-500では、実際に測定している時間（Live Time）と、測定はしていないが信号パルスを処理している時間（Dead Time）の二つを合わせて、測定にかかった時間（Real Time）になる。「D T%」の意味はReal Timeに占めるDead Timeの割合になる。

6) 定性結果の「○」・「？」の意味について

「○」—データから確定的に検出されている元素。

「？」—データは検出されているが、確定的に言えない元素。

〔金粒の成分(金の純度)〕

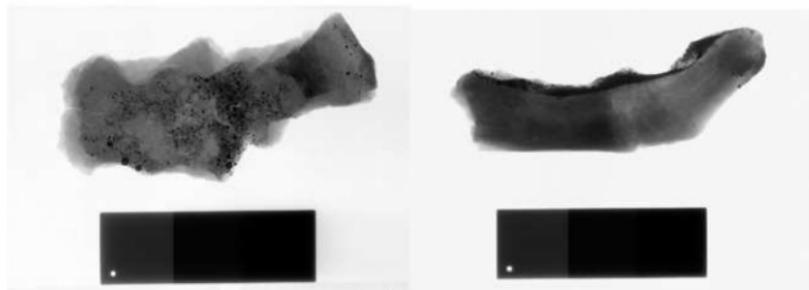
P 2 に付着する最大の金粒部分（第267図 P 2 測定場所 2・3）について、エネルギー分散型蛍光X線装置（日本電子製 JEOL3201M）で分析をおこなった結果、概ね以下のようない成分比と判断した。

金 (Au) 89%

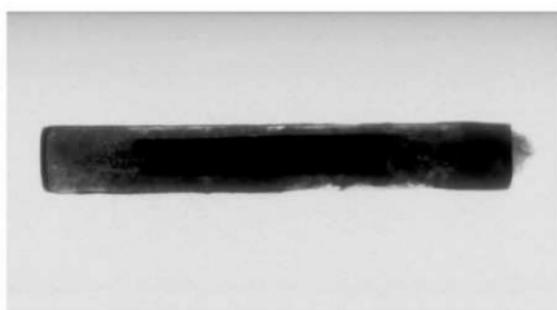
銀 (Ag) 11%

銅 (Cu) や鉄 (Fe) は、含まれていたとしてもごく僅かである。一般的には、自然金の中には10%程度の銀が含まれているので、本資料の金粒は自然金に由来するものと考えても矛盾しない。

黒色を呈する滓状の付着物では、その多くの個所から、鉄 (Fe)、チタン (Ti)、タングステン (W)、ジルコニウム (Zr)、トリウム (Th) などが検出される。これら特異な元素の組み合わせは、自然金が存在した母岩を特徴付けるものと理解できる。おそらく、どこかの金鉱山（あるいは、稼働に至ってはいない金山）の性格を反映しているのであろうが、現時点では特定できない。



※画像は実寸大

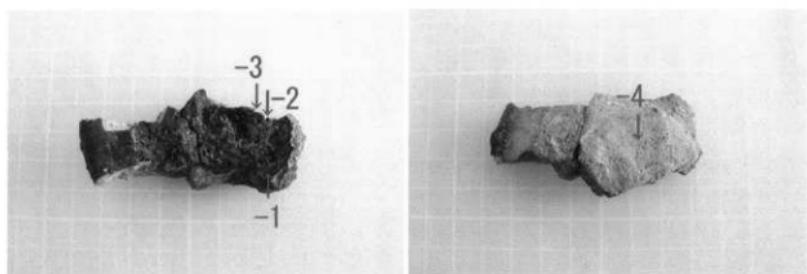


※画像は実寸大



軟X線照射装置

第266図 軟X線透過写真撮影



蛍光X線測定場所 P 2

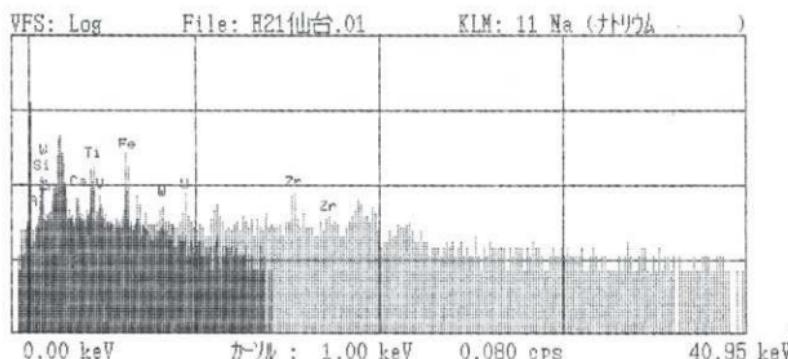


蛍光X線測定場所 N 25



蛍光X線分析装置

第267図 蛍光X線元素分析



測定条件

	#1	#2
日付	09/07/28	09/07/28
時刻	10:23:55	10:23:55
電圧	15 kV	50 kV
電流	500 μ A	240 μ A
時間	50 秒	50 秒
DT%	2 %	4 %
試料セル	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
13 Al	アルミニウム	○			
14 Si	けい素	○			
20 Ca	カルシウム	?			
22 Ti	チタン	○			
23 V	バナジウム	?			
26 Fe	鉄	○			
40 Zr	ジルコニウム	○			
74 W	タングステン	?			

成分

濃度 (wt%)

標準偏差

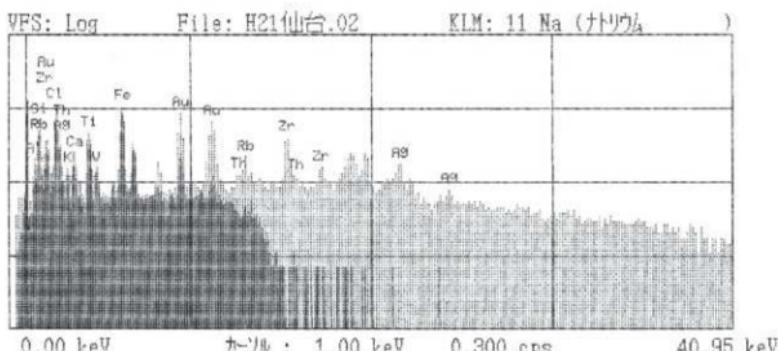
強度 (cps/ μ A)

14 Si	けい素	38.59	1.90	0.020
22 Ti	チタン	23.50	1.36	0.157
26 Fe	鉄	20.50	0.99	0.275
13 Al	アルミニウム	8.77	1.60	0.003
20 Ca	カルシウム	5.13	1.19	0.008
74 W	タングステン	2.41	0.54	0.018
40 Zr	ジルコニウム	0.94	0.09	0.067
23 V	バナジウム	0.18	0.20	0.002

第268図 蛍光X線分析 P 2 (1)

HORIBA MESA-500 スペクトル

09/07/28 10:41:08



測定条件

	#1	#2
日付	09/07/28	09/07/28
時刻	10:28:41	10:28:41
電圧	15 kV	50 kV
電流	500 μ A	108 μ A
時間	50 秒	50 秒
DT%	10 %	23 %
試料セル	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

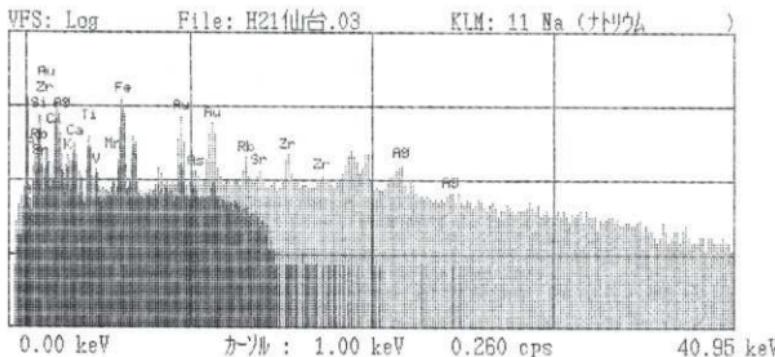
記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
13 Al	アルミニウム	○	47 Ag	銀	○
14 Si	けい素	○	79 Au	金	○
17 Cl	塩素	?	90 Th	トリウム	?
19 K	カリウム	?			
20 Ca	カルシウム	○			
22 Ti	チタン	○			
23 V	バナジウム	?			
26 Fe	鉄	○			
37 Rb	ルビジウム	?			
40 Zr	ジルコニウム	○			

HORIBA MESA-500 定量結果

09/07/28 10:42:01

成分	濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/ μ A)
14 Si けい素	36.52	0.34	0.421
79 Au 金	20.47	0.27	4.535
26 Fe 鉄	16.73	0.22	5.432
22 Ti チタン	8.75	0.26	1.068
13 Al アルミニウム	7.97	0.29	0.055
20 Ca カルシウム	3.59	0.18	0.090
19 K カリウム	1.97	0.18	0.043
40 Zr ジルコニウム	1.77	0.07	1.715
47 Ag 銀	1.40	0.10	0.461
90 Th トリウム	0.55	0.05	0.176
23 V バナジウム	0.25	0.08	0.044
37 Rb ルビジウム	0.01	0.02	0.010
17 Cl 塩素	0.00	0.14	0.000

第269図 蛍光X線分析 P 2 (2)



測定条件

	#1	#2
日付	09/07/28	09/07/28
時刻	10:32:29	10:32:29
電圧	15 kV	50 kV
電流	500 μ A	124 μ A
時間	50 秒	50 秒
DT%	12 %	21 %
試料セル	なし	なし
試料室	真空	真空

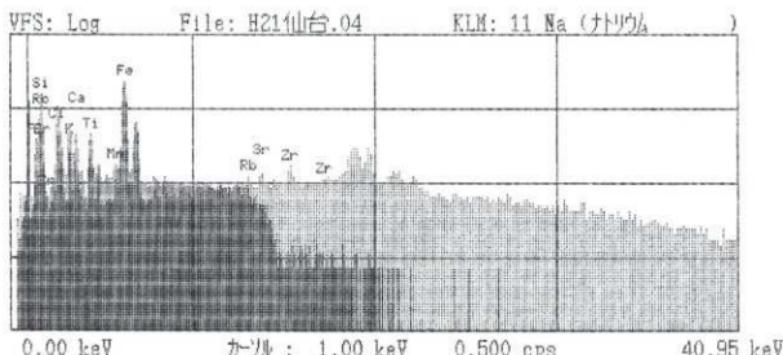
定性結果

記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
13 Al	アルミニウム	○	37 Rb	ルビジウム	?
14 Si	けい素	○	38 Sr	ストロンチウム	○
17 Cl	塩素	?	40 Zr	ジルコニウム	○
19 K	カリウム	?	47 Ag	銀	○
20 Ca	カルシウム	○	79 Au	金	○
22 Ti	チタン	○			
23 V	バナジウム	?			
25 Mn	マンガン	○			
26 Fe	鉄	○			
33 As	ひ素	?			

成分	濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/ μ A)
14 Si けい素	42.22	0.37	0.459
26 Fe 鉄	18.04	0.22	0.991
79 Au 金	13.22	0.21	3.039
13 Al アルミニウム	10.39	0.31	0.070
22 Ti チタン	5.73	0.21	0.705
20 Ca カルシウム	5.10	0.22	0.130
19 K カリウム	3.23	0.22	0.071
47 Ag 銀	0.86	0.07	0.346
40 Zr ジルコニウム	0.46	0.03	0.521
25 Mn マンガン	0.22	0.05	0.059
38 Sr ストロンチウム	0.15	0.03	0.147
33 As ひ素	0.13	0.04	0.096
23 V バナジウム	0.13	0.12	0.022
37 Rb ルビジウム	0.12	0.03	0.105
17 Cl 塩素	0.00	0.17	0.000

第270図 蛍光X線分析 P 2 (3)

HORIBA MESA-500 スペクトル 09/07/28 10:46:53



測定条件

	#1	#2
日付	09/07/28	09/07/28
時刻	10:44:05	10:44:05
電圧	15 kV	50 kV
電流	360 μA	44 μA
時間	50 秒	50 秒
DT%	23 %	23 %
試料セル	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
13 Al	アルミニウム	○	40 Zr	ジルコニウム	○
14 Si	けい素	○			
17 Cl	塩素	?			
19 K	カリウム	?			
20 Ca	カルシウム	○			
22 Ti	チタン	○			
25 Mn	マンガン	○			
26 Fe	鉄	○			
37 Rb	ルビジウム	?			
38 Sr	ストロンチウム	○			

HORIBA MESA-500 定量結果 09/07/28 10:47:37

成分	濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
14 Si けい素	50.63	0.25	1.773
26 Fe 鉄	26.61	0.20	32.061
13 Al アルミニウム	9.88	0.20	0.215
19 K カリウム	6.47	0.14	0.523
20 Ca カルシウム	3.36	0.11	0.320
22 Ti チタン	2.56	0.13	1.227
25 Mn マンガン	0.22	0.04	0.219
40 Zr ジルコニウム	0.13	0.03	0.763
38 Sr ストロンチウム	0.09	0.02	0.429
37 Rb ルビジウム	0.04	0.01	0.187
17 Cl 塩素	0.00	0.08	0.000

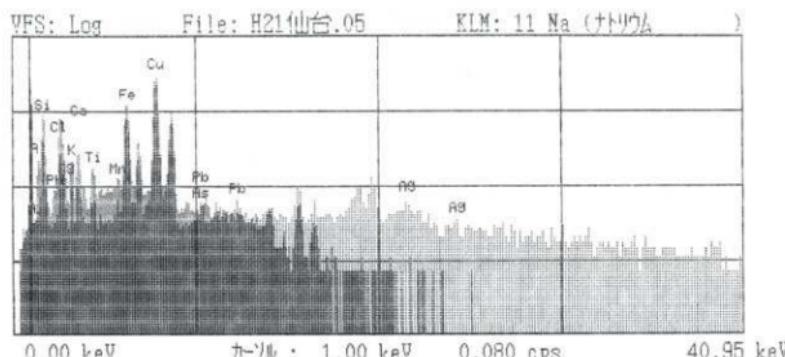
第271図 蛍光X線分析 P 2 (4)

HORIBA

MESA-500

スペクトル

09/11/09 16:10:03



測定条件

	#1	#2
日付	09/07/28	09/07/28
時刻	10:50:42	10:50:42
電圧	15 kV	50 kV
電流	200 μ A	18 μ A
時間	50 秒	50 秒
DTR%	23 %	23 %
試料セル	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
13 Al	アルミニウム	○	47 Ag	銀	○
14 Si	けい素	○	82 Pb	鉛	?
17 Cl	塩素	?			
19 K	カリウム	?			
20 Ca	カルシウム	○			
22 Ti	チタン	?			
25 Mn	マンガン	○			
26 Fe	鉄	○			
29 Cu	銅	?			
33 As	ひ素	○			

HORIBA

MESA-500

定量結果

09/11/09 16:10:45

成分

濃度 (wt%)

標準偏差

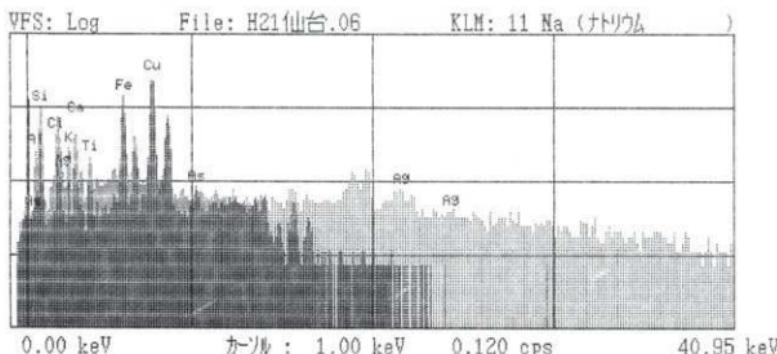
強度 (cps/ μ A)

29 Cu	銅	53.94	0.29	168.867
14 Si	けい素	28.78	0.24	1.376
13 Al	アルミニウム	6.99	0.21	0.176
26 Fe	鉄	6.70	0.10	22.534
20 Ca	カルシウム	1.31	0.07	0.263
19 K	カリウム	1.25	0.07	0.197
22 Ti	チタン	0.49	0.07	0.531
82 Pb	鉛	0.31	0.24	0.306
47 Ag	銀	0.14	0.05	0.295
25 Mn	マンガン	0.09	0.03	0.246
17 Cl	塩素	0.00	0.06	0.000
33 As	ひ素	0.00	0.01	0.000

第272図 蛍光X線分析 N25 (1)

HORIBA MESA-500 スペクトル

' 09/11/09 16:11:26



測定条件

	#1	#2
日付	' 09/07/28	' 09/07/28
時刻	10:59:00	10:59:00
電圧	15 kV	50 kV
電流	200 μA	16 μA
時間	50 秒	50 秒
DT%	24 %	23 %
試料セル	なし	なし
試料室	真空	真空

定性結果

記号	元素名	判定	記号	元素名	判定
13 Al	アルミニウム	○			
14 Si	けい素	○			
17 Cl	塩素	?			
19 K	カリウム	?			
20 Ca	カルシウム	○			
22 Ti	チタン	?			
26 Fe	鉄	○			
29 Cu	銅	○			
33 As	ひ素	?			
47 Ag	銀	○			

HORIBA MESA-500 定量結果

' 09/11/09 16:12:37

成分	濃度 (wt%)	標準偏差	強度 (cps/μA)
29 Cu 銅	47.27	0.24	158.530
14 Si けい素	31.81	0.23	1.696
26 Fe 鉄	8.62	0.12	29.578
13 Al アルミニウム	7.49	0.21	0.214
20 Ca カルシウム	2.26	0.07	0.483
19 K カリウム	1.45	0.08	0.246
22 Ti チタン	0.70	0.08	0.800
47 Ag 銀	0.23	0.05	0.580
33 As ひ素	0.17	0.06	0.546
17 Cl 塩素	0.00	0.05	0.000

第273図 蛍光X線分析 N25 (2)

仙台市文化財調査報告書第377集

若林城跡

—第8次・第9次発掘調査報告書—

第1分冊

2010年10月

発行 仙台市教育委員会

仙台市青葉区国分町三丁目7番1号
文化財課 TEL022(214)8544

印刷 富士出版印刷株式会社

大野市中央内丁目8番10号
TEL077(523)2580
